MAZDA CX-5

“Zoom-Zoom”・・・

それは英語で「ブー、ブー」という車の走行音をあらわす、子供言葉です。
誰でも、子供の頃は、動くことに対するあこがれがありました。
車のエンジン音が響くと、ドキドキする感じ。
カラダがビュンビュン流れる時の、快感。
めまいがするようなうれしさ。

きっと、みんな知っていたはずです。
でも、大人になると、ちょっと忘れていたりする。
それを、マツダは忘れません。
それが、私たちの“Zoom-Zoom”の意味。

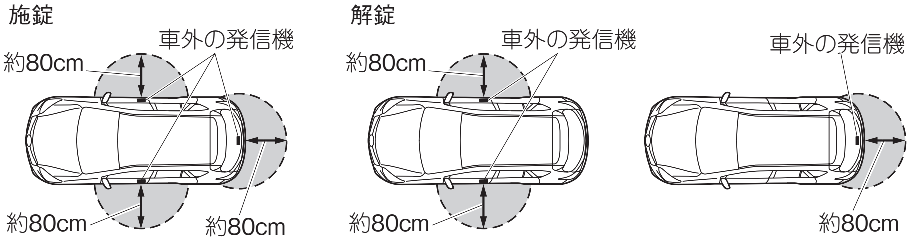
小さい時に知っていた、
ウズウズするような走る喜びを忘れていない皆様のために、
素晴らしいクルマを作り続けます、という
私たちの新しいブランド・パーソナリティのコア・エッセンスです。

## アドバンストキー

### ● アドバンストキーの作動範囲

の範囲で操作ができます。

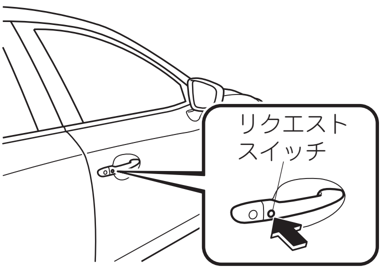
ドア、リヤゲートの施錠/解錠　　　　　リヤゲートの解錠



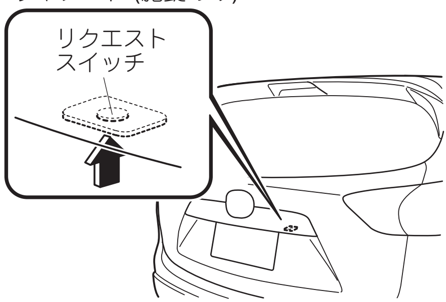

### ● ドア、リヤゲートの施錠/解錠

アドバンストキーを携帯し、フロントドアまたはリヤゲートのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠/解錠します。

フロントドア




リヤゲート (施錠のみ)




リクエストスイッチを押して施錠/解錠できます。

| | 施錠時 | 解錠時 |
|---|---|---|
| 非常点滅灯/チャイム | 1回作動 | 2回作動 |

電源ポジションがONのときは、以下の条件が揃ったときのみリヤゲートを開けることができます。

・車両が停止しているとき
・セレクトレバーがPの位置にあるとき

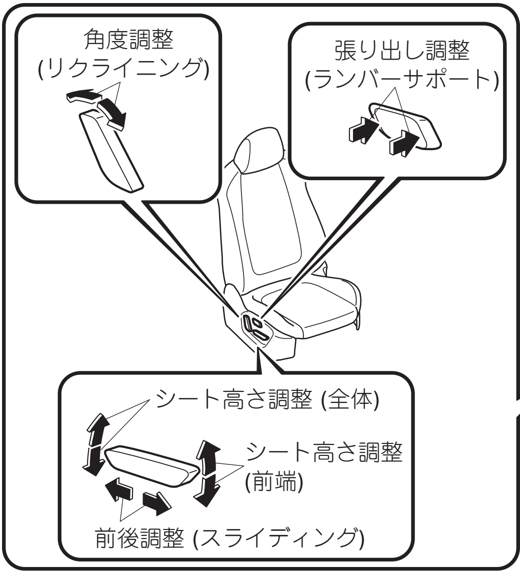


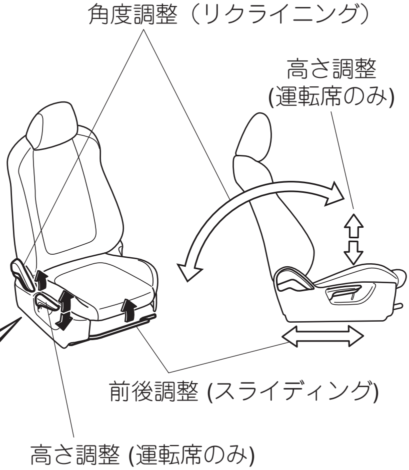
詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

## シート、シートベルト、ハンドル、ミラーの調整

### ● シート

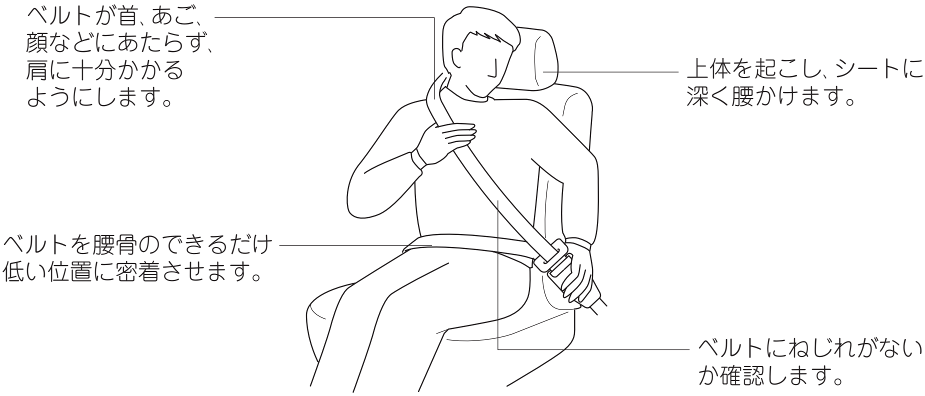
パワーシート装備車




### ● シートベルト

フロントシート

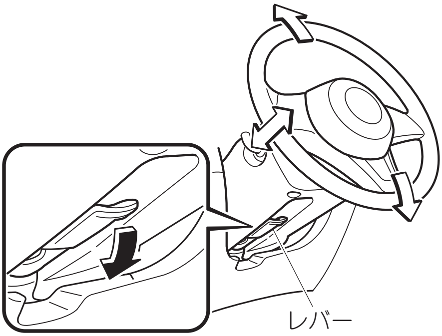



詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

# 運転する前に

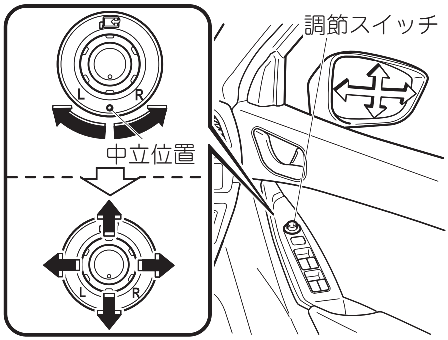
● ハンドル

レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節し、調節後は、レバーを押し上げて固定します。



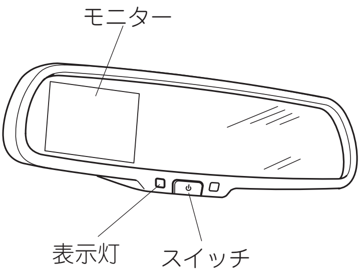

● ドアミラー

1 調節スイッチを運転席側 (R) または助手席側 (L) に回します。
2 調節スイッチを操作して、角度を調節します。

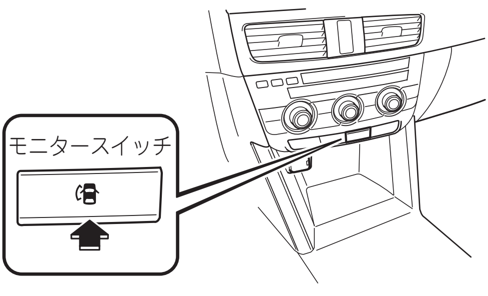



● ルームミラー

電源ポジションがONのとき、後続車からのヘッドランプの光を自動で軽減します。
スイッチを押す毎にON、OFFが切り替わります。




電源ポジションがONのとき、シフトレバーをRにいれるとルームミラーのモニターにバックカメラから映し出された画像が表示されます。



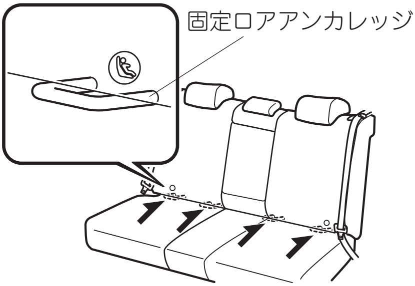

電源ポジションがONのときに、モニタースイッチを押すとサイドモニターに切り替わります。



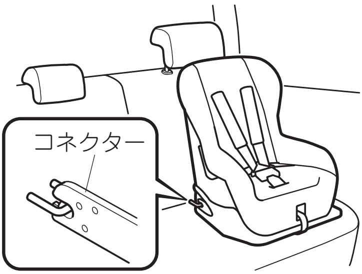
詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

## ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ&トップテザーアンカレッジ

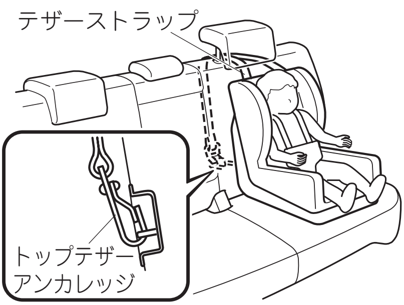
・リヤシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。
・お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使用してください。選択の目安表は本文を参照してください。




1 お子さま専用シートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートを調節します。
2 フロントおよびリヤシートが確実に固定されていることを確認してください。
3 リヤシートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。

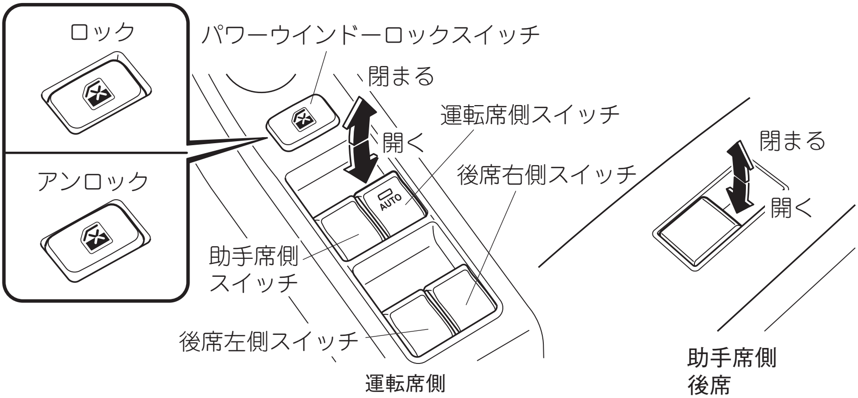



4 ヘッドレストを引き上げます。
5 チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカレッジに取り付けます。




6 チャイルドシートのテザーストラップをイラストのように通して、トップテザーアンカレッジにかけます。
7 テザーストラップがたるまないように調節します。
8 チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

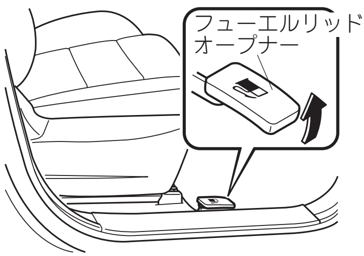
## 窓ガラスの開閉



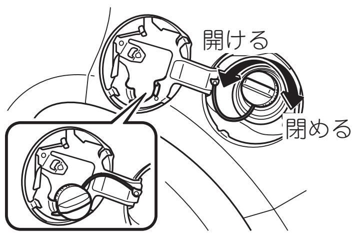

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。
助手席、後席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。

## 給油するとき

| | | |
|---|---|---|
| 使用燃料 | SKYACTIV-G 2.0 | 無鉛レギュラーガソリン |
| | SKYACTIV-D 2.2 | 低硫黄軽油 |
| タンク容量<br>(参考値) | 2WD車 | 56 L |
| | 4WD車 | 58 L |




1 運転席足元にあるフューエルリッドオープナーを引くとフューエルリッドが開きます。




2 取りはずしたキャップはフューエルリッドの内側にかけます。
キャップを閉めるときは、カチッと1回音がするまで締め付けてください。


詳しくは第1章「運転する前に」をお読みください。

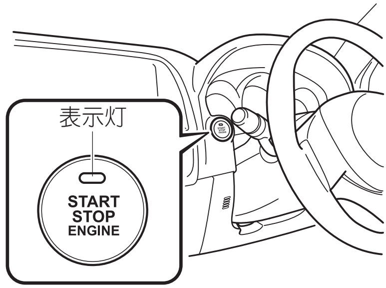
# エンジンの始動と停止

## ● 電源ポジション (エンジンスイッチ)

プッシュボタンスタートを押す毎にOFF、ACC、ONの順に電源ポジションが切り替わり、ONからもう一度、プッシュボタンスタートを押すとOFFへ戻ります。

電源ポジションの切り替わり

OFF
⇩
ACC
⇩
ON

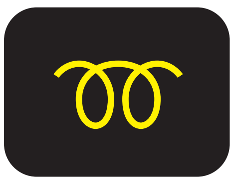



## ● エンジンをかけるとき

1. パーキングブレーキがかかっており、セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
2. キーを携帯していることを確認します。
3. ブレーキペダルをしっかりと踏みながら、プッシュボタンスタートを押してエンジンを始動させます。

<u>冷間始動時の知識 (SKYACTIV-D 2.2)</u>

・予熱表示灯が消灯するまで、スターターは回りません。
・プッシュボタンスタートを押したあと、メーター内の予熱表示灯が消灯して、エンジンがかかるまでブレーキペダルを放さないでください。
・予熱が終了したあと、電源ポジションがONのままエンジンをかけずに長時間放置した場合、再度予熱を行い予熱表示灯が点灯する場合があります。

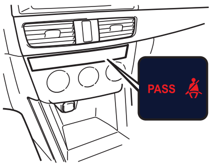


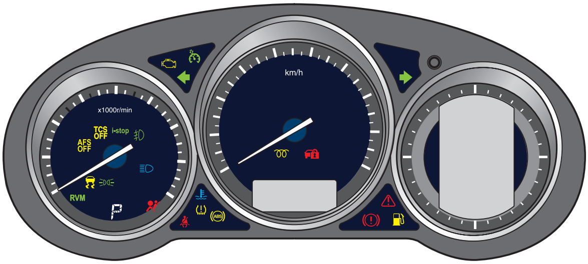
詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

# 運転するときに

## 警告灯/表示灯配置図 (警告灯/表示灯の位置はグレードによって異なります。)

メーター内にマスター警告灯が点灯したときは、ディスプレイにシステムの作動状態や故障・異常状態などのメッセージ情報が表示されます。ディスプレイに表示されたメッセージをご確認ください。




| | |
|---|---|
| | マスター警告灯 |
| | ディスプレイ |
| | ブレーキ警告灯 |
| | ABS警告灯 |
| | 充電警告表示 |
| | オイル警告表示 |
| | レンチ表示 |
| | エンジン警告灯 |
| | 高水温警告灯 (赤) |
| i-stop | i-stop警告灯 (橙) |
| | i-stop表示灯 (緑) |
| RVM | RVM警告灯 (橙) |
| | RVM表示灯 (緑) |
| AT | オートマチックトランスミッション警告表示 |
| | 電動パワーステアリング警告表示 |
| | エアバッグ警告灯/プリテンショナー警告灯 |
| | 燃料残量警告灯 |
| | シートベルト警告灯 |
| PASS | |
| | 半ドア警告表示 |

| | |
|---|---|
| | リヤゲート開警告表示 |
| | タイヤ空気圧警告灯 |
| | 予熱表示灯 |
| DPF | DPF表示 |
| | KEY警告表示 |
| | TCS/DSC作動表示灯 |
| TCS OFF | TCS OFF表示灯 |
| AFS OFF | AFS OFF表示灯 |
| | 低水温表示灯 (青) |
| | セレクトレバー位置表示灯 |
| | ヘッドランプ上向き表示灯 |
| | 方向指示/非常点滅表示灯 |
| | セキュリティ表示灯 |
| | クルーズメイン表示灯 (橙) |
| | クルーズコントロール表示灯 (緑) |
| | 車幅灯表示灯 |
| | フォグランプ表示灯 |
| | セジメンタ警告表示 |
| 4WD | 4WD警告表示 |
| ブレーキ | AT誤発進抑制制御表示 |

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

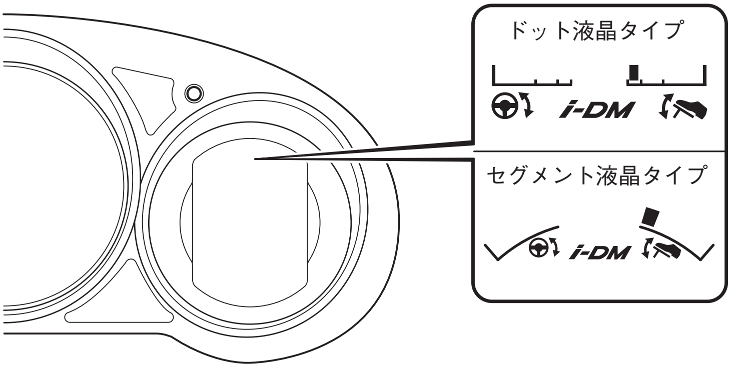
## インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)

### ● i-DMとは

「i-DM」はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得/向上をサポートします。

### ● インテリジェント・ドライブ・マスター・ゲージ

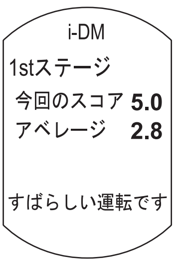
走行中の運転操作 (アクセル、ブレーキ、ハンドル) の適正状態を診断し、ランプ及びゲージを通じてドライバーにリアルタイムに結果を知らせます。



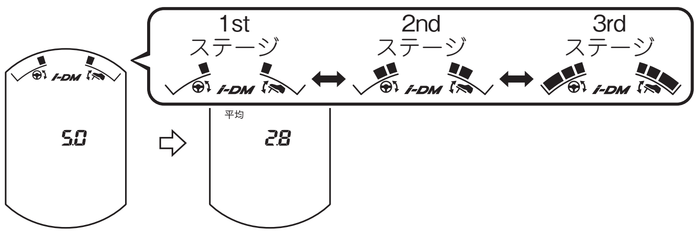

### ● i-DM表示

運転終了後、電源ポジションをONからOFFにしたとき、今回のスコア、アベレージスコアと現在のステージを表示します。
ドット液晶タイプは、文字による運転評価メッセージとワンポイントアドバイスを一定時間表示します。(ティーチング機能)

ドット液晶タイプ



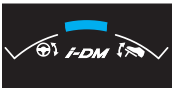
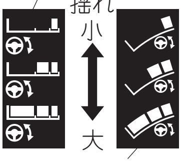
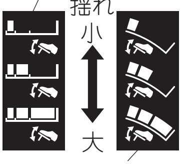

セグメント液晶タイプ




今回のスコア　アベレージスコア

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

運転操作の状況は、次のように表示されます。(コーチング機能)

| ランプの種類 | 点灯パターン | 内容 |
|---|---|---|
| グリーンランプ<br>ドット液晶タイプ<br><br>セグメント液晶タイプ<br> | 点灯表示 | やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。 |
| ブルーランプ<br>ドット液晶タイプ<br><br>セグメント液晶タイプ<br> | 点灯表示 | しなやかな運転を示します。特に以下の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。<br>**走行タイプ1**<br>適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。<br>**走行タイプ2**<br>加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。 |
| ホワイトゲージ<br>ドット液晶タイプ<br><br>セグメント液晶タイプ<br> | ドット液晶タイプ<br>揺れ 小<br><br>大<br>セグメント液晶タイプ<br>ハンドル操作によって起こる体の横揺れを左側のゲージに3段階で点灯表示<br><br>ドット液晶タイプ<br>揺れ 小<br><br>大<br>セグメント液晶タイプ<br>アクセル/ブレーキ操作によって起こる体の縦揺れを右側のゲージに3段階で点灯表示 | 体が揺れる運転を示します。やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまり良くない運転です。 |

 詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

# i-stop

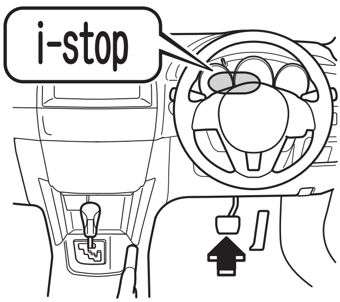
## ● i-stopとは

i-stop (アイ･ストップ) は燃費向上･排気ガスの低減･アイドリング騒音低下のため、SKYACTIV-G 2.0はエンジン暖機後、SKYACTIV-D 2.2はエンジン冷間以外のときに信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止･再始動させる機能です。

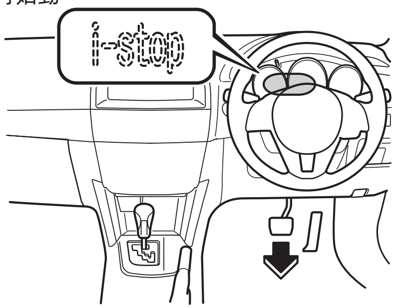
## ● アイドリングストップ･再始動

1 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、i-stop表示灯 (緑) が点灯します。
2 走行状態 (Rレンジ以外) からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。 (i-stop表示灯 (緑) はアイドリングストップ中も点灯します。)
3 D/M (2 速固定モードでない) レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動し、i-stop 表示灯 (緑) が消灯します。

アイドリングストップ




再始動




## ● i-stop表示灯/i-stop警告灯

i-stop表示灯 (緑)




アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。
ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると、アイドリングストップせずに点滅します。

i-stop警告灯 (橙)



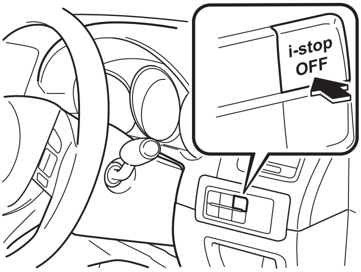

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。
i-stop OFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯します。

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

### ● i-stop警告チャイム

アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。

### ● i-stop OFFスイッチ

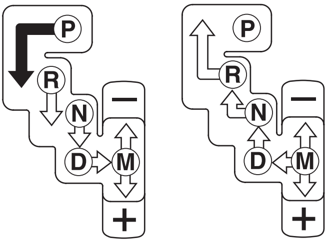



i-stopの解除
・スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけます。
・メーター内のi-stop警告灯 (橙) は点灯します。

i-stopの作動
・スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけます。
・メーター内のi-stop警告灯 (橙) は消灯します。

## オートマチックトランスミッション

### ● セレクトレバーの操作




| レバー操作 | |
|---|---|
| ➡ | ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。 |
| ⇨ | ゲートにそって、そのままセレクトレバーを操作します。 |

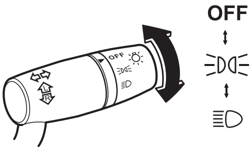

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

# スイッチの使いかた

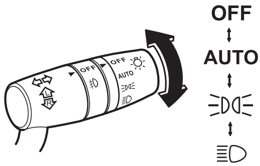
## ● ヘッドランプ/方向指示器

ヘッドランプ

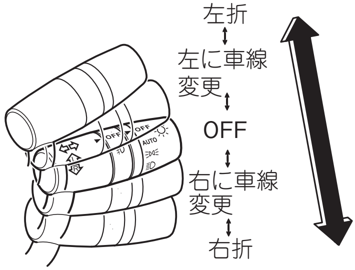
標準タイプ




オートライト機能付きタイプ



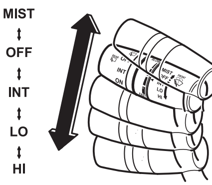

方向指示器



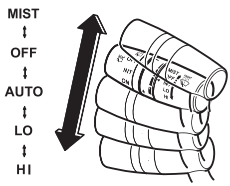

## ● ワイパー/ウォッシャー

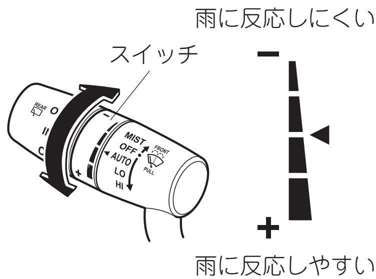
フロントワイパー

標準タイプ

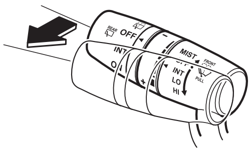



オートワイパー機能付きタイプ




フロントウォッシャー



レバーをAUTO位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、ワイパーが自動で作動します。
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

# スマートシティーブレーキサポート (SCBS)

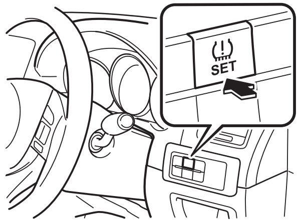
スマートシティーブレーキサポート（SCBS）は、前方車をレーザーセンサーが検知し、衝突を回避できないと判断したときに、ブレーキ制御を行なう装置で、衝突時の被害を軽減します。
自車と前方車との相対速度が約15km/hより低いときは、衝突を回避できる場合があります。

詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

## タイヤ空気圧警報システム

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧をモニターし、空気圧が規定値以下になったとき、メーター内のタイヤ空気圧警告灯を点灯させると同時に、警報チャイムで運転者に警告します。

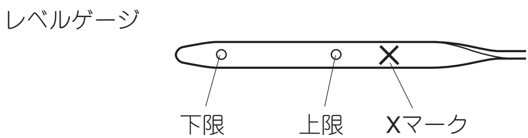
システムを正常に作動させる為に、次のような場合は必ず初期化を実施してください。
・ 空気圧を調整したとき
・ タイヤローテーションしたとき
・ タイヤやホイールを交換したとき
・ バッテリが完全に放電したときやバッテリを交換したとき
・ タイヤ空気圧警告灯が点灯したとき (空気圧を調整後、初期化してください)




## ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF)

ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) はディーゼルエンジンの排気ガスに含まれる粒子状物質のほとんどを捕集し除去するもので、排出ガス処理能力を向上させています。

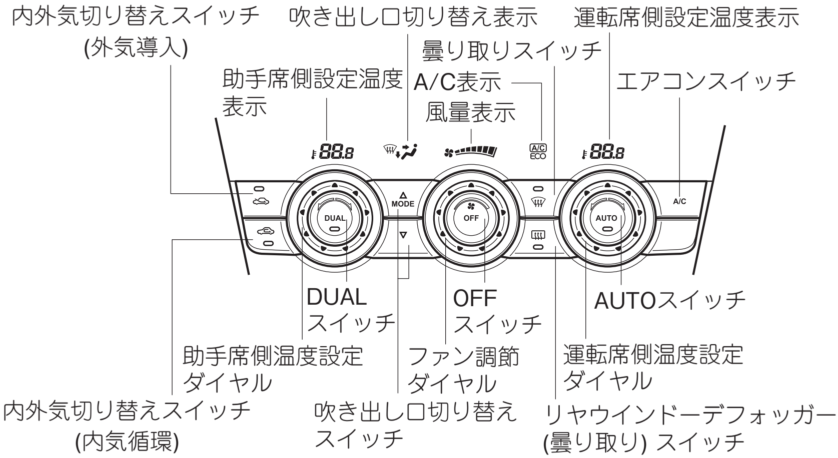
DPFに堆積した粒子状物質が自動で除去されるとき、エンジンオイルに燃料が混ざり、油量が増えることがあります。油量がレベルゲージの×の位置を超えている場合はオイル交換をしてください。




オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場で記憶値の初期化 (オイルデータリセット) を行なってください。コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、オイル警告灯が通常より早めに点灯することがあります。


詳しくは第2章「運転するときに」をお読みください。

## フルオートエアコン




### ●通常の使いかた

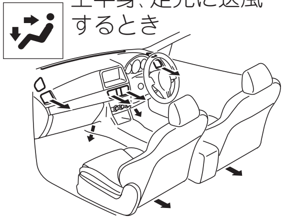
1 AUTOスイッチを押します。吹き出し口、内外気切り替え、吹き出し風量が自動的に調整されます。
2 温度設定ダイヤルを操作して希望温度にあわせます。
運転席と助手席の設定温度を独立して調節するときは、DUALスイッチを押す、または助手席側温度設定ダイヤルをまわして独立モードにします。
3 作動を停止したいときは、OFFスイッチを押します。

### ●吹き出し口の選択

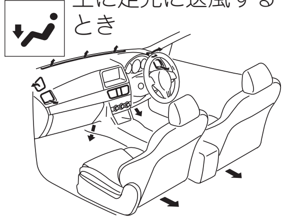
上半身に送風するとき



上半身、足元に送風するとき



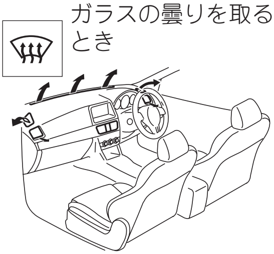
主に足元に送風するとき



足元への送風とガラスの曇りを取るとき



ガラスの曇りを取るとき



詳しくは第3章「快適装備の使いかた」をお読みください。

# お手入れのしかた

## 日常点検

日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。
「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

### ●運転席にすわって

・ ブレーキペダルの踏みしろ (踏み込んだときの床板とのすき間)
・ ブレーキの効き
・ パーキングブレーキの引きしろ
・ エンジンのかかり具合、異音
・ アイドリングおよび加速の状態

### ●エンジンルームをのぞいて

・ エンジンオイルの量
・ 冷却水の量
・ ウォッシャー液の量
・ ブレーキ液の量
・ バッテリー液の量

### ●全体を見まわして

・ ウォッシャー液の噴射状態
・ ワイパーの払拭状態
・ 灯火装置および方向指示器の点灯または点滅具合、汚れ、破損
・ タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常磨耗、溝の深さなど

## ランプ類、電気装置が作動しない

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

詳しくは第4章「お手入れのしかた」または、別冊のメンテナンスノート
「日常点検整備のしかた」をお読みください。

# 目次


イラスト目次 2 ページ

詳細目次 6 ページ

1 運転する前に 11 ページ

運転する前に必要な操作と取り扱い

2 運転するときに 95 ページ

運転するときに必要な操作と取り扱い

3 快適装備の使いかた 235 ページ

ドライブをより快適にする装備の操作と取り扱い

4 お手入れのしかた 259 ページ

手入れの方法、真冬の取り扱いなど

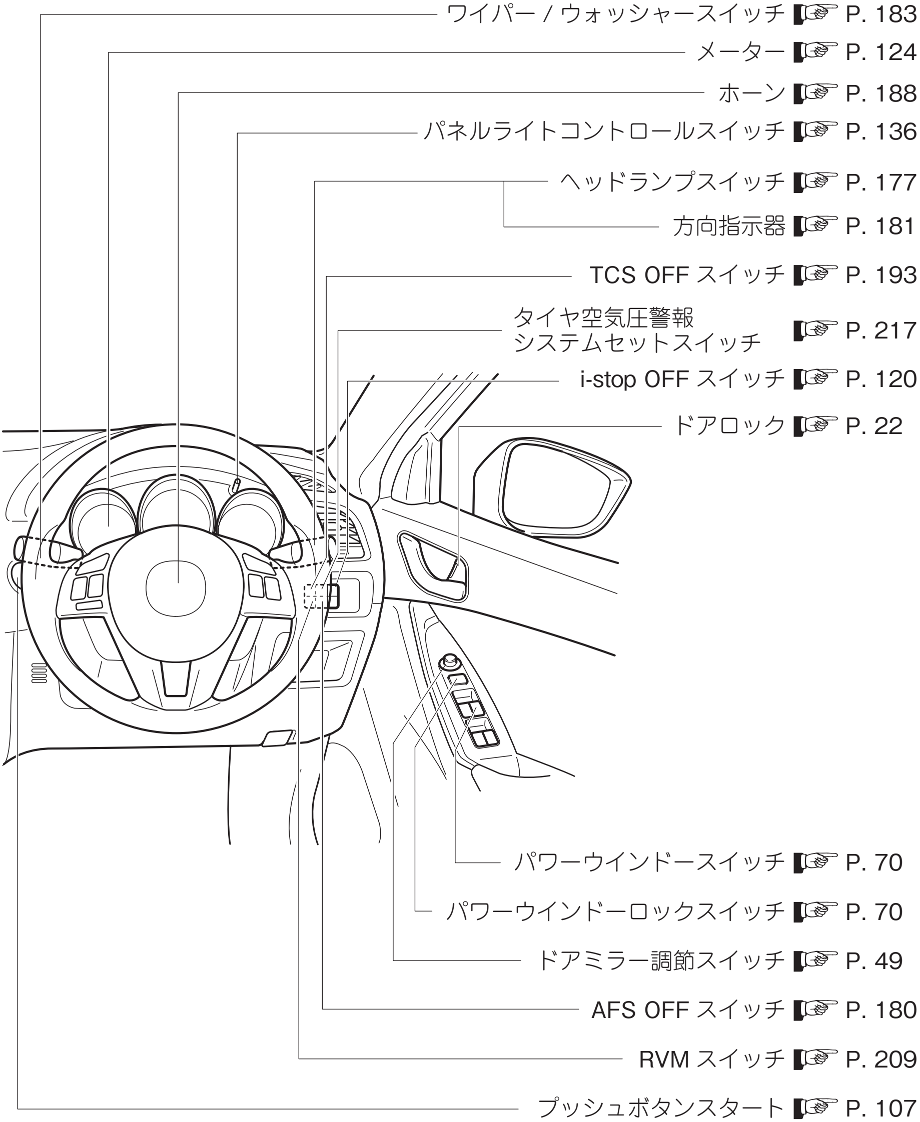
5 トラブルが起きたら 307 ページ

車が故障したとき、事故にあったときの処置

車両スペック 350 ページ

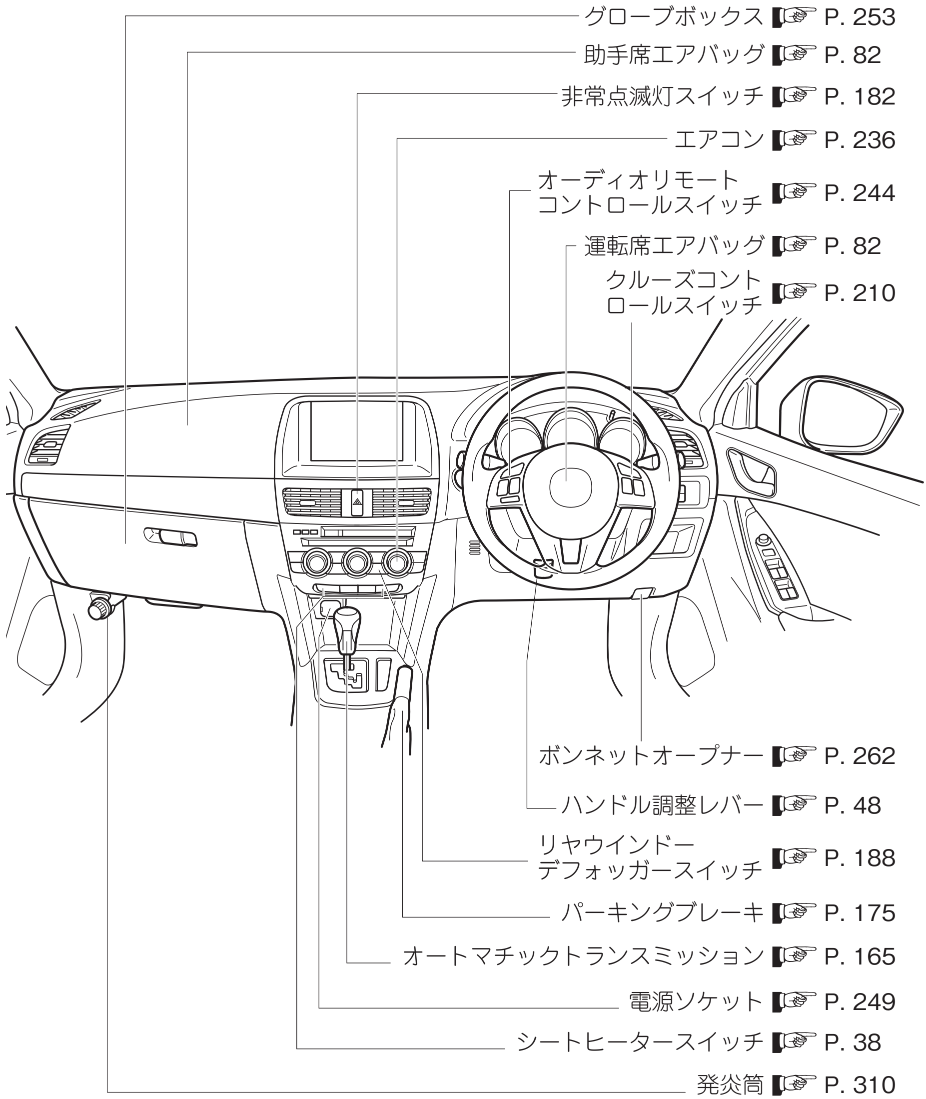
さくいん 362 ページ

## ハンドルまわり




グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

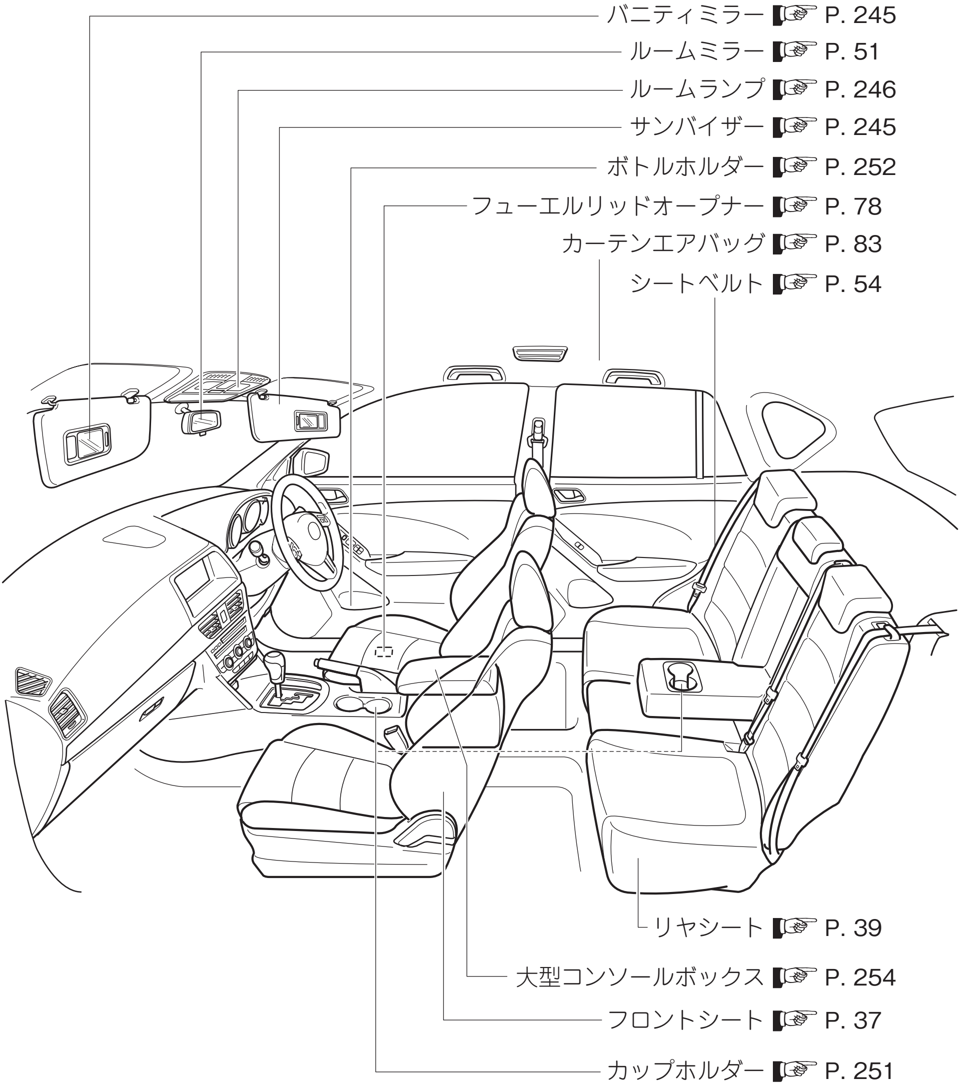
# 運転席まわり




グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

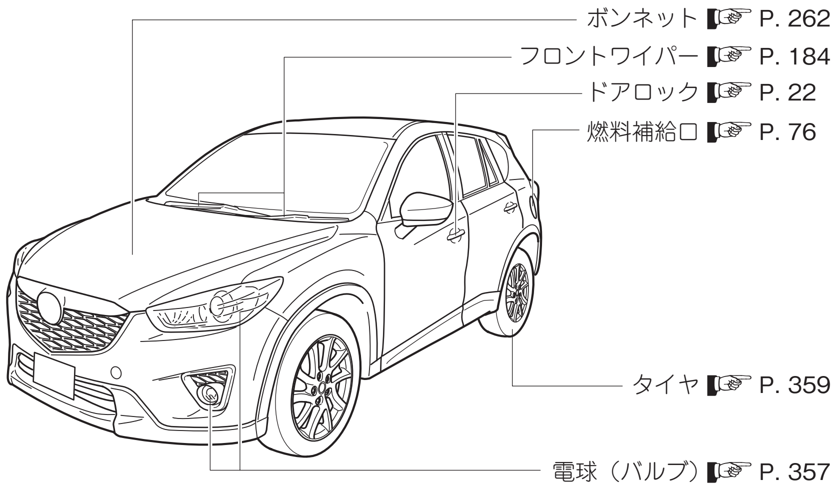
# イラスト目次

## 室内



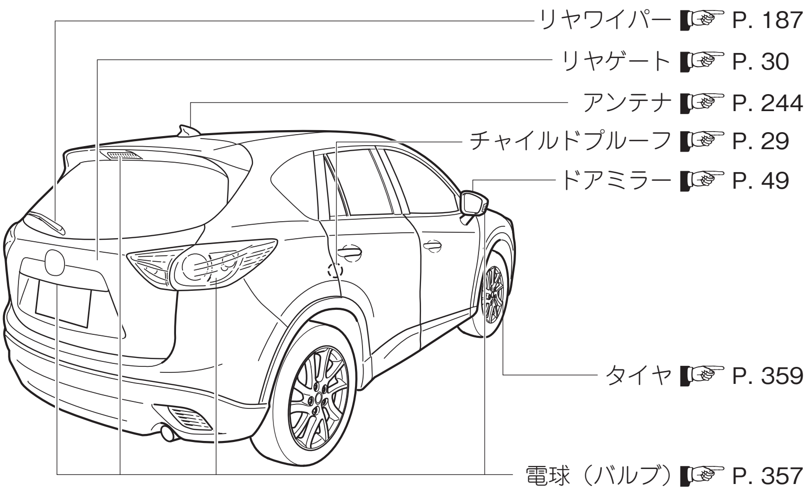

グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

# フロント外観




グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

# リヤ外観




グレードや仕様などにより、取り付け位置および装備が異なります。

# 詳細目次

## 1 運転する前に


### 安全なドライブのために 12

お出かけ前に......12
お子さまを乗せるとき......14
安全装備について......14

### キー 15

キーについて......15

### ドア 22

ドアの開閉......22

### リヤゲート 30

リヤゲートの開閉......30

### トノカバー 33

トノカバーの使いかた......33

### シート 36

正しい運転姿勢......36
フロントシートの調節......37
リヤシートの操作......39
ヘッドレストの使いかた......45

### ハンドル 48

ハンドルの調節......48

### ドアミラー 49

ドアミラーの操作......49

### ルームミラー 51

ルームミラーの操作......51

### シートベルト 54

シートベルトの種類......54
シートベルトの正しい着用のしかた......55
3 点式シートベルト......59

### お子さまの安全 63

お子さま専用シートについて......63
チャイルドシートを固定するとき......68

### ウインドー 70

窓ガラスの開閉......70

### サンルーフ 73

サンルーフの操作......73

### 燃料補給口 76

給油するとき......76

### 盗難防止システム 80

イモビライザーシステム......80

### SRS エアバッグシステム 82

SRS エアバッグシステムについて......82
エアバッグの種類......82
エアバッグの注意点......84

### 安全に運転をしていただくために 94

積雪、寒冷時の取り扱い......94

## 2 運転するときに


### 安全なドライブのために 98

運転するとき ........................ 98
運転装置について ........................ 101
こんなことにも注意 ........................ 101
駐停車するとき ........................ 105
お子さまを乗せるとき ........................ 106

### エンジンの始動と停止 107

電源ポジション
（エンジンスイッチ）........................ 107
エンジンの始動 ........................ 108
エンジンの停止 ........................ 113
i-stop について ........................ 114

### メーター、警告灯、表示灯の見方 124

メーター ........................ 124
警告灯、表示灯 ........................ 141

### トランスミッションの使いかた 165

オートマチック
トランスミッション ........................ 165

### ブレーキ 175

ブレーキの操作 ........................ 175

### 4WD 176

4WD について ........................ 176

### スイッチの使いかた 177

ヘッドランプスイッチ ........................ 177
方向指示器 ........................ 181
非常点滅灯スイッチ ........................ 182
フォグランプスイッチ ........................ 182
ワイパー / ウォッシャー
スイッチ ........................ 183
リヤウインドーデフォッガー
（曇り取り）スイッチ ........................ 188
ホーン ........................ 188

### ABS について 189

ABS とは ........................ 189

### ヒルローンチアシスト (HLA) について 190

ヒルローンチアシスト
（HLA）とは ........................ 190

### エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について 191

エマージェンシーシグナルシステム
（ESS）とは ........................ 191

### トラクションコントロールシステム (TCS) について 192

TCS とは ........................ 192

## ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について 194

DSC とは......................................... 194

## スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について 196

スマートシティーブレーキサポート（SCBS）とは................................. 196

## リアビークルモニタリングシステムについて 205

リアビークルモニタリングシステムとは .............................. 205

## クルーズコントロールについて 210

クルーズコントロールとは........... 210

## タイヤ空気圧警報システムについて 214

タイヤ空気圧警報システムとは... 214

## 駐車支援システムについて 218

駐車支援システムとは .................. 218

## ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) について 228

ディーゼルパティキュレートフィルター（DPF）とは........... 228

## 様々な状況での運転のときは 230

悪天候での運転............................... 230

## 環境保護のために 232

経済的な運転.................................. 232

## 3 快適装備の使いかた


### 空調 236

エアコンの上手な使いかた............236
吹き出し口............237
フルオートエアコン............239

### オーディオ 244

アンテナ............244
オーディオリモートコントロール
　スイッチの操作............244

### 室内装備 245

サンバイザー............245
室内照明............245
時計............248
電源ソケット............249
カップホルダー............251
ボトルホルダー............252
収納............253


## 4 お手入れのしかた


### 車と上手につきあうために 260

必ずまもる............260

### 点検、整備 261

点検整備について............261
定期点検............262
日常点検の前に............262
日常点検............264
その他の手入れ............274

### ヒューズ切れ、電球切れのとき 275

ヒューズの受け持つ装置............275
ランプ類、電気装置が
　作動しないとき............280

### 電池交換 292

電池を交換するときは............292

### 車の手入れ 295

外装の手入れ............295
内装の手入れ............298

### 季節の準備 302

冬にそなえて............302
夏にそなえて............304

### 環境保護のために 305

廃棄物を処理するときは............305

# 5 トラブルが起きたら


## 故障したとき 308

路上で動けなくなったとき........... 308
スタックしたとき .......................... 309
踏切内で動けなくなったとき....... 309

## 緊急用具の取り扱い 310

発炎筒........................................... 310
工具、ジャッキの格納場所........... 311
ジャッキの取り扱い ...................... 311

## パンクしたとき 315

タイヤパンク応急修理キット....... 315

## バッテリーがあがったとき 322

バッテリーあがりについて........... 322

## エンジンが始動しないとき 325

燃料切れしたときは
（SKYACTIV-D 2.2）.................... 325

## オーバーヒートしたとき 326

オーバーヒートについて............... 326

## キーが作動しないとき 328

キー一時停止機能 .......................... 328

## けん引について 329

けん引してもらうとき .................. 329
故障車をけん引するとき............... 331

## 万一事故が起きたとき 333

## 警報チャイム 334

チャイムがなったときは............... 334

## 警告灯 336

警告灯が点灯、点滅したときは ... 336

## リヤゲート 349

リヤゲートが
開けられなくなったとき ........... 349

# 1 運転する前に


## 安全なドライブのために 12

お出かけ前に........................................12
お子さまを乗せるとき .........................14
安全装備について ................................14

## キー 15

キーについて........................................15

## ドア 22

ドアの開閉..........................................22

## リヤゲート 30

リヤゲートの開閉................................30

## トノカバー 33

トノカバーの使いかた .........................33

## シート 36

正しい運転姿勢....................................36
フロントシートの調節 .........................37
リヤシートの操作................................39
ヘッドレストの使いかた .....................45

## ハンドル 48

ハンドルの調節....................................48

## ドアミラー 49

ドアミラーの操作................................49

## ルームミラー 51

ルームミラーの操作............................51

## シートベルト 54

シートベルトの種類............................54
シートベルトの正しい着用のしかた ..55
3 点式シートベルト.............................59

## お子さまの安全 63

お子さま専用シートについて..............63
チャイルドシートを固定するとき ......68

## ウインドー 70

窓ガラスの開閉....................................70

## サンルーフ 73

サンルーフの操作................................73

## 燃料補給口 76

給油するとき........................................76

## 盗難防止システム 80

イモビライザーシステム .....................80

## SRS エアバッグシステム 82

SRS エアバッグシステムについて .....82
エアバッグの種類................................82
エアバッグの注意点 ............................84

## 安全に運転をしていただくために 94

積雪、寒冷時の取り扱い .....................94

# 安全なドライブのために

## お出かけ前に

### 日常点検は必ず実施する

261 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

### 日常点検としてバッテリー液の量を定期的に点検する

272 ページの「バッテリーの点検」をよくお読みください。

### 日常点検としてタイヤを定期的に点検する

269 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

### 指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない

76 ページの「給油するとき」をよくお読みください。

### 燃料補給時の注意

76 ページの「給油するとき」、79 ページの「フューエルキャップの開閉」をよくお読みください。

### 荷物を積むときは固定する

30 ページの「リヤゲートの開閉」をよくお読みください。

### 可燃物、危険物は積まない

燃料のはいった容器やスプレー缶は積まないでください。爆発、火災につながるおそれがあり危険です。

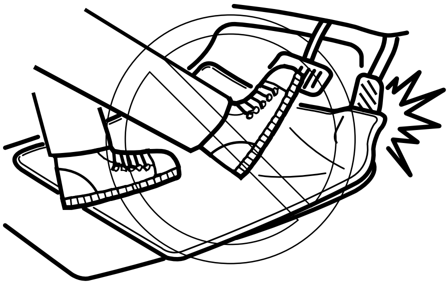
### 運転席足元には物を置かない

運転席足元にあき缶などの物を置かないでください。ブレーキペダルやアクセルペダルに物がはさまると、ペダルを正しく操作できなくなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 収納スペース使用時の注意

フタのついていない収納スペースに物を入れるときは、収納のしかたに注意してください。 収納の状態により、急加速時に内部の物が飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

## フロアマットは車に合ったものを使用する



車に合ったものを、フロアカーペットの上にしっかり固定して使用してください。フロアマットを敷くときは次の点を守ってください。

- 大きすぎるフロアマットは使用しない
- フロアマットは重ねて使用しない

フロアマットがすべったり、ブレーキペダルやアクセルペダルにフロアマットが引っかかるなど、ペダル操作のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 正しい運転姿勢に調節する

36 ページの「正しい運転姿勢」をよくお読みください。

## シートベルトは全員着用する

55 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」をよくお読みください。

## 外気取り入れ口をふさがない

236 ページの「エアコンを使用する前に」をよくお読みください。

# 安全なドライブのために

## お子さまを乗せるとき

### お子さまはリヤシートに乗せる

63 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

### お子さまにもシートベルトを着用させる

55 ページの「シートベルトの正しい着用のしかた」、84 ページの「エアバッグの注意点」をよくお読みください。

### チャイルドシートは正しく取り付ける

63 ページの「お子さまの安全」をよくお読みください。

### ドア、窓ガラスの開閉は大人が操作する

22 ページの「ドアの開閉」、29 ページの「チャイルドプルーフの使いかた」をよくお読みください。

### 窓から手や顔を出させない

70 ページの「窓ガラスの開閉」をよくお読みください。

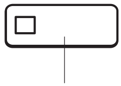
## 安全装備について

### SRS エアバッグシステムの注意

82 ページの「SRS エアバッグシステム」をよくお読みください。

# キーについて

## キーナンバープレート




お客様以外のかたにキーナンバーを知られないために、キーナンバープレートにキーナンバーを打刻しています。

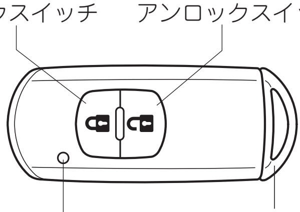
### 知識

- **保管するときは**
  キーナンバープレートは車両以外の安全な場所に、大切に保管しておいてください。
- **紛失したときは**
  万一、キーを紛失したときは、マツダ販売店でキーナンバーをもとにキーを作ることができます。マツダ販売店にご相談ください。

## キー

### 知識

キーは必ず運転者が携帯してください。



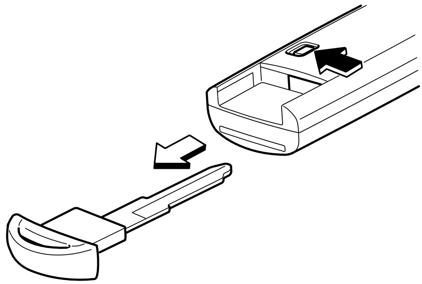

キーは取り出すことなく、エンジンの始動 / 停止のほかに、アドバンストキーレス機能装備車はドア、リヤゲートの施錠 / 解錠に使用します。また、リモートコントロール機能の操作にも使用します。キーは 2 本あります。

# キー

## 補助キー

キーに内蔵されています。
ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠に使用します。

### 補助キーの取りはずしかた



## キーの注意点

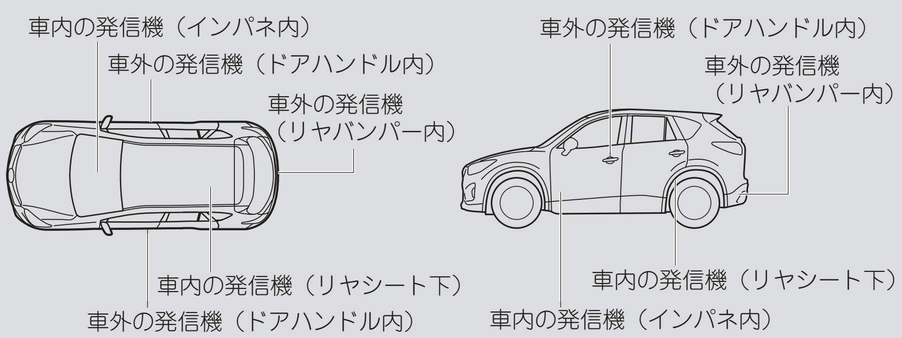
**警告**

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方へ

禁止

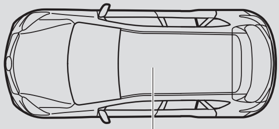
車内 · 車外の発信機から約 22cm 以内に医療用機器を近づけない。
**電波により、医療用機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。**

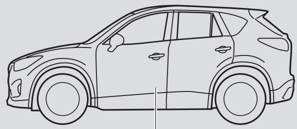
( アドバンストキーレス機能装備車 )



## ⚠ 警告

**(アドバンストキーレス機能非装備車)**




（必ず守る）植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。

**電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。**

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

**ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また、アドバンストキーレス機能装備車はアドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。**
**詳しくはマツダ販売店にご相談ください。**

# キー

## ⚠ 注意

必ず守る

キーは、微弱な電波を使用しています。次のようなときはキーが正常に作動しないことがあります。

- 携帯電話などの通信機器と一緒に携帯しているとき
- 金属製のものに接したり、おおわれたりしているとき
- パソコンなどの電化製品の近くに置いたとき
- 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
- 近くに電波を発する設備があるとき

禁　止

キーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないで下さい。

必ず守る

キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。

- 強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 重い物を上に置かないでください。
- 直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。
- 磁石や金属などの磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。

禁　止

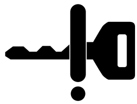
航空機内ではキーを操作しないでください。

- キーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。また、かばんやポケットなどで保管する場合は、キーのスイッチが容易に押されないように注意して下さい。

## 知識

- **電池の寿命について**

  電池の寿命は、約 1 年程度です。メーターに KEY 表示灯 ( 緑 ) が点滅した場合は、新しい電池と交換してください。
  電池の消耗度合いによっては KEY 警告灯 / 表示灯が点灯や点滅しない場合もありますので、1 年を目安に電池の交換をおすすめします。



- **キーの紛失について**

  キーを紛失された場合は、盗難、事故などを防ぐため、マツダ販売店にご相談ください。

- **キーを追加するときは**

  別売りのキーを購入される場合、お手持ちのコントローラーとあわせて、同じ車両で 6 個まで使用することができます。マツダ販売店にご相談ください。

## アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作

アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠、エンジンの始動 / 停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

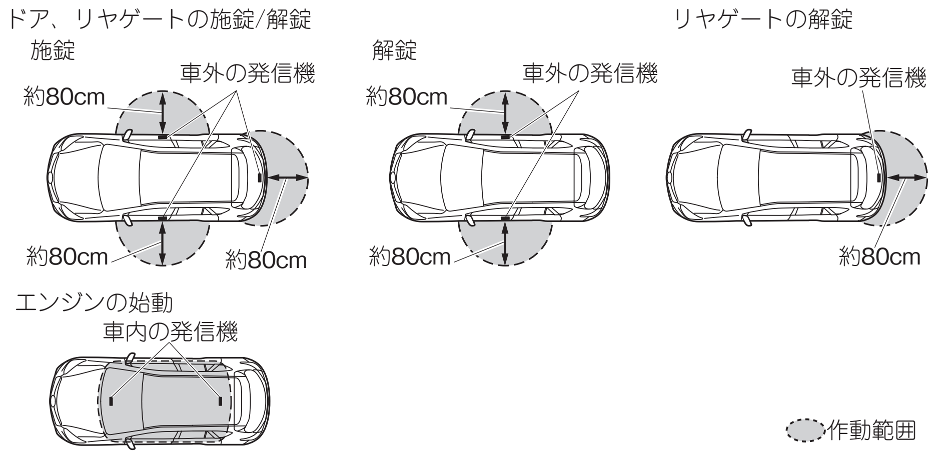
### 機能の作動範囲

キーを携帯し、車内および車外の作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

# キー

## 知識

- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
  - 電池が消耗しているとき
    電池交換の目安は 15 ページをお読みください。
  - 強い電波、ノイズのある場所
  - 窓ガラスやドアハンドル、リヤゲートに近づきすぎた場合
- 次のような場所にキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - グローブボックスや小物入れなど
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
  - 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがありますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。




## キーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作

キーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムはキーを取り出すことなく、エンジンの始動 / 停止をすることができます。また、リモートコントロール機能により、キーのスイッチを押して、ドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

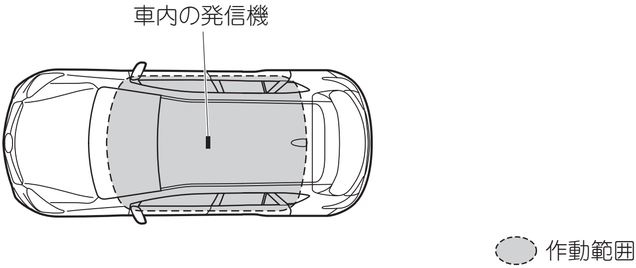
## 機能の作動範囲

キーを携帯し、作動範囲に入り、所定の操作をしたときのみ作動します。

### 知識

- 次の場合、キーの作動範囲がせまくなったり、作動しない場合があります。
  - 電池が消耗しているとき
  - 強い電波、ノイズのある場所
  - 窓ガラスやドアハンドル、リヤゲートに近すぎた場合
- 次のような場所にキーを置くとエンジンの始動ができない場合があります。
  - インストルメントパネルの周辺
  - グローブボックスや小物入れなど
- 荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。
  - 車外でも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがありますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

エンジンの始動



# ドア

## ドアの開閉

同時にすべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

### 警告

必ず守る

ドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを確認する。

**半ドアのまま走行すると、走行中に不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認する。

**ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

禁止

お子さまにドアの開閉をさせない。

**手、足、首などをはさみ重大な傷害につながるおそれがあります。**

禁止

半ドア警告灯が点灯したまま走行しない。

**走行中に、ドア、リヤゲートが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 注意

必ず守る

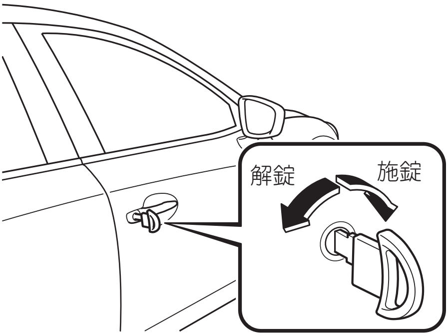
**強風時にドアを開閉するときは、注意して開閉してください。ドアが風にあおられると、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 知識

**車から離れるときは**

必ずエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

## 補助キーによる施錠 / 解錠




運転席ドアに、キーまたは補助キーを差し込み、まわすとすべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

## キーによる施錠 / 解錠 ( アドバンストキーレス機能装備車 )

### 知識

施錠 / 解錠するときに鳴るチャイムを鳴らないように設定を変更することができます。また、音量を変更することができます。
変更する場合は以下の手順で行なってください。

1 電源ポジションを OFF にして、全てのドア / リヤゲートを閉めます。
2 運転席ドアを開けます。
3 運転席ドアを開けてから、30 秒以内にキーのロックスイッチを 5 秒以上長押しします。
すべてのドア / リヤゲートが解錠され、現在設定されている音量でチャイムが鳴ります。
( 現在の設定がチャイムを鳴らないように設定している場合は鳴りません。)
キーのロックスイッチを押すごとに設定が切り替わり、設定される音量でチャイムが鳴ります。 ( チャイムを鳴らないように設定した場合は鳴りません。)
4 以下のいずれかを行なって設定の変更を終了します。

- 電源ポジションを ACC か ON にする。
- 運転席ドアを閉める。
- リヤゲートを開ける。
- 10 秒間キーの操作をしない。
- キーのロックスイッチ以外のスイッチを押す。
- リクエストスイッチを押す。

運転する前に
運転するときに
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

# ドア

## リクエストスイッチ

キーを携帯し、フロントドアまたはリヤゲートのリクエストスイッチを押すと、すべてのドア、リヤゲートが施錠 / 解錠します。

### 知識

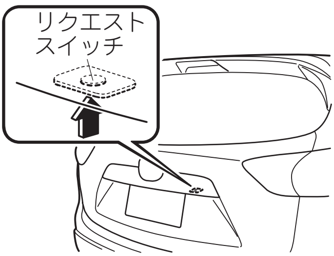
**施錠について**

いずれかのドアまたはリヤゲートが開いていると施錠できません。

フロントドア




リヤゲート（施錠のみ）




■ 施錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。

■ 解錠するとき
リクエストスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

## 知識

- リクエストスイッチで施錠した後は、ドア、リヤゲートが確実に施錠されたことを確認してください。
- リクエストスイッチを押さずに、自動的に施錠するように設定を変えることができます。

オートロック機能

- キーを携帯してすべてのドア、リヤゲートを閉めると、チャイムが 1 回鳴ります。そのまま作動範囲から出ると約 3 秒後に自動的に全ドア、リヤゲートを施錠します。（作動範囲から出ない場合でも約 30 秒後に自動的に施錠します。）ただし、以下のようなときは施錠されません。
  - 車内に別のキーがあるとき。
  - ドア、リヤゲートが完全に閉まる前に作動範囲を出たとき。
- リクエストスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ドアまたはリヤゲートを開ける。
  - 電源ポジションを OFF 以外にする。
- リクエストスイッチを押してからドアが解錠されるまでに数秒かかることがあります。

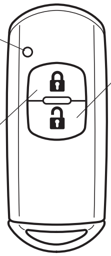
### リモートコントロール機能

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。スイッチはゆっくりと確実に押してください。

## 知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
  - 電源ポジションが OFF 以外のとき
  - いずれかのドアまたはリヤゲートが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。

# ドア




■ 施錠するとき
ロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 1 回作動します。

■ 解錠するとき
アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯とチャイムがそれぞれ 2 回作動します。

### 知識

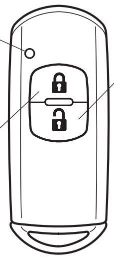
- スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠されます。
  - ドアまたはリヤゲートを開ける。
  - 電源ポジションを OFF 以外にする。

## キーによる施錠 / 解錠 ( アドバンストキーレス機能非装備車 )

リモートコントロール機能を使用すると、すべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。
スイッチはゆっくりと確実に押してください。

### 知識

- 次の場合はリモートコントロール機能は作動しません。
  - いずれかのドアまたはリヤゲートが開いているとき
- リモートコントロール機能の作動範囲は、周囲の状況により変わることがあります。車から離れるときは必ず施錠されていることを確認してください。




■ 施錠するとき
ロックスイッチを押します。
非常点滅灯が 1 回作動します。

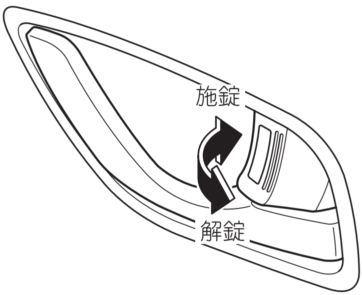
■ 解錠するとき
アンロックスイッチを押します。
非常点滅灯が 2 回作動します。



## 知識

- **作動のお知らせについて**
  - スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
  - ロックスイッチまたはアンロックスイッチを連続して押すと、非常点滅灯が不規則に点滅することがあります。
- アンロックスイッチを押して解錠した後、約 30 秒以内にドアまたはリヤゲートを開けなかった場合、自動的に施錠されます。

## ロックノブによる施錠 / 解錠

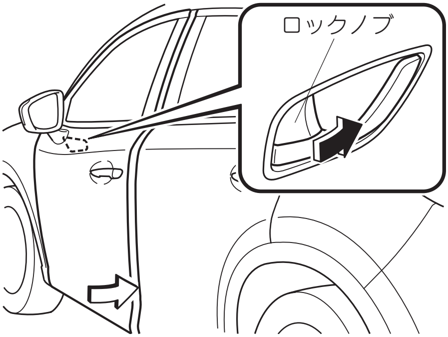



運転席ドアのロックノブを操作します。すべてのドア、リヤゲートの施錠 / 解錠ができます。

# ドア

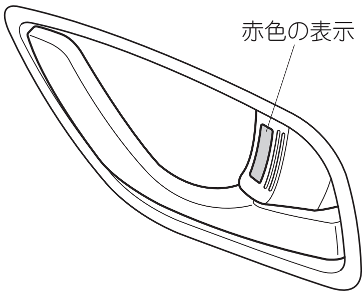
## 車外から操作するとき

車内のロックノブを施錠側にし、ドアを閉めるだけで施錠できます。



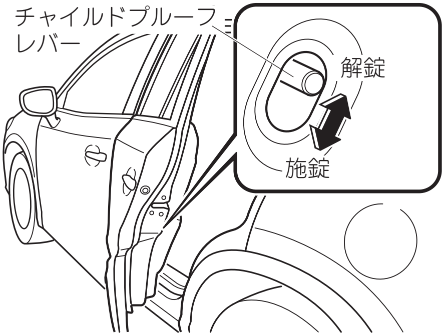

### 知識

- 運転席ドアはキーの閉じ込みを防止するために、この方法では施錠できません。
- キーの閉じ込みを防止するために、キーを持っていることを確認してから施錠してください。
- ロックノブを解錠しているときは赤色の表示が見えます。



## チャイルドプルーフの使いかた

お子さまをリヤシートに乗せているとき、いたずらなどで不意にドアが開くことを防止できます。




チャイルドプルーフレバーを施錠側にしてドアを閉めると、ロックノブの位置に関係なく、車内からはリヤドアを開けることができません。
ドアを開けるときは、車内のロックノブを解錠側にし、車外のドアハンドルを引いてください。

# リヤゲート

## リヤゲートの開閉

### 警告

禁止

**荷室内に人を乗せない。**

急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**リヤゲートは必ず閉めてから走行する。**

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

必ず守る

**荷物を積むときはそのまま置いたり積み重ねたりせず、確実に固定する。**

走行中に荷物が移動したりくずれたりしてけがや思わぬ事故につながるおそれがあります。また、シート背もたれの高さを越えないようにしてください。後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

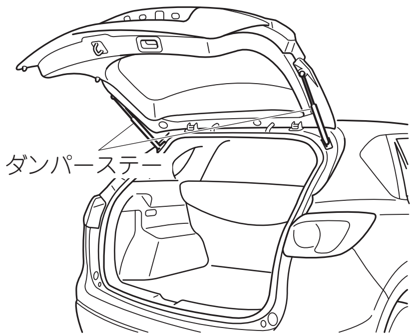
### 注意

必ず守る

荷室の荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。

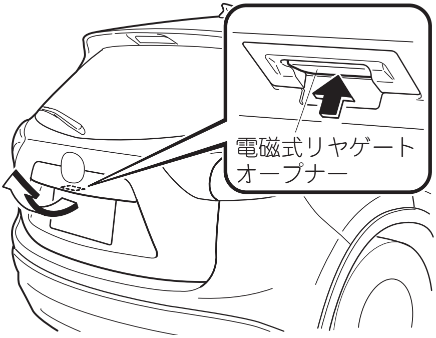
禁止

リヤゲートのダンパーステーに手をかけるなどして過度の力を加えないでください。ダンパーステーが曲がり、リヤゲートの作動に影響をおよぼすおそれがあります。




リヤゲートの施錠 / 解錠はドアと連動しています。

## リヤゲートを開けるとき



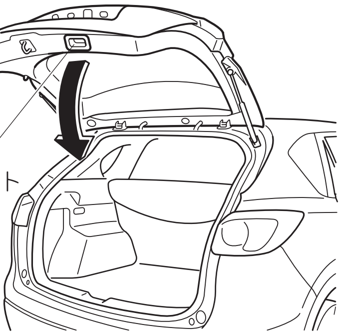

ドアを解錠し、電磁式リヤゲートオープナーを押してリヤゲートを持ち上げます。
アドバンストキーレス機能装備車はキーを携帯して電磁式リヤゲートオープナーを押すと、施錠されている状態でもリヤゲートを開けることができます。
電源ポジションが ON のときは、車両が停止し、セレクトレバーが P の位置にあるときのみ、リヤゲートを開けることができます。

### 知識

- アドバンストキーレス機能を使ってリヤゲートを開けるときは、電磁式リヤゲートオープナーを押してからすぐに解錠されないことがあります。
- 電磁式リヤゲートオープナーを押して、リヤゲートを開けずに一定の時間が経過するとリヤゲートが少し浮いた状態のままリヤゲートを開けることができなくなります。
  - **リヤゲートを開ける場合**
    もう一度、電磁式リヤゲートオープナーを押して、リヤゲートを開けてください。
  - **リヤゲートを閉める場合**
    一度、電磁式リヤゲートオープナーを押してリヤゲートを開け、1 秒以上待ってから閉めてください。
- ドアが施錠されている状態から、車内にキーを入れたままリヤゲートを閉めると、リヤゲートは閉まりますが、ロックされません。電磁式リヤゲートオープナーを押すことにより、リヤゲートを開けることができます。
- 電磁式リヤゲートオープナーを押してから 2 ～ 3 秒後、ラッチの作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

# リヤゲート

## リヤゲートを閉めるとき




リヤゲートをゆっくり下げて、押さえつけるように閉めます。リヤゲートハンドルを使用すると便利です。

### 警告

リヤゲートを閉めたあとは、確実にロックされていることを確認する。

必ず守る

**走行中にリヤゲートが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 注意

必ず守る

**リヤゲートを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。**

## トノカバーの使いかた グレード/仕様別装備

ラゲッジルームの荷物を覆うことができます。トランクボードの下に収納することができます。



### ⚠ 警告

禁止

トノカバーの上には、荷物を置かない

**置いたまま走行すると、急ブレーキ時などに、荷物が移動して思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### ⚠ 注意

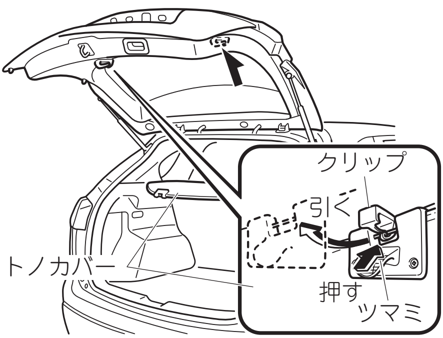
必ず守る

**トノカバーが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないまま使用すると、走行中不意にトノカバーがはずれて、けがをするおそれがあります。**

### 知識

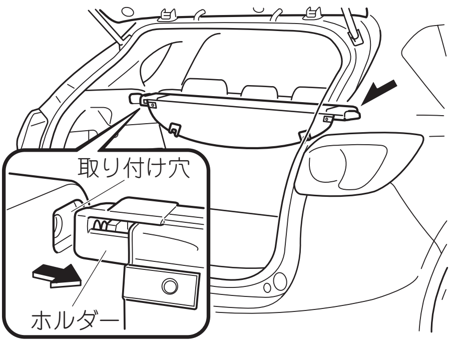
- 寒冷時など、トノカバーを取り付けた状態でリヤゲートを開けると、ダンパー機能が正常に作動せず、リヤゲートが持ち上げにくくなることがあります。トノカバーを取りはずすとリヤゲートを持ち上げやすくなります。
- リヤゲートにトノカバーを取り付けた状態での開閉と取りはずした状態でのリヤゲートの開閉の操作では重さが異なりますが、異常ではありません。

## トノカバーを取り外すとき




1 ツマミを持ってトノカバーを両手で持ち上げ、クリップから取り外し、まき取らせます。

# トノカバー

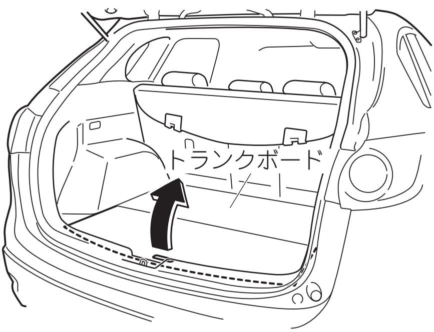



2 トノカバーのホルダーの両端を内側に縮めて、取り付け穴からはずします。

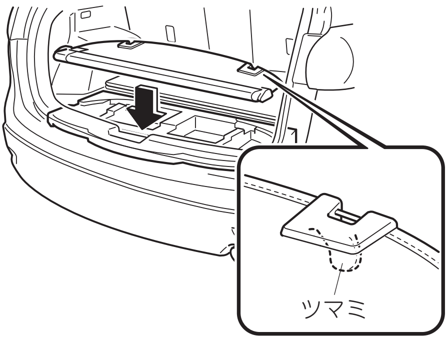
**知識**

トノカバーを取り外したあと、車両から斜めに取り出してください。

## トノカバーを収納するとき




1 トランクボードを開きます。




2 ツマミを下にした状態で、トノカバーを収納します。

3 トランクボードを閉じます。

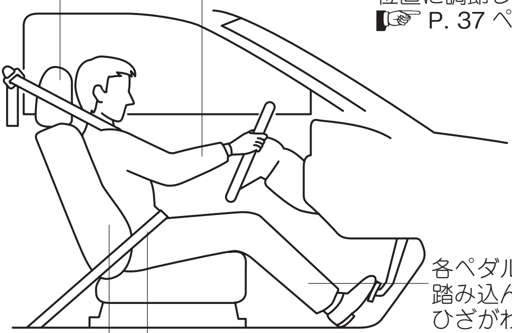
## トノカバーを取り付けるとき

取り外すときと逆の手順で取り付けます。

# シート

## 正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるようにシートを調整してください。




### ⚠ 警告

**シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。**（必ず守る）

走行中に行なうと、運転姿勢が不安定になったり、前方不注意になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。**（禁止）

正しい運転姿勢が取れないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

**背もたれは必要以上に倒さない。**（禁止）

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

**シートの下に物を置かない。**（禁止）

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

必ず守る
**シートを操作する際は、操作する人やまわりの人が手や足などをはさまれないように注意してください。**

# フロントシートの調節

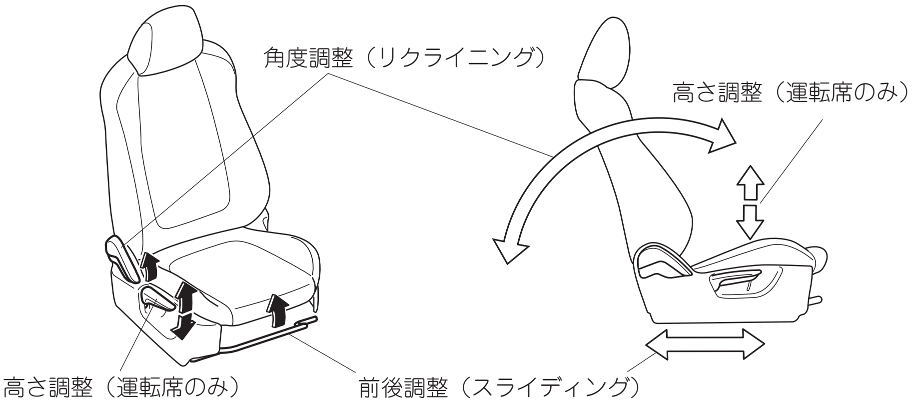
## ⚠ 警告

必ず守る
操作後は確実にロックされていることを確認する。
**走行中シートが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## ⚠ 注意

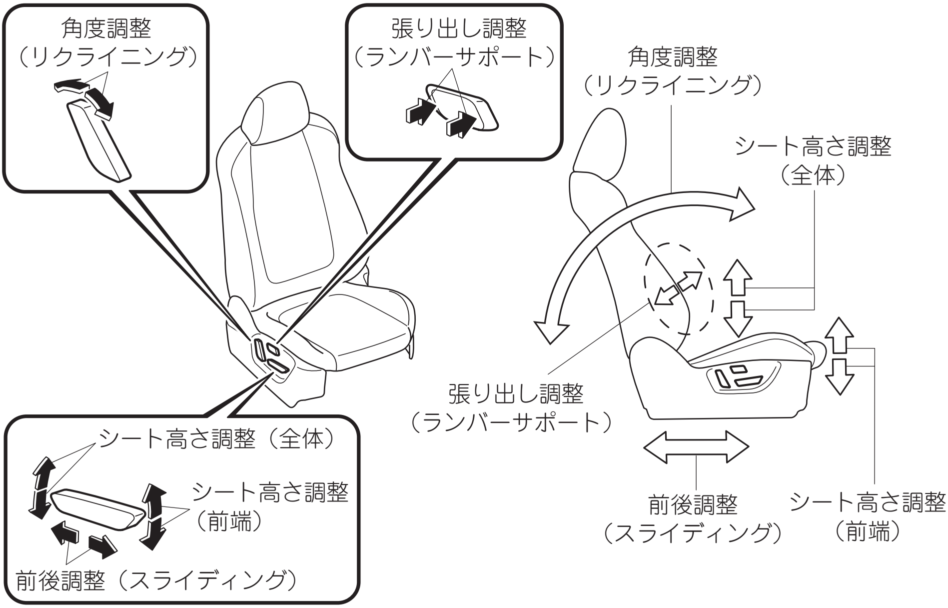
必ず守る
**後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、背もたれが急にもどり、けがをするおそれがあります。**

## マニュアルシートの使いかた



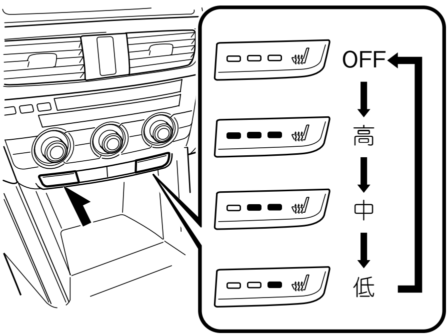
# シート

## パワーシートの使いかた




## シートヒーターの使いかた グレード/仕様別装備

シートを温めることができます。




電源ポジションが ON のとき、スイッチを押すと作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
スイッチを押すごとに、図のように作動状態が切り替わります。

## ⚠ 注意

次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意をしてください。

必ず守る

- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な方
- 皮膚の弱い方
- 疲労の激しい方
- 深酒やねむけをさそう薬 ( 睡眠薬、かぜ薬など ) を使用された方

禁止　毛布や座布団など保温性のよいものをかけた状態で使用しないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。

禁止　仮眠するときは使用しないでください。低温やけどをするおそれがあります。

禁止　突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピン等でシートクッションをつきささないでください。シートが異常加熱し、低温やけどをするおそれがあります。

禁止　シートの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。ヒーターやシートの表面を損傷するおそれがあります。

## 知識

エンジン回転中に使用してください。エンジンを止めたままで、シートヒーターを長時間使用するとバッテリーがあがるおそれがあります。

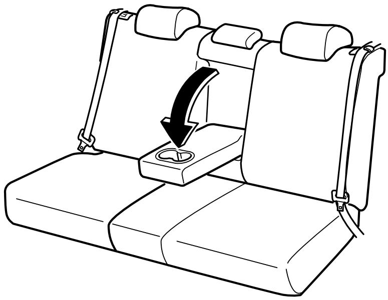
# リヤシートの操作

## ⚠ 注意

禁止　シートの操作をするときは、シートの動く部品周辺やサイドトリムなどに手や指を置かないでください。手や指を置いているとけがをするおそれがあります。

# シート

## アームレストの使いかた グレード/仕様別装備



前に倒して使用します。

## 荷室を作るとき

リヤシートの背もたれを倒すと荷室として広げることができます。

### ⚠ 警告

禁止

**倒した背もたれの上や荷室内に人を乗せて走行しない。**

シートベルトが着用できないため、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**背もたれを倒して荷物を運ぶときは、荷物を確実に固定する。**

固定しないで走行すると、急ブレーキ時や衝突時に荷物が動き運転操作のさまたげになるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る

**荷物を運ぶときは、シート背もたれの高さを越えないようにする。**

後方、側面の視界が悪くなるため危険です。

リモートハンドル装備車

禁止

**ベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けた後に、リモートハンドルを操作しない。**

ベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けた後にリモートハンドルを操作すると、背もたれが急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。リモートハンドルを操作するときはベビーシートやチャイルドシートを取りはずしてください。

必ず守る

**リモートハンドルを操作するときは、リヤシートに人が乗っていたりアームレストに物が置かれたままになっていないか十分確認する。**

確認せずにリモートハンドルを操作すると背もたれが急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

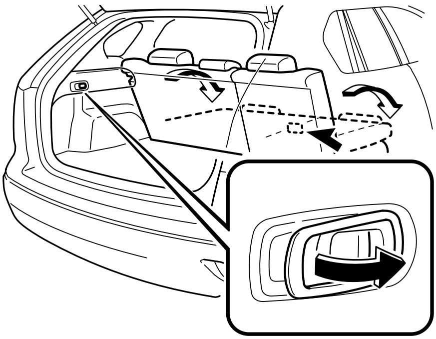
## ⚠ 注意

必ず守る
背もたれを前に倒すときは、必ず背もたれを手で支えながら操作してください。背もたれを手で支えずに操作すると、プッシュノブを押す指などにけがをするおそれがあります。

必ず守る
リモートハンドルを操作するときは、次の点を守ってください。
- 下り坂では背もたれが倒れるスピードが速くなることがあります。
- 上り坂では背もたれが倒れないことがあります。リモートハンドルで背もたれが倒れないときは、手で倒してください。

## 左右席を倒すとき

### リモートハンドルを使うとき グレード/仕様別装備



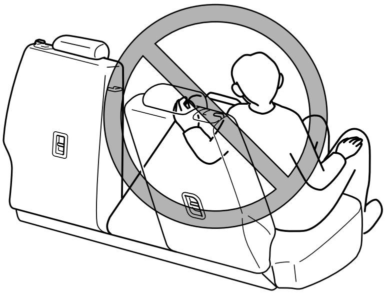
リヤゲートを開け、倒したい背もたれ側にあるリモートハンドルを矢印の方向へ操作します。左側の背もたれを倒すときは外側のリモートハンドルを操作してください。

# シート

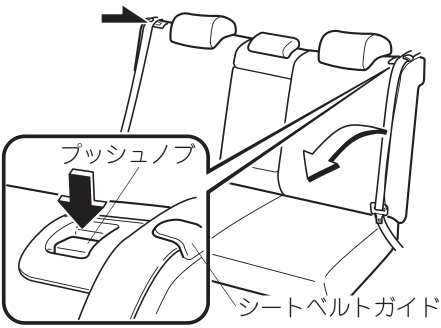
## ⚠ 注意

**(左側の背もたれを倒すときは)**

**中央席が倒れている状態で、リモートハンドルを操作するときは注意してください。右席の人が中央席に手などを置いていると、シートの背もたれやシートの部品で手などをはさみ、けがをするおそれがあります。**



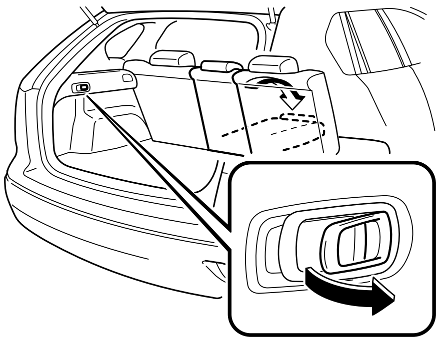
### プッシュノブを使うとき




プッシュノブを押して背もたれを前に倒します。

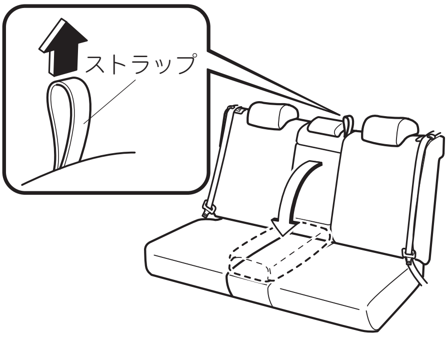
## 中央席のみを倒すとき グレード/仕様別装備

### リモートハンドルを使うとき



1 中央席のヘッドレストを格納します。
2 リヤゲートを開け、内側のリモートハンドルを矢印の方向に操作します。

### ストラップを使うとき




1 リヤ中央席のヘッドレストを格納します。
2 ストラップを引いて背もたれを倒します。

# シート

## もとにもどすとき

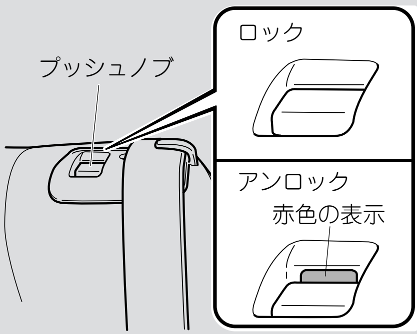
**警告**

背もたれをもとにもどすときは、3点式シートベルトがはさまれていないことを確認する。
必ず守る

**シートベルトが背もたれにはさまれた状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分発揮できないため重大な傷害につながるおそれがあります。**

背もたれをもとにもどすときは確実にロックし、赤色の表示が見えないことを確認する。
必ず守る

**プッシュノブ後部に赤色の表示が見えているときは、背もたれがロックされていません。ロックしないまま走行すると、背もたれが急に倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**




1 シートベルトガイドに3点式シートベルトをかけます。
2 背もたれを後ろに押しつけロックさせます。背もたれをもとの位置にもどした後は、確実にロックされていることを確認してください。

# ヘッドレストの使いかた

すべてのシートには、ヘッドレストが装備されています。
ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他のけがから乗員を保護します。

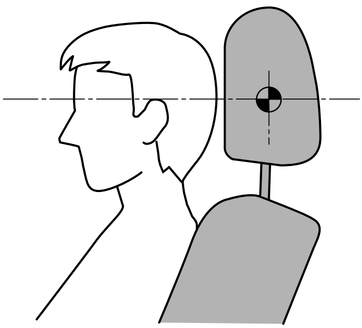
## ヘッドレストを調節するとき

### ⚠ 警告

禁止

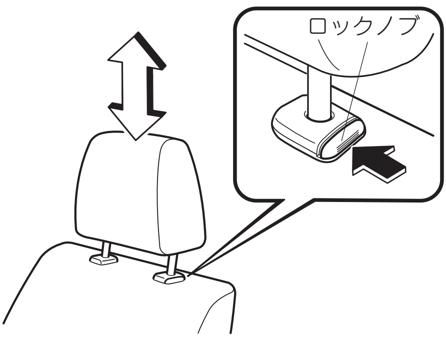
**高さを調整しないままで走行しない。**

**高さを調整しないまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、全ての後席ヘッドレストは引き上げた状態で使用してください。**



ヘッドレストの中央が、耳の上部と同じ高さになるように調整してください。

**フロントシート**

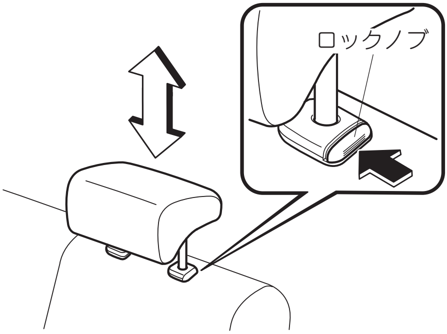



■ 高くするとき
そのまま引き上げます。

■ 低くするとき
ロックノブを押したまま下げます。

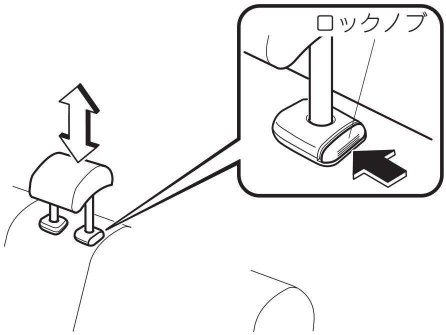
# シート

**リヤシート左右席**




■ 使用するとき
ロック位置まで引き上げます。
■ 格納するとき
ロックノブを押したまま下げます。

**リヤシート中央席**




■ 使用するとき
ロック位置まで引き上げます。
■ 格納するとき
ロックノブを押したまま下げます。

## ヘッドレストを脱着するとき

■ ヘッドレストを取りはずすとき
ロックノブを押しながら引き上げます。
■ ヘッドレストを取り付けるとき
ロックノブを押しながら差し込みます。

### 警告

禁　止
ヘッドレストをはずした状態で走行しない。
**取りはずした状態のまま走行すると、急ブレーキ時や衝突時、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。**

必ず守る
取り付けた後は、ヘッドレストが抜け出さないことを確認するため、持ち上げる。
**ヘッドレストが抜け出すと万一の場合、効果を発揮できず、思わぬけがをするおそれがあります。**

### 注意

必ず守る
**ヘッドレストを取り付けるときは、ヘッドレストの前後の向きを間違えないようにしてください。前後の向きをまちがえて取り付けると、衝突時などにヘッドレストがはずれ、けがをするおそれがあります。**

必ず守る
**フロントシート・リヤシートそれぞれのヘッドレストは、各シート専用です。他のシートのヘッドレストと入れ替えないでください。入れ替えると、衝突時などにヘッドレストの効果が十分に発揮できず、けがをするおそれがあります。**

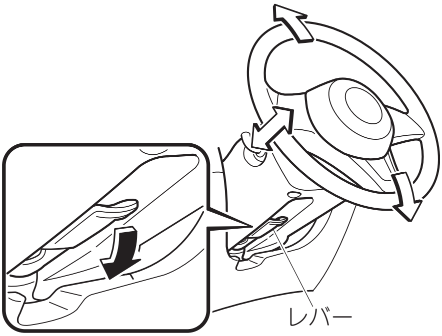
## ハンドルの調節

### ⚠ 警告

**調節は必ず車両を停止した状態で行なう。**
走行中に調節すると、運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

**調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実に固定されていることを確認する。**
走行中ハンドルが不意に動くと運転姿勢が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドル操作が適切にできる位置に調節することができます。




1 レバーを下げて、ハンドルを適切な位置に調節します。
2 調節後は、レバーを押し上げて固定します。

# ドアミラーの操作

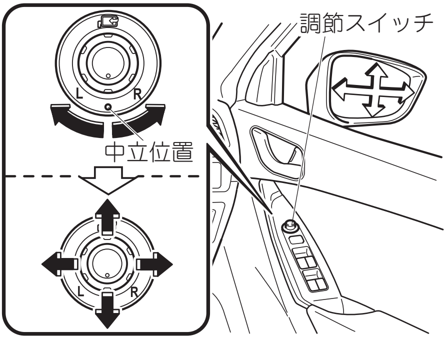
**⚠ 警告**

**調節は走行前に行なう。**
**走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る

## ドアミラーの角度調節

電源ポジションが ACC または ON のとき調節ができます。




1. 調節スイッチを運転席側（**R**）または助手席側（**L**）のどちらか調節したいミラー側に回します。
2. 調節スイッチを操作して、後方が十分確認できるように調節します。
3. ミラーの調節後は、調節スイッチを中立位置にもどします。

## ドアミラーを格納するとき

**⚠ 注意**

**ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができなくなります。**

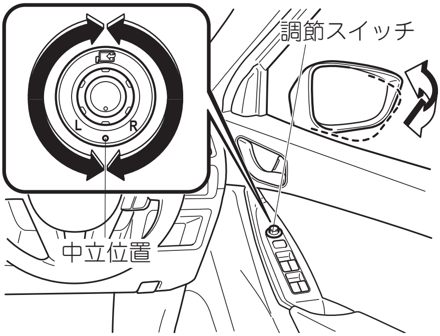
禁止

**⚠ 注意**

**電動格納ミラーはスイッチで操作してください。手動で操作すると、ミラーが固定されず後方確認ができなくなることがあります。**

必ず守る

# ドアミラー




電源ポジションが ACC または ON のときに格納できます。
調節スイッチを ( ) に回すと格納されます。
中立位置に回すともとにもどります。

## キー OFF 後作動機構

ドアミラーは、電源ポジションを ON から OFF にした後でも、約 40 秒間は角度調節や格納することができます。

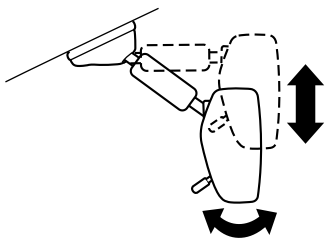
# ルームミラーの操作

## ⚠ 警告

調節は走行前に行なう。
必ず守る
**走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ事故につながるおそれがあります。**

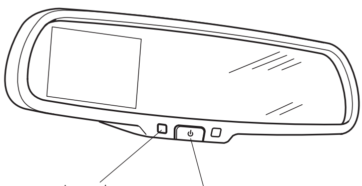


## ルームミラーの角度 / 高さ調節



ミラー本体を動かして、後方が十分確認できるように調整します。

## 後続車のヘッドランプがまぶしいとき




電源ポジションがONのとき、後続車からのヘッドランプの光を自動で軽減します。
スイッチを押す毎に ON、OFF が切り替わります。
スイッチが ON のときは表示灯が点灯します。

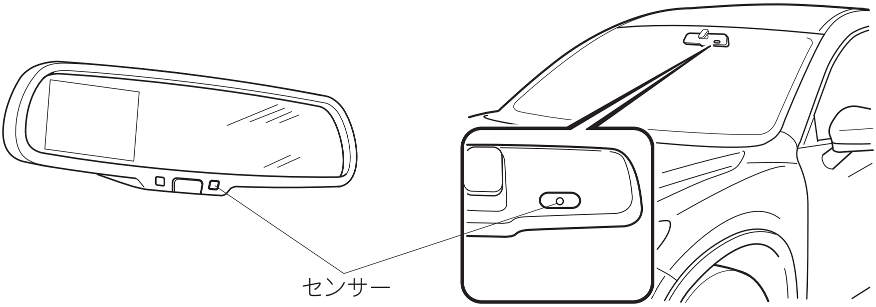
# ルームミラー

## 知識

ルームミラーのモニターに画像が表示されているときは ON、OFF の切り替えができません。

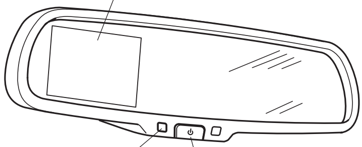
### センサーについて

センサーをガラスクリーナーでふいたり、ステッカーやカバーなどで覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。




電源ポジションが ON のときチェンジレバーを R にいれる、またはバックカメラ、サイドカメラの画像を映し出すと防眩機能は停止します。

## バックガイドモニター / サイドモニターを表示するとき




### バックガイドモニターを表示するとき

電源ポジションが ON のとき、シフトレバーを R にいれるとルームミラーのモニターにバックカメラから映し出された画像が表示されます。

→ 218 ページ「駐車支援システムとは」

### サイドモニターを表示するとき

電源ポジションが ON のとき、モニタースイッチを押すと、サイドカメラから映し出された画像が表示されます。

→ 218 ページ「駐車支援システムとは」

### 知識

モニターの明るさは自動で調整されます。

# シートベルト

## シートベルトの種類

| シート | シートベルトの機構 |
|---|---|
| フロントシート | プリテンショナー & ロードリミッター機構付 ELR3 点式シートベルト |
| リヤシート左右席 | ロードリミッター機構付 ELR3 点式シートベルト |
| リヤシート中央席 | ELR3 点式シートベルト |

### ⚠ 警告

必ず守る

**シートベルトは正しく着用する。**

**正しく着用していないと、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、万一の場合重大な傷害につながるおそれがあります。**

### 知識

● **プリテンショナー機構について**

- 車両前方または側方から強い衝撃を受けたとき作動しますが、衝撃が弱いと作動しません。
- プリテンショナー機構の作動により、白煙が見えることがありますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。プリテンショナー機構作動時の残留物 ( カス ) が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。

● **事故などにあったときは**

- プリテンショナー付きシートベルトおよびロードリミッター付きシートベルトは、一度作動すると再使用できません。必ずマツダ販売店で点検を受け、作動済みのときは交換してください。

### ELR ( 緊急時固定 ) 機構

3 点式シートベルトには ELR ( 緊急時固定 ) 機構が装備されています。
シートベルトは身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

## プリテンショナー機構

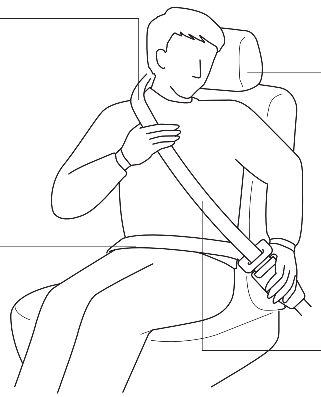
フロントシートベルトには、プリテンショナー機構が装備されています。
車両前方または側方から強い衝撃を受けると、シートベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

## ロードリミッター機構

ロードリミッターは、車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シートベルトに一定以上の荷重がかからないように作動する装置です。
シートベルトにかかる荷重を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を減少させます。

# シートベルトの正しい着用のしかた

車を運転する前に必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



# シートベルト

## ⚠ 警告

### 着用について

必ず守る

**シートベルトは全員が着用する。**
着用しないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**シートベルトは正しく着用する。**
急ブレーキ時や衝突時などに身体が拘束されないため車内の物に打ちつけられたり、車外に放りだされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**お子さまを乗せる際は、必ずお子さま専用シートを使用する。**
シートベルトは成人サイズの方の乗員による着用を目的としています。

禁止

**1つのシートベルトを同時に2人以上で使用しない。**
2人以上で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

**シートベルトの改造や交換をしない。また、クリップなどでシートベルトにたるみをつけない。**
万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

**ベルトがねじれた状態で使用しない。**
ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散できず局部的に強い力を受けるため、重大な事故につながるおそれがあります。

禁止

**肩ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕の下に通して着用しない。**
ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレーキ時や衝突時に、身体が前方に投げ出され、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

**背もたれは必要以上に倒さない。**
急ブレーキ時や衝突時に、身体がシートベルトの下に滑り込み、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる。**
シートベルトが腰骨からずれていると、急ブレーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

## ⚠ 警告

**妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベルトを着用する。**

**ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強い力を受けるおそれがあるため医師に相談し、注意事項を確認してください。腰部ベルトは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位置に密着させてください。また、肩ベルトは肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸部に密着させてください。**



**シートベルトのバックルの中に異物を入れない。**

**異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらず、シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。**

### お子さまを乗せるときは

**お子さまはできるだけリヤシートに座らせ、必ずシートベルトを着用させる。**

**お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたりすると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支えることができず、お子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。**



**シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用する。**

**ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートを使用しないと、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。**

# シートベルト

## ⚠ 警告

**メンテナンスについて**

禁止

シートベルトを分解しない。

**分解すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。**

必ず守る

事故などにあったときは、衝撃でシートベルト本来の機能が損なわれているおそれがあるので、必ずマツダ販売店で点検を受ける。

**そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。**

必ず守る

プリテンショナー機構付きベルトが装備された車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店に相談する。

**プリテンショナー機構が不意に作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。**

禁止

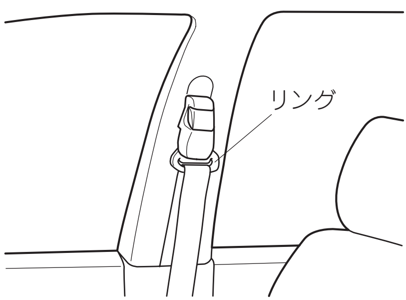
プリテンショナー機構の部品や配線を修理したり、電気テスターを使ってプリテンショナー機構の回路診断をしない。

**正常に作動しなくなったり誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。**

## ⚠ 注意

必ず守る

シートベルトやリングが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。



# 3点式シートベルト

## シートベルト着用忘れチャイム

運転席 / 助手席シートベルトを着用していないまま、車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴ります。( 鳴り始めると、車速を落としても鳴り続けます。)
シートベルトを着用すると鳴り止みます。

## シートベルトを着用するとき




1 プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出します。

2 ベルトを素早く引き出し、ロックされることを確認してください。

### 知識

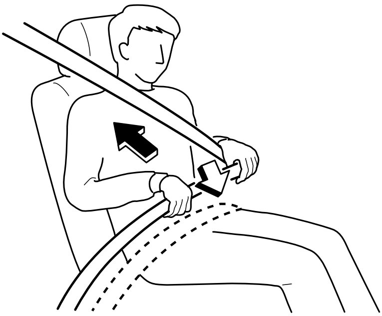
**ベルトがロックして引き出せないときは**

一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。



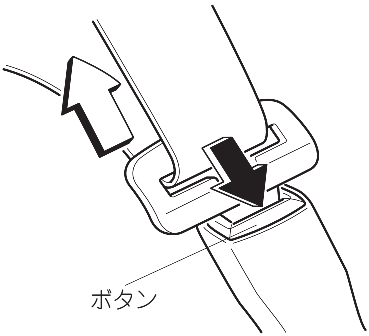

3 ベルトにねじれがないかを確認してから、プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

# シートベルト



4 ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ、たるみが無いようにベルトを引いて身体に密着させます。

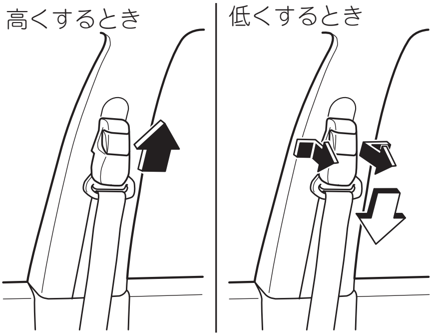
## シートベルトをはずすとき




はずすときはバックルのボタンを押します。ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせます。

## シートベルトの高さ調整

フロントシートベルトにはシートベルトアンカーアジャスターがついています。
シートベルトが首にあたったり、肩からはずれてしまうときには、ベルトの高さを調節してください。

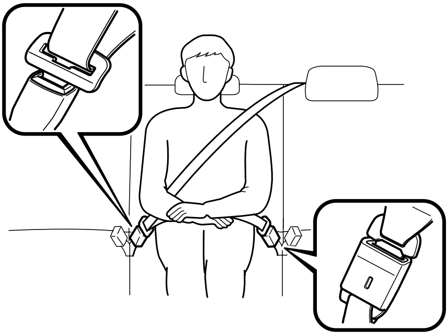



1 高くするときは、そのまま上に動かします。低くするときはボタンを引いたまま下げます。

2 調節したあとは、シートベルトアンカーアジャスターを下方に押し、確実にロックされていることを確認してください。

## リヤシート中央席シートベルト

リヤシート中央席シートベルトを使用する前に、プレートがバックルにきちんと差し込まれているか確認してください。



リヤシート中央席シートベルトの着用については、59 ページの「シートベルトを着用するとき」をお読みください。

### ⚠ 警告

禁止

**片方のプレートだけ差し込まれている状態で使用しない。**
**シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。常に両方のプレートとバックルが適切に差し込まれていることを、確認してください。**

## お子さま専用シートについて

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。
車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプの 2 種類があります。
シートベルト固定タイプのベビーシート、チャイルドシートは、リヤシートのシートベルトを使用してシートに固定します。
また ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートは、リヤシート左右席に装備されているロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジで固定します。
お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。

# お子さまの安全

## ⚠ 警告

必ず守る

**お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。**

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従う。**

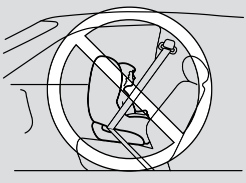
正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る

**助手席には絶対にベビーシートやチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。**

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負う可能性があります。やむをえず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。



警告ラベル



## 知識

ISO は International Standard Organization ( 国際標準化機構 ) の略です。

## お子さま専用シートの種類

ECE R44 の基準に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。

### 知識

ECE R44 は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

| グループ | 体重 |
|---|---|
| 0 | 10kg まで |
| 0 + | 13kg まで |
| I | 9 ～ 18kg |
| II | 15 ～ 25kg |
| III | 22 ～ 36kg |

本書では、シートベルト固定タイプの一般的なお子さま専用シート 3 種類について説明します。次のイラストは取り付け例です。取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

ベビーシート
ECE R44基準のグループ
0.0+に相当



チャイルドシート
ECE R44基準のグループ
Ⅰに相当



ジュニアシート
ECE R44基準のグループ
Ⅱ、Ⅲに相当



## シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。
詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

# お子さまの安全

## ⚠ 警告

必ず守る

お子さま専用シートを取り付けるときは、必ず選択の目安表を確認する。
**誤った取り付けをすると正しく固定されず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。**

### シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 (ISOFIX 対応タイプ )

| 質量グループ | サイズ等級 | 器具 | 車両 ISOFIX 位置 |
|---|---|---|---|
| | | | リヤシート ( 外席 ) |
| キャリコット | F | ISO/L1 | X |
| | G | ISO/L2 | X |
| | | (1) | X |
| 0<br>(10kg まで ) | E | ISO/R1 | IL |
| | | (1) | X |
| 0＋<br>(13kg まで ) | E | ISO/R1 | IL |
| | D | ISO/R2 | IL |
| | C | ISO/R3 | IL |
| | | (1) | X |
| I<br>(9 ～ 18kg まで ) | D | ISO/R2 | IL |
| | C | ISO/R3 | IL |
| | B | ISO/F2 | IUF |
| | B1 | ISO/F2X | IUF |
| | A | ISO/F3 | IUF |
| | | (1) | X |

| 質量グループ | サイズ等級 | 器具 | 車両 ISOFIX 位置 |
|---|---|---|---|
| | | | リヤシート ( 外席 ) |
| II<br>(15 ～ 25kg まで ) | | (1) | X |
| III<br>(22 ～ 36kg まで ) | | (1) | X |

上表の記号について :

(1) サイズ等級識別表示 (A ～ G) のないお子さま専用シートについては、お子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF =この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリー前向き ISOFIX チャイルドシートに適しています。

IL =「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談下さい。

X =お子さま専用シートを取り付けることはできません。

## シート位置別お子さま専用シート選択の目安表 ( シートベルト固定タイプ )

| 質量グループ | 着座位置 ( または他の場所 ) | | |
|---|---|---|---|
| | 助手席 | リヤシート<br>( 外席 ) | リヤシート ( 中央席 ) |
| 0 (10kg まで ) | X | U | L*2 |
| 0 +<br>(13kg まで ) | X | U | L*2 |
| I (9 ～ 18kg まで ) | L*1 | U | X |
| II (15 ～ 25kg まで ) | L*1 | U | X |
| III (22 ～ 36kg まで ) | L*1 | U | X |

上表の記号について :

U =この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。

L =この質量グループに対応しているお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

X =お子さま専用シートを取り付けることはできません。

*1 マツダ純正のお子さま専用シートを前向きに取り付けることができます。

*2 マツダ純正のお子さま専用シートを後ろ向きに取り付けることができます。

# チャイルドシートを固定するとき

## ISOFIX 対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ & トップテザーアンカレッジ

リヤシートの左右席には、チャイルドシートを固定するためのロアアンカレッジとトップテザーアンカレッジが装備されています。
この固定ロアアンカレッジには、道路運送車両の保安基準に適合したチャイルドシート (チャイルドシート固定ロアアンカレッジ) のみを取り付けることができます。詳しくは、マツダ販売店にご相談ください。

### 警告

必ず守る

**チャイルドシートを取り付けるときは、固定ロアアンカレッジ周辺に異物がないこと、シートベルトなどをはさみこんでいないことなどを確認する。**

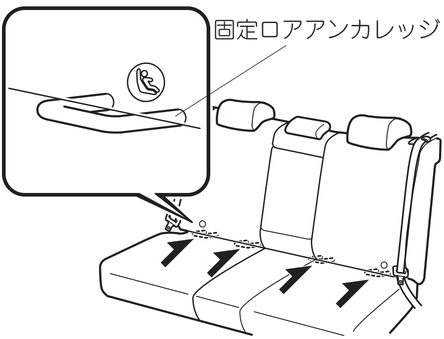
**異物やシートベルトなどをはさみこむとチャイルドシートが固定されず、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。**

### 知識

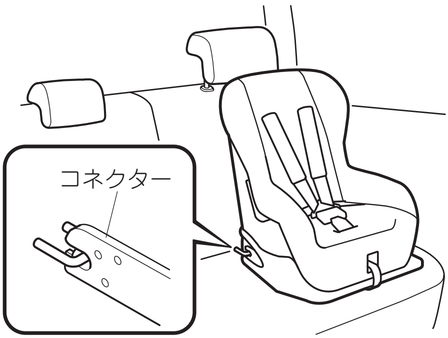
チャイルドシート固定ロアアンカレッジ対応の純正チャイルドシートはチャイルドシート固定ロアアンカレッジで固定し、この車のシートベルトでは固定しないでください。

1 お子さま専用シートとフロントシートが干渉しないようにフロントシートを調節します。
→ 37 ページ「フロントシートの調節」
フロントシートが確実に固定されていることを確認してください。

2 リヤシートが確実に固定されていることを確認してください。



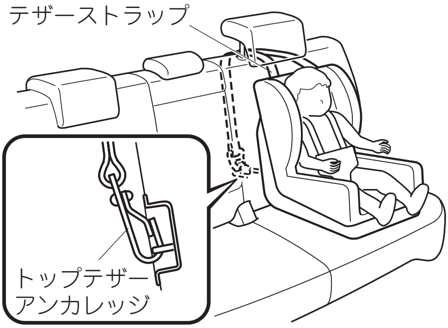

3 シートクッションと背もたれのすき間を少し広げて、固定ロアアンカレッジの位置を確認します。




4 ヘッドレストを引き上げます。

5 チャイルドシートのコネクターを固定ロアアンカレッジに取り付けます。

6 チャイルドシートのテザーストラップを下記イラストのように通して、トップテザーアンカレッジにかけます。




7 テザーストラップがたるまないように調節します。

## 知識

テザーストラップを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

8 チャイルドシートを前後左右にゆさぶり、確実に取り付けられていることを確認します。

## ⚠ 警告

禁止

**トップテザーアンカレッジは、チャイルドシートを固定するため以外のことには使用しない。**

**チャイルドシートの固定以外のことに使用すると、アンカレッジ部が曲がったり、損傷したりして、テザーストラップが正しくかけられなくなりチャイルドシートが固定されません。急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。**

# ウインドー

## 窓ガラスの開閉

電源ポジションが ON のとき、パワーウインドースイッチを操作すると窓ガラスの開閉ができます。

### ⚠ 警告

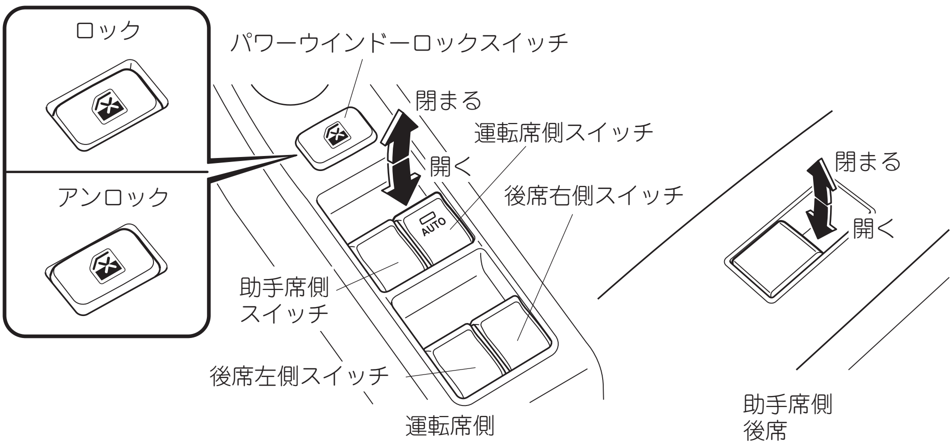
必ず守る **窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔などをはさまないように注意する。**
特にお子さまには十分気をつけてください。万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **お子さまにパワーウインドースイッチの操作をさせない。**
万一、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **お子さまが同乗しているときは、パワーウインドーロックスイッチをロックの位置にしておく。**
お子さまが誤って操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

必ず守る **窓から手や顔を出させない。**
走行中はお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物に当たったり、急ブレーキを踏んだとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

スイッチを押している間は開き、引き上げている間は閉まります。
助手席、後席の窓ガラスは運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをアンロックの位置にしているとき開閉できます。



# 便利な装備について

## 自動開閉機構

運転席に装備しています。
スイッチを強く押すと自動で全開し､強く引き上げると自動で全閉します。途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作します。

### 知識

**自動で全開 / 全閉できないときは**

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、または全開 / 全閉したあとも、スイッチを操作し続けたときは、自動で全開 / 全閉できなくなります。
次の操作で復帰させてください。

1. 電源ポジションを ON にします。
2. スイッチを押して窓ガラスを全開にします。
3. スイッチを引き上げて窓ガラスを全閉にし、そのまま約 2 秒間引き上げ続けます。

## キー OFF 後作動機構

運転席に装備しています。
電源ポジションを ACC または OFF にしたあとでも、約 40 秒間は開閉することができます。

# 安全装備について

## はさみ込み防止機構

運転席に装備しています。
閉めるときに、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが閉まるのを停止し、自動的に途中まで開きます。はさみ込み防止機構は次のようなときに作動します。

- 電源ポジションが ON で窓ガラスを自動で閉めているとき。
- 電源ポジションを OFF または ACC にしてから約 40 秒の間に窓ガラスを閉めているとき。

### 注意

必ず守る

**次の場合には、はさみ込み防止機構が作動しないため、指などをはさまないように注意してください。万一、指などをはさむと、けがをするおそれがあります。**

- **窓ガラスが閉まりきる直前**
- **スイッチを引き続けたままの状態**

# ウインドー

## 知識

- 走行条件や環境により、窓ガラスに異物をはさんだときと同じ衝撃または荷重が加わると、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- 万一、はさみ込み防止機構が作動し、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを引き続けてください。

## サンルーフの操作 グレード/仕様別装備

電源ポジションが ON のとき使用できます。

### 警告

必ず守る

サンルーフを閉めるときは、同乗者の手や頭などをはさまないように注意する

**万一、手や頭をはさむと、重大な傷害につながるおそれがあります。**

禁止

走行中は、開口部から手や頭などを出さない

**走行中に車外のものにあたったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながるおそれがあります。**

### 注意

禁止

**サンルーフの開口部に腰をかけたり、重い荷物をのせないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。**

禁止

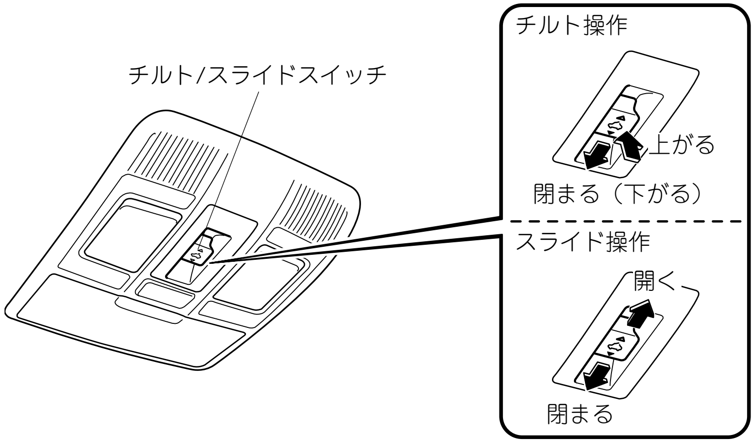
**凍結時や降雪時には無理に開閉しないでください。故障につながるおそれがあります。**

### 知識

- 車から離れるときや洗車するときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確認してください。
- 降雨後や洗車後または積雪時にサンルーフを開けるときは、ルーフ上の水や雪を除去してください。室内に水や雪がはいることがあります。
- 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき、サンルーフが正常に作動しないことがあります。次の操作をおこなうことで正常に作動します。サンルーフが開いている場合は、サンルーフを完全に閉めてから操作を行なってください。

1. 電源ポジションを ON にします。
2. チルト / スライドスイッチを押してサンルーフの後側を少し開けます。
3. 手順 2 をくり返し行なって、サンルーフの後側が完全に開くまでチルト / スライドスイッチを押します。その後サンルーフが少し閉まります。

# サンルーフ




## サンルーフのチルト操作

サンルーフが閉まっているとき、チルト / スライドスイッチを操作すると、サンルーフ後部が上下に開閉します。

### 開けるとき

サンルーフが閉まっているとき、チルト / スライドスイッチを押すとサンルーフ後部が開きます。途中で止めるときは、再度スイッチを押してください。

### 閉めるとき

チルト / スライドスイッチを前側に押している間、閉まります。

## サンルーフのスライド操作

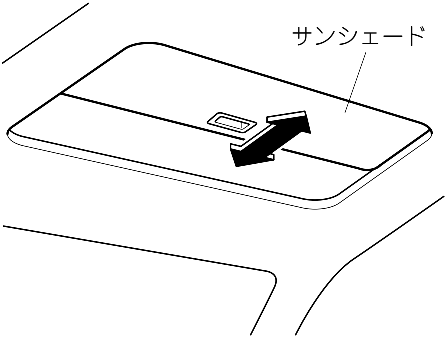
### 開けるとき

チルト / スライドスイッチを後側に押すと全開します。途中で止めるときは、再度スイッチを押してください。

### 閉めるとき

チルト / スライドスイッチを前側に押している間、閉まります。

## サンシェードの使いかた




手動で開閉できます。
サンルーフを開くときのみ、連動して開きます。

### ⚠ 注意

禁止
**サンシェードは、チルト開閉できません。サンルーフ後部が開いている場合は、サンシェードを押し上げないでください。無理に押し上げようとすると、サンシェードが破損するおそれがあります。**

禁止
**サンルーフが開いているときは、サンシェードを閉めないでください。無理に閉めようとすると、サンシェードが破損するおそれがあります。**

# 燃料補給口

## 給油するとき

### ⚠ 警告

**燃料補給時には必ずエンジンを止める。また、燃料補給口にはタバコなどの火気を近づけない。**
必ず守る
火災につながるおそれがあります。

**燃料を補給するときは、必ず次の点を守る。**
必ず守る
身体に静電気を帯びたまま作業をすると、放電による火花で燃料に引火、爆発し重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- 燃料補給作業は必ず一人で行ない、補給口に他の人を近づけないでください。
- 静電気を除去するため、フューエルキャップを開ける前には、車体または給油機などの金属部分に触れてください。
- 静電気の放電を防ぐため、フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部分を持って行なってください。
- 再帯電を防ぐため、燃料を補給する人は給油中に車内のシートに座らないでください。

**給油ノズルは確実に燃料補給口へ差し込む。**
必ず守る
給油ノズルが確実に差し込まれていないと、オートストップの作動が遅れ、燃料が吹きこぼれるおそれがあります。

**給油ノズルのオートストップ作動後は、追加給油しない。**
必ず守る
オートストップ作動後に追加給油すると、燃料があふれ出るおそれがあります。

**気化した燃料を吸い込まないよう注意する。**
必ず守る
人体に有害な成分を含んでいる燃料があります。特にアレルギー体質の方は、注意してください。

## ⚠ 注意

(SKYACTIV-G 2.0)

禁止

指定燃料以外の燃料を補給したり、純正以外の燃料添加剤を使用しない。
→ 350 ページ「燃料」
有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、アルコール系燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
- エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
- ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。

(SKYACTIV-D 2.2)

禁止

指定燃料以外の燃料を補給したり、燃料添加剤や水抜き剤を使用しないでください。
→ 350 ページ「燃料」
ガソリンや灯油、混合率が 5% を超えるバイオディーゼル燃料、アルコール系燃料を補給すると次のような悪影響をおよぼします。

- エンジンや燃料系部品が損傷したり、最悪の場合車両火災につながるおそれがあります。
- エンジンの始動性が悪くなるおそれがあります。
- ノッキングが発生したり、エンジンの出力が低下するおそれがあります。

必ず守る

燃料を補給するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。

必ず守る

燃料補給作業中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。

必ず守る

燃料を補給する際には、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

# 燃料補給口

## 知識

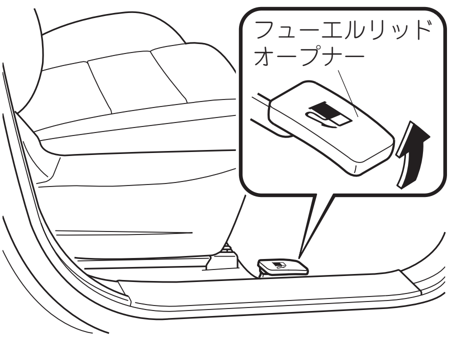
(SKYACTIV-G 2.0)

バイオ燃料混合ガソリンをお使いになることもできます。

バイオ燃料混合ガソリンは、日本工業規格 (JIS) や「揮発油等の品質の確保に関する法律」が定めたガソリンの規格に合致しており、製品として使用に問題ないことが確認されています。バイオ燃料混合ガソリンの商品名としては「バイオ・ガソリン」、および「いい！スリー」の 2 つがあり、いずれの製品も使用できます ( 商品マーク参照 )。

燃料補給口は車の左側後方にあります。燃料計が“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

## フューエルリッドの開閉




運転席足元にあるフューエルリッドオープナーを引くと開きます。
閉めるときはフューエルリッドが確実にロックするまでフューエルリッドを押しつけます。

## フューエルキャップの開閉

### ⚠ 警告

フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから取り外す。

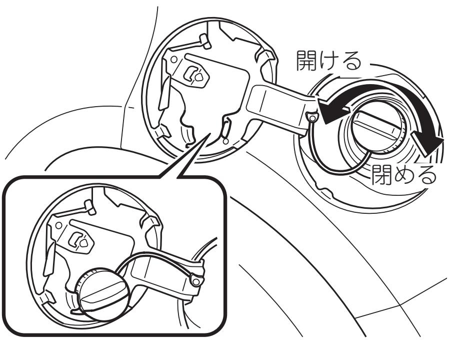
**急に開けると、燃料が噴き出すことがあるため火災につながったり、目や皮膚に付着すると傷害につながるおそれがあります。**

フューエルキャップは確実に閉める。

**キャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料がもれ、火災につながるおそれがあります。**

### ⚠ 注意

**純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。**




取りはずしたキャップはフューエルリッドの内側にかけます。

キャップを閉めるときは、カチッと1回音がするまで締め付けてください。

# 盗難防止システム

## イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはキーに信号発信機を内蔵し、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにした車両盗難防止装置です。
万一、キーが電池切れや故障の場合は、電池切れ時のエンジン始動手順を行なうとイモビライザーシステムが解除され、エンジン始動できます。

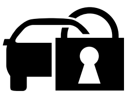
### 注意

必ず守る

**キーの故障を防ぐために次のことを守る。**

- **システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。**
- **強い衝撃をあたえたり、ぬらしたりしないでください。**
- **磁気を帯びた製品を近づけないでください。**
- **インストルメントパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になる所に放置しないでください。**

### システムの作動



電源ポジションを ON から ACC または OFF にするとシステムが作動し、セキュリティ表示灯が点滅します。

### システムの解除

登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、エンジンが始動できます。そのとき表示灯は約 3 秒間点灯した後消灯します。

#### エンジンが始動しないときは

次のような場合、エンジンの始動ができない場合があります。

- キーを ( 車内でも ) 感知しにくい場所に置いている。
- 携帯電話、テレビ、ラジオ、トランシーバーなどからの電波でシステムが影響を受けている。

### 処置方法

一度、電源ポジションを OFF にもどし、キーを別の場所に置いて、再度エンジン始動してください。
→19ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
→ 20 ページ「キーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は ( 点灯 / 点滅したまま等 )、一度電源ポジションを OFF に戻し、しばらく待って再度エンジン始動してください。
3 回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、マツダ販売店で点検を受けてください。

### 運転中にセキュリティ表示灯が点灯 / 点滅した場合は

エンジンを停止せず、そのままマツダ販売店で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できないことがあります。

## 知識

### イモビライザーシステムを修理するときは

コードを再登録するために、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店に持参してください。

### キーを追加するときは

- キーを紛失したときのために、スペアのキーを保管しておいてください。
- キーには特有の電子コードが含まれていますので、マツダ販売店以外でキーを追加することはできません。

キーを紛失した場合、盗難防止のため、イモビライザーシステムに登録されているコードをマツダ販売店で消去できます。消去した後に、今後使用するキーを再登録する必要がありますので、お手持ちのすべてのキーをマツダ販売店へ持参してください。登録されていないキーではエンジンを始動することができません。

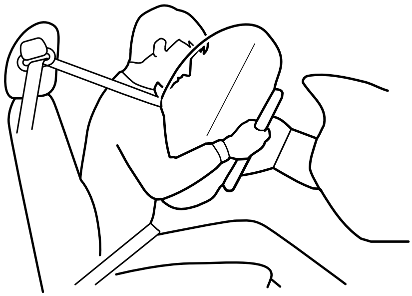
# SRS エアバッグシステム

## SRS エアバッグシステムについて

SRS とは Supplemental Restraint System ( サプルメンタルレストレイントシステム ) の略で、補助乗員保護装置の意味です。
エアバッグは、電源ポジションが ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。
SRS エアバッグシステムはシートベルトの働きに加えて乗員を保護する装置であり、シートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。

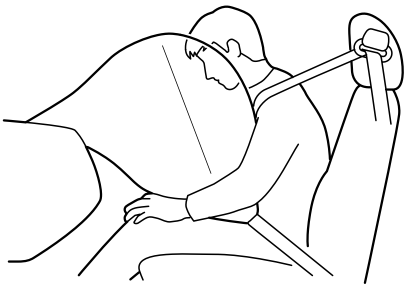
## エアバッグの種類

### 運転席エアバッグ



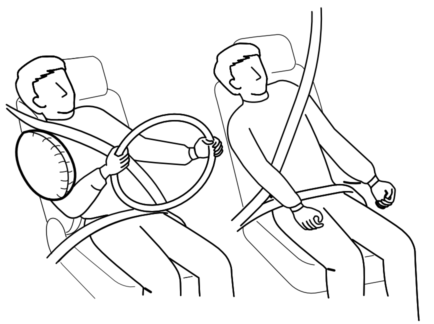
運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。

### 助手席エアバッグ



助手席エアバッグはインストルメントパネルに格納されています。助手席に同乗者がいなくても運転席エアバッグと同時に膨らみます。

## サイドエアバッグ



サイドエアバッグはフロントシート背もたれの外側部分に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイドエアバッグが膨らみます。

## カーテンエアバッグ




カーテンエアバッグはフロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部に格納されています。乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のカーテンエアバッグが膨らみます。

# SRS エアバッグシステム

## エアバッグの注意点

### ⚠ 警告

お車に乗る前に

必ず守る

**運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。**

SRS エアバッグシステムはシートベルトと併用することで効果を発揮します。シートベルトを着用していないと、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートに座ったときは

禁　止

**ハンドル中央部に手を置いたり、顔や身体を近づけたりしない。**

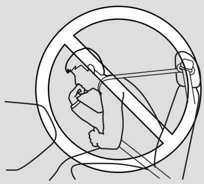
エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



禁　止

**シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。**

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



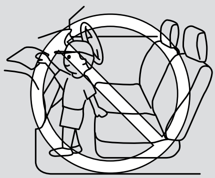
## ⚠ 警告

### お子さまを乗せるときは

必ず守る

**お子さまはできるだけリヤシートに座らせ必ずシートベルトを着用させる。**

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、お子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

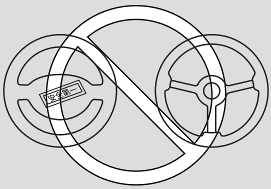


### こんなことにも注意

禁止

**ハンドルを交換しない。また、パッド部にステッカーなどを貼り付けたりしない。**

万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。



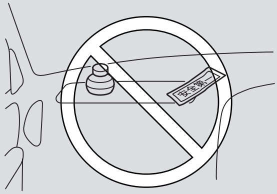
# SRS エアバッグシステム

## 警告

禁止

**インストルメントパネル上部にステッカーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリー用品、手荷物などの物を置かない。また、ルームミラーにワイドミラーを取り付けない。**

エアバッグが正常に作動しなくなったり、エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。



禁止

**車両前部にグリルガードなどを装着しない。**

SRS エアバッグシステムに影響をおよぼすため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

**サスペンションの改造をしない。**

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝撃を正しく検知できないため、エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

**SRS エアバッグシステムの部品や配線を修理したり、電気テスターを使って、SRS エアバッグシステムの回路診断をしない。**

正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### メンテナンスや廃車について

必ず守る

**事故後は必ずマツダ販売店で点検を受ける。**

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシステム本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

## ⚠ 警告

**次のような作業が必要なときは、必ずマツダ販売店に相談する。**

これらの作業を行なうとエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、分解、修理
- ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- インストルメントパネルまたは周辺部品の取りはずし、取り付け、分解、修理
- フロントシートの交換、取りはずし、取り付け、分解、修理
- 車両前部または側部の修理
- フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部の修理
- オーディオなど用品の取りはずし、取り付け

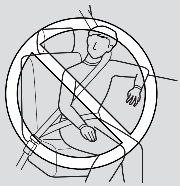
**車を廃車にする場合は、必ずマツダ販売店に相談する。**

不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につながるおそれがあります。

### サイドエアバッグについて

**フロントシート背もたれの外側部分に手、足、顔を近づけた姿勢で座らない。**

フロントシートに座ったときは、フロントドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。また、リヤシートに座ったときはフロントシートの背もたれを抱えないでください。サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



**フロントシートにシートカバーを使用しない。**

シートカバーを使用するとサイドエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

**フロントドアやフロントシート付近にカップホルダーなどのアクセサリー用品を取り付けない。**

サイドエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。

# SRS エアバッグシステム

## ⚠ 警告

禁止

フロントシートの下に荷物などを置かない。

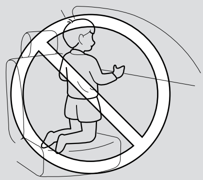
**フロントシートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。**

### カーテンエアバッグについて

必ず守る

ドアにもたれかかったり、フロントピラー、リヤピラー、ルーフサイド部などに近づいたりしないようにして座る。

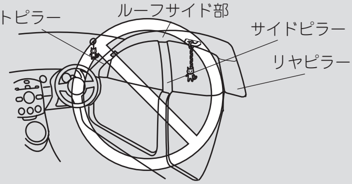
**カーテンエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。**



禁止

フロント窓ガラス、リヤ窓ガラス、フロントピラー、サイドピラー、リヤピラー、ルーフサイド部、アシストグリップなどカーテンエアバッグ展開部周辺にアクセサリー、ハンズフリーマイクなどを取り付けたりしない。

**カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。**




禁止

アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけない。

**服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。**

## ⚠ 注意

禁止 エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。

禁止 ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイド / カーテンエアバッグが作動するおそれがあります。

## 知識

**エアバッグの作動について**

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、けがをするおそれがあります。
- エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物 ( カス ) が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

## エアバッグの作動条件について

運転席 / 助手席エアバッグは正面衝突において、サイド / カーテンエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。
車体の衝撃吸収ボディー構造により、乗員への衝撃は大きくならない場合があります。
したがって、車両の損傷が大きくてもエアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

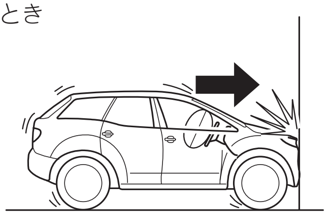
# SRS エアバッグシステム

## エアバッグが作動するとき

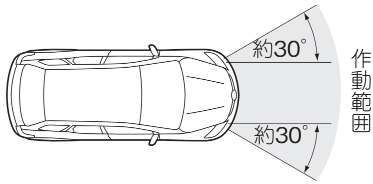
### 運転席 / 助手席エアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

約22km/h以上で固いコンクリートの壁などに正面衝突したときと同じ程度の衝撃を受けたとき

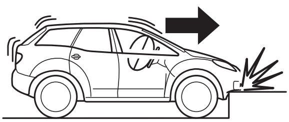


正面衝突など車両の前方左右約30°以内の方向から強い衝撃を受けたとき

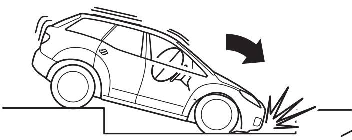



次のようなときには、路面などから車両下部に強い衝撃を受けると作動することがあります。

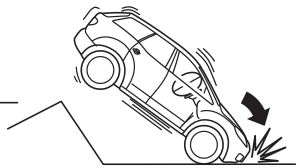
中央分離帯や縁石などに衝突したとき



深い穴や溝に落ちたとき



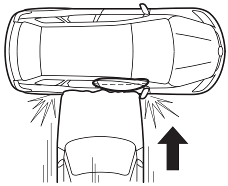
ジャンプなどで地面にぶつかったとき



### サイド / カーテンエアバッグ

次のようなときには、衝撃が大きいと作動します。

車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)に横方向から衝突されたとき

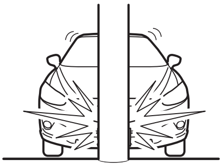


### エアバッグが作動しにくいとき

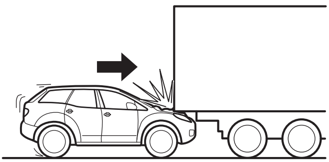
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

### 運転席 / 助手席エアバッグ

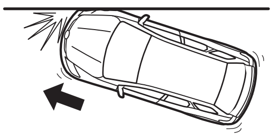
立木や電柱に衝突したとき



トラックの下などに
潜り込んだとき

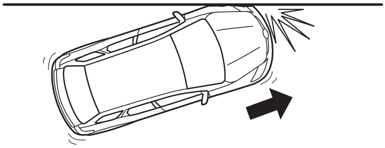


斜め前方に衝突したとき

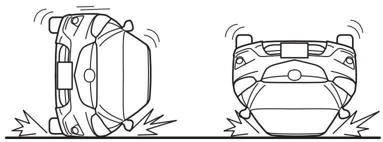


### サイド / カーテンエアバッグ

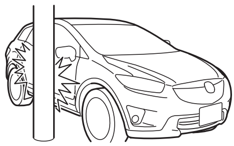
斜め前方に衝突したとき



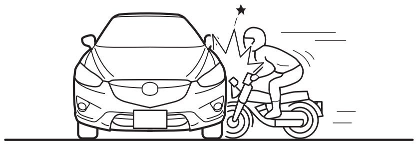
横転や転覆したとき



車両の側面(運転者または助手席同乗者付近)から立木や電柱に衝突したとき



2輪車が側面に衝突したとき

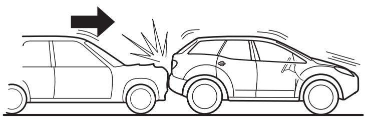


## エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

### 運転席 / 助手席エアバッグ

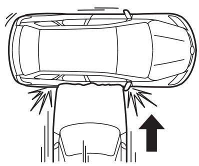
後ろ方向から衝突されたとき



横転や転覆したとき

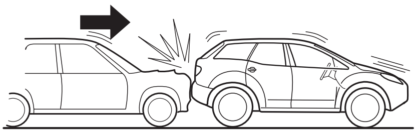


横方向から衝突されたとき

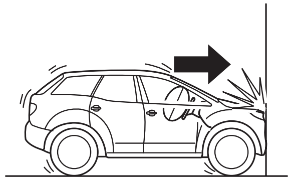


### サイド / カーテンエアバッグ

後ろ方向から衝突されたとき



正面衝突したとき



## EDR ( イベントデータレコーダー ) について

本車両は、SRS エアバッグ制御のためのコンピュータを搭載しています。
そのコンピュータは、SRS エアバッグシステムが正常に作動していることを診断するとともに、衝突や衝突に近い状態のとき、以下のデータを記録･蓄積する EDR を装備しています。

### 記録するデータ

EDR は下記のような情報を記録します。

- 車速
- 運転席乗員のシートベルト装着有無
- 助手席乗員のシートベルト装着有無
- エアバッグ作動に関する情報 ( 加速度波形等 )
- エアバッグシステムの故障診断情報

### 知識

EDR は会話などの音声や映像は記録しません。

### データの開示について

マツダおよびマツダの委託先は、EDR に記録されたデータを、車両衝突安全性能の向上などを目的に取得･利用することがあります。
なお、取得したデータは以下の場合を除き、第三者へ開示･提供することはありません。

- お車の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令などの法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行なうなどの使用者や車が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

# 積雪、寒冷時の取り扱い

## お車に乗る前に

### ルーフに雪が積もっているときは

- 走行中、ガラスに雪が落ちると視界のさまたげとなり危険です。
走行前に取り除いてください。
- ルーフの雪を取り除くときは、アンテナに注意して取り除いてください。アンテナを損傷するおそれがあります。

### ガラスに雪や霜がついているときは

- 視界を確保するため、雪や霜を取り除いてください。
- プラスチックの板などを使用して取り除くことができます。
プラスチックの板などを使用する時はガラスに傷をつけないように注意して取り除いてください。

### 足まわりなどに雪や氷が付着しているときは

部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

### ドアなどが凍結しているときは

- ドアが凍結しているときは、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。
無理に開けようとすると、ドアまわりのゴムがはがれたり、周辺部を損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部にはお湯をかけないでください。凍結してキーが差しこめなくなるおそれがあります。
- お湯をかけたあとは、すぐに水分をふき取ってください。
- ワイパー、パワーウインドー、電動ドアミラーなどが凍結して動かない場合もお湯をかけて氷を溶かしてから操作してください。
無理に動かそうとすると故障の原因になります。

## お車に乗るときは

靴についた雪をよく落としてから乗車してください。
ペダル類を操作するときにすべったり、室内の湿気が多くなるため窓ガラスが曇ったりすることがあります。

# 2 運転するときに


## 安全なドライブのために 98

運転するとき......98
運転装置について......101
こんなことにも注意......101
駐停車するとき......105
お子さまを乗せるとき......106

## エンジンの始動と停止 107

電源ポジション
（エンジンスイッチ）......107
エンジンの始動......108
エンジンの停止......113
i-stop について......114

## メーター、警告灯、表示灯の見方 124

メーター......124
警告灯、表示灯......141

## トランスミッションの使いかた 165

オートマチック
トランスミッション......165

## ブレーキ 175

ブレーキの操作......175

## 4WD 176

4WD について......176

## スイッチの使いかた 177

ヘッドランプスイッチ......177
方向指示器......181
非常点滅灯スイッチ......182
フォグランプスイッチ......182
ワイパー / ウォッシャースイッチ...183
リヤウインドーデフォッガー
（曇り取り）スイッチ......188
ホーン......188

## ABS について 189

ABS とは......189

## ヒルローンチアシスト (HLA) について 190

ヒルローンチアシスト
（HLA）とは......190

## エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について 191

エマージェンシーシグナルシステム
（ESS）とは......191

## トラクションコントロールシステム (TCS) について 192

TCS とは......192

# 2 運転するときに


## ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について 194

DSC とは.......................................... 194

## スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について 196

スマートシティーブレーキサポート（SCBS）とは .................................. 196

## リアビークルモニタリングシステムについて 205

リアビークルモニタリングシステムとは .................................. 205

## クルーズコントロールについて 210

クルーズコントロールとは............... 210

## タイヤ空気圧警報システムについて 214

タイヤ空気圧警報システムとは....... 214

## 駐車支援システムについて 218

駐車支援システムとは ...................... 218

## ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) について 228

ディーゼルパティキュレートフィルター（DPF）とは .............. 228

## 様々な状況での運転のときは 230

悪天候での運転.................................. 230

## 環境保護のために 232

経済的な運転...................................... 232

# 運転するとき

## 走行中はエンジンを止めない

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 坂道ではエンジンブレーキを使う

ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、効きが悪くなることがあります。
下り坂ではフットブレーキとエンジンブレーキを併用してください。
高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路では急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。スリップするおそれがあります。
エンジンブレーキとは、走行中アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力で、低速ギヤほどよく効きます。

## 車を発進させるときは周囲に注意する

この車両は通常の乗用車と比べ車高が高く、車両の前方および直左部が確認しにくいので、発進時などは目視、サイドモニターで確認し、周囲に十分注意をしてください。
→ 220 ページ「サイドモニター」

## 走行中はセレクトレバーを N にいれない

トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かないため思わぬ事故につながるおそれがあります。

## すべりやすい路面では慎重に運転する

ぬれた路面や凍結路、積雪路などのすべりやすい路面では、急加速や急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキを避け、スピードをひかえめにして運転してください。ぬれた路面を高速で走行すると、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態（ハイドロプレーニング現象）になるおそれがあります。
高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避けてください。タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストをするだけではなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響を及ぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

## 水たまり走行後や洗車後はブレーキの効きを確認する

水たまりを走行したあとや洗車後は、ブレーキパッドがぬれているため、ブレーキの効きが悪くなったり、ぬれていない片方のブレーキだけが効いて、ハンドルをとられるおそれがあり危険です。ブレーキの効きが悪いときは、低速で走りながら、効きが回復するまでアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んでブレーキを乾かしてください。

## 横風が強いときは慎重に運転する

横風が強く、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に落としてください。トンネルの出口、橋の上、山を削った切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。走行安定性を失い、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ブレーキペダルに足をのせたまま走行しない

ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。

- ブレーキの部品が早く摩耗します。
- ブレーキが過熱し、効きが悪くなるおそれがあります。

## ブレーキ操作は右足で

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。慣れない左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど、適切な操作ができないおそれがあります。
- アクセルペダルの操作でブレーキペダルに靴が接触することがないように、運転に適した靴で運転してください。

## 警告灯が点灯 / 点滅したら車を止める

走行中に警告灯が点灯 / 点滅したときは、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置を行なってください。警告灯の点灯 / 点滅を無視して運転を続けるとエンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

# 安全なドライブのために

## パンクやバースト（破裂）してもあわてない

走行中タイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。
急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。
次のようなときはパンクやバースト（破裂）が考えられます。
- ハンドルがとられるとき。
- 異常な振動があるとき。
- 車両が異常に傾いたとき。

## スタックした状態から脱出するときは注意する

309 ページの「スタックしたとき」をよくお読みください。

## 床下に衝撃を受けたら下まわりを点検する

安全な場所に停車して、車の下にブレーキ液や燃料の漏れがないか、また各部に損傷がないか確認してください。
異常があったときは、マツダ販売店に連絡してください。
そのまま走行すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 異常を感じたときはマツダ販売店で点検を受ける

次のようなときは、車が故障しているおそれがあります。そのまま走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 普段と違う音や臭い、振動がするとき。
- ハンドル操作に異常を感じるとき。
- ブレーキ液が不足しているとき。
- 車の下に油のあとが残っているとき。

# 運転装置について

## オートマチック車を運転するとき

171ページの「オートマチック車を運転するときに」、165ページの「オートマチック車の特性」、108ページの「エンジンをかける前に」をよくお読みください。

## 4WD 車の特性

176 ページの「4WD について」、176 ページの「走行するときは」をよくお読みください。

## タイヤについて

269ページの「タイヤの点検」、260ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、303 ページの「タイヤチェーンの取り付け」をよくお読みください。

## けん引してもらうとき

329 ページの「けん引してもらうとき」をよくお読みください。

# こんなことにも注意

## 発進時には安全を十分確認する

発進時は周囲の状況に十分注意してください。

- 信号待ちなどで停車したときや、駐車後に発進するときは、周囲の安全を十分確認してから発進してください。
- 後退するときに十分な視界を得られないときは、車から降りて後方の安全を確認してください。

## 運転中は携帯電話を使用しない

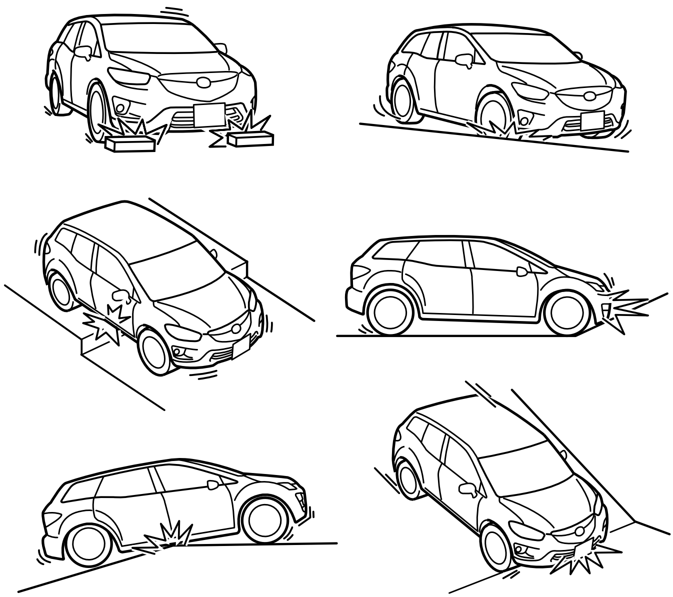
運転しながらハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

# 安全なドライブのために

## 路面などと車両との干渉に注意する

次のようなとき、バンパーやマフラーなど車体の下部を損傷するおそれがありますので、十分注意してください。

- 車止めのある場所への駐車
- 路肩に沿っての駐車
- 路肩など段差のある場所への乗り降り
- 駐車場など急な坂道への出入り
- 凸凹やわだちのある道路の走行



## 違法改造はしない

260 ページの「違法改造はしない」をよくお読みください。

## タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

260 ページの「タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する」、269 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

## タイヤバルブキャップは純正品を使用する

269 ページの「タイヤの点検」をよくお読みください。

## ディスチャージヘッドランプバルブを交換するときはマツダ販売店に相談する

180 ページの「ディスチャージヘッドランプについて」をよくお読みください。

## 部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

260 ページの「部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する」をよくお読みください。

## ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

260 ページの「ナンバープレートは正しい位置に取り付ける」をよくお読みください。

## アクセサリーを取り付けない

260 ページの「アクセサリーを取り付けない」をよくお読みください。

## エンジンルーム内のファンやベルトに気をつける

326 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

## エンジンルーム内に物を置き忘れない

261 ページの「点検整備について」をよくお読みください。

## ラジエーターが熱いときはキャップをはずさない

326 ページの「オーバーヒートについて」をよくお読みください。

## バッテリーの取り扱いに気をつける

322 ページの「バッテリーあがりについて」をよくお読みください。

## 航空機内ではキーを操作しない

15 ページの「キー」をよくお読みください。

# 安全なドライブのために

## 一酸化炭素中毒に気をつける

自動車から出る排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素は、無色 / 無臭の有毒な気体です。体内に入ると、一酸化炭素中毒を起こします。一酸化炭素中毒の初期症状は、目まい / 吐き気 / 頭痛などの体調不良ですが、症状が進むと意識不明になって動けなくなります。また、症状によっては死に至ることがあります。万一、排気管などに腐食や損傷があったり、排気音に異常を感じたときは、マツダ販売店で点検を受けてください。また、車内で排気ガスの臭いがしたときは、すべての窓を全開にするか、空調を手動で外気導入にして新鮮な外気をとり入れてください。そのまま走行すると、排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

## ライターやメガネを車内に放置しない

炎天下に駐車するときは、車内にメガネやライターを放置しないでください。車内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。

## ターボ車の特性

ターボ装置は、エンジンに多量の空気を過給することにより大きな出力を得る装置で、非常に精密に作られています。
またその潤滑はエンジンオイル、冷却は冷却水によって行われています。
ターボ装置の故障を防ぐため、次の点を守ってください。

- エンジンオイル、オイルフィルターは必ず指定された期間で交換してください。
- エンジン始動直後の空ふかし、急加速は行なわないでください。
- ターボ装置の冷却のため、高速走行や登坂走行の直後は、エンジンを停止する前にアイドリング運転を行なってください。ただし、i-stop が作動したときはアイドリング運転は不要です。

| 運転状況 | アイドリング時間 |
|---|---|
| 高速走行 | 約 1 分 |
| 特殊な連続走行または急な登坂走行 | 約 2 分 |

# 駐停車するとき

## 燃えやすい物のそばに車を止めない

車を止める時には、次の点を守ってください。

- そばに枯れ草など、燃えやすいものがない場所に止めてください。走行したあとは排気管が高温になっているため、火災につながるおそれがあります。
- 壁やベニヤ板などが後方にある場合は、間隔を十分とってから停車してください。排気ガスにより変色、変形したり、そのまま放置しておくと火災につながるおそれがあります。

## 仮眠するときはエンジンを止める

エンジンをかけたままで仮眠しないでください。無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込み車が発進したり、エンジンや排気管の異常過熱による火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。また、排気管が損傷していたり、換気の悪い場所では、知らない間に排気ガスが車内に侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

## 長時間停車するときは空調を外気導入にする

エンジンをかけたまま長時間停車するときは、空調を手動で外気導入にしてください。空調を内気循環にすると、車内の圧力が下がり排気ガスが入り易くなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

## 換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

換気の悪い場所ではエンジンをかけたままにしないでください。ガレージの中や積雪した場所、その他周囲が囲まれた換気の悪い場所では、排気ガスが行き場を失い車内へはいりやすくなるため、一酸化炭素中毒になるおそれがあり危険です。

## 坂道駐車はパーキングブレーキをしっかりかける

坂道での駐車は、パーキングブレーキをしっかりかけ、セレクトレバーをPにいれてください。急な坂道ではさらに輪止めをしてください。輪止めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

# 安全なドライブのために

### 車の移動はエンジンをかける

車を少し移動させるときでも、必ずエンジンをかけてください。下り坂などで傾斜を利用して移動させると、ハンドルがロックされたり、ブレーキの効きが悪いため思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けると、パワーステアリング装置を損傷するおそれがあります。

### 車から離れるときは必ずパーキングブレーキをかけ、施錠する

車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけエンジンを止め、ドアを施錠してください。また、盗難にあわないために、車内には貴重品を置かないでください。

## お子さまを乗せるとき

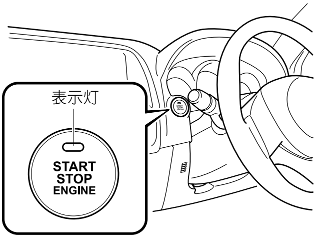
### 車から離れるときはお子さまも一緒につれていく

車から離れるときはお子さまだけを車内に残さないでください。

- お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 炎天下の車内はたいへん高温になり、お子さまが脱水症状を起こすおそれがあります。症状がひどくなると脳に障害が残ったり、最悪の場合死に至るなどお子さまの命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

# 電源ポジション（エンジンスイッチ）

## 各位置の働き




プッシュボタンスタートを押す毎に OFF、ACC、ON の順に電源ポジションが切り替わり、ON からもう一度、プッシュボタンスタートを押すと OFF へ戻ります。

| 電源ポジション | 働き |
|---|---|
| OFF | プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が、消灯します。 |
| ACC | エンジン停止時に、オーディオなどが使用できる位置。プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が、点灯します。 |
| ON | エンジン回転中の位置。プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が、消灯します。（エンジンが止まっている状態のときは、プッシュボタンスタートの表示灯（橙）が点灯します。） |

### 知識

- **ハンドルがロックされているときは**
  プッシュボタンスタートの表示灯 ( 緑 ) が点滅し、メーター内のディスプレイにメッセージが表示され グレード/仕様別装備 、警告チャイムが鳴ります。ハンドルを左右に動かしながら、プッシュボタンスタートを押して、ハンドルのロックを解除してください。
- （SKYACTIV-G 2.0）
  電源ポジションを ON にしたとき、燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- エンジンを止めたままで、オーディオなどを長時間使用したり、電源ポジションを ON のまま放置しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。電源ポジションを ACC ( セレクトレバーが P の位置になっていること ) で放置した場合は、約 25 分間で電源ポジションが OFF になります。
- ブレーキペダルをいっぱいに踏み込んだ状態で、プッシュボタンスタートを押すとエンジンが始動します。電源ポジションの切り替えを行う場合は、ペダルを踏まずにプッシュボタンスタートを押してください。

# エンジンの始動と停止

## エンジンの始動

### エンジンをかける前に

1 パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2 セレクトレバーがPの位置にあることを確認します。
3 正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。ペダルの踏み間違いのないように、ペダルの位置を確認しておいてください。
→36ページ「正しい運転姿勢」

# エンジンをかけるとき

## ⚠ 警告

必ず守る

**植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用機器を使用している方は、キーの電波の影響を医師や医療用電気機器製造業者などに確認する。**

**電波が悪影響をおよぼすおそれがあります。**

プッシュボタンスタートシステム機能、アドバンストキーレス機能を作動させないようにすることもできます。

**ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響をおよぼすおそれがあるため、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができる機能を停止させることができます。また、アドバンストキーレス機能装備車はアドバンストキーレス機能を作動させないようにすることができます。**

**詳しくはマツダ販売店にご相談ください。**

## 知識

- キーは必ず運転者が携帯してください。
- 電源ポジションの状態（OFF、ACC、ON）に関係なく、エンジンを始動できます。

1 キーを携帯していることを確認します。

2 エンジンが完全に始動するまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けます。

3 メーター内の KEY 表示灯 ( 緑 )* とプッシュボタンスタートの表示灯 ( 緑 ) が点灯するのを確認します。プッシュボタンスタートの表示灯 ( 緑 ) が点滅 ( マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車は、メーター内のディスプレイにメッセージが表示 ) する場合は、正常なキーを携帯していることを確認します。正常なキーを携帯しているのにプッシュボタンスタートの表示灯 ( 緑 ) が点滅する場合は、キーでプッシュボタンスタートに触れてエンジンを始動してください。 ( マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車は、メーター内のディスプレイにメッセージが表示します。)

* マルチディスプレイ（セグメント液晶タイプ）装備車

# エンジンの始動と停止

## 注意

必ず守る

**メーター内のKEY警告灯（赤）が点灯（マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車は、メーター内のディスプレイにメッセージが表示）、またはプッシュボタンスタートの表示灯が橙で点滅している場合は、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。直ちにマツダ販売店で点検を受けてください。**

## 知識

- 次のようなときは、プッシュボタンスタートを押したあとメーター内のKEY警告灯（赤）が点滅（マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車は、メーター内のディスプレイにメッセージが表示）し、エンジンをかけることができません。
  - キーの電池切れ
  - キーが作動範囲内にない
  - キーを車内でも感知しにくい場所に置いている
    →19ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
  - キーに類似した他社のキーが作動範囲内にある
- メーター内のKEY警告灯（赤）が点灯（マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車は、メーター内のディスプレイにメッセージが表示）、またはプッシュボタンスタートの表示灯（橙）が点滅している場合は、通常の操作ではエンジンを始動できない場合があります。ブレーキペダルをいっぱいに踏み込み、エンジンが完全に始動するまでプッシュボタンスタートを押し続けてください。

4 メーター内のKEY表示灯（緑）*が点灯し、プッシュボタンスタートの表示灯（緑）も点灯している状態でプッシュボタンスタートを押します。

* マルチディスプレイ（セグメント液晶タイプ）装備車

## 知識

- エンジン始動後、プッシュボタンスタートの表示灯（橙）は消灯し、電源ポジションはON 状態になっています。
- 冷間始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転数が高くなりますが、自動的に適正な回転数に下がります。
- 冷間始動後は、排気ガスの浄化を促進するためにエンジン回転が高くなり、うなっている音が聞こえることがありますが、部品機能の異常ではありません。
- （SKYACTIV-G 2.0）
  - プッシュボタンスタートを押して、エンジンが始動する前に燃料タンク付近からフューエルポンプのモーター作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
- （SKYACTIV-D 2.2）
  - 外気温が－ 10° C より低いときは、エンジン保護のためエンジンが始動してから約 3 分間、最高回転数が制限される場合があります。
  - エンジン始動時は、プッシュボタンスタートを押したあと、メーター内の予熱表示灯が消灯して、エンジンがかかるまでブレーキペダルを放さないでください。
  - エンジンがかかる前にブレーキペダルを放した場合は、再度ブレーキペダルを踏み込みプッシュボタンスタートを押してエンジンを始動してください
  - 予熱表示灯が消灯するまで、スターターは回りません。
  - 予熱が終了したあと、電源ポジションが ON のままエンジンをかけずに長時間放置した場合、再度予熱を行い予熱表示灯が点灯する場合があります。

# エンジンの始動と停止

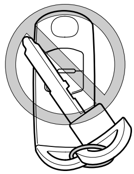
## キーが電池切れしたときのエンジン始動

**⚠ 注意**

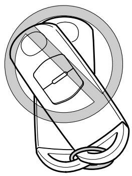
**キーの使用について**

**次のような状態にしないでください。車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。**

- **キーに他のキーの金属部や金属製のものが接している**



- **キーにスペアのキーや他の車両の盗難防止システムキー（信号発信機内蔵のもの）が重なっている、または近くにある**



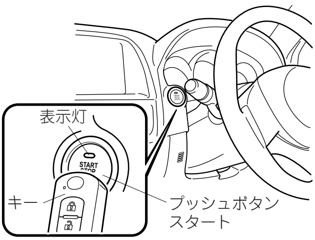
- **キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある**

キーの電池切れなどで、エンジンが始動できないときは、次の手順でエンジンを始動することができます。

1. ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅するのを確認します。

**知識**

ブレーキペダルを踏む前にプッシュボタンスタートを押しても、プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅します。この状態からブレーキペダルを踏めば、その後は同様の手順でエンジン始動が可能です。




3 プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点滅中に、キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れます。

4 プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯に変わったら、プッシュボタンスタートを押します。

### 知識

- ブレーキペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからないようになっています。
- プッシュボタンスタート機能に異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯が橙で点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがありますが、直ちにマツダ販売店で点検を受けてください。
- キーの裏面でプッシュボタンスタートに触れるときは、ロックスイッチ側を上にして、ボタンに触れてください。プッシュボタンスタートに触れたときにボタンを押してしまうとエンジンが始動することがあります。
- プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯しない場合は、最初から操作を行なってください。それでも点灯しない場合はマツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションの切り替えを行う場合は、プッシュボタンスタートの表示灯（緑）が点灯に変わったあと、ブレーキペダルを放してからプッシュボタンスタートを押してください。電源ポジションが ACC、ON、OFF の順に切り替わります。なお、電源ポジションが OFF になると、それ以降は電源ポジションの切り替えができませんので、エンジンを始動する場合は最初から操作を行なってください。

## エンジンの停止

1 セレクトレバーを P の位置にします。

2 プッシュボタンスタートを押します。エンジンが停止し、電源ポジションが OFF になります。

# エンジンの始動と停止

## ⚠ 注意

禁止 緊急時以外は、走行中にエンジンを停止しないでください。

必ず守る 車から離れるときは、電源ポジションが OFF になっていることを確認してください。

## 知識

- エンジンをきって電源ポジションを ON から ACC または OFF にしたとき、キーの電池容量が少なくなっていることを感知したら、メーター内の KEY 表示灯（緑）が約 30 秒間点滅します。（マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車は、メーター内のディスプレイにメッセージが表示します。）新しい電池と交換してください。
  → 292 ページ「キー」
- **電源ポジションについて**
  セレクトレバーが P 以外の位置のときに、エンジンが停止すると、電源ポジションは ACC になります。
- **電源ポジションを OFF にせずに車から離れると**
  警報やメーター表示でお知らせします。
  → 334 ページ「チャイムがなったときは」
  → 344 ページ「ディスプレイに KEY 警告表示が表示された、または KEY 警告灯が赤色で点灯または点滅した グレード/仕様別装備」
- （SKYACTIV-G 2.0）
  エンジンルームを早期に冷却するため、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、エアコンの ON/OFF にかかわらず電動ファンが数分間回転することがあります。

### 緊急エンジン停止

車両が停止していなくてもプッシュボタンスタートを押し続けるか、素早く何度も押すとエンジンが停止します。電源ポジションは ACC になります。

## i-stop について

i-stop（アイ・ストップ）は燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、SKYACTIV-G 2.0 はエンジン暖機後 SKYACTIV-D 2.2 はエンジン冷間以外に信号待ちや渋滞などで車両を停止させたとき、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

## アイドリングストップ・再始動

1 走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、i-stop 表示灯（緑）が点灯します。

2 走行状態（R レンジ以外）からブレーキペダルを踏んで停車すると、アイドリングストップします。（i-stop 表示灯（緑）はアイドリングストップ中も点灯します。）

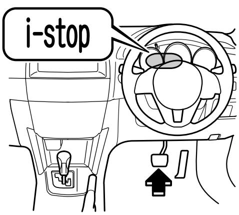
3 D/M（2 速固定モードでない）レンジでブレーキペダルから足を放すと、自動でエンジンが再始動し、i-stop 表示灯（緑）が消灯します。再び走行中にアイドリングストップする条件を満たすと、i-stop 表示灯（緑）が点灯します。
セレクトレバーが N/P レンジでは、ブレーキペダルから足を放しても再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むと再始動します。

### ⚠ 注意

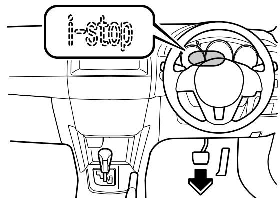
**次の条件のときは走行中、i-stop 表示灯（緑）が点灯しても停車時に消灯し、アイドリングストップしません。**

- **停車時のハンドルが直進状態でないとき**
- **急な坂道に停車したとき**

アイドリングストップ




再始動



# エンジンの始動と停止

## 知識

- i-stop は、安全かつ快適にご使用いただくためにドライバーの操作以外に、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、アイドリングストップ･再始動を制御しています。
- 次の条件をすべて満たしているときにアイドリングストップします。
  - エンジンを始動したのち、一度走行したあと（走行せずにアイドリングを続けても、i-stop は作動しません。また、停車中に自動でアイドリングストップ･再始動を繰り返すこともありません。）
  - ボンネットを閉めてエンジンを始動したとき
  - エンジン、オートマチックトランスミッションフルードが十分に暖まっているとき
  - 車両が停車しているとき
  - バッテリーの状態が良好のとき
  - 全てのドア、リヤゲート、ボンネットが閉まっているとき
  - 運転席シートベルトを着用しているとき
  - 曇り取りスイッチが OFF のとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルが、最大暖房 / 最大冷房以外の位置となっているとき
  - 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致しているとき
  - 標高約 1500m 以下で使用しているとき
  - i-stop 警告灯（橙）が点灯 / 点滅していないとき
  - リモートコントロール機能が正常なとき
  - セレクトレバーが D/M（2 速固定モードでない）または N レンジのとき
  - オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
  - ブレーキ負圧が十分に高いとき
  - ハンドルがほぼ直進状態のとき（直進状態にしていてもハンドルに力を入れているとアイドリングストップしない場合があります。アイドリングストップさせたいときは、ハンドルから力をゆるめてみてください。）
  - ハンドル操作をしていないとき
  - ブレーキペダルを踏んで停車させたとき（アイドリングストップせず i-stop 表示灯（緑）が点滅しているときは、ブレーキペダルの踏み方が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。）
  - 急制動ではないとき
  - 立体駐車場などの急な坂道で停車していないとき
  - (SKYACTIV-D 2.2)
    定期的に自動で実施される燃料噴射量学習が行われていないとき

## 知識

- 次の条件のときはアイドリングストップするまでに時間がかかることがあります。
  - 車両を長期間使用しなかったときなどでバッテリーが放電したとき
  - 外気温が高いとき、または、低いとき
  - バッテリー交換等によりバッテリー端子をはずしたあと
  - (SKYACTIV-D 2.2)
    ディーゼルパティキュレートフィルター（DPF）による PM の除去が行われているとき
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うと i-stop 警告灯（橙）が点灯し、安全を確保するためにブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。
  - ボンネットを開けたとき
  - D/M（2 速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）
- アイドリングストップ中にセレクトレバーを D/M（2 速固定モードでない）レンジから N レンジ、または D/M（2 速固定モードでない）レンジから P レンジへ操作するとブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。もう一度ブレーキペダルを踏むか、セレクトレバーを D/M（2 速固定モードでない）または R レンジへ操作すると再始動します。また、N または P レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）にも、エンジンが再始動します。（安全のため、アイドリングストップ中にセレクトレバーを操作する時は、必ずブレーキペダルを踏み込んだ状態で行なって下さい。）
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うと、ブレーキペダルから足を放さなくてもエンジンが再始動します。
  - i-stop OFF スイッチをチャイムが鳴るまで押し続けたとき
  - エアコンの温度設定ダイヤルを、最大暖房 / 最大冷房の位置にしたとき
  - 曇り取りスイッチを ON にしたとき
  - ドライバーが車両から降りようとしたとき ( 運転席シートベルトをはずしていずれかのドア、リヤゲートを開けたとき )
  - 坂道でブレーキをゆるめ、車両が動きだしたとき
  - D/M（2 速固定モードでない）レンジでアクセルペダルを踏んだとき
  - セレクトレバーを R レンジにしたとき
  - セレクトレバーを N または P レンジから D/M（2 速固定モードでない）レンジにしたとき

# エンジンの始動と停止

## 知識

- セレクトレバーがD/M（2速固定モードでない）レンジのまま、ハンドル操作をしたとき
- セレクトレバーがMレンジで、2速固定モードにしたとき

● アイドリングストップ中に以下の車両状態になると、ブレーキペダルから足を放さなくてもエンジンが再始動します。
- 車内の温度がエアコンの設定温度から大きく外れたとき
- アイドリングストップしてから2分経過したとき
- バッテリーの放電が進んだとき

● 次のときはエンジン停止時間が短くなる、または次のアイドリングストップが可能になるまでの時間が長くなることがあります。
- 外気温が高いとき、または、低いとき
- バッテリーの放電が進んだとき
- 車載装備などの電流消費が多いとき

● 外気温が非常に低い、または高いときには、アイドリングストップしません。

● バッテリー端子をはずした場合は、バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、バッテリーを交換したときは、i-stopの機能を確認する必要がありますので、マツダ販売店にご相談ください。

## i-stop警告灯（橙）/i-stop表示灯（緑）

i-stop

i-stopは、安心かつ快適にご使用いただくために、ドライバーの操作状況や、車内外の環境、車両の状態などの状況を常にモニターし、i-stop警告灯（橙）/i-stop表示灯（緑）によりさまざまな注意をドライバーにお知らせします。

### i-stop警告灯（橙）

#### 点灯するとき

● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンをかけると消灯します。

● i-stop OFFスイッチを押してシステムを解除すると点灯します。

● アイドリングストップ中に以下の操作を行うとi-stop警告灯（橙）が点灯します。この場合は安全を確保するために、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しないため、通常の操作でエンジンを始動してください。
- ボンネットを開けたとき
- D/M（2速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）

## 知識

ボンネットを開けたときや、ドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）以外で、i-stop 警告灯（橙）が点灯しているときに、i-stop OFF スイッチを押しつづけても消灯しない場合はマツダ販売店で点検を受けてください。

### 点滅するとき

システムに異常があるときは点滅し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### i-stop 表示灯（緑）

### 点灯するとき

アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯します。エンジンが再始動すると消灯します。

### 点滅するとき

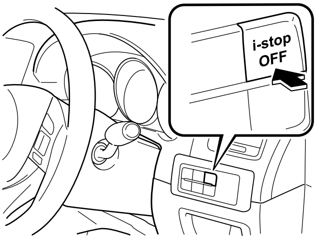
ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅します。ブレーキペダルの踏力が不足している可能性があります。少しブレーキペダルを踏み足してください。

## i-stop 警告チャイム

- アイドリングストップ中に運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り、アイドリングストップ中であることをお知らせします。運転席ドアを閉めると鳴り止みます。
- アイドリングストップ中に以下の操作を行うとチャイムが鳴り、安全を確保するためにブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しません。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。
  - ボンネットを開けたとき
  - D/M（2 速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）

# エンジンの始動と停止

## i-stop OFF スイッチ



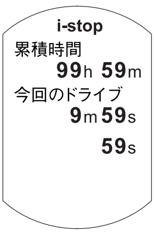

スイッチをチャイムが鳴るまで押しつづけると、i-stop の作動が解除され、メーター内の i-stop 警告灯（橙）が点灯します。もう一度チャイムが鳴るまで押しつづけると i-stop が作動可能な状態になり、i-stop 警告灯（橙）が消灯します。

### 知識

i-stop を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると i-stop は作動可能な状態にもどります。

## ディスプレイ表示 ( マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車 )

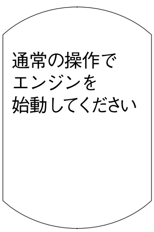
### アイドリングストップ時間表示




i-stop によるアイドリングストップ時間を次のとおり表示します。

- 今までの合計分（累積時間）
- 今回の走行分（今回のドライブ）
- 現在のアイドリングストップ時間

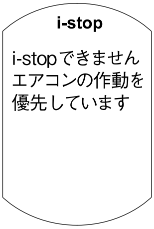
### i-stop 情報表示




**エンジン始動表示**

アイドリングストップ中の次の操作により、ブレーキペダルから足を放しても自動でエンジンが再始動しないときに表示します。この場合は、通常の操作でエンジンを始動してください。

- ボンネットを開けたとき
- D/M（2 速固定モードでない）レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき（運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき）




**i-stop 理由表示**

アイドリングストップしない理由を表示します。表示された条件を満たすと表示が消えもとの画面にもどります。

## 知識

アイドリングストップしない理由が複数ある場合はまとめて表示します。

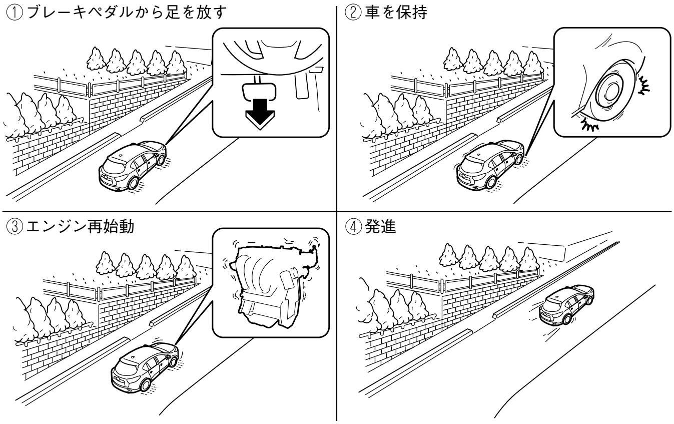


# エンジンの始動と停止

## 発進補助装置について

i-stop 装備車には発進補助機能が装備されています。これは次のような状態でブレーキペダルから足を放したときに、坂道などで車両が動き出すことを防ぐ機能です。

- アイドリングストップ中 ( 車両の後退防止 )
- 再始動時 ( 急なクリープ現象発生による車両の飛び出し防止 )
  ブレーキペダルを放してエンジンが再始動したときに自動でブレーキ力を保持します。




### 警告

**システムを過信しない**

必ず守る

**発進補助機能はあくまでアイドリングストップ状態から車両を発進させる際に、ブレーキから足を放したあと最長 4 秒間作動する補助装置です。システムを過信して操作すると意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあるため非常に危険です。発進時は周囲の安全を確認してセレクトレバーやブレーキペダル、アクセルペダルを適切に操作してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。**

**車両が以下の状態では、発進補助機能が解除されたあとに車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。**

- **セレクトレバーが N レンジの場合。**
  **アイドリングストップ中にセレクトレバーを N レンジに操作し、ブレーキペダルから足を放したときは、ブレーキ力が徐々に解除されます。発進時はセレクトレバーを N レンジ以外の位置にしてエンジンを再始動させたあとに、ブレーキペダルから足を放してください。**

### 知識

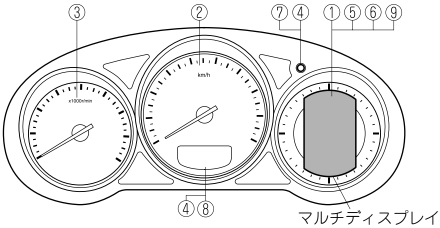
- 急な坂道で停車したときは、アイドリングストップしないため坂道発進補助機能は作動しません。
- 発進補助機能の作動により、ブレーキペダルの踏み応えが変わったり、ブレーキから音が発生したり、ブレーキペダルが振動したりすることがありますが、異常ではありません。

# メーター、警告灯、表示灯の見方

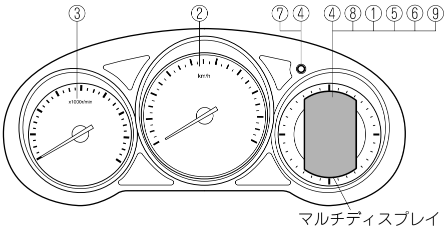
## メーター

メーターはグレードや仕様により異なります。
システムの作動状態や故障・異常状態などのメッセージ情報が表示されます。表示されたメッセージの内容によって、車両の状態を確認するかマツダ販売店での点検を受けてください。

マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車




マルチディスプレイ（セグメント液晶タイプ）装備車



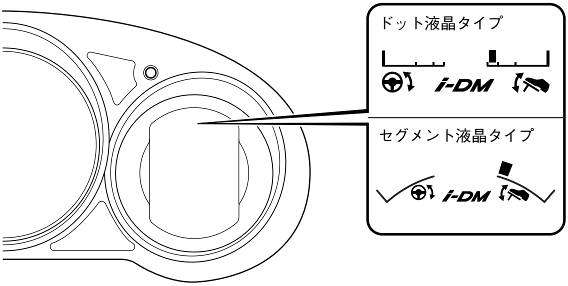

(1) インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）......125
(2) スピードメーター......131
(3) タコメーター......131
(4) オドメーター / トリップメーター......132
(5) 燃料計......133
(6) トリップコンピューター......133
(7) パネルライトコントロールスイッチ......136
(8) 外気温表示......137
(9) メンテナンスモニター......137

# インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)

「i-DM」はマツダ車の「走る歓び」と「優れた環境安全性能」を十分に実感していただくためのドライビングサポートシステムです。乗員全員が車両との一体感を感じながら爽快なドライブを楽しめるようになる運転技量の習得 / 向上をサポートします。

## インテリジェント・ドライブ・マスター・ゲージ

走行中の運転操作（アクセル、ブレーキ、ハンドル）の適正状態を診断し、ランプ及びゲージを通じてドライバーにリアルタイムに結果を知らせます。

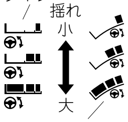
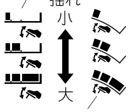



運転操作の状況は、次のように表示されます。（コーチング機能）

| ランプの種類 | 点灯パターン | 内容 | 運転のポイント |
|---|---|---|---|
| グリーンランプ<br>**ドット液晶タイプ**<br><br>**セグメント液晶タイプ**<br> | 点灯表示 | やさしい運転を示します。ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行で燃費の良い運転です。 | ● 加速をするとき / やめるときに、アクセルペダルをゆっくり踏む / もどす<br>● 減速をするとき / やめるときに、ブレーキペダルをゆっくり踏む / もどす<br>● 旋回をするとき / 直進にもどすときに、ハンドルをゆっくり切る / もどす |

# メーター、警告灯、表示灯の見方

| ランプの種類 | 点灯パターン | 内容 | 運転のポイント |
|---|---|---|---|
| ブルーランプ<br><br>**ドット液晶タイプ**<br><br><br>**セグメント液晶タイプ**<br> | 点灯表示 | しなやかな運転を示します。特に以下の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちの良い運転です。<br><br>**走行タイプ 1**<br>適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。<br><br>**走行タイプ 2**<br>加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく､安定した走行です。 | **走行タイプ 1 の場合**<br>● 加速をするときに、最適な踏み込み量 / 速さでアクセルペダルを操作する<br>● 減速をするときに、最適な踏み込み量 / 速さでブレーキペダルを操作する<br>● 旋回をするときに、最適な切り込み量 / 速さでハンドルを操作する<br><br>**走行タイプ 2 の場合**<br>● 加速をするときに、一定の加速度を継続するようにアクセルペダルを操作する<br>● 減速をするときに、一定の減速度を継続するようにブレーキペダルを操作する<br>● 旋回をするときに、一定の横 G を維持するようにハンドルおよびアクセルペダルを操作する |

<table>
<tr><th>ランプの種類</th><th>点灯パターン</th><th>内容</th><th>運転のポイント</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ホワイトゲージ<br><br>**ドット液晶タイプ**<br><br><br>**セグメント液晶タイプ**<br></td><td>ハンドル操作によって起こる体の横揺れを左側のゲージに3段階で点灯表示<br><br></td><td rowspan="2">体が揺れる運転を示します。やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行で燃費のあまり良くない運転です。</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>アクセル/ブレーキ操作によって起こる体の縦揺れを右側のゲージに3段階で点灯表示<br><br></td></tr>
</table>


運転する前に
運転するときに
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

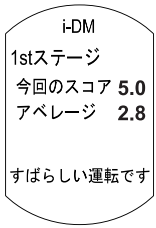
# メーター、警告灯、表示灯の見方

## インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）表示

運転終了後、電源ポジションを ON から OFF にしたとき、今回のスコア（現在の評価値）、アベレージスコア（過去 10 回のスコアの平均値）と現在のステージを表示します。
ステージは、1st ステージから 3rd ステージまであり、ステージが上がると診断が厳しくなります。運転技量が上がり、現在のステージでアベレージスコアを高く保てるようになると、次のステージへ上がります。逆に、低いアベレージスコアが続くとステージが下がります。

### ドット液晶タイプ

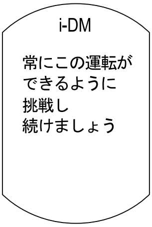
文字による運転評価メッセージも同時に表示します。




運転評価メッセージ

| 表示内容 |
| --- |
| すばらしい運転です |
| 順調です |
| 走行が短いため診断できません |

その後、今回のスコアに応じて、文字によるワンポイントアドバイスを一定時間表示します。（ティーチング機能）

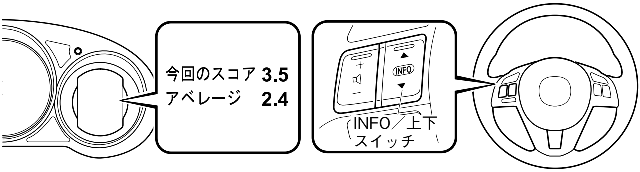



ワンポイントアドバイス

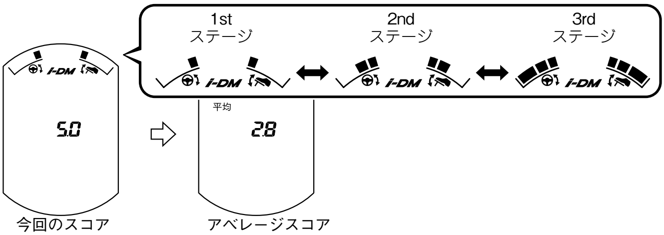
| 表示内容 |
| --- |
| 常にこの運転ができるように挑戦し続けましょう |
| この調子を維持して上のレベルに挑戦しましょう |
| 上達しています<br>この調子で上のレベルを目指しましょう |
| 運転アドバイス<br>頻繁なアクセル操作は控えましょう |
| 運転アドバイス<br>頻繁なブレーキ操作は控えましょう |
| 運転アドバイス<br>頻繁なハンドル操作は控えましょう |
| 運転アドバイス<br>適度な加速を心がけましょう |
| 運転アドバイス<br>適度な減速を心がけましょう |
| 運転アドバイス<br>滑らかなハンドル操作を心がけましょう |

### 知識

電源ポジションが ON のとき、上下スイッチを押していくことでも今回のスコアとアベレージスコアを表示できます。この場合の今回のスコアは、表示させた時点のスコアになります。ステージは表示されません。尚、インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）表示を選択しているときは、電源ポジションを OFF から ON にしたときに、現在のステージを一定時間表示します。




### セグメント液晶タイプ




### 知識

電源ポジションを OFF から ON にしたときにも、現在のステージを一定時間表示します。

## スピードメーター

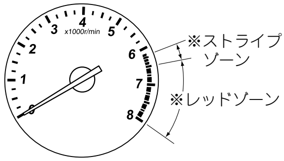
走行速度を km/h で示します。

## タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を示します。

### ⚠ 注意

**指針がレッドゾーン（許容回転数以上を示す）に入らないように運転してください。エンジンの故障につながるおそれがあります。**（必ず守る）




※仕様により範囲が異なります。

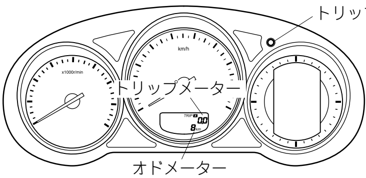
### 知識

ストライプゾーンはレッドゾーンに入らないようにするために、早めの変速を促すゾーンです。

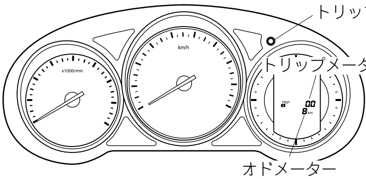
# メーター、警告灯、表示灯の見方

## オドメーター / トリップメーター

マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車




マルチディスプレイ（セグメント液晶タイプ）装備車




### オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

### トリップメーター

一定区間の走行距離を km 単位で示します（右側の数字は 100m 単位です）。2 種類（TRIP A、TRIP B）の区間距離を計測することができます。たとえば、TRIP A モードで給油してからの距離を測りながら、TRIP B モードで出発してからの距離を測ることができます。電源ポジションが ON のとき、トリップメーター切り替えボタンを押すごとに、TRIP A、TRIP B が切り替わります。トリップメーターを“0.0”にもどすときは、それぞれのモードのときトリップメーター切り替えボタンを 1 秒以上押します。

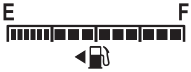
#### 知識

- 電源ポジションが ACC または OFF のとき、オドメーター / トリップメーターは表示されませんが、次のようなときは、トリップメーター切り替えボタンが機能します（ボタンを操作するとトリップメーターは切り替え / リセットされます）。
  - 電源ポジションを ON から ACC または OFF にした後の約 10 分間。
  - ドアを閉めた状態から開けた状態にした後の約 10 分間。
- 次のようなときは、トリップメーターの表示が“0.0”にもどります。
  - 車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたとき。
  - 走行距離が 9999.9km を超えたとき。

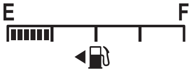
# 燃料計

ドット液晶タイプ

FULL




1/4

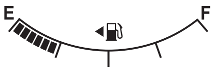



セグメント液晶タイプ

FULL




1/4




電源ポジションが ON のとき、燃料の残量を示します。

燃料が少なくなると、燃料残量警告灯が点灯します。早めに燃料を補給してください。

→ 141 ページ「警告灯、表示灯」

目盛りが“E”に近づいたら、早めに燃料を補給してください。

→ 76 ページ「燃料補給口」

## 知識

- 燃料補給後は、目盛りが安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、目盛りが増減することがあります。
- 1/4 以下の表示は、残量がより詳細に分かるように、目盛りを細かくしています。
- 矢印（◀⛽）は燃料補給口が助手席側にあることを示します。

(SKYACTIV-D 2.2)

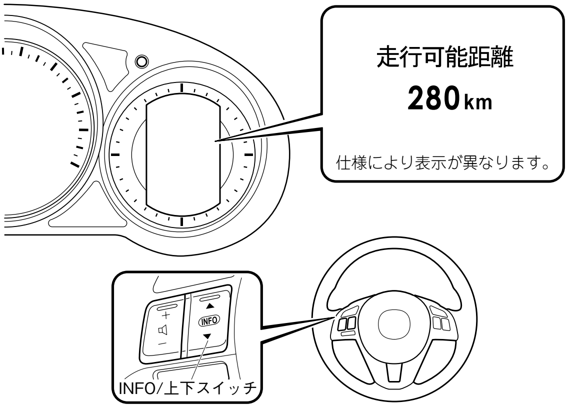
燃料が少なくなり、エンジン不調やエンストする場合は速やかに安全な場所へ車を移動させ、燃料を少なくとも 10 L 補給してください。

# トリップコンピューター

電源ポジションが ON のとき、上下スイッチを押すごとに、次の情報を表示することができます。

- 走行可能距離表示
- 平均燃費表示
- 瞬間燃費表示
- 平均車速表示
- インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）表示
- アイドリングストップ時間表示
- セッティング
- ワーニング（ディスプレイ表示）

# メーター、警告灯、表示灯の見方




## 知識

表示される数値は、周囲の状況、走行条件などにより、正しい数値を表示しないことがあります。
車両整備などでバッテリーとの接続が断たれると、過去の累積データは消去されます。

トリップコンピューターに異常があるときは、マツダ販売店にご相談ください。

### 走行可能距離表示

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

## 知識

- 走行可能距離が十分走行できる数値であっても燃料計が E に近づくか、燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
  約 10L 以上燃料を加えないと表示は変化しません。
- 走行可能距離とは、燃料計の残量目盛りがすべて消えるまで、あとどれくらい走行できるかを示すおよその距離になります。

### 平均燃費表示

お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と累積消費燃料から、約 1 分間毎に平均燃費を算出して表示します。

## 知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押すか、トリップメーターの TRIP A を“0.0”にもどします。データを消去すると、燃費を再算出して表示する前に 1 分間 - - - km/L を表示します。

## 瞬間燃費表示

走行しはじめてから、約 2 秒毎の瞬間燃費表示を消費燃料から算出して表示します。

### 知識

時速が約 5km/h になると - - - km/L を表示します。

## 平均車速表示

お車を購入された時、または、過去のデータを消去した時はデータを消去した時からの累積走行距離と走行時間から、約 10 秒間毎に平均車速を算出して表示します。

### 知識

表示されている過去のデータを消去するには、INFO スイッチを 1.5 秒以上押します。データを消去すると、車速を再算出して表示する前に 1 分間 - - - km/h を表示させます。

## インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）表示（ドット液晶タイプ）

インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）情報を表示します。

→ 125 ページ「インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）」

## アイドリングストップ時間表示（ドット液晶タイプ）

アイドリングストップ時間を表示します。

→ 120 ページ「ディスプレイ表示 ( マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車 )」

## セッティング（ドット液晶タイプ）

次の設定を変更できます。

- システム環境（スマートシティーブレーキサポート（SCBS）、メンテナンスモニター）
- 画面 OFF（インテリジェント・ドライブ・マスター（i-DM）表示、アイドリングストップ時間表示）
- ブザー音量（ランプ消し忘れ、リアビークルモニタリングシステム、操作音）
- 方向指示器作動音量
- 初期値に戻す

また、トリップコンピューターの平均燃費と平均車速のデータをリセットできます。

# メーター、警告灯、表示灯の見方

### 設定を変更する

1 上下スイッチを数回押してセッティングを選択し、INFO スイッチを押します。
2 上下スイッチを押して設定を変更したいアイテムを選択し、INFO スイッチを押します。
3 上下スイッチを押して希望する設定を選択し、INFO スイッチを押します。

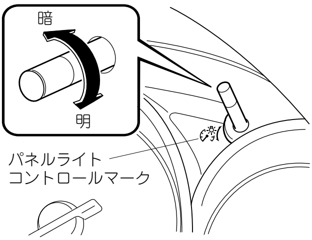
### 平均燃費と平均車速のデータをリセットする

1 上下スイッチを数回押してセッティングを選択し、INFO スイッチを押します。
2 平均値リセットを選択し、INFO スイッチを押します。
3 平均燃費または平均車速を選択し、INFO スイッチを押します。

### ワーニング（ディスプレイ表示）（ドット液晶タイプ）

システムの作動状態や故障・異常状態などのメッセージ情報が表示されます。表示されたメッセージの内容によって、車両の状態を確認するかマツダ販売店での点検を受けてください。

## パネルライトコントロールスイッチ




ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときパネルライトコントロールスイッチをまわすと、メーターおよびインストルメントパネルの明るさを調節できます。

### 減光解除機能

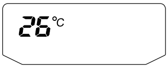
ランプスイッチをまたはの位置にすると、メーターが減光されます。パネルライトコントロールスイッチを右にいっぱいまでまわすと、“ピッ”と音がして減光が解除できます。

**知識**

**パネルライトコントロールスイッチが減光解除位置のときは**
ランプスイッチをまたはの位置にしてもメーターは減光されません。

# 外気温表示

マルチディスプレイ
（ドット液晶タイプ）装備車




マルチディスプレイ
（セグメント液晶タイプ）装備車




電源ポジションが ON のとき表示します。

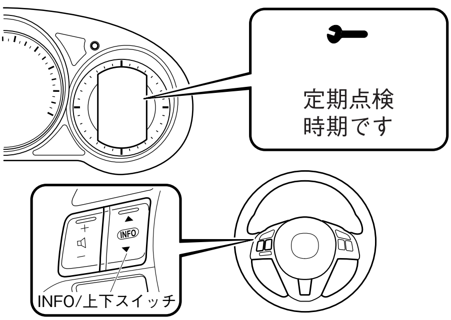
## 知識

次のようなとき、外気温度表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

- 著しく寒いとき、暑いとき
- 外気温が急激に変化したとき
- 停車時
- 低速走行

# メンテナンスモニター ( マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車 )

メンテナンスモニターを ON にすると、定期点検、タイヤ空気圧点検またはオイル点検 / 交換の時期をお知らせすることが出来ます。



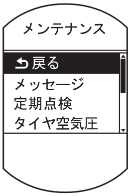

## 知識

走行中は操作できません。

# メーター、警告灯、表示灯の見方

## 初期設定

1 上下スイッチを数回押してセッティングを選択し、INFO スイッチを押します。
2 上下スイッチを押してメンテナンスを選択し、INFO スイッチを押します。







3 上下スイッチを押して ON にしたいアイテム（定期点検、タイヤ空気圧またはオイル点検 / 交換）を選択し、INFO スイッチを押します。




4 上下スイッチを押して期間設定または距離設定を選択し、INFO スイッチを押します。
次回のメンテナンスまでの期間または距離を設定する画面になります。




5 上下スイッチを押して期間または距離の値を変更し、INFO スイッチを押します。変更の必要がなければそのまま INFO スイッチを押します。

### 知識

- メンテナンススケジュールに応じた初期設定値が表示されます。
- 設定した項目に✓が表示されます。

## メッセージの表示




残りの期間や距離が 0 に近づくと、電源ポジションが ON のときに毎回メッセージを表示します。

## 知識

- メッセージ表示中に INFO/ 上下スイッチを押すと、表示しているメッセージを消すことができます。
- メッセージが重複した場合は順に表示します。
- メッセージの設定を OFF にしているときは、メッセージは表示されません。

**表示メッセージ**

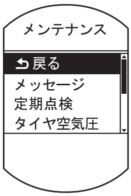
| 項目 | 表示開始 | 表示メッセージ |
| --- | --- | --- |
| 定期点検 | 残り日数が 15 日以下になった場合 | 定期点検時期です |
| タイヤ空気圧点検 | 残り日数が 15 日以下になった場合 | タイヤ空気圧補充をおすすめします |
| オイル点検 / 交換 | 残り距離が 500km 以下になった場合 | オイル点検 / 交換時期です |

## リセット方法

メンテナンスを実施した後、リセット（再設定）を行なえば、次回またメンテナンス時期が近づいてきたときにお知らせメッセージが表示されます。

1 上下スイッチを数回押してセッティングを選択し、INFO スイッチを押します。

2 上下スイッチを押してメンテナンスを選択し、INFO スイッチを押します。







3 上下スイッチを押してリセットしたいアイテム（定期点検、タイヤ空気圧またはオイル点検 / 交換）を選択し、INFO スイッチを押します。

## 知識

- 現在の残り期間や距離が表示されます。
- 残り期間や距離が 0 を過ぎても、表示はマイナスにならず 0 のままです。




4 上下スイッチを押して期間設定または距離設定を選択し、INFO スイッチを押します。
前回設定した残り期間または距離の値が表示されます。変更の必要がなければそのまま INFO スイッチを押します。

# メーター、警告灯、表示灯の見方

## 知識

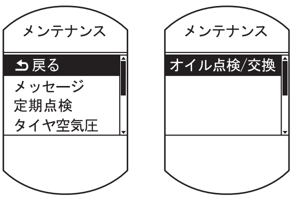
- 設定を初期設定の値から変更した場合、初期設定の値ではなく、お客様が設定した値が表示されます。
- バッテリーを切り離しても、残り期間や距離の情報は消去されません。

## OFF にする方法

メンテナンスモニターを ON にした後も、OFF にすることができます。OFF にした場合、次回メンテナンスまでの残り期間や距離をカウントしなくなり、メンテナンス時期が近づいたときのメッセージも表示しません。

1 上下スイッチを数回押してセッティングを選択し、INFO スイッチを押します。

2 上下スイッチを押してメンテナンスを選択し、INFO スイッチを押します。




3 上下スイッチを押して OFF にしたいアイテム（定期点検、タイヤ空気圧またはオイル点検 / 交換）を選択し、INFO スイッチを押します。

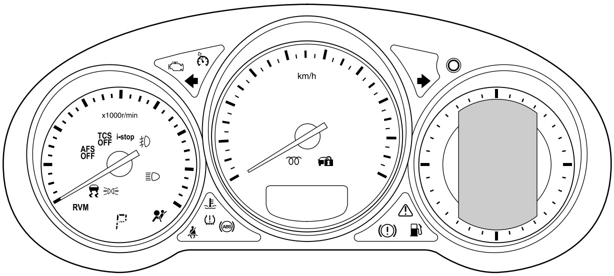
4 OFF を選択し、INFO スイッチを押します。

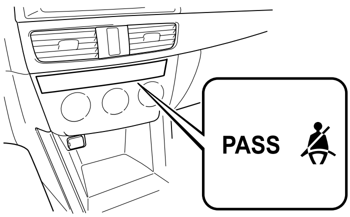


# 警告灯、表示灯

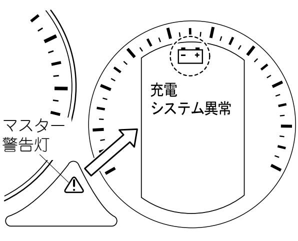
メーターはグレードや仕様により異なります。

## マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車




**( 表示例 )**




メーター内のマスター警告灯が点灯したときは、マルチインフォメーションディスプレイにシステムの故障の情報が表示されます。ディスプレイに表示されたメッセージを確認してください。ディスプレイに表示されない場合は、ハンドルにある INFO スイッチを操作して「ワーニング」画面を表示してください。

# メーター、警告灯、表示灯の見方

## マルチインフォメーションディスプレイ

システムの作動状態や故障・異常状態などのメッセージを表示します。

- (ディスプレイにシンボルとメッセージが表示されたとき)
  画面上部に表示されたシンボルの「表示と処置方法一覧」を確認してください。
- (ディスプレイにメッセージのみ表示されたとき)
  ディスプレイの表示に従ってください。

次の表の内容が表示されたときは、車両に故障が発生しています。
表示によって対処方法が異なります。次の表で確認してください。

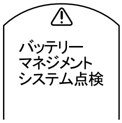
**対処方法：ただちに停車させる。詳しい処置方法は、画面上部に表示されたシンボルの「表示と処置方法一覧」を確認する**

| ディスプレイ表示 | | | |
|---|---|---|---|
| 充電<br>システム異常 | エンジン<br>油圧異常 | ブレーキ<br>システム異常 | パワー<br>ステアリング<br>システム点検 |
| 4WD<br>安全な場所に<br>停車してください | | | |

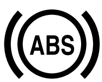
**対処方法：マツダ販売店に連絡し、点検を受ける。表示条件は、画面上部に表示されたシンボルの「表示と処置方法一覧」を確認する**

| ディスプレイ表示 | | | |
|---|---|---|---|
| エンジン<br>システム点検 | AT<br>オートマチック<br>トランスミッション<br>システム点検 | キーレス<br>システム点検 | DPF<br>DPF点検 |
| 4WD<br>4WDシステム点検 | TPMS<br>システム点検 | | |

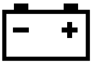
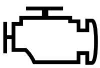
**対処方法 : マツダ販売店に連絡し、点検を受ける。**

| ディスプレイ表示 | | | |
|---|---|---|---|
|   |   |   |   |

## 表示と処置方法一覧

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | マスター警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● システムの故障をお知らせするときに点灯 | 車両に故障が発生しているため、ディスプレイに表示されたメッセージを確認し、マツダ販売店に連絡する |
|  | ブレーキ警告灯 | ● 電源ポジション ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯<br>● 次のようなときは点灯し続ける<br>・ ブレーキ液が不足している<br>・ ブレーキ装置 ( 電子制御制動力配分システム ) に異常がある | 点灯し続けるときは、安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する |
|   | ABS 警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● システムに異常があるときは点灯し続ける | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |

# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | 充電警告表示<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯 | 点灯したときはただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する |
|  | オイル警告表示<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯<br>● **(SKYACTIV-D 2.2)** エンジンオイルが異常に劣化した場合点灯 | ● エンジン回転中に点灯したときはただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検する<br>● エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときはマツダ販売店に連絡する |
|  | レンチ表示<br>グレード/仕様別装備 | あらかじめ設定されたメンテナンス時期になると点灯 | ディスプレイに表示されたメッセージを確認し、メンテナンスを実施する |
|  | エンジン警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン制御システムに異常があると点灯し続ける | 点灯したときは高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受ける |

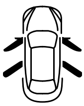
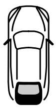
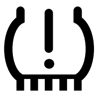
| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | 高水温警告灯<br>( 赤 ) | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯 | **点滅したとき**<br>エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行する<br><br>**点灯したとき**<br>ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をする<br>→326 ページ「オーバーヒートについて」 |
| i-stop | i-stop 警告灯<br>( 橙 ) | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● i-stop OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯<br>● アイドリングストップ中に次の操作を行なうと点灯<br>　• ボンネットを開けたとき<br>　• D/M (2 速固定モードでない ) レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき ( 運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき )<br><br>**点滅するとき**<br>システムに異常があるときは点滅し続ける | 点滅し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |

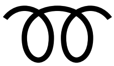
# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
| i-stop | i-stop 表示灯<br>( 緑 ) | **点灯するとき**<br>● アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯<br>● エンジンが再始動すると消灯<br><br>**点滅するとき**<br>ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅<br>ブレーキペダルの踏力が不足している可能性がある | 点滅しているときは、少しブレーキペダルを踏み足す |
| RVM | RVM 警告灯<br>( 橙 )<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、リアビークルモニタリングシステムが作動可能なときは RVM 表示灯 ( 緑 ) に切り替わる<br>リアビークルモニタリングシステムが解除されているとき消灯<br>● システムに異常があるときは点灯し続ける | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
| | RVM 表示灯<br>( 緑 )<br>グレード/仕様別装備 | リアビークルモニタリングシステムが作動可能なとき点灯 | |
| AT | オートマチックトランスミッション警告表示 | 走行中、システムに異常があると表示 | 表示したときはマツダ販売店で点検を受ける |

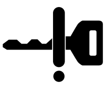
| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | 電動パワーステアリング警告表示 | エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると表示 | 表示したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止する<br>エンジンを再始動した後でも表示が消えないときは、マツダ販売店に連絡する |
|  | エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯 | 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき<br>● 点灯 / 点滅し続けるとき |
|  | 燃料残量警告灯 | 電源ポジションが ON のとき、燃料が少なくなると点灯<br>**知識**<br>● 燃料タンク内の燃料残量が 9L 前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。<br>● 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。 | 燃料を補給する |

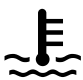
# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
| <br>PASS  | シートベルト警告灯 | **点灯するとき**<br>電源ポジションが ON のとき、運転席 / 助手席シートベルトを着用していないと点灯<br><br>**点滅するとき**<br>運転席 / 助手席シートベルトを着用しないまま約 20km/h 以上になるとしばらくの間点滅 | シートベルトを着用する |
|  | 半ドア警告表示 | ドアが確実に閉まっていないと表示<br>マルチディスプレイに開いているドアの場所を表示 | ドアを確実に閉める |
|  | リヤゲート開警告表示 | リヤゲートが確実に閉まっていないと表示 | リヤゲートを確実に閉める |
|  | タイヤ空気圧警告灯 | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● タイヤ空気圧が低下すると点灯<br><br>**点滅するとき**<br>タイヤ空気圧警報システムに異常があると約 1 分間点滅したあと点灯し続ける | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● 約 1 分間点滅したあと点灯し続けるとき |

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | 予熱表示灯<br>(SKYACTIV-D 2.2) | 電源ポジションを ON にすると点灯し、予熱が終了すると消灯<br>予熱が終了したあと、電源ポジションが ON のままエンジンをかけずに長時間放置した場合、再度予熱を行い点灯することがある<br>点灯しないとき、または点灯したままのときは、マツダ販売店で点検を受ける | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● 点滅し続けるとき |
| **DPF** | DPF 表示<br>(SKYACTIV-D 2.2) | **「DPF 点検」と表示されるとき**<br>DPF に異常があるとき表示 | マツダ販売店で点検を受ける |
| | | **「DPF 内に PM が堆積しています」と表示されるとき**<br>DPF で捕集した PM が規定値以上になると表示 | エンジン回転 2000rpm 以上かつ時速 40km/h 以上で、およそ 10 分から 15 分間走行し PM を除去する |

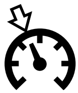
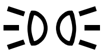
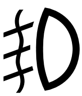
# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | KEY 警告表示<br>グレード/仕様別装備 | **「キーレスシステム点検」と表示されるとき**<br>アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムに故障が発生した場合に表示<br><br>**「電源ポジションを OFF にしてください」と表示されるとき**<br>電源ポジションを OFF にせずに運転席ドアを開けると表示<br><br>**「キーが見つかりません」と表示されるとき**<br>キーが作動範囲内にないとき、または、キーを車内の感知しにくい場所に置いているときに次の操作をすると表示<br>● 電源ポジションが OFF でプッシュボタンスタートを押したとき<br>● 電源ポジションを ON にしたとき<br>● 電源ポジションを OFF にせずに運転席ドアを開けた、または、すべてのドアを閉めたとき<br>→ 19 ページ「アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」<br><br>**「ブレーキを踏みキーでスタートボタンに触れてください」( オートマチックトランスミッション車 )/「クラッチを踏みキーでスタートボタンに触れてください」( マニュアルトランスミッション車 ) と表示されるとき**<br>キーが作動範囲内に無いとき、または、キーを車内の感知しにくい場所に置いているときに次の操作をすると表示<br>● 電源ポジションが OFF でプッシュボタンスタートを押したとき<br>● 電源ポジションが OFF で、ブレーキペダル ( オートマチックトランスミッション車 )/ クラッチペダル ( マニュアルトランスミッション車 ) を踏んでいるときき<br><br>**「キーの電池残量がわずかです」と表示されるとき**<br>キーの電池残量が残り少なくなっているときに電源ポジションを ON から OFF にしたときに表示 | |

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | TCS/DSC 作動表示灯 | **点灯するとき**<br>電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br><br>**点滅するとき**<br>走行中に TCS または DSC が作動すると点滅 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● 走行中に点灯したとき |
| **TCS OFF** | TCS OFF 表示灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● TCS OFF スイッチを押して、TCS を解除すると点灯 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● TCS を解除していないのに点灯したとき |
| **AFS OFF** | AFS OFF 表示灯<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● AFS OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき<br>● 点滅し続けるとき |
|  | 低水温表示灯 ( 青 ) | エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続ける | 十分に暖機しても点灯したままのときは、マツダ販売店で点検を受ける |
| P | セレクトレバー位置表示 | ● 電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示<br>● マニュアルモードのとき、使用しているギヤ位置を表示<br>→ 168 ページ「マニュアルモード」 | |

運転する前に
運転するとき
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

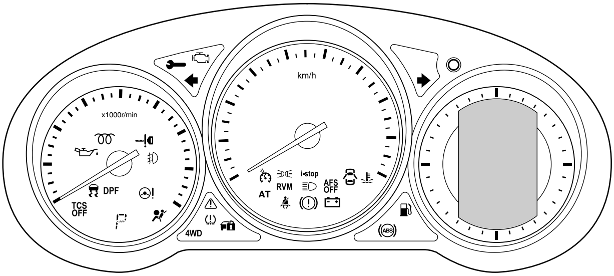
# メーター、警告灯、表示灯の見方

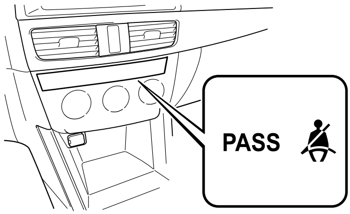
| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | ヘッドランプ上向き表示灯 | ヘッドランプを上向き ( ハイビーム ) にすると点灯し、下向き ( ロービーム ) にすると消灯 | |
|  | 方向指示 / 非常点滅表示灯 | 方向指示器 / 非常点滅灯スイッチを操作すると点滅 | 点滅が異常に速くなったときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | セキュリティ表示灯 | ● 電源ポジションを ON から OFF にするとシステムが作動し点滅<br>● 登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、約 3 秒間点灯したあと消灯 | 登録されたキーで電源ポジションを ON にしても点灯 / 点滅し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | クルーズメイン表示灯 ( 橙 )<br>グレード/仕様別装備 | ON スイッチを押すと点灯し、OFF スイッチを押すと消灯 | |
| | クルーズコントロール表示灯 ( 緑 )<br>グレード/仕様別装備 | 速度が設定されると点灯し、OFF スイッチを押すと消灯 | |
|  | 車幅灯表示灯 | ● ランプスイッチが、の位置のときに点灯<br>● AUTOの位置のときは車幅灯、尾灯が点灯すると点灯 | |
|  | フォグランプ表示灯 | フォグランプを点灯させると点灯し、フォグランプを消灯させると消灯 | |
|  | セジメンタ警告表示 (SKYACTIV-D 2.2) | 燃料フィルタ内にたまった水が規定値以上のになると点灯 | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |

| 警告灯 / 表示灯 / シンボル | 名称 | 点灯 / 点滅 / 表示条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
| **4WD** | 4WD 警告表示<br>グレード/仕様別装備 | **「4WD システム点検」と表示されるとき**<br>4WD システムに異常があるとき、または、前後輪のタイヤサイズが大きく異なるときに表示 | マツダ販売店で点検を受ける |
| | | **「安全な場所に停車してください」と表示されるとき**<br>ディファレンシャルオイルの温度が異常に高くなったとき、または、ぬかるみから脱出しようとするときなど前後輪のタイヤに大きな回転差が生じたときに表示 | 安全な場所に停車し、表示が消えたことを確認して発進する<br>表示が消えない場合は、マツダ販売店に連絡する |

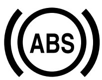
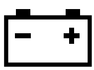
# メーター、警告灯、表示灯の見方

## マルチディスプレイ ( セグメント液晶タイプ ) 装備車

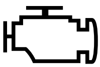


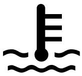




| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | ブレーキ警告灯 | ● 電源ポジション ON で点灯し、しばらくすると消灯<br>● パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯<br>● 次のようなときは点灯し続ける<br>・ ブレーキ液が不足している<br>・ ブレーキ装置 ( 電子制御制動力配分システム ) に異常がある | 点灯し続けるときは、安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する |

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | マスター警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● 充電装置に異常があると点灯<br>● ブレーキスイッチに異常があると点灯<br><br>● (SKYACTIV-D 2.2)<br>エンジン油圧制御に異常があると点灯<br>● エンジンのタイミングチェーンに異常があると点灯<br>● ブローバイヒーターに異常があると点灯し続ける | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | ABS 警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● システムに異常があるときは点灯し続ける | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | 充電警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯 | 点灯したときはただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する |

# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | オイル警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯<br>● (SKYACTIV-D 2.2) エンジンオイルが異常に劣化した場合点灯 | ● エンジン回転中に点灯したときはただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検する<br>● エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときはマツダ販売店に連絡する |
|  | レンチ表示灯 (SKYACTIV-D 2.2) | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● セジメンタ内にたまった水が規定量以上になると点灯し続ける | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | エンジン警告灯 | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン制御システムに異常があると点灯し続ける<br><br>**点滅するとき**<br>エンジン制御システムに異常があると点滅し続ける | 点灯 / 点滅したときは高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受ける |

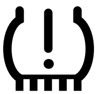
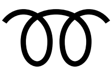
| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | 高水温警告灯<br>( 赤 ) | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯 | **点滅したとき**<br>エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行する<br><br>**点灯したとき**<br>ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をする<br>→326 ページ「オーバーヒートについて」 |
| i-stop | i-stop 警告灯<br>( 橙 ) | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● i-stop OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯<br>● アイドリングストップ中に次の操作を行なうと点灯<br>・ ボンネットを開けたとき<br>・ D/M (2 速固定モードでない ) レンジでドライバーが車両から降りようとしたとき ( 運転席シートベルトをはずして運転席ドアを開けたとき )<br><br>**点滅するとき**<br>システムに異常があるときは点滅し続ける | 点滅し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |

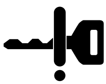
# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
| --- | --- | --- | --- |
| i-stop | i-stop 表示灯<br>( 緑 ) | **点灯するとき**<br>● アイドリングストップ可能なとき、またはアイドリングストップ中に点灯<br>● エンジンが再始動すると消灯<br><br>**点滅するとき**<br>ブレーキペダルを強く踏まずに停車させると点滅<br>ブレーキペダルの踏力が不足している可能性がある | 点滅しているときは、少しブレーキペダルを踏み足す |
| RVM | RVM 警告灯<br>( 橙 )<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、リアビークルモニタリングシステムが作動可能なときは RVM 表示灯 ( 緑 ) に切り替わる<br>リアビークルモニタリングシステムが解除されているとき消灯<br>● システムに異常があるときは点灯し続ける | 点灯し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
| | RVM 表示灯<br>( 緑 )<br>グレード/仕様別装備 | リアビークルモニタリングシステムが作動可能なとき点灯 | |
| AT | オートマチックトランスミッション警告灯<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● 走行中、システムに異常があると点灯 | 点灯したときはマツダ販売店で点検を受ける |

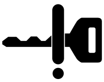
| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | 電動パワーステアリング警告灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、エンジンをかけると消灯<br>● エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯 | 点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止する<br>エンジンを再始動した後でも消灯しない場合は、マツダ販売店に連絡する |
|  | エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯 | 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき<br>● 点灯 / 点滅し続けるとき |
|  | 燃料残量警告灯 | 電源ポジションが ON のとき、燃料が少なくなると点灯<br>**知識**<br>● 燃料タンク内の燃料残量が 9L 前後になった時に点灯します。点灯したときは、すみやかに燃料を補給してください。<br>● 走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の燃料が移動するため、警告灯の点灯タイミングが変わる場合があります。 | 燃料を補給する |

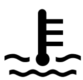
# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
| <br>PASS  | シートベルト警告灯 | **点灯するとき**<br>電源ポジションが ON のとき、運転席 / 助手席シートベルトを着用していないと点灯<br><br>**点滅するとき**<br>運転席 / 助手席シートベルトを着用しないまま約 20km/h 以上になるとしばらくの間点滅 | シートベルトを着用する |
|  | 半ドア警告灯 | ドア、リヤゲートが確実に閉まっていないと点灯 | ドア、リヤゲートを確実に閉める |
|  | タイヤ空気圧警告灯 | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● タイヤ空気圧が低下すると点灯<br><br>**点滅するとき**<br>タイヤ空気圧警報システムに異常があると約 1 分間点滅したあと点灯し続ける | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● 約 1 分間点滅したあと点灯し続けるとき |
|  | 予熱表示灯 (SKYACTIV-D 2.2) | 電源ポジションを ON にすると点灯し、予熱が終了すると消灯<br>予熱が終了したあと、電源ポジションが ON のままエンジンをかけずに長時間放置した場合、再度予熱を行い点灯することがある<br>点灯しないとき、または点灯したままのときは、マツダ販売店で点検を受ける | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● 点滅し続けるとき |

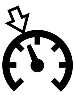
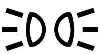
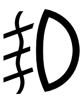
| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
| **DPF** | DPF 表示灯<br>(SKYACTIV-D 2.2) | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● DPF で捕集した PM が規定量以上になると点灯<br><br>**点滅するとき**<br>DPF に異常があると点滅 | **点灯したとき**<br>エンジン回転 2000rpm 以上かつ時速 40km/h 以上で、およそ 10 分から 15 分間運転をおこない PM を除去する<br><br>**点滅したとき**<br>マツダ販売店で点検を受ける |
|  | KEY警告灯 (赤)<br>グレード/仕様別装備 | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムになんらかの故障が発生すると点灯し続ける<br><br>**点滅するとき**<br>● 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションを OFF 以外にできないことを知らせる<br>・ キーの電池が切れたとき<br>→ 292 ページ「キー」<br>・ キーが作動範囲内にないとき<br>・ キーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき<br>→ 19ページ「アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」<br>・ キーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき<br>● 電源ポジションを OFF にせずに、キーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めると点滅し続ける<br>キーを車内にもどすと消灯 | |

# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | KEY表示灯 (緑)<br>グレード/仕様別装備 | **点灯するとき**<br>ブレーキペダルを踏み込んだとき、正規のキーが車内にあることを確認できると点灯し、エンジンをかけることができることを知らせる<br>→108ページ「エンジンの始動」<br><br>**点滅するとき**<br>キーの電池容量が残り少なくなっていると、電源ポジションをONからOFFにしたときに、30秒間点滅 | 点滅したときは、キーが使用できなくなる前に新しい電池と交換する<br>→292ページ「キー」 |
| **4WD** | 4WD警告灯<br>グレード/仕様別装備 | **点灯するとき**<br>● 電源ポジションをONにすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● 4WDシステムに異常があるとき点灯<br>● 前後輪のタイヤサイズが大きく異なるとき点灯 | マツダ販売店で点検を受ける |
| | | **点滅するとき**<br>● ディファレンシャルオイルの温度が異常に高くなったとき点滅<br>● ぬかるみから脱出しようとする場合など前後輪のタイヤに大きな回転差が生じたとき点滅 | 安全な場所に停車し、消灯したことを確認して発進する<br>点滅し続けるときは、マツダ販売店に連絡する |

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | TCS/DSC 作動表示灯 | **点灯するとき**<br>電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br><br>**点滅するとき**<br>走行中に TCS または DSC が作動すると点滅 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● 走行中に点灯したとき |
| **TCS OFF** | TCS OFF 表示灯 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● TCS OFF スイッチを押して、TCS を解除すると点灯 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき<br>● TCS を解除していないのに点灯したとき |
| **AFS OFF** | AFS OFF 表示灯<br>グレード/仕様別装備 | ● 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯<br>● AFS OFF スイッチを押してシステムを解除すると点灯 | 次のようなときはシステムの異常が考えられるため、マツダ販売店で点検を受ける<br>● 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき<br>● 点滅し続けるとき |
|  | 低水温表示灯 ( 青 ) | エンジン冷却水の温度が低いときに点灯し続ける | 十分に暖機しても点灯したままのときは、マツダ販売店で点検を受ける |

# メーター、警告灯、表示灯の見方

| 警告灯 / 表示灯 | 名称 | 点灯 / 点滅条件 | 処置方法 |
|---|---|---|---|
|  | セレクトレバー位置表示灯 | ● 電源ポジションが ON のとき、使用中のセレクトレバーのセット位置を表示<br>● マニュアルモードのとき、使用しているギヤ位置を表示<br>→ 168 ページ「マニュアルモード」 | |
|  | ヘッドランプ上向き表示灯 | ヘッドランプを上向き ( ハイビーム ) にすると点灯し、下向き ( ロービーム ) にすると消灯 | |
|  | 方向指示 / 非常点滅表示灯 | 方向指示器 / 非常点滅灯スイッチを操作すると点滅 | 点滅が異常に速くなったときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | セキュリティ表示灯 | ● 電源ポジションを ON から OFF にするとシステムが作動し点滅<br>● 登録されたキーで電源ポジションを ON にするとシステムが解除され、約 3 秒間点灯したあと消灯 | 登録されたキーで電源ポジションを ON にしても点灯 / 点滅し続けるときは、マツダ販売店で点検を受ける |
|  | クルーズメイン表示灯 ( 橙 )<br>グレード/仕様別装備 | ON スイッチを押すと点灯し、OFF スイッチを押すと消灯 | |
| | クルーズコントロール表示灯 ( 緑 )<br>グレード/仕様別装備 | 速度が設定されると点灯し、OFF スイッチを押すと消灯 | |
|  | 車幅灯表示灯 | ● 車幅灯が点灯しているときに点灯<br>● AUTOの位置のときは車幅灯、尾灯が点灯すると点灯 | |
|  | フォグランプ表示灯<br>グレード/仕様別装備 | フォグランプを点灯させると点灯し、フォグランプを消灯させると消灯 | |

# オートマチックトランスミッション

## オートマチック車の特性

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り替えを自動化した車で、その分操作の負担が軽くなります。運転は楽になりますが、安易に運転することは禁物です。オートマチック車の特性を理解し、正しい操作をする習慣をつけてください。

### クリープ現象

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP、N以外にはいっていると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。この現象をクリープ現象といいます。
- 停車中は車が動かないようにブレーキペダルをしっかり踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時は、エンジンの回転数が高くなりクリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでおいてください。
- 渋滞や狭い場所での移動は、クリープ現象を利用すると、アクセルペダルを踏まずにブレーキ操作のみで速度を調節できます。

### キックダウン

走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンすることができます。

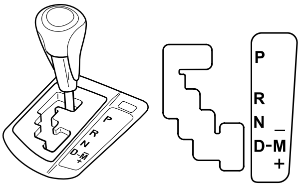
- 追い越しや高速道路での合流など、加速が必要なときに行ないます。
- すべりやすい路面やカーブを走行するときは、急激なアクセル操作はしないでください。

**知識**

アクセルペダルを踏み込んでいくと途中で重くなり、さらに踏み込むと軽くなります。
この踏力の変化はキックダウンさせるためのアクセルペダルの踏み込み量を容易に認識し、キックダウンさせる・させないをコントロールするための機能です。

# トランスミッションの使いかた

## 各位置の働き




P（パーキング）

駐車およびエンジンを始動する位置。

R（リバース）

車を後退させる位置。

チャイムが鳴り、セレクトレバーがRにはいっていることを運転者に知らせます。

N（ニュートラル）

動力が伝わらない位置。

エンジンを始動することはできますが、安全のためPの位置で行なってください。

D（ドライブ）

通常走行する位置。

車速に応じて1速から6速までを自動変速します。

M（マニュアル）

マニュアル走行する位置。

ギヤ位置を手動で切り替えることができます。

→168ページ「マニュアルモード」

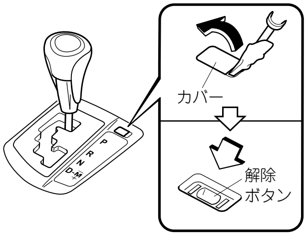
## シフトロック装置

シフトロック装置は、発進時の誤操作を防ぐためのものです。

### 知識

電源ポジションがACCまたはOFFのときは、セレクトレバーをPから動かすことはできません。

## シフトロック装置の解除

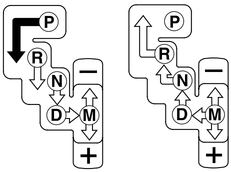



万一、セレクトレバーを P から操作できないときは、カバーをはずし、ブレーキペダルを踏み、マイナスドライバーなどで解除ボタンを押したままセレクトレバーを操作します。

### 知識

マイナスドライバーなどを使用するときは、先端に布などを巻いてください。マイナスドライバーなどが直接カバーにあたると、傷がつくおそれがあります。

## セレクトレバーの操作




| レバー操作 | |
| --- | --- |
| ➡ | ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。 |
| ⇨ | ゲートにそって、そのままセレクトレバーを操作します。 |

### 知識

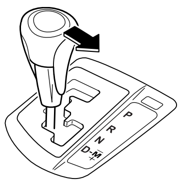
- **誤作動防止について**
  ⇨の操作は、誤作動防止のため、各ギヤ位置ごとに節度をつけ確実に行なってください。
- **先にブレーキペダルを踏んでから操作する**
  セレクトレバーを P から操作するとき、セレクトレバーを助手席側に動かしたままブレーキペダルを踏むと操作できないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでから操作してください。

# トランスミッションの使いかた

## AAS モードについて

AAS（アクティブアダプティブシフト）モードとは、ドライバーが快適に運転するため、道路の状況やドライバーの操作に最適なシフトポイントを自動的にコントロールするモードです。
セレクトレバーが D の状態で、登り坂や下り坂、コーナーを走行したり、アクセルペダルをすばやく操作することで AAS モードになる場合があります。
走行状態、シーンや操作に応じて、最適なギヤ位置を維持するためシフトチェンジが行なわれない場合がありますが異常ではありません。

## マニュアルモード

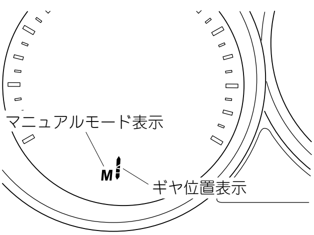



セレクトレバーを D から M にいれるとマニュアルモードになります。
マニュアルモードでは、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。
セレクトレバーを M から D にいれるとマニュアルモードが解除されます。

### 知識

- 停車時にマニュアルモードにした場合、ギヤは 1 速になります。
- D レンジ 5 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 4 速になります。また、D レンジ 6 速走行時にアクセルペダルを踏み込まずにマニュアルモードにした場合、ギヤは 5 速になります。

### 表示灯




#### マニュアルモード表示

マニュアルモードにすると、メーター内にあるセレクトレバー位置表示灯の M が点灯します。

#### ギヤ位置表示

ギヤ位置が表示されます。
高速走行中、速度によりシフトダウンできないときは、ギヤ位置表示が 2 回点滅します。

## 知識

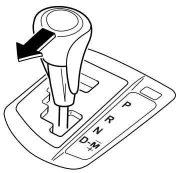
**自動変速になる場合があります**

オートマチックトランスミッションフルード（ATF）の温度が高温になると、ギヤ位置表示が消灯しマニュアルモードが解除されるため自動変速になる場合があります。これは AT を保護するための正常な機能です。しばらくして ATF 温度が下がるとギヤ位置表示が再び点灯しマニュアルモードでの走行が可能になります。

## シフトチェンジ（変速）のしかた

セレクトレバーによりシフトチェンジすることができます。

### シフトアップ（M1 → M2 → M3 → M4 → M5 → M6）

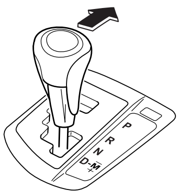



セレクトレバーを＋側に動かすとシフトアップ（高速ギヤに変速）します。

## 知識

- 低速時は速度によりシフトアップできないことがあります。
- マニュアルモードではタコメーターの指針がレッドゾーンにはいらないように運転してください。なお、エンジン回転数が高いとき、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。

### シフトダウン（M6 → M5 → M4 → M3 → M2 → M1）




セレクトレバーを－側に動かすとシフトダウン（低速ギヤに変速）します。

# トランスミッションの使いかた

## ⚠ 警告

必ず守る

**高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用（シフトダウン）は避ける。**

**タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## 知識

- 高速走行中は、速度によりシフトダウンできないことがあります。
- 減速中は、速度により自動的にシフトダウンします。
- マニュアルモードでは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでもキックダウンしません。
→ 165 ページ「オートマチック車の特性」

### 2 速固定モード

停止または低速時 * にセレクトレバーを＋側に動かして 2 速にすると 2 速固定モードになり、ギヤ位置は 2 速に固定されます。雪道などすべりやすい路面での発進や走行がしやすくなります。2 速固定モードのときに、セレクトレバーを＋側または－側に動かして 2 速以外にすると 2 速モードは解除されます。

* SKYACTIV-G 2.0
9.3km/h 以下
SKYACTIV-D 2.2
10.1km/h 以下

### シフトチェンジ（変速）制限速度

マニュアルモードでは、次の速度条件のときセレクトレバーを操作すると変速します。

| シフトアップ | | | シフトダウン | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ギヤ位置 | SKYACTIV-G 2.0 | SKYACTIV-D 2.2 | ギヤ位置 | SKYACTIV-G 2.0 | SKYACTIV-D 2.2 |
| M1 → M2 | 9.3km/h 以上 | 10.1km/h 以上 | M2 → M1 | 42.7km/h 以下 | 38.3km/h 以下 |
| M2 → M3 | 22.5km/h 以上 | 27.8km/h 以上 | M3 → M2 | 81.3km/h 以下 | 74.2km/h 以下 |
| M3 → M4 | 31.2km/h 以上 | 41.4km/h 以上 | M4 → M3 | 115.2km/h 以下 | 103.0km/h 以下 |
| M4 → M5 | 42.8km/h 以上 | 57.1km/h 以上 | M5 → M4 | 167.3km/h 以下 | 151.0km/h 以下 |
| M5 → M6 | 53.5km/h 以上 | 73.7km/h 以上 | M6 → M5 | 237.5km/h 以下 | 190.0km/h 以下 |

低速走行中にシフトアップする場合、各ギヤ位置での制限速度より低いときは変速しません。高速走行中にシフトダウンする場合、各ギヤ位置での制限速度を超えているときは変速しません。このとき、ギヤ位置表示が 2 回点滅し、変速できないことを運転者に知らせます。

減速時、次の速度条件のときは自動的にシフトダウンします。

| ギヤ位置 | SKYACTIV-G 2.0 | SKYACTIV-D 2.2 |
|---|---|---|
| M2 → M1 | 6.3km/h 以下 | 7.1km/h 以下 |
| M3 → M2 | 11.9km/h 以下 | 13.7km/h 以下 |
| M4 → M3 | 28.2km/h 以下 | 38.4km/h 以下 |
| M5 → M4 | 39.8km/h 以下 | 54km/h 以下 |
| M6 → M5 | 47km/h 以下 | 70.7km/h 以下 |

### 知識

2 速固定モード時は、自動的に 1 速にシフトダウンしません。

## オートマチック車を運転するときに

### 発進または後退するとき

### 警告

禁止

アクセルペダルを踏んだままセレクトレバーを操作しない。

**車が急発進し思わぬ事故につながるおそれがあります。**

マニュアル車では発進時の速度をクラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車ではアクセル操作のみで行いますので、アクセル操作は慎重に行ってください。

1 ブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作します。
前進 …D、M
後退 …R

2 セレクトレバーの位置を確認します。

3 パーキングブレーキを解除します。

4 ブレーキペダルを徐々にゆるめ、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

# トランスミッションの使いかた

**注意**

必ず守る

**後退時は身体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。**

**知識**

- セレクトレバーを R にいれるとチャイムが鳴り、セレクトレバーが R にはいっていることを運転者に知らせます。
- 少し後退したときなどはセレクトレバーを R にいれたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーを N にもどし、発進時にはセレクトレバーの位置を確認してください。

## 急な坂道での発進

パーキングブレーキをかけたまま、アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動く感触を確認しながらパーキングブレーキをもどします。

## 走行するとき

### 通常走行

セレクトレバーを D にいれて走行します。アクセルとブレーキの操作で加速 / 減速します。
ギヤは 1 速から 6 速の間で、自動的に変速されます。

### マニュアルモード走行

停車中または走行中にセレクトレバーを D から M にいれると、マニュアルモードにセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。
→ 168 ページ「マニュアルモード」

### 急加速

セレクトレバーが D のとき、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンして急加速できます。

### 急な上り坂での走行

坂の勾配に応じ、マニュアルモードで変速してください。エンジン回転の変化が少ないなめらかな走行ができます。

### 下り坂での走行

エンジンブレーキが必要なときは、マニュアルモードにして、低速ギヤにシフトダウンしてください。
マニュアルモードのときは、走行速度にあわせて 1 段ずつシフトダウンし、エンジンブレーキを併用してください。

### 停車するとき

1. ブレーキペダルをしっかりと踏んでおきます。
2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。
3. 停車時間が長くなりそうなときは、セレクトレバーを N または P にいれます。

## ⚠ 警告

禁止

**停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない。**
**セレクトレバーが P、N 以外にはいっているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る

**停車後、再発進するときはセレクトレバーの位置に思い違いがないよう確認する。**
**意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## ⚠ 注意

禁止

**アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でセレクトレバーを前進位置にいれ、アクセルをふかしながら停車しないでください。トランスミッションが過熱し、故障につながるおそれがあります。**

### 駐車するとき

1. 車を完全に止めます。
2. セレクトレバーを P にいれます。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
4. エンジンを止めます。

# トランスミッションの使いかた

## ⚠ 警告

必ず守る

駐車するときは、セレクトレバーをＰにいれ、パーキングブレーキをかける。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをＰにいれただけで駐車していると、車が勝手に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁　止

エンジンをかけたまま駐車しない。

万一セレクトレバーがＰ以外にはいっていた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

## ⚠ 注意

必ず守る

セレクトレバーをＰにいれるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをＰにいれると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。

### そのほかに気をつけること

## ⚠ 警告

禁　止

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に入れたまま後退したり、後退位置に入れたまま前進しない。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

# ブレーキの操作

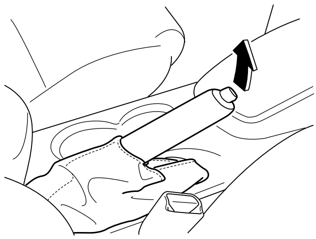
## パーキングブレーキ

### ⚠ 警告

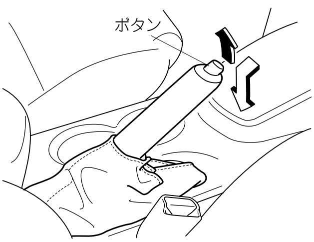
禁止

**パーキングブレーキをかけたまま走行しない。**
**ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱するためブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### かけるとき



### 解除するとき




レバーを少し引き上げ、先端のボタンを押してもどします。

## 4WD について

4WD は、積雪路、砂地、ぬかるみ、急な坂などすべりやすい路面ですぐれた走行性を発揮します。

### 走行するときは

オフロード走行やラリー走行を目的に作られた万能車ではありません。凸凹や岩を乗り越えたり、川を渡ったりしないでください。
4WD 車であっても、アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行ない、常に安全運転を心がけてください。

# ヘッドランプスイッチ

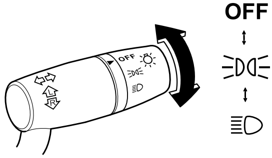
## ヘッドランプの点灯 / 消灯

電源ポジションに関係なく使用できます。ランプスイッチをまわすと、各ランプが点灯 / 消灯します。

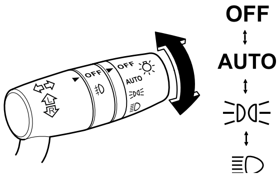
### 知識

エンジンを停止しているときに、ランプを点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

標準タイプ




オートライト機能付きタイプ




| スイッチ位置 | ランプ名称 | |
|---|---|---|
| | ヘッドランプ | アクセサリーランプ、車幅灯、尾灯、番号灯 |
| OFF | 消灯 | 消灯 |
| AUTO | 自動で点灯 / 消灯 | |
| =D0= | 消灯 | 点灯 |
| ≡D | 点灯 | 点灯 |

## オートライト機能（オートライト機能付きタイプ）

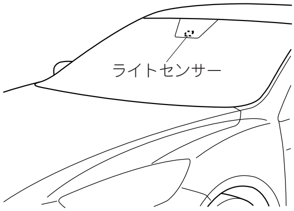
電源ポジションが ON のとき使用できます。
ランプスイッチを AUTO の位置にすると、周囲の明るさに応じてランプが自動で点灯 / 消灯します。

| 周囲の明るさ | 明るい | 薄暗い | 暗い |
|---|---|---|---|
| ヘッドランプ | 消灯 | 消灯 | 点灯 |
| アクセサリーランプ、車幅灯、尾灯、番号灯 | 消灯 | 点灯 | 点灯 |

# スイッチの使いかた

## 注意

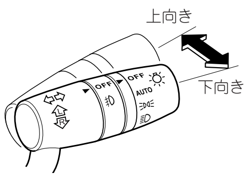
**フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてライトセンサーを覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。**




## 知識

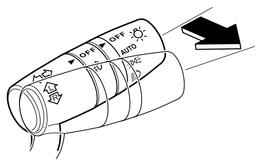
長いトンネルやトンネル内での渋滞、屋内駐車場など、周囲が暗い状態が数分間続くとライトセンサーが夜間と判断し、周囲が明るくなってもランプがすぐには消灯しない場合があります。
この場合はランプスイッチを OFF の位置にすれば消灯します。

## ヘッドランプの切り替え




ヘッドランプが点灯しているとき、レバーを前後に操作すると、ヘッドランプの向きが切り替わります。
上向き（ハイビーム）のときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

## パッシング合図



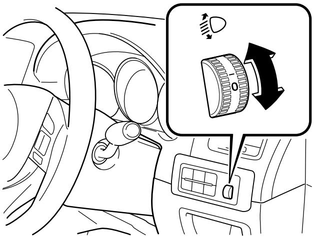

ランプスイッチの位置に関係なく、レバーを引いている間ヘッドランプが上向き（ハイビーム）で点灯します。
同時にメーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。

# ヘッドランプレベリング

## オートタイプ

ヘッドランプを点灯したとき乗員や荷物の状況に応じてヘッドランプの照らす方向を上下方向へ自動で調節し、一定に保ちます。

## マニュアルタイプ



ヘッドランプが点灯しているとき、ヘッドランプの照らす方向を下向きに調節することができます。乗員や荷物が多いときなど、ヘッドランプが通常よりも上向きを照らしているときは、スイッチを下方向にまわしてヘッドランプの照らす方向を下向きにしてください。スイッチの数字が大きいほど下向きになります。

### スイッチ位置の目安

| 積載状況 | | スイッチ位置 |
|---|---|---|
| 乗員 | 荷室 | |
| 運転席のみ乗車時 | 非積載時 | 0 |
| | 積載時 | 3.5 |
| 運転席と助手席乗車時 | 非積載時 | 0 |
| 全席乗車時 | 非積載時 | 1.5 |
| | 積載時 | 2.5 |

### 知識

車検などで光軸調整をするときは、スイッチの位置を **0** にしてから行なってください。

# スイッチの使いかた

## ディスチャージヘッドランプについて グレード/仕様別装備

ディスチャージヘッドランプは、太陽光に近い白い光で広範囲を照らします。
ヘッドランプのロービーム、ハイビームに装備されています。

**警告**

必ず守る

ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へ相談する。

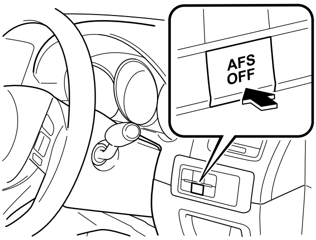
**ロービーム、ハイビームにはディスチャージヘッドランプが装備されています。ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。**

## AFS ( アダプティブフロントライティングシステム ) について

グレード/仕様別装備

AFS（アダプティブフロントライティングシステム）は、エンジン回転中、ヘッドランプが点灯しているとき、ハンドルの操作にあわせてヘッドランプの照らす方向を左右に自動で調節するシステムです。

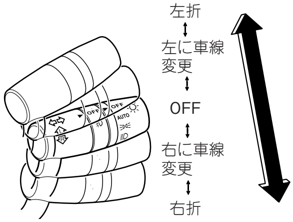
### AFS OFF スイッチ




AFS OFF スイッチを押すことにより AFS を解除することができます。
もう一度スイッチを押すと、AFS OFF 表示灯が消灯し、AFS が作動可能な状態になります。

# 方向指示器

## 方向指示器の操作




電源ポジションが ON のとき使用できます。

**車線変更する場合**

レバーを車線変更の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

**左折、または右折する場合**

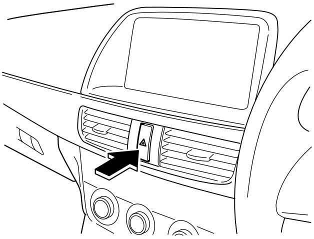
レバーを左折または右折の位置に操作すると、方向指示灯が点滅し、ハンドルをもどすと、自動でもとの位置にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。

### 知識

点滅が異常に速くなった場合は、電球切れが考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

# スイッチの使いかた

## 非常点滅灯スイッチ



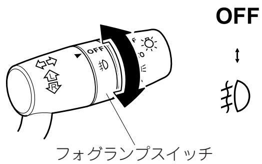
故障などでやむをえず路上駐車するときや、非常時に使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯および、メーター内にある非常点滅表示灯も点滅します。
もう一度押すと消灯します。

### 知識

- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム（ESS）が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。
→ 191 ページ「エマージェンシーシグナルシステム（ESS）とは」
- エマージェンシーシグナルシステム（ESS）作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させ、後続車に注意をうながします。
→ 191 ページ「エマージェンシーシグナルシステム（ESS）とは」

## フォグランプスイッチ グレード/仕様別装備

霧などで視界が悪いときに使用します。




ランプスイッチが≡DO≡または≡Dの位置のとき使用できます。
フォグランプスイッチを≢Dの位置にすると、フォグランプが点灯します。フォグランプが点灯しているときは、メーター内の表示灯が点灯します。
フォグランプスイッチを OFF の位置にする、またはランプスイッチを OFF の位置にすると消灯します。

# ワイパー / ウォッシャースイッチ

電源ポジションが ON のとき作動します。

## ⚠ 警告

必ず守る 寒冷時にウォッシャー液を噴射するときは、ガラスをあたためてから行なう。

**ウォッシャー液がガラス面で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## ⚠ 注意

必ず守る **凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いたまま作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。**

必ず守る **ガラスがかわいているままでワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたりワイパーゴムを損傷するおそれがあります。ガラスがかわいているときは、ウォッシャー液を噴射してください。**

禁止 **ウォッシャー液が十分に出ないときは、ウォッシャースイッチを使用しないでください。ウォッシャー液が出ないままで、ウォッシャースイッチを操作し続けると、ポンプの故障につながるおそれがあります。**

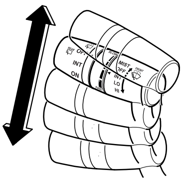
## 知識

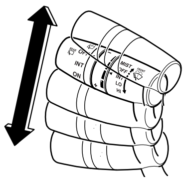
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、ノズルに異物がつまっていることがあります。針などでつまりを取ってください。
- 降雪時にワイパーを作動させていると、ガラスに雪が積もってワイパーが停止することがあります。積雪などでワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを OFF の位置にした後、積もった雪を取り除いてください。

# スイッチの使いかた

## フロントワイパー / ウォッシャー

### ワイパーの操作

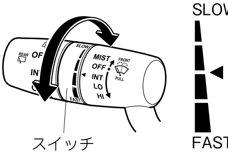



| レバー位置 | 作動状態 |
|---|---|
| MIST | レバーを上に押し上げている間作動 |
| OFF | 停止 |
| INT | 間欠作動 |
| AUTO | オートワイパー機能 / 間欠作動 *1 |
| LO | 低速作動 |
| HI | 高速作動 |

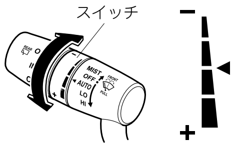
*1 設定変更でオートワイパー機能を OFF にすると、間欠作動に固定されます。
→ 133 ページ「トリップコンピューター」

### 間欠作動時間の調整（標準タイプ）




レバーを**INT**の位置にしているとき、スイッチをまわすと、間欠作動時間を調整できます。

### オートワイパー機能（オートワイパー機能付きタイプ）




レバーをAUTOの位置にしているとき、レインセンサーが雨を感知すると、雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

| 雨量 | 作動状態 |
|---|---|
| 少ない | 間欠作動 |
| 普通 | 低速作動 |
| 多い | 高速作動 |

スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節できます。

**知識**

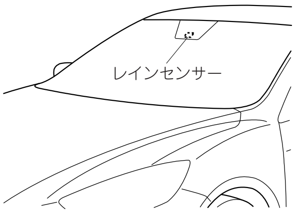
設定変更でオートワイパー機能を OFF にすると、間欠作動に固定されます。
→ 133 ページ「トリップコンピューター」

# スイッチの使いかた

## 注意

禁止

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を正確に感知できなくなります。




禁止

電源ポジションが ON で、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、つぎのような場合はワイパーが自動で作動することがあります。手や指を挟まないよう注意してください。万一手や指を挟むと、けがやワイパーの故障につながるおそれがあります。

- フロントガラスのレインセンサー上部に触れたとき。
- フロントガラスのレインセンサー上部を布などで拭いたとき。
- フロントガラスに衝撃をあたえたとき。
- レインセンサーに車内から衝撃をあたえたとき。

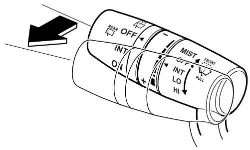
必ず守る

洗車やメンテナンスを行なうときは、ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。

## 知識

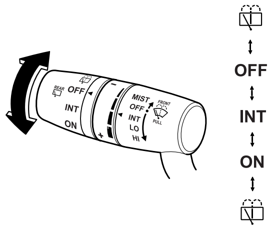
- レインセンサーの温度が－ 10° C 以下、または 85° C 以上のときはオートワイパーが作動しないことがあります。
- フロントガラスに純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- フロントガラスのレインセンサー上部に泥や異物（氷や塩水などを含むもの）が付着しているときや、フロントガラスが凍っているとき、ワイパーが自動で作動することがあります。ワイパーが数回作動してもセンサー上部の泥や異物、氷などを取り除けないときは、オートワイパーは作動を停止します。ワイパーレバーを**LO**または**HI**にしてワイパーを作動させるか、フロントガラスの泥や異物、氷などを取り除いてからオートワイパーを作動させてください。
- レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線等の影響により、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。雨天時以外はワイパーレバーをOFFの位置にして走行することをおすすめします。

## ウォッシャーの操作




レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。

# リヤワイパー / ウォッシャー

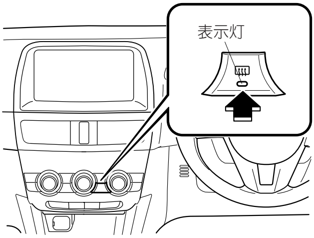



| スイッチ位置 | 作動状態 |
|---|---|
| | リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動 *1 |
| ON | 連続作動 |
| INT | 間欠作動 |
| OFF | 停止 |
| | リヤウォッシャーおよびリヤワイパー作動 |

*1 ワイパーの作動中にウォッシャー液を噴射させるときは、スイッチを ON の位置から上側にまわします。

## リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ

リヤウインドーを熱線であたため、曇りを取ります。
電源ポジションが ON のとき使用できます。
スイッチを押すと約 15 分間作動します。
作動中はスイッチ内の表示灯が点灯します。
作動を停止したいときは、もう一度スイッチを押します。




### 注意

禁止

**リヤウインドーの内側には熱線が取り付けてあります。清掃するときは熱線を傷つけないようにしてください。**
→ 297 ページ「ガラス、ミラーの手入れ」

### 知識

エンジン回転中に使用してください。また、連続して長時間使用しないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

### ミラーの曇り取り

電源ポジションが ON のとき、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーの曇りが取れます。
→ 188 ページ「リヤウインドーデフォッガー（曇り取り）スイッチ」

## ホーン

ハンドルの マーク周辺部を押すとホーンが鳴ります。

# ABS について

## ABS とは

ABS（アンチロックブレーキシステム）は、すべりやすい路面での制動時に起こる車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、操縦性を確保する装置です。

### 警告

必ず守る

ABS を過信せず安全運転に心がける。

**ABS が作動した状態でも車の方向安定性や操縦性には限界があります。また、次のようなときには、速度をひかえめにし、車間距離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が長くなることがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

- **ジャリ道、新雪道を走行しているとき。**
- **タイヤチェーンを装着しているとき。**
- **道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき。**
- **凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき。**

### 注意

必ず守る

**前後輪とも必ず指定されたサイズや種類のタイヤを装着してください。指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。**

## ABS 装備車の取り扱い

急ブレーキを踏まなくてはいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけてください。万一の危険な状況では、次のようにしてください。

1. 危険を感じ急制動が必要なときは、ためらわずブレーキペダルをしっかりと踏み込んでください。
2. ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルから小刻みな振動を感じることがあります。これは ABS が正常に作動しているときの現象です。
3. 障害物を回避するときは、ブレーキペダルを踏みながらハンドルを操作してください。

### 知識

- ABS は低速（約 10km/h 以下）では作動しませんが通常のブレーキ性能は確保されています。
- エンジン始動時や発進直後にモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

# ヒルローンチアシスト (HLA) について

## ヒルローンチアシスト（HLA）とは

ヒルローンチアシスト (HLA) とは、坂道発進を補助する機能です。坂道停車後の発進時、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる際の車両の後退を防ぎます。
急な坂道でブレーキペダルを放したときに自動でブレーキ力を保持します。
セレクトレバーが前進の位置のときは上り坂で作動し、R のときは下り坂で作動します。

### ⚠ 警告

禁止

ヒルローンチアシスト (HLA) を過信しない。

**ヒルローンチアシスト (HLA) はあくまでも発進するときの補助装置です。システムが作動する時間は限られています ( 約 2 秒間 ) ので、システムを過信して発進すると車両が動き出して思わぬ事故につながる恐れがあるため危険です。発進時は周囲の安全を確認してください。積載やけん引の状態によって、車両が意図せず動き出す可能性がありますのでご注意ください。**

### 知識

- 緩勾配の坂道ではヒルローンチアシスト (HLA) が作動しません。また、積載状態によって作動する勾配が若干変化します。
- パーキングブレーキを引いているときや、車両が完全に停車していないときはヒルローンチアシスト (HLA) は作動しません。
- ヒルローンチアシスト (HLA) 作動中にブレーキペダルが硬くなったりペダルが振動することがありますが、異常ではありません。
- TCS/DSC 作動表示灯が点灯しているときは、ヒルローンチアシスト (HLA) が作動しないことがあります。
- TCS OFF スイッチを押して TCS を解除してもヒルローンチアシスト (HLA) は解除されません。
- アイドリングストップ中はヒルローンチアシスト (HLA) は作動しませんが、発進補助機能が作動して車両が動き出すことを防ぎます。

# エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について

## エマージェンシーシグナルシステム（ESS）とは

エマージェンシーシグナルシステム（ESS）は緊急制動時などに車両に急減速が生じたかを判断し、方向指示灯の点滅により、後続車に注意をうながすシステムです。
エマージェンシーシグナルシステム（ESS）作動中はすべての方向指示灯を自動的に高速で点滅させます。
ブレーキペダルを放すか、車両の減速度から急ブレーキではないと判断されたときにシステムは解除されます。

### 知識

- **点滅について**
  すべての方向指示灯が高速点滅中に停車した場合、すべての方向指示灯はブレーキを踏んでいる間、通常の周期で点滅し続けます。
- **作動について**
  エマージェンシーシグナルシステム（ESS）は約 50km/h 以下のときは作動しません。
- すべりやすい路面でブレーキを踏むと、エマージェンシーシグナルシステム（ESS）が作動しすべての方向指示灯が点滅することがあります。

# トラクションコントロールシステム (TCS) について

## TCS とは

TCS（トラクションコントロールシステム）は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保する装置です。

### ⚠ 警告

必ず守る

**TCS を過信せず安全運転に心がける。**

**TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 知識

- エンジン回転が高いときに TCS が作動すると、エンジン回転の変動や車体の振動を感じることがありますが、異常ではありません。
- TCS を解除するときは、TCS OFF スイッチを押して解除してください。
→ 193 ページ「TCS OFF スイッチ」

## TCS/DSC 作動表示灯



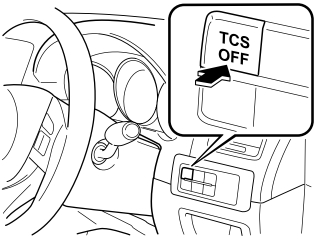
### 点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

### 点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

## TCS OFF スイッチ




スイッチを押すと TCS が解除され、メーター内の TCS OFF 表示灯が点灯します。
もう一度押すと TCS が作動可能な状態になり、TCS OFF 表示灯が消灯します。

### 知識

- ぬかるみや新雪などからの脱出時に TCS が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS を解除します。
- TCS を解除した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると TCS は作動可能な状態にもどります。
- TCS を解除したときは、TCS が装備されていない車と同じ走行性能になります。
- TCS OFF スイッチを 10 秒以上押し続けると、自動的に作動可能な状態になります。

## TCS OFF 表示灯

**TCS**
**OFF**

### 点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- TCS OFF スイッチを押して、TCS を解除すると点灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - TCS を解除していないのに点灯したとき。


運転する前に
運転するときに
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

# ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) について

## DSC とは

DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）は、すべりやすい路面での走行時や、緊急回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりをおさえるため、ABS や TCS などにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保する装置です。
DSC は約 20km/h 以上で作動可能な状態になります。
「ABS について」、「TCS について」もあわせてお読みください。
→ 189 ページ「ABS とは」
→ 192 ページ「TCS とは」

### 警告

必ず守る

**DSC を過信せず安全運転に心がける。**
**DSC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。**
**特に DSC 作動表示灯が点滅しているときは、車両が横すべりしやすい状態になっています。慎重に運転してください。**

### 注意

必ず守る

**DSC を正常に作動させるために次の点をお守りください。**
- **前後輪とも必ず指定されたサイズで、メーカー、銘柄、パターン（溝の模様）が同一のタイヤを装着してください。**
- **摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。**
- **指定以外のサイズや、異なる種類、摩耗差の著しいタイヤを使用しないでください。**

### 知識

- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSC が正常に作動しないことがあります。
- 電源ポジションを ON にした後、インストルメントパネルの奥からカチッと音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

# TCS/DSC 作動表示灯



## 点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、しばらくすると消灯します。
- 次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
  - 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
  - 走行中に点灯したとき。

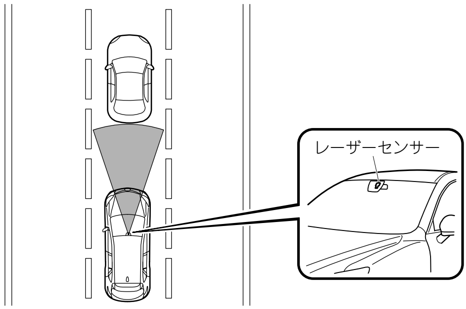
## 点滅するとき

走行中に TCS または DSC が作動すると点滅します。

# スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について

## スマートシティーブレーキサポート（SCBS）とは グレード/仕様別装備

- スマートシティーブレーキサポート (SCBS) は車速が約 4 km/h ～約 30 km/h で走行中に前方車をレーザーセンサーが検知し、前方車との衝突を回避できないと判断したときに、ブレーキ制御 (SCBS ブレーキ ) を行なう装置で、衝突時の被害を軽減します。また自車と前方車との相対速度が約 15 km/h より低いときは、衝突を回避できる場合があります。なお、約 4km/h ～約 30km/h でシステム作動範囲に入っているときに、運転者がブレーキペダルを踏んだときは、ブレーキが素早く確実にかかるよう補助します。 ( ブレーキアシスト (SCBS ブレーキアシスト ))
- スマートシティーブレーキサポート (SCBS) の作動状態、または、故障状態をメーター内のディスプレイでお知らせします。故障状態については、表示されたメッセージの内容によって、車両の状態を確認するかマツダ販売店での点検を受けてください。
  → 141 ページ「警告灯、表示灯」



## ⚠ 警告

**システムを過信しない**（必ず守る）

- スマートシティーブレーキサポート（SCBS）は、あくまでも衝突時の被害を軽減するシステムです。システムを過信してアクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- スマートシティーブレーキサポート（SCBS）は、前方車に対して作動するシステムです。2 輪車や歩行者に対しては作動保障しません。
- スマートシティーブレーキサポート（SCBS）のレーザーセンサーはルームミラー付近に設置され、AT 誤発進抑制制御と共用しています。スマートシティーブレーキサポート（SCBS）の正しい作動のため、次のことをお守りください。
  - レーザーセンサー付近のフロントガラス表面にステッカー（透明なものを含む）などを貼り付けないでください。レーザーセンサーが前方車や障害物を正しく検知できず思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - レーザーセンサーの分解などを行なわないでください。
  - 飛び石などでフロントガラスのレーザーセンサー周辺に傷などが認められるときは、ただちにスマートシティーブレーキサポート（SCBS）の使用を停止し、必ずマツダ販売店で点検を受けてください。レーザーセンサーの周辺にひび割れや引っかき傷などがあるまま運転を続けると意に反して作動し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
    作動を停止させるときは次のページを参照してください。
    →199ページ「スマートシティーブレーキサポート (SCBS) およびAT誤発進抑制制御を停止させるとき」
  - フロントガラスやフロントワイパーを交換する際は、マツダ販売店に相談してください。

**サスペンションを改造しない**（禁止）

- 車高や車の傾きが変わると前走車や障害物を正しく検知できないため、スマートシティーブレーキサポート（SCBS）が正常に作動しなくなったり、誤って作動し、重大な事故につながるおそれがあります。

**シャシーローラーを使うとき、またはけん引されるときは、スマートシティーブレーキサポート (SCBS) を停止する**（必ず守る）

- シャシーローラー上を走行時、またはけん引されるときは誤って作動する恐れがありますので、スマートシティーブレーキサポート (SCBS) を停止してください。
  作動を停止させるときは次のページを参照してください。
  →199ページ「スマートシティーブレーキサポート (SCBS) およびAT誤発進抑制制御を停止させるとき」

# スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について

## ⚠ 注意

必ず守る 草の生い茂ったオフロードなど悪路を走行する際はスマートシティーブレーキサポート（SCBS）を停止してください。

必ず守る 4 輪ともすべて指定されたサイズで、同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンのタイヤを使用してください。また、磨耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。タイヤを混ぜて使用すると、スマートシティーブレーキサポート（SCBS）が正常に作動しなくなるおそれがあります。

必ず守る レーザーセンサーは、ガラスの汚れを検知してお知らせせする機能を備えていますが、ビニール袋や氷、雪などが付着した場合など、状況によっては検知できない場合があります。このようなときは前方車を正しく判断できず、正しい制御ができないおそれがあります。常に前方を注意して運転してください。

## 知識

- スマートシティーブレーキサポート (SCBS) は次の条件のとき作動します。
  - エンジンがかかっているとき
  - メーター内のディスプレイにシステム点検や利用ができないことが表示されていないとき
  - 車速が約 4 km/h ～約 30 km/h のとき
  - スマートシティーブレーキサポート (SCBS) を OFF にしていないとき
  - TCS OFF スイッチを押して TCS を作動停止状態にしていないとき
  - DSC が故障状態でないとき
  - ドライバーが意図的に運転操作を行なっていないとき ( アクセル操作、ステアリング操作、ブレーキ操作 )
- スマートシティーブレーキサポート (SCBS) は近赤外線レーザー光を照射し、前方車のリフレクター ( 反射板 ) からの反射を測定して前方車を検知しています。そのため、次のようなときは、スマートシティーブレーキサポート (SCBS) が作動しない場合があります。
  - 車両形状等により反射作用が低い車両
  - 前方車両が著しく汚れているとき
  - 雨・霧・雪など天候が悪いとき
  - ウインドーウオッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
  - フロントガラスが汚れているとき
  - ハンドルをいっぱいまでまわした状態や、アクセルを踏み込んだ状態で、前方車に接近しているとき
  - 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両
  - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両

## 知識

- 次のような状態のときはスマートシティーブレーキサポート (SCBS) が正常に作動しない場合があります。
  - 荷室やリヤシートへ重い荷物をのせたとき
  - 前方車と部分的な接触の可能性があるとき
  - カーブが連続する道路、カーブの出入口、車線内の位置、事故や故障で不安定な走行をしているとき
  - ルーフレールなどを装着してレーザーセンサーをおおうような長尺物をのせたとき
  - 前方車両の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき
  - 故障車をけん引するとき
- 次のようなときはレーザーセンサーが前方車と判断し、スマートシティーブレーキサポート (SCBS) が作動する場合があります。
  - カーブ入口に路側物があるとき
  - カーブですれ違うとき対向車両があるとき
  - 路面上に金属物、段差または突起物があるとき
  - ETC ゲートを通過するとき
  - ビニールカーテン、旗などを潜って通行するとき
  - パイロンなどのプラスチック類
  - 2 輪、歩行者、動物や立ち木
- 偏摩耗の著しいタイヤを装着して走行した場合、システムが正常に作動しないおそれがあります。タイヤを正常な状態にもどしたあとにマスター警告灯が点灯し続ける場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

## スマートシティーブレーキサポート (SCBS) および AT 誤発進抑制制御を停止させるとき

AT 誤発進抑制制御およびスマートシティーブレーキサポート（SCBS）を一時的に停止させることができます。
→ 133 ページ「トリップコンピューター」
次回エンジンを始動した際にシステムは再び作動状態になります。

# スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について

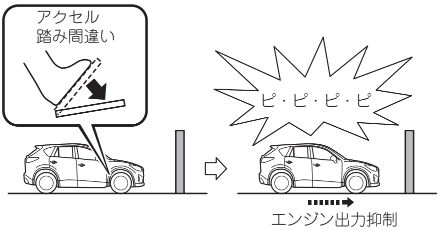
## 自動ブレーキ作動表示




SCBS ブレーキ作動中やブレーキアシスト (SCBS ブレーキアシスト ) 作動中に表示します。

## AT 誤発進抑制制御について

- AT 誤発進抑制制御は車両が徐行中 ( 約 10 km/h 以下 ) や停車時、前方に車や壁などの障害物があるにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれた ( アクセルペダルを踏み間違えたと判断した ) ときに、エンジン出力を抑制することで、衝突時の被害を軽減します。システム作動中はメーター内のディスプレイに作動中をお知らせすると同時に、ビープ音で運転者に警告します。
- システムが故障したときは、メーター内のディスプレイでお知らせします。故障状態については、表示されたメッセージの内容によって、車両の状態を確認するかマツダ販売店での点検を受けてください。
→ 141 ページ「警告灯、表示灯」



## 警告

**AT誤発進抑制制御を過信せず安全運転に心がける**

必ず守る

**AT誤発進抑制制御は、ペダルの踏み間違いによる事故を回避するものではありません。発進時はシフトやペダルの位置を十分に確認して操作してください。アクセルやブレーキなどの操作を怠ると思わぬ事故につながるおそれがあります。**

**停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない**

禁止

**停車状態を保ったり、発進を緩やかにするものではありません。また、障害物の近くで故意にアクセルを踏み込まないでください。意に反して車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## 知識

- AT誤発進抑制制御は次の条件のときに作動します。
  - エンジンがかかっているとき
  - スマートシティーブレーキサポート(SCBS)を停止していないとき
  - TCS OFFスイッチを押してTCSを作動停止状態にしていないとき
  - メータ内のディスプレイに「SCBSシステム点検」が表示されていないとき
  - P、R、Nに入れていないとき
- レーザーセンサーの検知能力には限界があります。次のようなときは、AT誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
  - 前方車両が著しく汚れているとき
  - フロントガラスに氷やビニール袋が付着しているとき
  - ウインドーウオッシャー使用中や降雨時にワイパーを使用していないとき
  - フロントガラスに曇り、雪、汚れ、霜が付着しているとき
  - 急カーブ、急な坂道のとき
  - ハンドルをいっぱいまでまわしたとき
- 次のような障害物はAT誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
  - 障害物の高さが低いとき(低い壁、低いガードレール、トレーラーなどの後部)
  - 障害物が小さいとき
  - 障害物が細いとき(標識の支柱など)
  - 障害物が自車の中心から外れた位置にあるとき
  - 黒い障害物、汚れた障害物(レーザーが反射しにくい障害物)
  - フェンス、ガラスなどレーザーが透過(通過)する障害物
  - 荷台の低いトラック、極端に車高の低い車両や車高の高い車両
  - キャリアカーなど、特殊な形状をした車両

# スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について

## 知識

- 次のような状態のときはAT誤発進抑制制御が作動しない場合があります。
  - フロントガラスに汚れ、雨、雪、氷などが付着しているとき
  - ボンネットの上に雪などの障害物があるとき
- 次のような状態のときは、AT誤発進抑制制御が正常に作動しない場合があります。
  - 雨・霧・雪など天候が悪いとき
  - 前方車両の排気ガス、砂や雪、マンホールやグレーチングなどからの水蒸気などによる煙、水しぶきが巻きあがっているとき
  - 荷室やリヤシートへ重い荷物をのせたとき
  - 障害物などと部分的な接触の可能性があるとき
  - カーブが連続する道路、カーブの出入口、車線内の位置、事故や故障で不安定な走行をしているとき
  - ルーフレールなどを装着してレーザーセンサーをおおうような長尺物を装着したとき
  - 車、二輪車、自転車などが横から割り込んだり、飛び出してきたとき
  - 自車が進路変更を行い、障害物のすぐ後ろに接近したとき
- 次のようなときは、レーザーセンサーが障害物と判断し、AT誤発進抑制制御が作動する場合があります。
  - 道路沿いの草木、垣根、車両、壁、フェンスを感知しているとき
  - 草の生い茂ったオフロードなど悪路を走行するとき
  - 低いゲート、狭いゲート、洗車機、トンネルなどを通行するとき
  - 路面上に金属物、段差または突起物があるとき
  - ビニールカーテン、旗などを潜って通行するとき
  - パイロンなどのプラスチック類
  - 2輪、歩行者、動物や立ち木
  - 完全に開いていない駐車場ゲートや遮断機
  - シャシーダイナモなど使用するとき
  - キャリアカーに積載するとき
- 踏切内に閉じ込められた場合、レーザーセンサーが遮断機を障害物と判断し、AT誤発進抑制制御が作動することがあります。遮断機を押しのけて進む場合、あわてずにアクセルを踏み続けて、脱出してください。脱出後は、車両が急加速することがありますので、注意して運転してください。

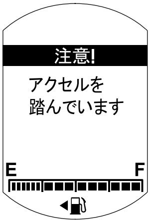
## AT 誤発進抑制制御を停止させるとき

スマートシティーブレーキサポート (SCBS) を停止させると、AT 誤発進抑制制御が停止します。作動を停止させるときは次のページを参照してください。

→199ページ「スマートシティーブレーキサポート (SCBS) およびAT誤発進抑制制御を停止させるとき」

次回エンジンを始動した際にシステムは再び作動状態になります。

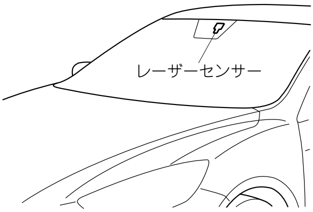
# AT 誤発進抑制制御表示




エンジン回転中に車両が徐行中 ( 約 10 km/h 以下 ) や停車時、前方に車や壁などの障害物があるにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれる ( アクセルペダルを踏み間違えたと判断する ) とディスプレイに表示され、チャイムが鳴ります。

# レーザーセンサーの取り扱い

スマートシティーブレーキサポート（SCBS）のレーザーセンサーは、フロントガラスの上のルームミラー付近に設置されています。




スマートシティーブレーキサポート（SCBS）の正しい作動のため、レーザーセンサー付近のフロントガラス表面は、いつもきれいにしておいてください。

# スマートシティーブレーキサポート (SCBS) について

## 警告

レーザーは目を損傷するおそれがありますので、次の事項を必ず守ってください。

- センサーは絶対に取り外さないでください。
- 取り外したセンサーは IEC 60825-1 規格におけるレーザー等級 1M の条件を満たしませんので、目に対する安全を保証できません。
- センサーから 100 mm 以内の距離で、拡大鏡・顕微鏡・対物レンズなど拡大機能がある光学機器を使用して、センサーをのぞき込まないでください。

レーザー等級ラベル

INVISIBLE LASER RADIATION
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS (MAGNIFIERS)
CLASS 1M LASER PRODUCT

レーザー説明ラベル

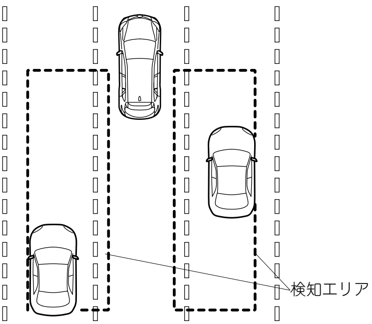
Max average power: 45 mW
Pulse duration: 33 ns
Wavelength: 905 nm

IEC 60825-1 :2007
Complies with FDA performance standards for laser products except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated July 26th , 2001

レーザーセンサー放射線データ
最大平均出力：45 mW
パルス幅：33 ns
波長：905 nm
発散角（水平×垂直）：28° × 12°

# リアビークルモニタリングシステムについて

## リアビークルモニタリングシステムとは グレード/仕様別装備




リアビークルモニタリングシステムは、自車の隣接車線の後方から接近する車両の存在を知らせせることにより、車線変更時の後方確認をアシストするシステムです。
当システムの検知エリアは、自車の左右に隣接する車線で、自車のフロントドア後端付近から自車の後方約 50m までです。
当システムは、後方からの接近車両を検知して、その接近状態に応じてドアミラーに設置した RVM 接近表示灯を点灯させせます。RVM 接近表示灯が点灯した状態で、その点灯した側に方向指示器のレバーを操作すると、RVM 接近表示灯が点滅するとともに警報チャイムによってドライバーに危険を知らせます。

### ⚠ 警告

必ず守る

実際の車線変更時には、必ず目視にて周辺状況を確認する。

**本システムは車線変更時の後方確認をアシストするシステムです。本システムの作動には各種の制約があるため、隣接車線に車両が存在する場合でも RVM 接近表示灯が点灯しなかったり、点灯が遅れる場合があります。必ず、ドライバーの責任において後方を確認してください。**

### 知識

- リアビークルモニタリングシステムは次の条件をすべて満たしているときに作動します。
  - 電源ポジションが ON のとき
  - RVM スイッチを押してメーター内の RVM 表示灯（緑）が点灯しているとき
  - 車速が約 30km/h 以上のとき
- リアビークルモニタリングシステムは次のときには作動しません。
  - RVM 表示灯（緑）が点灯している場合でも、車速が約 30km/h を下回ったとき
  - 自車がセレクトレバーを R にいれて後退走行中のとき

前に運転する
運転するときに
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

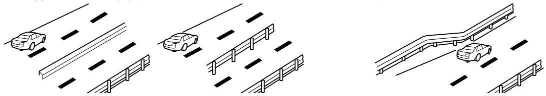
# リアビークルモニタリングシステムについて

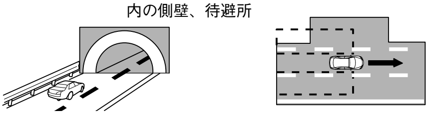
## 知識

- 次の場合、システムはRVM警告灯（橙）を点灯させ、システムの作動を停止します。RVM警告灯（橙）が点灯し続ける場合は速やかにマツダ販売店で点検を受けてください。
  - RVM接近表示灯を含むシステムに何らかの異常が認められるとき
  - レーダーセンサーの車両への搭載位置に大きなズレが生じたとき（リアビークルモニタリングシステムのレーダーセンサーが接近車両を正しく検出するために、車両搭載状態でレーダーセンサーの向きを車両ごとに調整して出荷しています。レーダーの向きが何らかの原因でずれた場合は再調整が必要です。）
  - レーダーセンサー付近のリヤバンパー上に雪や氷などが多量についたとき
  - 雪道を長時間走行したとき
  - 夏場に上り坂を長時間走行するなどレーダー付近の温度が非常に高くなったとき
  - バッテリーの電圧が下がっているとき
- レーダーの検知性能には限界があります。次のような場合はリアビークルモニタリングシステムの検知性能が低下し、正常に作動しないことがあります。
  - レーダーセンサー付近のリヤバンパーが変形したとき
  - リヤバンパーのレーダーセンサー付近に氷、雪や泥が付着しているとき
  - 雨、雪、霧などの悪天候のとき
- 次のような車両に対してはレーダーセンサーが検知しないか、もしくは検知しにくいことがあります。
  - 小型の二輪車、自転車、歩行者、道路上および道路端の静止物体
  - レーダーが反射しにくい形状の車両（車高の低い空荷のトレーラー、スポーツカーなど）
  - 隣車線後方の検知エリアにいても、自車に接近してこない車両（接近車両はレーダーの検出データをもとにシステムが判断しています。）
  - 自車とほとんど速度差なく長い時間並走している車両
  - 対向車
  - 自車が追い越そうとしている隣接車線の車両
  - 道路幅が極端に広い場合の隣接車線の車両（レーダーセンサーの検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。）
- 次のような場合は、RVM接近表示灯の点灯および警報チャイムの警告が遅れるか、点灯/警告ができないことがあります。
  - 車両が2つ離れた車線から隣接車線に車線変更してきたとき
  - 急勾配を走行しているとき
  - 峠を越えるとき
  - 回転半径が小さいとき（急カーブや交差点を曲がるときなど）
  - 自車線と隣接車線の高さに差があるとき
  - リアビークルモニタリングシステムをONにした直後

## 知識

- 道路幅が極端に狭い場合は、2 車線横の車両を検知する場合があります。（レーダーセンサーの検知エリアは、高速道路の道路幅に対して設定してあります。）
- 道路上および道路端の停止物（ガードレール、トンネル、側壁等）に対して RVM 接近表示灯が点灯する場合があります。




- トレーラー等をけん引したり、車両後部に自転車のキャリア等を装着した場合は、リアビークルモニタリングシステムを解除してください。レーダーの電波がさえぎられるためシステムが正常に作動しない可能性があります。
- リアビークルモニタリングシステムのレーダーセンサーは日本国内の電波法の認可を受けています。日本国外で走行する際には、その国の認可を受ける必要があります。
- 市街地の交差点を曲がるときなどに、RVM 接近表示灯が点滅、または警報チャイムが複数回鳴る場合があります。

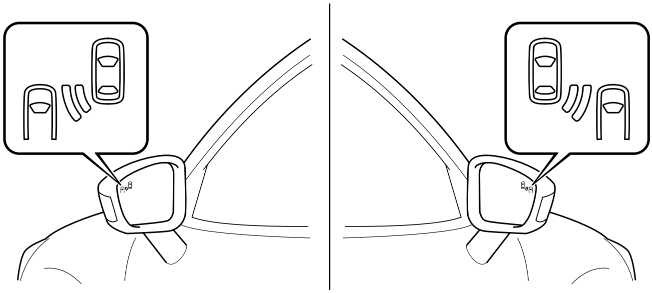
## RVM 接近表示灯 / 警報チャイム

リアビークルモニタリングシステムが作動中は、RVM 接近表示灯や警報チャイムで、隣接車線に車両があることを知らせます。

### RVM 接近表示灯

ドアミラーに取り付けられています。後方からの接近車両を検知すると点灯します。点灯した状態で、点灯側へ方向指示器のレバーを操作すると点滅し、ドライバーに危険を知らせます。

# リアビークルモニタリングシステムについて



### 減光解除機能

ランプスイッチをまたはの位置にすると、RVM 接近表示灯が点灯したときの明るさは減光されます。
雪道や霧での走行時など、周囲が明るく減光状態では RVM 接近表示灯が見えにくい場合には、減光解除ボタンを押すと減光が解除され RVM 接近表示灯が点灯したときの明るさが明るくなります。
→ 136 ページ「パネルライトコントロールスイッチ」

### 警報チャイム

RVM 接近表示灯の点滅と同時に吹鳴し、ドライバーに危険を知らせます。

## RVM 警告灯 ( 橙 )/RVM 表示灯 ( 緑 )

RVM

### RVM 警告灯（橙）

#### 点灯するとき

- 電源ポジションを ON にすると点灯し、リアビークルモニタリングシステムが作動可能なときは RVM 表示灯（緑）に切り替わります。リアビークルモニタリングシステムが解除されているときは消灯します。
- システムに異常があるときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

### 知識

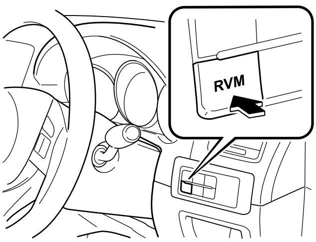
悪天候、バンパーの汚れ等によりレーダー感度が一時的に低下し点灯することがありますが、故障ではありません。

## RVM 表示灯（緑）

### 点灯するとき

リアビークルモニタリングシステムが作動可能なとき点灯します。

## RVM スイッチ

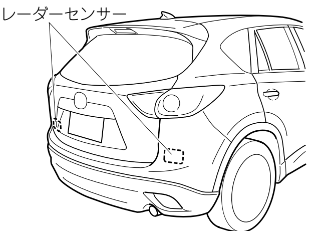



スイッチを押すとメーター内の RVM 表示灯（緑）が点灯し、リアビークルモニタリングシステムが作動可能な状態になります。
もう一度押すとリアビークルモニタリングシステムが解除され、RVM 表示灯（緑）が消灯します。

### 知識

- 電源ポジションを OFF にしたときは、OFF にする前の状態が保持されます。たとえば、リアビークルモニタリングシステムが作動可能な状態で電源ポジションを OFF にすると、次に電源ポジションを ON にしたときはリアビークルモニタリングシステムは作動可能な状態のままです。
- バッテリーのターミナルやヒューズの脱着などにより、バッテリーとの接続が断たれるとリアビークルモニタリングシステムは OFF になります。リアビークルモニタリングシステムを作動させる場合は、RVM スイッチを押して ON にしてください。

## レーダーセンサーの取り扱い




リアビークルモニタリングシステムのセンサーはリヤバンパーの内側に左右 1 つずつ設置されています。
リアビークルモニタリングシステムの正しい作動のため、レーダーセンサー付近のバンパー表面は、いつもきれいにしておいてください。またステッカー等も貼り付けないでください。
→ 295 ページ「外装の手入れ」

### 知識

レーダーセンサーの修理、交換およびレーダーセンサー付近のバンパーの修理、塗装、交換をするときは、マツダ販売店にご相談ください。

# クルーズコントロールについて

## クルーズコントロールとは グレード/仕様別装備

アクセルペダルを踏まなくても車速を約 30 ～ 100km/h の間に設定できる装置です。
高速道路、加速 / 減速の繰り返しが少ない自動車道などで使用してください。

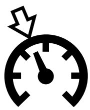
### ⚠ 警告

禁止

**次のような場所では使用しない。**
**思わぬ事故につながるおそれがあります。**

- **急なカーブ、交通量が多く車間距離が十分にとれない道路（道路状況に合わせた走行はできません）**
- **急な下り坂（エンジンブレーキが十分に効かず、セット速度をこえることがあります）**
- **凍結路や積雪路などのすべりやすい路面（タイヤが空転して、車のコントロールを失うおそれがあります）**

## 表示灯



### クルーズメイン表示灯（橙）

**点灯するとき**

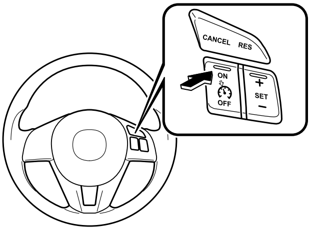
ON スイッチを押すと点灯します。
OFF スイッチを押すと消灯します。

### クルーズコントロール表示灯（緑）

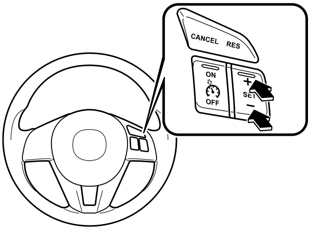
**点灯するとき**

速度が設定されると点灯します。
OFF スイッチを押すと消灯します。

## 設定するとき




1 ON スイッチを押すと速度の設定ができる状態になります。同時にメーター内のクルーズメイン表示灯が点灯します。




2 アクセルペダルの操作で希望の速度に調節します。

3 SET ＋または SET －スイッチを押すと定速走行をはじめます。同時にメーター内のクルーズコントロール表示灯が点灯します。クルーズコントロール表示灯が点灯したら、すぐにスイッチから手を離します。

### ⚠ 警告

必ず守る

**クルーズコントロールを使用しないときは、必ず OFF にする。**

**常に使用できる状態にしておくと、誤ってクルーズコントロールを作動させ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 知識

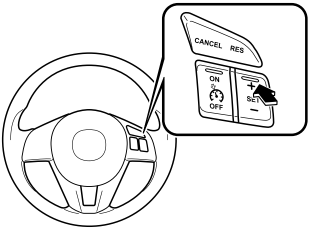
- 急な上り坂または下り坂など、走行条件によっては設定速度を一定に保てない場合があります。
- SET ＋スイッチを押したままにすると加速をはじめます。SET －スイッチを押したままにすると減速をはじめます。

# クルーズコントロールについて

## 設定速度を上げるとき

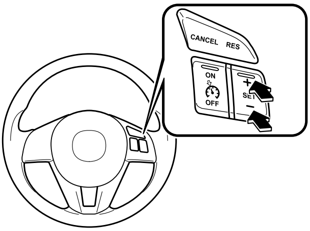
次の操作で設定速度を上げることができます。

### スイッチで加速するとき



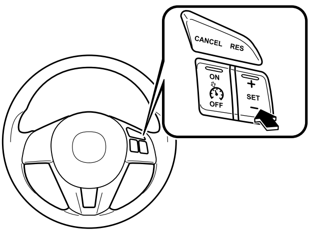

SET ＋スイッチを押したまま、希望の速度になったところで手を離します。
スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節（約1km/h）ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4km/h 上がります。

### アクセルペダルで加速するとき



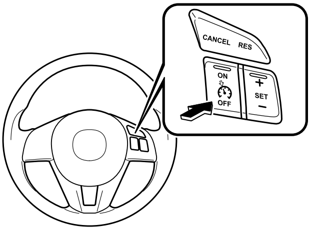

アクセルペダルを踏み、希望の速度になったところで SET ＋または SET －スイッチを押します。
スイッチを操作しなければ、アクセルペダルから足を離すと、もとの設定速度にもどります。

## 設定速度を下げるとき

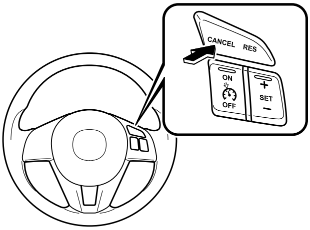



SET －スイッチを押し続け、希望の速度になったところで手を離します。
スイッチを押してすぐに手を離すと、設定速度の調節（約1km/h）ができます。たとえば、スイッチを 4 回押すと、設定速度が約 4km/h 下がります。

## 解除するとき




OFF スイッチを押すと、クルーズコントロールが解除され、クルーズコントロール表示灯とクルーズメイン表示灯が消灯します。




次のようなときは、クルーズコントロールが解除されクルーズコントロール表示灯が消灯しますが、クルーズメイン表示灯は点灯したままです。車速が 30km/h 以上であれば、RESUME スイッチを押すと、もとの設定速度にもどります。

- CANCEL スイッチを押したとき。
- ブレーキペダルを踏んだとき。

### 知識

- 設定速度より、約 15km/h 以上下がったとき、クルーズコントロールが解除されることがあります。
- 車速が 30km/h 未満になると、クルーズコントロールが解除されます。この場合、車速を 30km/h 以上にして RESUME スイッチを押しても、もとの設定速度にはもどりません。クルーズコントロールを設定しなおしてください。

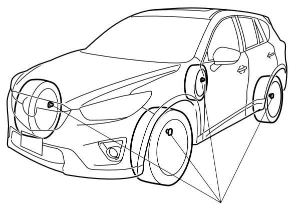
# タイヤ空気圧警報システムについて

## タイヤ空気圧警報システムとは

タイヤ空気圧警報システムは、タイヤ空気圧をモニターし、空気圧が規定値以下になったとき、メーター内のタイヤ空気圧警告灯を点灯させると同時に、警報チャイムで運転者に警告するシステムです。
タイヤ空気圧警報システムは、ABS ホイールスピードセンサーからのデータを使って、タイヤ空気圧を間接的にモニターしています。正常に機能させるためには、指定空気圧（タイヤ空気圧ラベルの値）で、初期化する必要があります。手順に従って、必ず初期化を行ってください。

**マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車**

メーター内のディスプレイにメッセージが表示されます。表示されたメッセージの内容によって、車両の状態を確認するかマツダ販売店での点検を受けてください。
→ 141 ページ「警告灯、表示灯」
→ 334 ページ「警報チャイム」




### ⚠ 注意

必ず守る
タイヤの空気圧は徐々に（自然に）低下します。月に一度は空気圧計を使用して空気圧が適正であることを点検してください。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。
空気圧を規定値に調整しても低下する場合は、亀裂の有無やバルブ（空気口）などを点検してください。詳しくはマツダ販売店へご相談ください。

必ず守る
タイヤ空気圧警告灯が点灯した場合は、空気圧を確認し、できるだけ早く空気圧を適正にしてください。空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗します。また、空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

必ず守る
タイヤ空気圧警報システムを適切に使用するため、タイヤやホイールを交換した場合はシステムの初期化を行い、警告灯を確認してください。

必ず守る
タイヤ空気圧警報システムを過信しないでください。急激な空気の抜けのときなどは、システムが空気圧の低下を検知できない場合があります。

## 知識

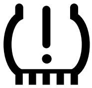
- 空気圧の調整はタイヤが冷えている状態で行ってください。空気圧はタイヤの温度で変化するため、空気圧を調整する前は、車両を 1 時間放置するか、走行する場合は 1.6km 以内にしてください。温まった状態で空気圧を調整すると、タイヤが冷えたとき空気圧が指定値を下回るため、警告灯 / 警報チャイムが作動する場合があります。
- タイヤ空気圧警報システムはタイヤの微妙な変化を感知しています。次のような場合は警報が早く作動したり、遅く作動したりすることがあります。
  - サイズ、メーカー、型式が指定されたタイヤと異なるとき
  - 前後左右のタイヤサイズ、メーカー、型式が異なるときや、磨耗程度が著しく異なるとき
  - スタッドレスタイヤ、スノータイヤを使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
  - タイヤパンク応急修理キットを使って応急修理をしたタイヤを使用しているとき
  - 指定空気圧より極端に高い空気圧で使用しているときや、走行中のバースト ( 破裂 ) などにより急激に空気圧が低下したとき
  - 約 15km/h 未満の速度で走行しているとき ( 車両停止時含む ) や、約 5 分未満の短時間走行のとき
  - 極端に荒れた路面や、凍結路などのすべりやすい路面を走行しているとき
  - ワインディング走行など激しいハンドル操作や加減速が繰り返される走行をしているとき
  - 片側に重い荷物を乗せるなど 1 輪に車重が偏っているとき
  - 指定空気圧でシステムの初期化をしていないとき

タイヤ空気圧を調整し初期化を行ったあとも警告灯が再点灯する場合は、タイヤのパンクが考えられます。

→ 315 ページ「パンクしたとき」

# タイヤ空気圧警報システムについて

## タイヤ空気圧警告灯



### 点灯するとき

タイヤの空気圧が低下したときは点灯します。
タイヤ空気圧を適正空気圧に調整し初期化を行ってください。
→ 359 ページ「タイヤ空気圧」
調整し初期化を行った後も点灯する場合はタイヤのパンクが考えられます。
→ 315 ページ「パンクしたとき」

### 点滅するとき

タイヤ空気圧警報システムに異常があると、電源ポジションを ON にすると約 1 分間点滅し、その後点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

**警告**

必ず守る

**タイヤ空気圧警告灯が点灯または点滅したときは高速走行をしない。**

**警告灯が点灯または点滅したときは、ブレーキの効きやハンドルの操作性が低下することがあります。徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。高速走行や急なブレーキ操作などをするとおもわぬ事故につながるおそれがあります。**

## タイヤ空気圧警報チャイム

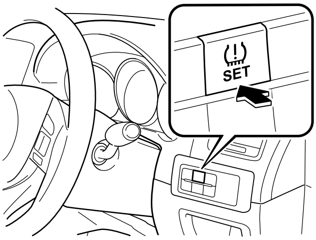
タイヤの空気圧が低下したときに吹鳴します。

## タイヤ空気圧警報システムの初期化

タイヤ空気圧警報システムを正常に作動させるために、次のような場合は初期化が必要です。必ず実施してください。

- 空気圧を調整したとき
- タイヤローテーションをしたとき
- タイヤやホイールを交換したとき
- バッテリーが完全に放電したときやバッテリーを交換したとき
- タイヤ空気圧警告灯が点灯したとき

### 初期化方法




1 安全な場所に停車し、パーキングブレーキをしっかりとかけます。
2 タイヤが冷えている状態で、4 輪すべてのタイヤ空気圧を空気圧ラベルの値に調整します。
3 電源ポジションを ON にします。
4 停車したままで、タイヤ空気圧警告灯が 2 回点滅しビープ音が 1 回吹鳴するまで、タイヤ空気圧警報システムセットスイッチを押し続けます。

**マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車**

メーター内のディスプレイに初期化できたことを示すメッセージが表示されます。

**注意**

必ず守る

**タイヤ空気圧を調整して初期化を行なってください。調整せずに行うと、正常状態の空気圧を検知できないため、空気圧が低下してもタイヤ空気圧警告灯が表示されなかったり、正常であるにもかかわらず警告灯が表示されることがあります。**

**知識**

走行中にスイッチを押し続けても初期化は行われません。

# 駐車支援システムについて

## 駐車支援システムとは

駐車支援システムは以下のモニターシステムで構成されています。

- サイドモニター
  - 車両左前方側面の映像上に映し出したガイド線で、車の前進と左前側面を補助するシステムです。
- バックガイドモニター
  - 車両後方の映像上に映し出したガイド線で、車の後退を補助するシステムです。

### ⚠ 警告

**駐車支援システムはあくまでも前進 / 後退操作を行なうための補助装置です。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。画面だけを見て前進 / 後退すると障害物に接触したり、思わぬ事故につながるおそれがあるため、必ず前方 / 後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。**

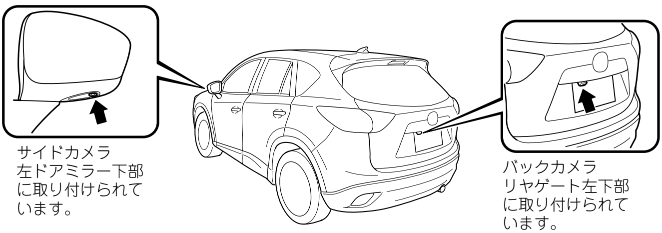
### ⚠ 注意

- 以下のような状況では危険ですので、駐車支援システムを使用しないでください。
  - 凍結した滑りやすい路面や雪道
  - タイヤチェーン · 応急用タイヤを使用しているとき
  - ドアやリヤゲートが完全に閉まっていないとき
  - 坂道などの平坦でない道路
- ディスプレイが冷えているとき、映像が尾を引いたり、画面が通常よりも暗くなり、車両周辺の状況を確認しにくくなる場合があります。必ず後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ部に強い衝撃を与えないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、分解 · 改造 · 取りはずしをしないでください。
- カメラのカバーは樹脂ですので、油膜取り剤 · 有機溶剤 · ワックス · ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにやわらかい布等でふき取ってください。
- カメラのカバーを強くこすったり、研磨剤や硬いブラシなどでみがいたりしないでください。カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。

### 知識

- カメラのレンズに水滴や雪、泥などがついているときは、やわらかい布等でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。
- 車両側面 / 後部をぶつけたときは、カメラ（位置、取り付け角度）がずれているおそれがあります。必ず販売店で確認を行なってください。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラ部に急激な温度変化をあたえると、駐車支援システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- バッテリーの電圧が低いときや、アイドリングストップが再始動するときに画面が見えにくくなることがありますが、異常ではありません。

## カメラの取り付け位置




## 表示位置

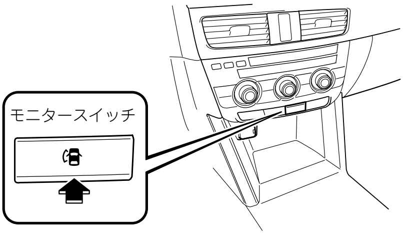
ルームミラーに表示します。

### 知識

モニターの明るさは自動で調整されます。

## サイドモニターに切り替えるには

電源ポジションが ON のときに、モニタースイッチを押すとサイドモニターに切り替わります。



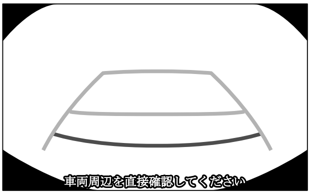
# 駐車支援システムについて

## 知識

- サイドモニターは、次の状態になると解除されます。
  - 電源ポジションを ACC または OFF にしたとき
  - 連続表示が約 4 分 30 秒経過したとき
  - 車速が約 20km/h 以上になったとき
- バックガイドモニターを表示しているとき、モニタースイッチを押すと、サイドモニターが表示されます。

### バックガイドモニターに切り替えるには

電源ポジションが ON のとき、セレクトレバーを R に入れるとバックガイドモニターに切り替わります。




## 知識

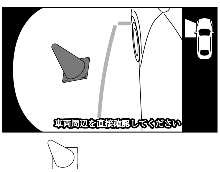
バックガイドモニター作動前にサイドモニターを表示していた場合、セレクトレバーを R 以外の位置に入れると、サイドモニター画面にもどります。

## サイドモニター

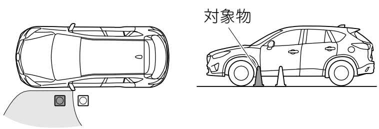
### 画面に映し出される範囲について

左ドアミラー内に設置されたカメラから、車両左前方側面を映し出します。

（画面の状況）




（実際の状況）



## ⚠ 注意

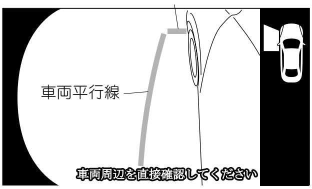
ドアミラーを格納したまま使用しないでください。

## 知識

- サイドカメラとルームミラーは保安基準適合部品です。サイドカメラとルームミラーが故障したときは速やかにマツダ販売店にご相談ください。
- 自車の状況や路面状況により、映し出される範囲は異なります。
- カメラが映す範囲には限界があります。バンパーの下にあるものやバンパーの両端付近は映りません。
- サイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離間隔は実際の距離とは異なります。
- 装備によってはカメラに写りこむ場合があります。カメラの視野に影響をおよぼすもの ( 視野を遮るもの、光を発するもの、光沢素材でできているものなど ) は取り付けないでください。
- 次のような状況では、画面が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
  - 夜間など暗いところ
  - レンズ付近の温度が高い / 低いとき
  - 雨天時など、カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき
  - カメラ付近に泥などの異物がついたとき
  - 太陽やヘッドランプなどの光がカメラのレンズに直接当たったとき

### 画面の見方

車両の左前方の映像を映し出して発車時、駐・停車時に周囲の安全を確認するときの補助としてご使用ください。




車両平行線（黄色）

- ドアミラーを含んだ車幅の目安を示します。

車両前端線（黄色）

- 車両の先端の目安を示します。




カメラ位置アイコン

- サイドモニターを表示していることを示します。

# 駐車支援システムについて

## サイドモニターの使用

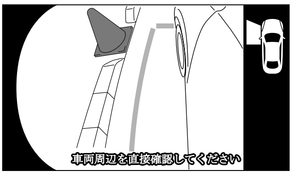
**⚠ 注意**

**サイドモニターを使って運転する方法は、道路事情・路面状況・自車の状況によって違います。ハンドル操作のタイミング・操作量は状況によって異なりますので、周囲を確認しながら状況に合わせた操作を行なってください。**

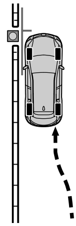
### 車両平行線

車両平行線が路肩の縁石などの障害物にかかっていないことを確認します。
路肩の縁石などの障害物と車両平行線が重ならないように車両を幅寄せします。このとき車両平行線と目標物が平行になるようにハンドルを操作すると目標物と平行に駐車することができます。

（画面の状況）




（実際の状況）

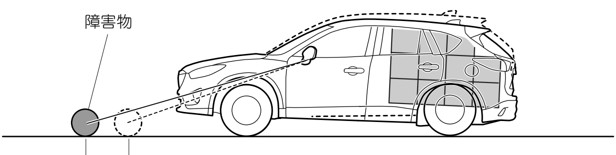


## 実際の画面と路面の誤差

実際の路面と画面上の路面とでは誤差が生じます。距離感の誤差は事故につながるおそれがありますので、次のような誤差の起こりやすい状況を確認しておいてください。

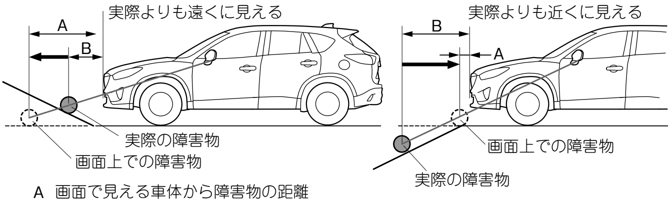
### 人や荷物の重みで車が傾いているとき

車両が傾いているときは、カメラに映る障害物は車体前部からの距離が実際の位置と違って見えます。



## 車両前方に勾配の急な上り坂や下り坂があるとき

車両前方に勾配の急な上り坂（下り坂）があるときは、カメラに映る障害物は車体前部からの距離が実際よりも遠く（近く）にあるように見えます。




A 画面で見える車体から障害物の距離
B 車体から障害物の実際の距離

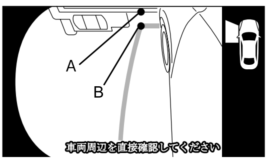
### 知識

車両が坂にある場合でも同じように誤差が生じます。

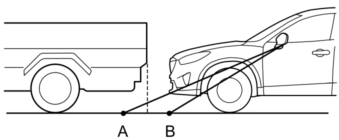
## 車両前方に立体物があるとき

車両前端線は水平な路面を基準に表示されているため、画面に映っている立体物との距離は実際とは異なります。

（画面の状況）




（実際の状況）

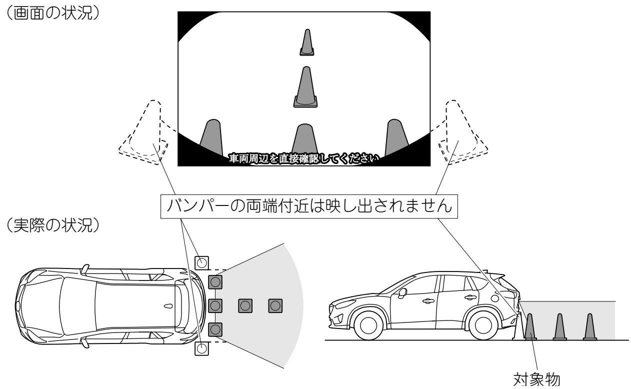


# 駐車支援システムについて

## バックガイドモニター

### 画面に映し出される範囲

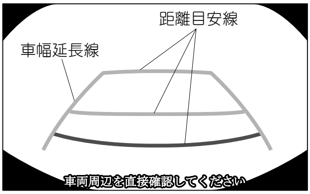
車両後方の映像を映し出して駐・停車時に障害物や車間距離を確認するときの補助としてご使用ください。
車両後部に設置されたカメラから、ほぼ水平に映し出します。




### 知識

- 自車の状況や路面状況により、映し出される範囲は異なります。
- カメラが映す範囲には限界があります。バンパーの下にあるものやバンパーの両端付近は映りません。
- バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離間隔は実際の距離とは異なります。
- バックガイドモニターは鏡面画像になっています。
- 装備によってはカメラに写りこむ場合があります。カメラの視野に影響をおよぼすもの ( 視野を遮るもの、光を発するもの、光沢素材でできたものなど ) は取り付けないでください。
- 次のような状況では、画面が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
  - 夜間など暗いところ
  - レンズ付近の温度が高い / 低いとき
  - 雨天時など、カメラに水滴がついたときや湿度が高いとき
  - カメラ付近に泥などの異物がついたとき
  - 太陽やヘッドランプなどの光がカメラのレンズに直接当たったとき

## 画面の見方




車幅延長線（黄色）

- 車幅の延長の目安を示すライン

距離目安線

- 車両後方の距離（バンパー後端から）を示すライン
  - 赤色のラインは約 0.5m 先を示します。
  - 黄色のラインは約 1m と約 2.7m 先を示します。

## 使用例

### ⚠ 注意

**バックガイドモニターを使って駐車する方法は、駐車時の道路事情、路面状況、自車の状況によって違います。ハンドル操作のタイミング、操作量は状況によって異なりますので、周囲を直接確認しながら状況に合わせた操作を行なってください。また、操作を行なう前は、必ず駐車スペースに車両が駐車できるかを確認してください。**

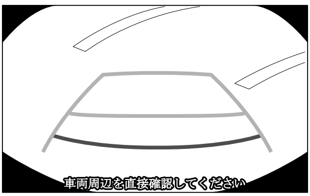
### 知識

次に示す状況は、ハンドルを右側にまわして後退し、駐車する例を示しています。逆方向から後退し駐車するときは、左右が逆になります。

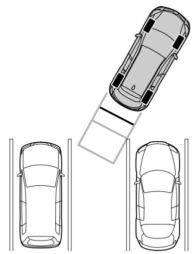
1 セレクトレバーを R の位置にし、バックガイドモニターを表示します。

2 車両が駐車スペースの中に入るようにハンドル操作を行ない後退します。

（画面の状況）



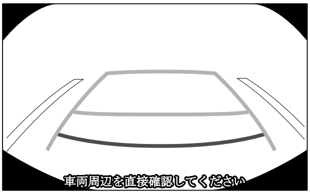

（実際の状況）



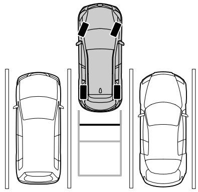
# 駐車支援システムについて

3 車両が駐車スペース内にはいったら、車幅延長線と駐車スペース左右の間隔が、車両付近の位置で同じくらいになるようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

（画面の状況）



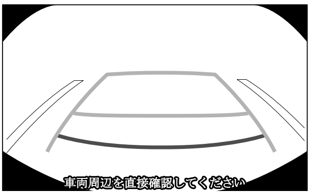

（実際の状況）



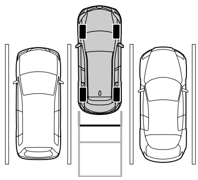
4 車幅延長線と駐車スペースが平行になるようにハンドルを操作します。

5 平行になったら、ハンドルを直進状態にして、ゆっくり後退します。周囲の状況を十分に確認し、最適な位置で停止します。（駐車スペースに区画線がある場合は区画線と車幅延長線が平行になったら）

（画面の状況）

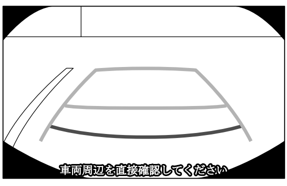



（実際の状況）



## 知識

- 駐車するときは、以下のように画面に映し出される映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
  - 画面に映し出される駐車スペース（車庫など）の後端と距離目安線が平行に見えても、実際には平行でないことがあります。
  - 駐車場の区画線が片側しかないときは、区画線と車幅延長線が平行に見えていても、実際には平行ではないことがあります。

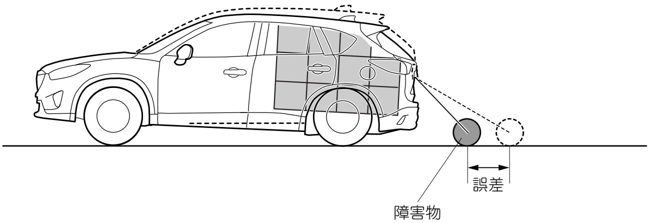


## 実際の画面と路面の誤差

実際の路面と画面上の路面とでは誤差が生じます。距離感の誤差は事故につながるおそれがありますので、次のような誤差の起こりやすい状況を確認しておいてください。

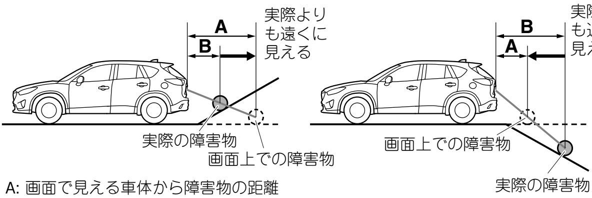
### 人や荷物の重みで車が傾いているとき

車両が傾いて後部が下がっているときは、カメラに映る障害物は車体後部からの距離が実際よりも遠くにあるように見えます。




### 車両後方に勾配の急な上り坂や下り坂があるとき

車両後方に勾配の急な上り坂（下り坂）があるときは、カメラに映る障害物は車体後部からの距離が実際よりも遠く（近く）にあるように見えます。

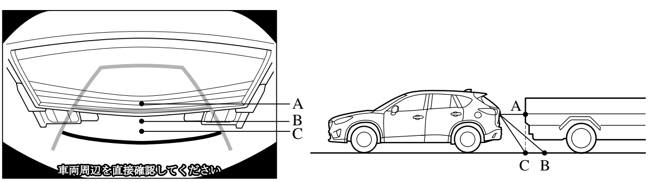



A: 画面で見える車体から障害物の距離
B: 車体からの障害物の実際の距離

### 車両後方に立体物があるとき

距離目安線は水平な路面を基準に表示されているため、画面に映っている立体物との距離は実際とは異なります。

（画面の状況）　　（実際の状況）




画面上の距離感　A>B>C　　実際の距離　A=C<B

# ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) について

## ディーゼルパティキュレートフィルター（DPF）とは

ディーゼルパティキュレートフィルター（DPF）はディーゼルエンジンの排気ガスに含まれるPM（Particulate Matter: 粒子状物質）のほとんどを捕集し、除去するものです。
通常走行中はDPFで捕集されたPMは自動で除去されますが、次のようなときはPMが自動で除去されません。

- 車速約15km/h以下で走り続けているとき
- 10分以下の短時間走行の繰り返しやエンジンが暖機できないような走行を繰り返したとき
- 長時間アイドリング状態のとき

### 知識

走行中に自動でPMを除去しているとき、エンジン音や排気ガスの臭いが変化することがあります。

システムの故障状態をワーニングでお知らせします。
→141ページ「警告灯、表示灯」

### DPF表示灯

**DPF**

#### マルチディスプレイ(ドット液晶タイプ)装備車

##### ディスプレイに「DPF内にPMが堆積しています」と表示されるとき

PMの除去が自動で行なわれず、DPFで捕集したPMが規定量以上になると表示します。
PMを除去するために、時速40km/h以上でエンジン回転を2000rpm以上のまま、およそ10分から15分間走行してください。

##### ディスプレイに「DPF点検」と表示されるとき

システムに異常があると表示します。
ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

## マルチディスプレイ（セグメント液晶タイプ）装備車

### 表示灯が点灯するとき

PM の除去が自動で行なわれず、DPF で捕集した PM が規定量以上になると点灯します。
PM を除去するために、時速 40km/h 以上でエンジン回転を 2000rpm 以上のまま、およそ 10 分から 15 分間走行してください。

### 表示灯が点滅するとき

システムに異常があると点滅します。
ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

### 注意

必ず守る

**ディスプレイに「DPF 内に PM が堆積しています」と表示されたまま、または、DPF 表示灯が点灯したまま運転を続けると、さらに PM が堆積し、ディスプレイの表示が「DPF 点検」に変わる、または、表示灯が点滅することがあります。この場合はただちにマツダ販売店で点検を受けてください。点検を受けずにそのまま運転を続けると、エンジンの不調につながるおそれがあります。**

### 知識

ディスプレイに「DPF 点検」と表示されているとき、または、DPF 表示灯が点滅しているときは、ディーゼルパティキュレートフィルターを保護するために、エンジン出力は制限されます。

# 様々な状況での運転のときは

## 悪天候での運転

### 雨の日の運転

#### ガラスが曇るときは

湿度の高い日はガラスが曇りやすくなります。このようなとき、エアコンを使用して曇りを取ることができます。エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りを取ることができます。

#### 冠水した道路は

冠水した道路を走行しないでください。冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、電気部品や電子部品のショート、水を吸い込んでのエンジン破損など、車両に悪影響をおよぼします。万一、水中に浸ってしまったときは、必ずマツダ販売店へご相談ください。

### 積雪、寒冷時の運転

#### すべりやすい路面を走行するときは

早めに冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着してください。

→ 303 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

- 急発進、急ハンドルや急ブレーキを避け、ひかえめな速度で運転してください。
- 日陰や橋の上、水たまりなど、凍結しやすい場所にさしかかる前では速度を落とし、注意して走行してください。

#### ハンドルの切れ具合に注意

走行中、フェンダーの裏側に雪が付着して氷になり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき車を止めて点検し、氷塊が大きくなる前に取り除いてください。

#### ブレーキの効き具合を確認

ブレーキ装置に雪や氷が付着すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

効きが悪いときは、低速で走りながらアクセルペダルを放してブレーキペダルを軽く数回踏んで、効きが回復するまでブレーキを乾かしてください。

## 駐車するときは




- 寒冷時はパーキングブレーキをかけると凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- パーキングブレーキは使わず、セレクトレバーを P にいれてタイヤに輪止めをしてください。
- ボンネット側を風下に向けて駐車してください。風上に向けるとエンジンが冷えすぎて始動しにくくなることがあります。
- ワイパーアームは立てて駐車してください。寒冷時はワイパーゴムがガラスに凍りつくことがあります。

### ⚠ 注意

必ず守る

**運転席 / 助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また、降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。**

## 寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

### 知識

高速走行時は、通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなりますので、ワイパー使用時は速度を落として走行してください。

# 環境保護のために

## 経済的な運転

地球環境にやさしい、経済的な運転を心がけてください。
以下に示す数値は、対象車種 2.0 リットル乗用車（AT）の燃費＝ 11.7km/l（10·15 モード）が計算ベースです。（社団法人日本自動車工業会調べ）

### アイドリングストップ

コンビニでの買い物、人待ちや荷降ろしなど、ちょっとした駐車のときにもエンジンを止めましょう。5 分間アイドリングをやめると、約 65ml の燃料を節約できます。

### 不要な荷物は積まない

荷物が多いほど、燃料を多く消費します。不要な荷物は降ろして走行しましょう。
10kg の荷物を降ろして 50km 走ると、約 15ml の燃料を節約できます。

### 空ぶかしをしない

空ぶかしは環境にも車にもよくありません。
空ぶかしを 10 回やめると、約 60ml の燃料を節約できます。

### エアコンの使用は控えめに

エアコンの使用を控えると、燃料の節約になります。エアコンを 5 分間停止すると、約 55ml の燃料を節約できます。

### タイヤの空気圧を適正に

こまめに点検し、適正な空気圧に調整しましょう。
適正値で 50km 走ると、50kPa 減のときに比べて、約 150ml の燃料を節約できます。

### ゆとりある走行を

急発進、急加速、急ブレーキは避けましょう。
急発進を 10 回やめると約 170ml、急加速を 10 回やめると約 110ml の燃料を節約できます。

### 経済的速度

一般道路で 40km/h、高速道路で 80km/h 程度の等速走行が経済的です。

## アクセルペダルの上手な踏みかた

### 加速終了時（オートマチック車）

アクセルペダルを少し大きめにもどしてみましょう。適切に無駄なく自動変速されるため、燃費がよくなります。

### 下り坂に入るとき、減速を始めるとき

早めにアクセルペダルをもどし、エンジンブレーキを使いましょう。アクセルペダルをもどすと燃料噴射が停止されるので、燃費がよくなります。

### 一定速度のとき

アクセルペダルの踏み加減を一定に保ちましょう。
アクセルペダルの踏み込み、踏みもどしは少ないほど燃料噴射が少なくなるため、燃費がよくなります。

# 環境保護のために

## 10·15 モード燃費について

### 「10·15 モード」とは

**知識**

車両カタログに記載されている「10·15 モード」燃費は、一定の条件に従って測定された燃費です。
このモードは都市内走行状態を再現したもので、図 1 のようにシャシーダイナモメーター上で実際の道路上の走行状態を再現し、エンジン暖機後、図 2 のようなパターンを走行するものです。

図1.シャシーダイナモメーター

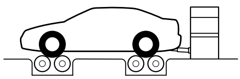
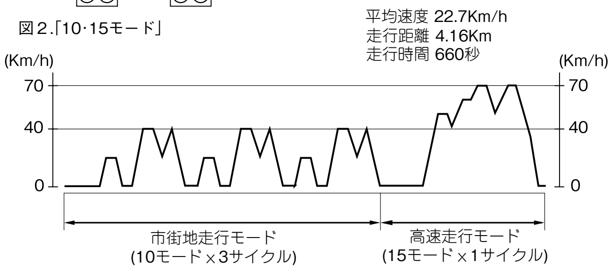


図2.「10·15モード」




「10·15 モード」は、都市内走行状態を再現したものですが、あくまでも代表的な走行パターンです。そのため、実際の走行とは異なる場合が多く、
例えば
- 走行速度の平均が「10·15 モード」より低い
- 停車比率（運転中に車が止まっている割合）が高い
- 急な加速を行った

など条件の違いにより燃費が悪くなります。

参考資料
- （社）日本自動車工業会 :「あしたへ ECO-MOTION」
- （社）日本自動車連盟 :「ECO MANUAL 車に関する環境エコ基礎知識集」

# 3 快適装備の使いかた

## 空調 236


エアコンの上手な使いかた ............... 236
吹き出し口 ........................................ 237
フルオートエアコン .......................... 239


## オーディオ 244


アンテナ ............................................ 244
オーディオリモートコントロール
スイッチの操作 ............................. 244


## 室内装備 245


サンバイザー ..................................... 245
室内照明 ............................................ 245
時計 ................................................... 248
電源ソケット ..................................... 249
カップホルダー ................................. 251
ボトルホルダー ................................. 252
収納 ................................................... 253

# 空調

## エアコンの上手な使いかた

### エアコンを使用する前に

#### 外気取り入れ口について

フロントガラス前部の外気取り入れ口が、雪や落ち葉などでふさがっているときは取り除いておきましょう。外気が導入できないため、車内の換気が十分できなくなるおそれがあります。

#### 暑くなる前のチェック

エアコンの冷媒 ( エアコンガス ) が不足していると冷房性能が低下します。夏になる前に冷媒量の点検を受けておきましょう。

### エアコンを使用するときは

#### 使用について

エアコンはエンジンをかけた状態で使用してください。

**知識**

- エアコンの操作により、アイドリングストップしないことや、アイドリングストップ中にブレーキペダルから足を離さなくてもエンジンが再始動することがあります。
→ 114 ページ「i-stop について」
- オート作動時のアイドリングストップ中は、吹き出し風量がやや減少します。
- アイドリングストップ中は、快適な温度を保持するため、インストルメントパネル中央付近からエアコン装置 ( モーター等 ) の作動音が聞こえることがあります。

#### 外気導入と内気循環について

外気導入は、換気したいときやガラスの曇りを取るときに使用してください。内気循環は、トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど、外気を遮断したいときに使用してください。

#### 炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

## エアコンを使用したあとは

### 長期間エアコンを使用しないときは

長期間エアコンを使用しないときにも、内部のオイル循環のため、1 か月に 1 回程度エアコンを作動させてください。

### エアフィルターについて

花粉やほこりなどの集じん機能を持ったエアフィルターを装備しています。快適にお使いいただくために定期的に交換してください。
詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

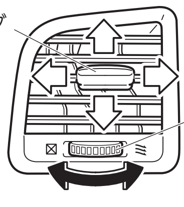
**知識**

- エアコンの風量が著しく減少したときはエアフィルターの目詰まりが考えられます。エアフィルターを交換してください。
- 大都市・寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区の場合は、エアフィルターの寿命が短くなり、早めの交換が必要になることがあります。

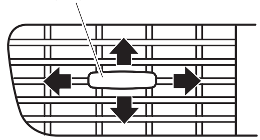
# 吹き出し口

## 吹き出し口の調節

吹き出し口（側面）




吹き出し口（中央）

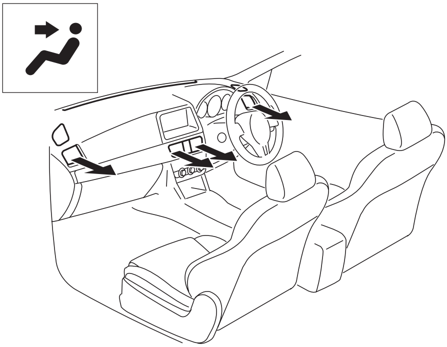


# 空調

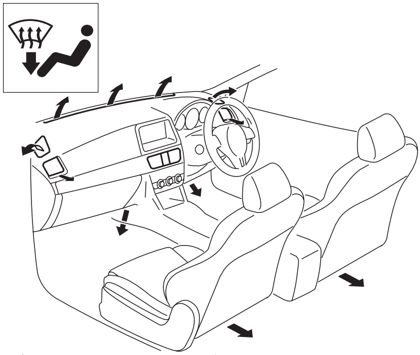
## 吹き出し口の選択

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。

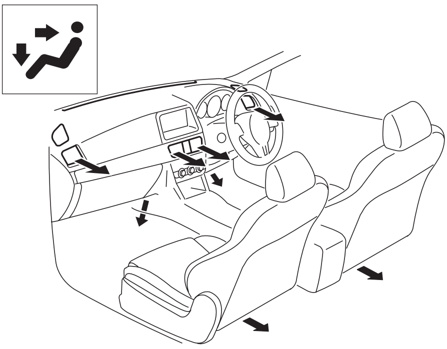
上半身に送風するとき



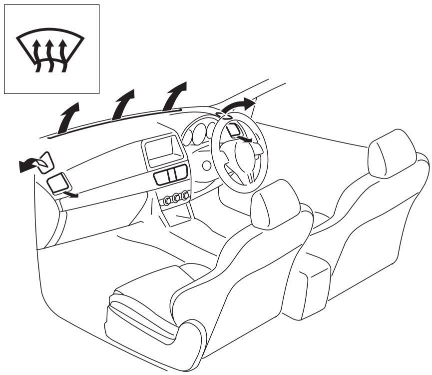
足元への送風とガラスの曇りを取るとき



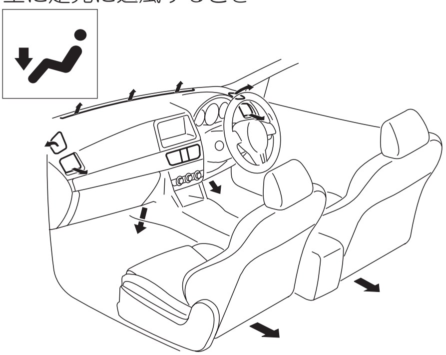
上半身、足元に送風するとき



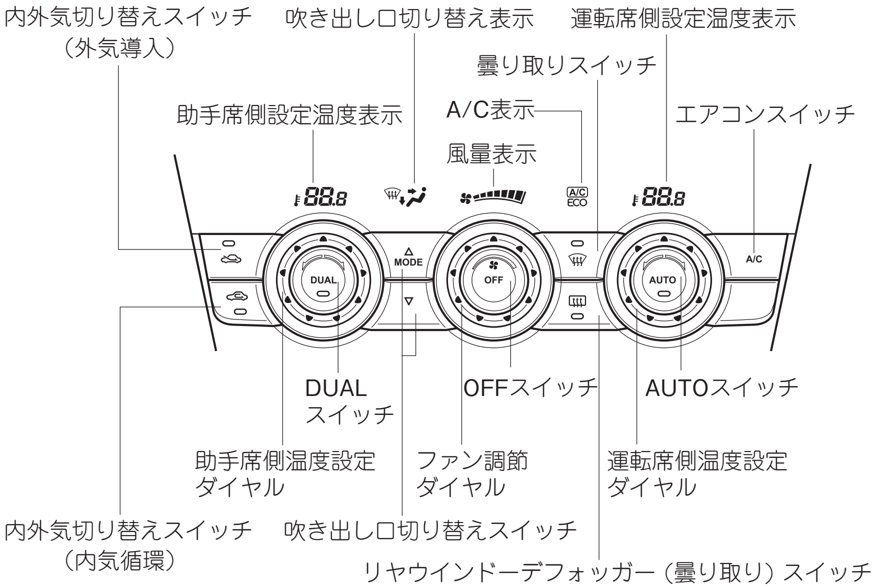
ガラスの曇りを取るとき



主に足元に送風するとき



# フルオートエアコン




## 各スイッチの使いかた

### AUTO スイッチ

スイッチを押すと設定温度にあわせて、以下の機能が自動制御されます。

- 吹き出し風の温度調節
- 吹き出し風量調節
- 吹き出し口の切り替え
- 内気循環 / 外気導入の切り替え
- エアコン ( 冷房・除湿機能 ) の作動 / 停止
- A/C と A/C ECO の切り替え

# 空調

### 知識

表示灯について
- 点灯―オート作動時。
- 消灯―オート作動中に吹き出し口切り替えスイッチ、ファン調節ダイヤル、曇り取りスイッチのいずれかのスイッチを操作したとき。

操作した箇所以外は自動で作動しています。

## OFF スイッチ

スイッチを押すとファンの作動を停止します。

## 温度調節ダイヤル

ダイヤルをまわして設定温度を調節します。
18.0 から 32.0 の間で 0.5 ずつ変化します。

### 知識

18.0 に設定すると最大冷房、32.0 に設定すると最大暖房に固定されます。

- DUAL スイッチが OFF のとき
  運転席側温度設定ダイヤルをまわして調節します。
- DUAL スイッチが ON のとき
  運転席側温度設定ダイヤルまたは助手席側温度設定ダイヤルをまわして調節します。

### 知識

- DUAL スイッチを ON にすると独立モードになり、運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節することができます。
- DUAL スイッチが OFF のときでも、助手席側温度設定ダイヤルをまわすと独立モードになり (DUAL スイッチ表示灯点灯 )、運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節することができます。

## ファン調節ダイヤル

風量を 7 段階に調節できます。

## 吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的にあわせて吹き出し口を選択することができます。
→ 238 ページ「吹き出し口の選択」

### 知識

吹き出し口をに設定するには、曇り取りスイッチを押してください。

## エアコンスイッチ

AUTO スイッチが ON のときまたはファンが作動しているとき、スイッチを押すごとにエアコン ( 冷房･除湿機能 ) の作動と停止が切り替わります。
エアコン作動中は表示灯が点灯します。

### 知識

- ファンが作動していない状態でも、エアコンスイッチを押すとエアコンが作動します。
- スイッチを押すごとに次のように切り替わり、表示部に表示されます。
  A/C → A/C ECO →停止 ( 表示なし )
  A/C ECO は A/C よりもエアコンの作動頻度は少なくなりますが、経済的な運転になります。
- 外気温が 0° C 近くまで下がると、システム保護のためエアコンは作動しません。

## 内外気切り替えスイッチ

内気循環 ( 外気を遮断する ) と外気導入 ( 外気を室内に入れる ) の切り替えができます。
スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

### 知識

寒いときや湿度が高いときは、長時間内気循環にするとガラスが曇りやすくなります。

- 内気循環 ( 表示灯点灯 )
  トンネル内や渋滞など外気が汚れているときや、急速に冷房したいときなど外気を遮断したいときに使用します。
- 外気導入 ( 表示灯消灯 )
  外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの曇りを取るときに使用します。

# 空調

## DUAL スイッチ

独立モードと連動モードの切り替えができます。

- 独立モード ( 表示灯点灯 )
  運転席側と助手席側の設定温度を独立して調節することができます。
- 連動モード ( 表示灯消灯 )
  運転席側と助手席側の設定温度が連動した設定になります。

### 知識

連動モードのとき、助手席側の設定温度は運転席側の設定温度に切り替わります。

## 曇り取りスイッチ

フロントガラス、フロントドアガラスの曇りを取りたいときに使用します。
→ 242 ページ「ガラスの曇りを取るとき」

## 通常の使いかた

1 AUTO スイッチを押します。吹き出し口、内外気切り替え、吹き出し風量が自動的に調整されます。

2 温度設定ダイヤルを操作して希望温度にあわせます。
運転席と助手席の設定温度を独立して調節するときは、DUAL スイッチを押す、または助手席側温度設定ダイヤルをまわして独立モードにします。

### 知識

- 最初は温度設定ダイヤルを 25.0 前後にあわせて使用し、その後お好みで調節してください。
- 設定温度を極端に低く ( 高く ) しても、希望の温度になるまでの時間はほとんど変わりません。
- エンジンが冷えているときの暖房開始直後は、冷風の吹き出しを防止するため、風量が少なくなります。

3 作動を停止したいときは、OFF スイッチを押します。

## ガラスの曇りを取るとき

曇り取りスイッチを押します。
自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、フロントドアガラスに送風されます。吹き出し風量も多くなります。

## ⚠ 警告

**ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の温度を低くしない。**

禁止

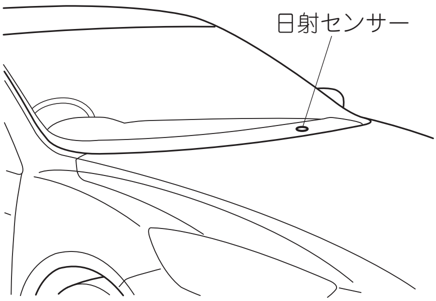
**ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## 知識

次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

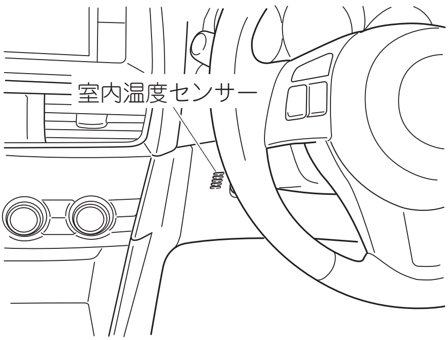
- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を増す。
- 温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し風の温度を上げる。

## 日射センサーについて




日射センサーの上に物を置かないでください。室内温度が正しく調節されないことがあります。

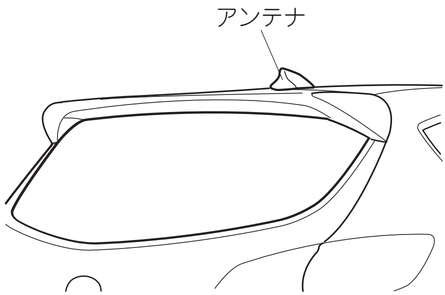
## 室内温度センサーについて



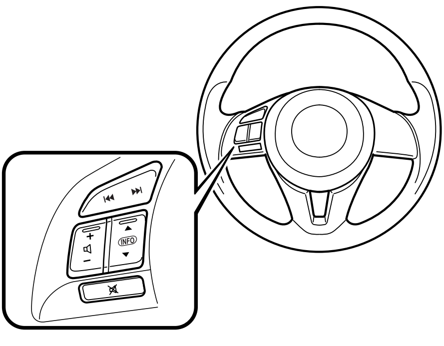

室内温度センサーをふさがないでください。室内温度が正しく調節されないことがあります。

# オーディオ

## アンテナ



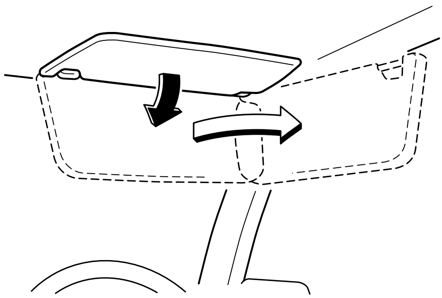

## オーディオリモートコントロールスイッチの操作




ハンドルの左側にあります。

オーディオの電源が入っているときに、手元でオーディオの操作をすることができます。

## サンバイザー



前からの光をさえぎるときは、下げます。
横からの光をさえぎるときは、下げた後フックからはずして横にします。

### バニティミラー(化粧鏡)

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあります。
ランプ装備車はフタを開けるとランプが点灯します。

## 室内照明

**知識**

エンジンを停止しているとき、ランプを長時間点灯させたままにしないでください。バッテリーがあがるおそれがあります。

### イルミネーテッドエントリーシステム

ルームランプスイッチがDOORの位置のとき、次のような操作をすると、ルームランプが点灯します。

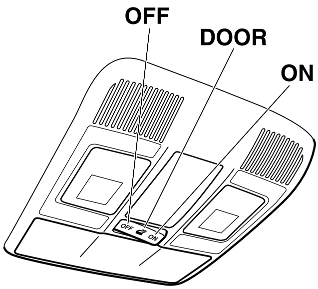
- 電源ポジションがOFFのときに、運転席ドアを解錠すると約30秒間点灯します。
- 電源ポジションがOFFのときに、ドアを開けて閉めた後、約15秒間点灯します。
- 電源ポジションがOFFのときに、車外からドアを閉めた後、約5秒間点灯します。
- 電源ポジションをOFFにすると約15秒間点灯します。

# 室内装備

## 知識

- 次のようなときルームランプはすぐに消灯します。
  - 電源ポジションを ON にしたとき。
  - 運転席ドアを施錠したとき。
- ルームランプスイッチが DOOR の位置で、約 30 分間ドアが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にルームランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。
- ラゲッジルームランプスイッチが ON の位置で、約 30 分間リヤゲートが確実に閉まっていない状態が続くと、自動的にラゲッジルームランプが消灯して、バッテリーあがりを防止します。

## ルームランプ



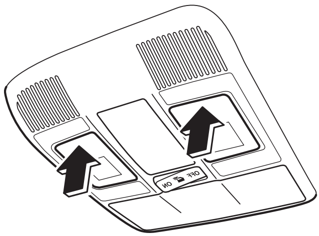

電源ポジションに関係なく使用できます。

| スイッチ位置 | ルームランプ |
|---|---|
| DOOR | ● ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。<br>● イルミネーテッドエントリーシステムの作動により点灯 / 消灯します。 |
| OFF | 常時消灯 |
| ON | 常時点灯 |

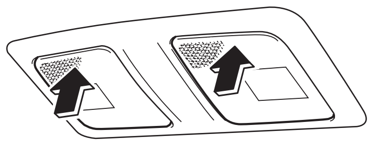
## マップランプ

電源ポジションに関係なく使用できます。ルームランプのスイッチ位置が DOOR または OFF のときに、レンズを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

フロント



リヤ

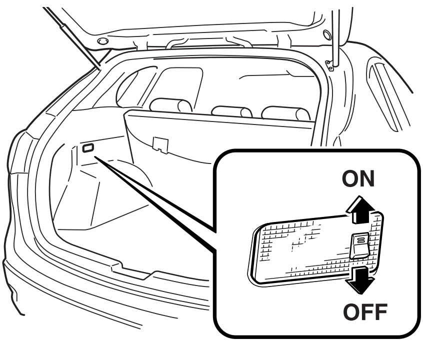


### 知識

次のときはレンズを押しても消灯しません。

- ルームランプのスイッチ位置が ON のとき。
- ルームランプのスイッチ位置が DOOR でドアが開いているとき。
- イルミネーテッドエントリーシステムが作動しているとき。

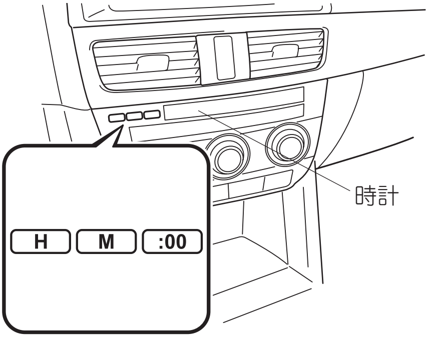
## ラゲッジルームランプ




電源ポジションに関係なく使用できます。

| スイッチ位置 | ラゲッジルームランプ |
|---|---|
| ON | リヤゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。 |
| OFF | 常時消灯 |

## 時計




電源ポジションが ACC または ON のとき、時刻を表示します。

### 知識

車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは記憶が消去されます。もう一度記憶させてください。

### “時”“分”をあわせるとき

H ボタンを押している間“時”表示が早送りされます。
M ボタンを押している間“分”表示が早送りされます。

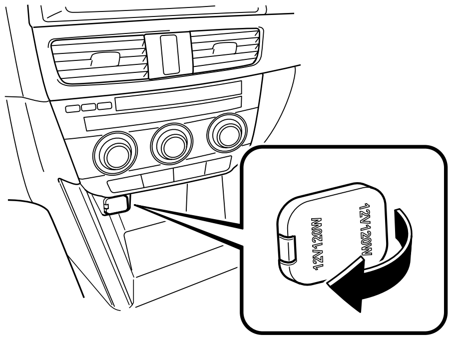
### 時報にあわせるとき

:00 ボタンを押すと、時刻は次のように修正されます。
( 例 )
12:01 ～ 12:29 → 12:00
12:30 ～ 12:59 → 1:00

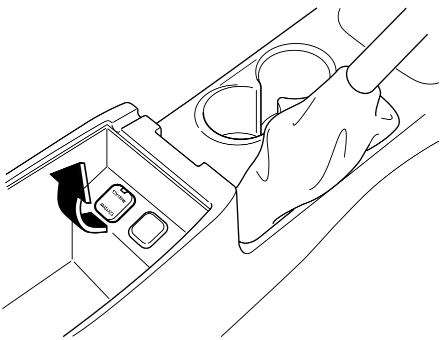
# 電源ソケット

電源ポジションが ACC または ON のとき、電気製品の電源として使用します。
最大消費電力 120W (DC12V―10A) 以下の電気製品を使用してください。

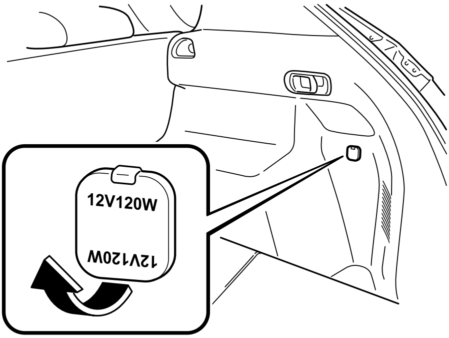
### フロント




### センター



リヤ




## 注意

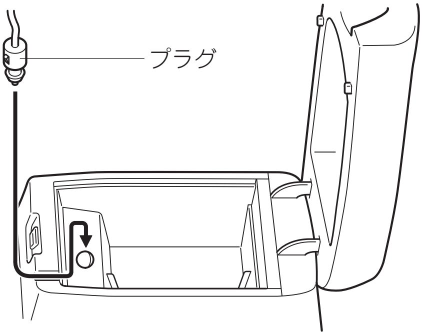
- 必ず守る　使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかると、故障につながるおそれがあります。
- 必ず守る　電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 禁止　消費電力が 120W (DC12V—10A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。
- 必ず守る　電源ソケットに接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。
- 必ず守る　電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器を外し、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットから外したあと、電源ポジションを OFF にしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

## 知識

- エンジンを停止しているときやアイドリング状態で長時間使用すると、バッテリーがあがることがあります。
- シガーライターを差し込まないでください。

### 接続のしかた

コンソールボックスに開いている溝から電源ソケットに接続するコードを通すことができます。



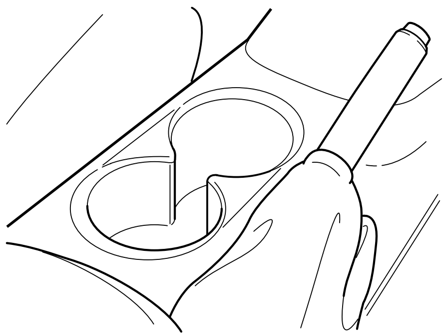

1 フタを開けます。

2 コンソールボックスの溝にコードを通し、コード先端のプラグを電源ソケットに接続します。

## カップホルダー

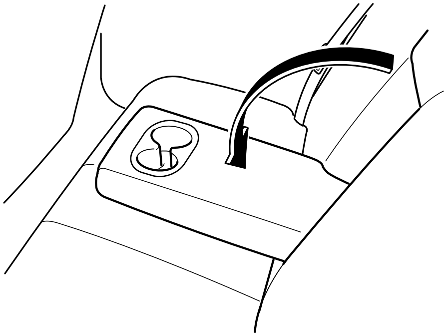
> **⚠ 注意**
>
> 禁止
>
> **走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。**

### フロント




運転する前に
運転するときに
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

### リヤ （グレード/仕様別装備）

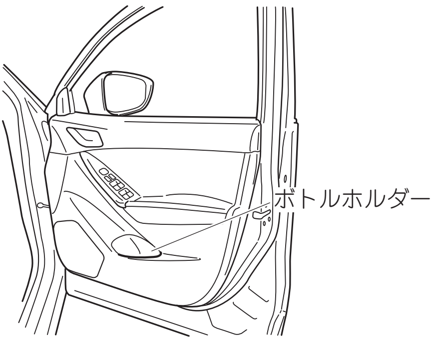


## ボトルホルダー

**注意**

禁止

**ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中やドアを開閉するときにペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。**




ペットボトルなどを置くことができます。

# 収納

## ⚠ 注意

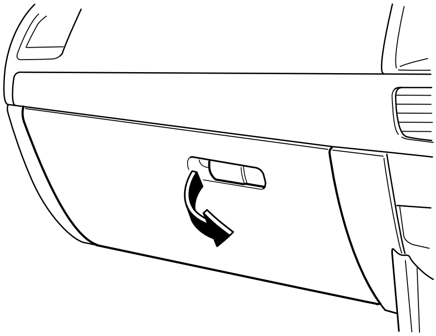
必ず守る

**走行中は、グローブボックスなどのフタを必ず閉めてください。急ブレーキ時や衝突時に収納ボックスのフタや内部の物でけがをするおそれがあります。**

禁 止

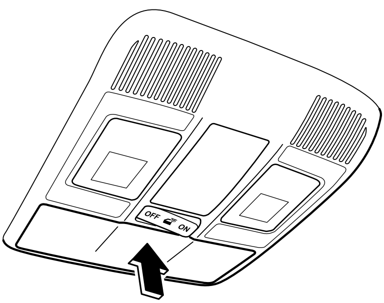
**炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こすことがあります。**

## グローブボックス



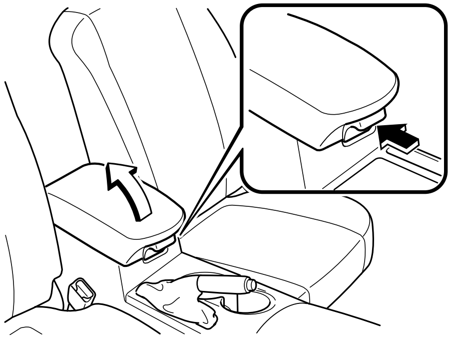
閉めるときは、カチッと音がするまでフタを確実に押さえます。

## オーバーヘッドコンソール

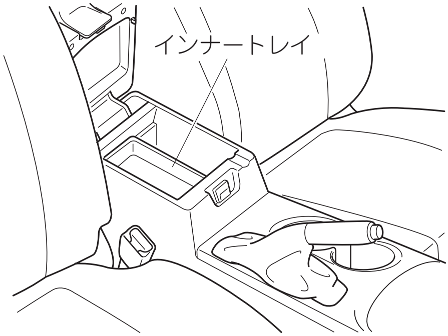



メガネやサングラスなどを入れることができます。

## 大型コンソールボックス



### インナートレイ




インナートレイは取りはずすことができます。

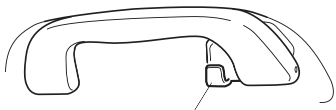
## リヤコートフック

### ⚠ 警告

禁止

アシストグリップやコートフックなどには重たいものやとがったものをかけない。

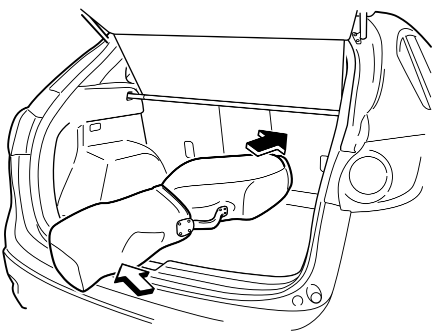
**服などをかけるときはハンガーを使わないでください。カーテンエアバッグが膨らむときにこれらのものが飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。**

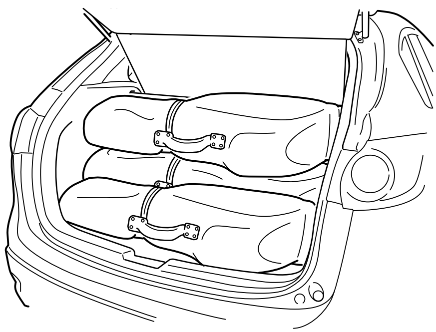



## ラゲッジルーム

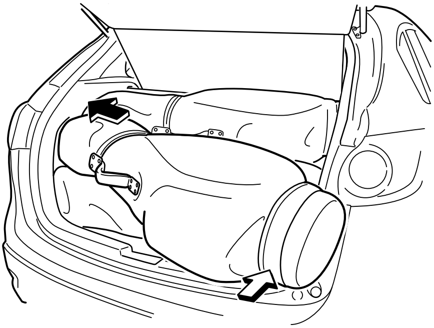
ラゲッジルームにゴルフバッグなどを載せることができます。
ゴルフバッグは最大 4 個載せることができます。

3 個目までのゴルフバッグは、バッグの底側から入れてラゲッジルーム内に収まるように載せます。





# 室内装備

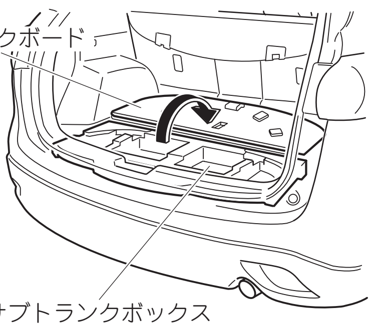


4 個目のゴルフバッグは、バッグの上側から入れてラゲッジルーム内に収まるように載せます。

### 知識

ゴルフバッグの大きさによっては入らない場合があります。

## サブトランクボックス




小物などを収納することができます。

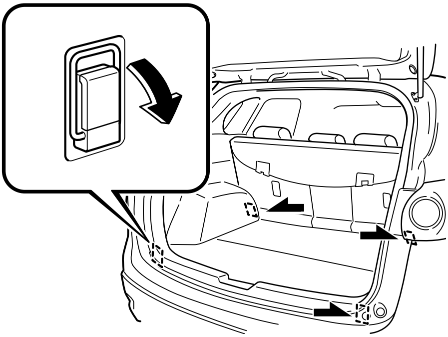
## ラゲッジフック

### ⚠ 警告

**荷物を積むときは確実に固定する。**

**荷物を確実に固定しないと走行中に荷物が移動したりくずれたりして、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る



ロープやネットで荷物を固定するときに使用します。

フックの引っ張り荷重は20kgです。ロープを掛けて強く引っ張らないでください。

# MEMO

# 4 お手入れのしかた


## 車と上手につきあうために 260

必ずまもる........................................ 260

## 点検、整備 261

点検整備について .............................. 261
定期点検............................................. 262
日常点検の前に .................................. 262
日常点検............................................. 264
その他の手入れ .................................. 274

## ヒューズ切れ、電球切れのとき 275

ヒューズの受け持つ装置 .................. 275
ランプ類、電気装置が
作動しないとき .............................. 280

## 電池交換 292

電池を交換するときは ...................... 292

## 車の手入れ 295

外装の手入れ..................................... 295
内装の手入れ..................................... 298

## 季節の準備 302

冬にそなえて..................................... 302
夏にそなえて..................................... 304

## 環境保護のために 305

廃棄物を処理するときは .................. 305

# 車と上手につきあうために

## 必ずまもる

### 違法改造はしない

車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自分でエンジン調整や配線などをしないでください。故障や、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、国土交通省に届け出た部品以外を装着すると違法改造になることがあります。部品の装着をするときは、マツダ販売店にご相談ください。

### ナンバープレートは正しい位置に取り付ける

ナンバープレートを取りはずしたり、位置を変えないでください。ナンバープレートは正しい位置に確実に取り付けることが義務付けられています。

### タイヤ、ホイール、ホイールナットを交換するときはマツダ販売店に相談する

ホイール、ホイールナットは純正品以外を装着しないでください。純正品以外のものを装着すると車の性能が十分に発揮できないばかりでなく、走行中にナットがゆるみホイールがはずれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、駆動系部品に悪影響をおよぼしたり、違法改造になることがあります。

### 部品の取り付け、交換はマツダ販売店に相談する

電話、無線、オーディオなど電気部品や電子部品を取り付けるときは、電子機器類に悪影響がでるおそれがありますので、マツダ販売店にご相談ください。
また、不適当な部品を取り付けたり、取り付け方法を誤ると、ブレーキ、エアバッグの誤作動、エンジン不調、車両火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

### アクセサリーを取り付けない

窓ガラスやその周辺にアクセサリーを取り付けると、運転のさまたげになったり、吸盤がレンズの働きをして、火災が起こるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

# 点検整備について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備および定期点検整備を実施することが法律で義務づけられています。
安心してお車に乗っていただくために、また、大きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検整備を実施してください。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。
いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。
**使用済バッテリーやタイヤ、エンジンオイルなどの廃液を処分するときは、マツダ販売店にご相談ください。**

## 警告

必ず守る
点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから行なう。
**車が不意に動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

禁止
エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。
**手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。**

## 注意

禁止
**エンジンルーム内を点検するときは、エンジンの高温部に触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。**

必ず守る
**エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## 知識

<u>無料点検について</u>
新車登録後 1 か月 ( または走行距離 1,000km)、6 か月 ( または走行距離 5,000km) は無料で点検が受けられます。

# 定期点検

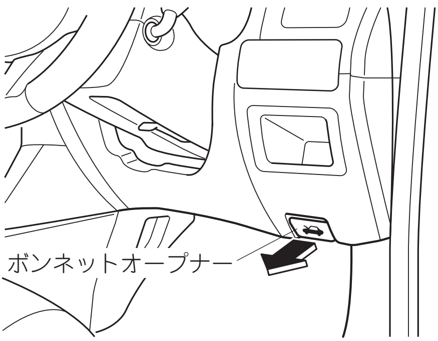
1 年点検、2 年点検はマツダ販売店で受けてください。

**知識**

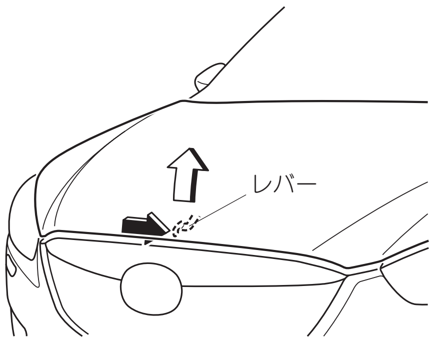
- <u>点検結果について</u>
  点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「定期点検整備記録簿および定期点検整備の記録」に記入してください。
- <u>シビアコンディションについて</u>
  一般的な使用よりも厳しい使われ方をした車はシビアコンディションとして早めに点検整備をする必要があります。
  詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

# 日常点検の前に

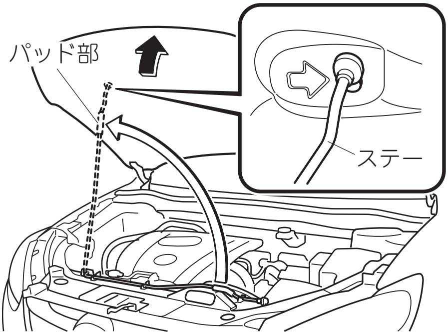
## ボンネットの開けかた




1 運転席右下にあるボンネットオープナーを引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

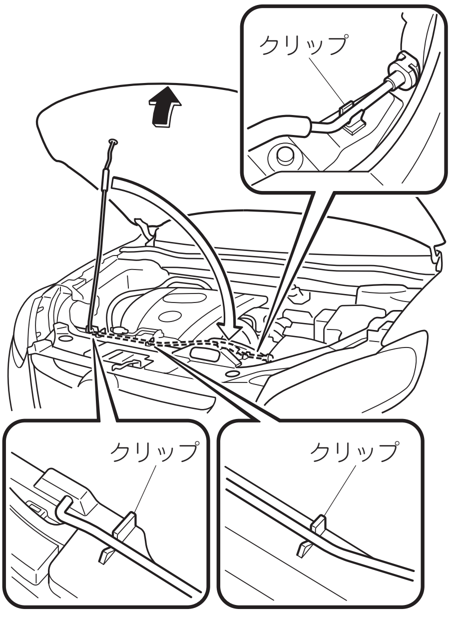



2 ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを押したままボンネットを持ち上げます。




3 パッド部を持ってステーを起こし、矢印で示すボンネットのステー穴に差し込んで固定します。

## ボンネットの閉めかた




1 エンジンルームに工具などが残されていないことを確認します。

2 ボンネットを手でささえてステーをはずし、パッド部を持って、クリップに固定します。

3 ボンネットをゆっくりおろし、約 20 cm の高さから静かに落として閉めます。

# 点検、整備

**警告**

必ず守る

ボンネットが確実に閉まっていることを確認する。

**走行中にボンネットが開くと視界がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

**注意**

禁止

**ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。**

必ず守る

**ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。**

必ず守る

**エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## 日常点検

お客様のお車の使用状況に応じて、お客様自身の判断で適切な時期に実施していただく点検です。
日常点検はお客様自身で実施可能な項目となっておりますので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目安に実施してください。
「日常点検整備のしかた」については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

**知識**

点検結果について

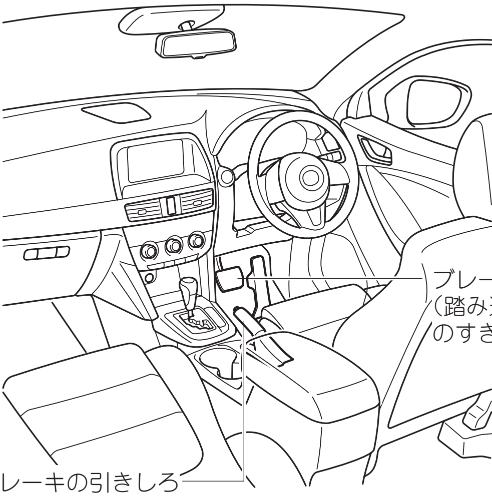
点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メンテナンスレコード」に記入してください。

## 点検項目と点検箇所

### 運行において異常が見られた箇所

前回の運転中に異常を認めた箇所について運転に支障がないかを点検します。
点検要領については別冊のメンテナンスノートに記載しています。

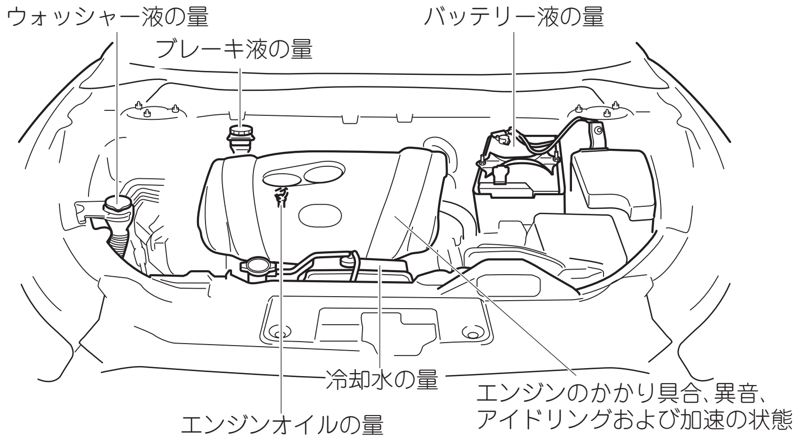
### 運転席にすわって



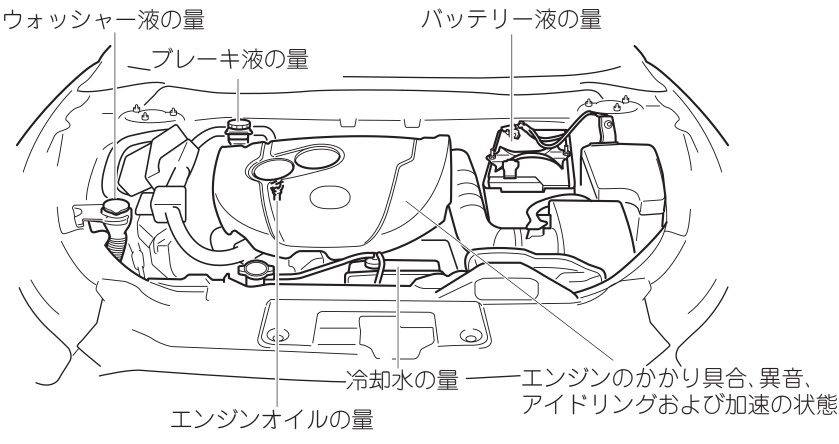
# 点検、整備

## エンジンルームをのぞいて

### SKYACTIV-G 2.0




### SKYACTIV-D 2.2



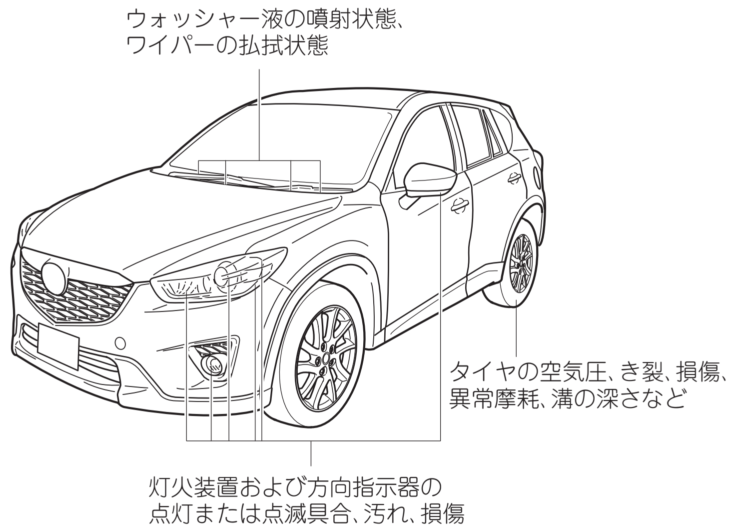
## 注意

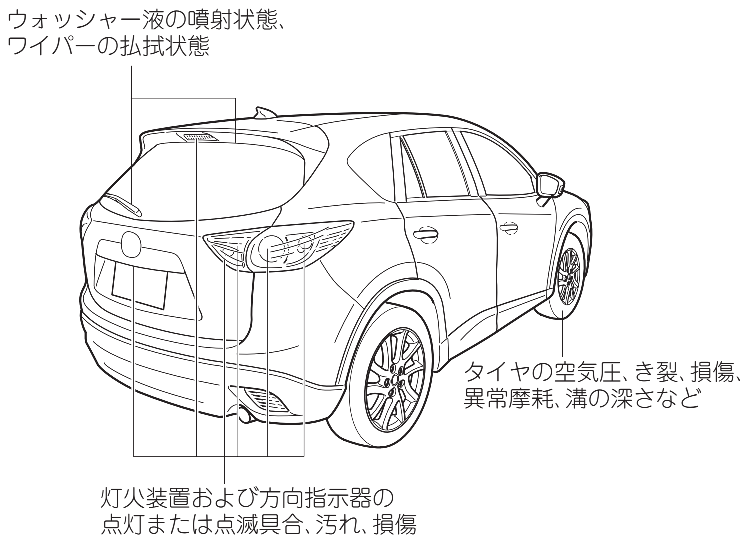
必ず守る

エンジンルームの点検をしたときは、工具や布を置き忘れないようにしてください。置き忘れるとエンジンなどを損傷したり、火災につながるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

# 点検、整備

## 全体を見まわして



## タイヤの点検

タイヤの点検は法律で義務付けられています。
点検要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

### 知識

**タイヤの劣化について**

タイヤはゴム製品のため、長期間使用すると徐々に劣化していきます。安全な走行状態を確保するために、使用開始後 5 ～ 7 年を目安にマツダ販売店で点検を受けてください。

**空気圧の点検**

タイヤ間で空気圧の差が著しくならないように規定値に調節してください。
空気圧調整後はタイヤ空気圧警報システムを正常に作動させるため、タイヤ空気圧警報システムの初期化が必要です。
→ 217 ページ「タイヤ空気圧警報システムの初期化」

### 警告

禁止

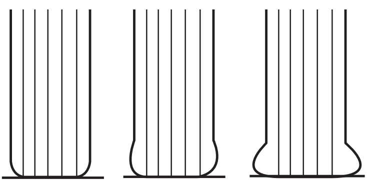
タイヤの空気圧が不足したままで走行しない。

**タイヤの空気圧が不足していると車両の安定性を損なうばかりでなく、タイヤが偏摩耗したりします。また、タイヤの空気圧が不足したままで高速走行すると、タイヤがバースト ( 破裂 ) するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る

タイヤバルブキャップは純正品を使用する。

**タイヤバルブキャップは純正品以外を使用しないでください。純正品以外を使用するとバルブの損傷により、適正空気圧にならないおそれがあります。そのまま走行すると空気圧が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。**



過多　適正　不足

# 点検、整備

## き裂、損傷の点検

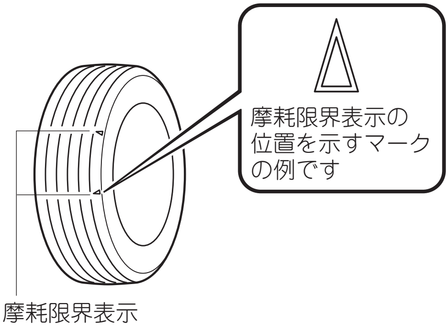
### ⚠ 警告

禁止

異常があるタイヤを装着すると、次の状況が起こることがあり、思わぬ事故につながったり、故障の原因になるおそれがあるため、正常なタイヤと交換する。

- **走行中にハンドルがとられる**
- **異常な振動を感じる**
- **パンクやバースト ( 破裂 ) する**
- **車の性能 ( 燃費 · 走行安定性 · 制動距離など ) が十分に発揮できない**
- **部品に悪影響をあたえる**

## 溝の深さ、異常摩耗の点検




摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。

### ⚠ 警告

禁止

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限界表示 ( ウェアインジケーター ) が現れているタイヤを使用しない。

**そのまま使用すると、制動距離が長くなったり、雨の日にハイドロプレーニング現象により、ハンドル操作ができなくなったり、タイヤがバースト ( 破裂 ) するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。摩耗限界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤと交換してください。**

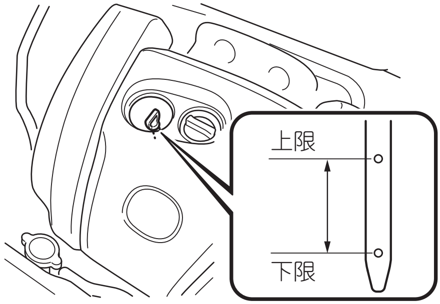
### 知識

摩耗限界表示について

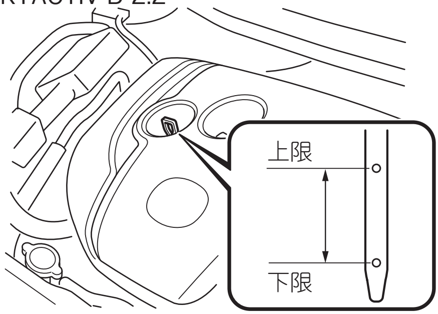
摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm だけ浅くなっています。

## エンジンオイルの点検、補充

SKYACTIV-G 2.0




SKYACTIV-D 2.2




オイルレベルゲージでエンジンオイルの量を点検してください。
不足しているときは上限から下限の間になるよう補充してください。

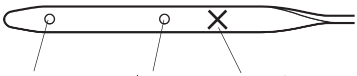
### SKYACTIV-D 2.2

**⚠ 注意**

必ず守る

**指定のエンジンオイルを使用してください。指定以外のオイルを使用した場合、DPF内にオイル中の灰分が堆積し、燃費の悪化やDPFの交換が必要になることがあります。**
**→ 351 ページ「エンジンオイル」**

## 知識




- エンジンオイルがレベルゲージの×の位置を超えている場合はオイル交換をしてください。
- DPF に堆積した PM (Particulate Matter: 粒子状物質 ) が自動で除去されるとき、エンジンオイルに燃料が混ざり、油量が増えることがありますが異常ではありません。

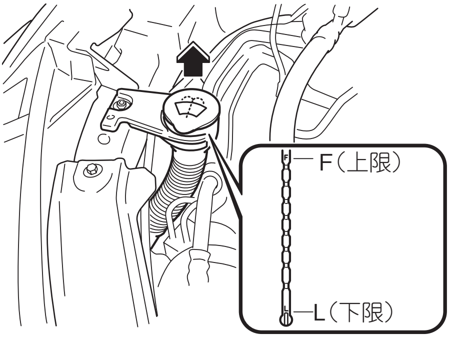
オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場で記憶値の初期化 ( オイルデータリセット ) を行なってください。コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、オイル警告灯が通常より早めに点灯することがあります。

## バッテリーの点検

バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 ( 爆発 ) につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。
→ 322 ページ「バッテリーあがりについて」

- 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
- 交換するときは、車両スペックを参照してください。
→ 357 ページ「バッテリー」

# ウォッシャー液の補充




補充要領については別冊のメンテナンスノートを参照してください。

## 注意

必ず守る

**エンジンがかかっているときやエンジンが熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。**

## 知識

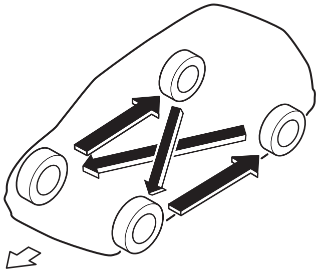
ウォッシャータンクについて

ウォッシャータンクは、フロントワイパー用とリヤワイパー用で兼用しています。

# その他の手入れ

## タイヤの位置交換(タイヤローテーション)

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約5,000km走行ごとにタイヤの位置を交換してください。




### 警告

必ず守る

**タイヤを交換するときは指定されたタイヤを装着する。**

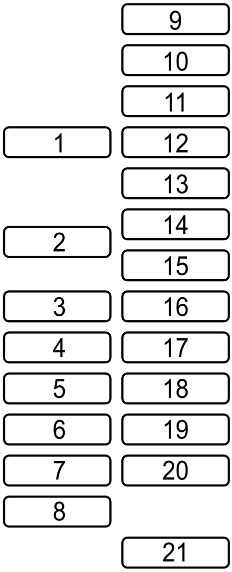
**指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 知識

- タイヤの位置交換を行うまえにタイヤの空気圧、摩耗を点検してください。
  →269ページ「タイヤの点検」
- お客様のお車にはスペアタイヤが標準で搭載されていないため、搭載されているジャッキではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。

## ヒューズの受け持つ装置

### 室内ヒューズボックス

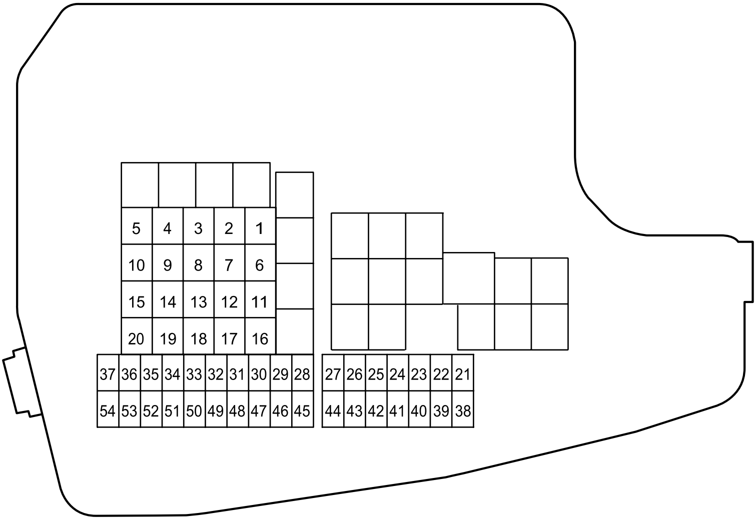



| 位置 | 表示 | 容量 | 保護装置 |
|---|---|---|---|
| 1 | P.SEAT D | 30 A | 運転席パワーシート グレード/仕様別装備 |
| 2 | P.WINDOW3 | — | — |
| 3 | R.OUTLET3 | — | — |
| 4 | P.WINDOW2 | 25 A | パワーウインドー |
| 5 | SRS2/ESCL | 15 A | エアバッグシステム、ステアリングロック |
| 6 | D.LOCK | 25 A | パワードアロック |
| 7 | SEAT WARM | 20 A | シートヒーター グレード/仕様別装備 |
| 8 | SUNROOF | 10 A | サンルーフ グレード/仕様別装備 |

# ヒューズ切れ、電球切れのとき

| 位置 | 表示 | 容量 | 保護装置 |
|---|---|---|---|
| 9 | F.OUTLET | 15 A | 電源ソケット |
| 10 | MIRROR | 7.5 A | 電動ミラー |
| 11 | R.OUTLET1 | 15 A | 電源ソケット |
| 12 | — | — | — |
| 13 | — | — | — |
| 14 | — | — | — |
| 15 | — | — | — |
| 16 | — | — | — |
| 17 | M.DEF | 7.5 A | ミラーデフォッガー ( 曇り取り ) |
| 18 | — | — | — |
| 19 | — | — | — |
| 20 | — | — | — |
| 21 | — | — | — |

## エンジンルーム内 ヒューズボックス




| 位置 | 表示 | 容量 | 保護装置 |
|---|---|---|---|
| 1 | ADD FAN GE | 30 A | クーリングファン グレード/仕様別装備 |
| 2 | IG2 | 30 A | 各種電源 |
| 3 | INJECTOR | 30 A | エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備 |
| 4 | FAN DE | 40 A | クーリングファン グレード/仕様別装備 |
| 5 | P.WINDOW1 | 30 A | パワーウインドー |
| 6 | — | — | — |
| 7 | ADD FAN DE | 40 A | クーリングファン グレード/仕様別装備 |
| 8 | EVVT | 20 A | エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備 |
| 9 | DEFOG | 40 A | リヤウインドーデフォッガー ( 曇り取り ) |

# ヒューズ切れ、電球切れのとき

| 位置 | 表示 | 容量 | 保護装置 |
|---|---|---|---|
| 10 | DCDC DE | 40 A | 各種電源 グレード/仕様別装備 |
| 11 | FAN GE | 30 A | クーリングファン グレード/仕様別装備 |
| 12 | — | — | — |
| 13 | — | — | — |
| 14 | — | — | — |
| 15 | ENG.MAIN | 40 A | エンジンコントロールシステム |
| 16 | ABS/DSC M | 50 A | ABS、DSC |
| 17 | CABIN.+B | 50 A | 各種電源 |
| 18 | WIPER | 20 A | フロントワイパー / ウォッシャー |
| 19 | HEATER | 40 A | 空調 |
| 20 | DCDC REG | — | — |
| 21 | ENGINE.IG1 | 7.5 A | エンジンコントロールシステム |
| 22 | C/U IG1 | 15 A | 各種電源 |
| 23 | H/L LOW L<br>HID L | 15 A | ヘッドランプ 左 *1、ヘッドランプ 左 ( ロービーム )*2 |
| 24 | H/L LOW R | 15 A | ヘッドランプ 右 ( ロービーム )*2 |
| 25 | ENGINE3 | 15 A | エンジンコントロールシステム |
| 26 | ENGINE2 | 15 A | エンジンコントロールシステム |
| 27 | ENGINE1 | 15 A | エンジンコントロールシステム |
| 28 | AT | 15 A | トランスアクスルコントロールシステム |
| 29 | H/CLEAN | — | — |
| 30 | A/C | 7.5 A | 空調 |

| 位置 | 表示 | 容量 | 保護装置 |
|---|---|---|---|
| 31 | AT PUMP | 15 A | トランスアクスルコントロールシステム |
| 32 | STOP | 10 A | 制動灯 |
| 33 | R.WIPER | 15 A | リヤワイパー |
| 34 | H/L HI | 20 A | ヘッドランプ ( ハイビーム )*2 |
| 35 | HID R | 15 A | ヘッドランプ 右 *1 |
| 36 | FOG | 15 A | フォグランプ グレード/仕様別装備 |
| 37 | ENG.+B | 7.5 A | エンジンコントロールシステム |
| 38 | AUDIO2 | 7.5 A | オーディオ |
| 39 | GLOW SIG | 5 A | エンジンコントロールシステム グレード/仕様別装備 |
| 40 | METER2 | 7.5 A | メーター |
| 41 | METER1 | 10 A | メーター |
| 42 | SRS1 | 7.5 A | エアバッグシステム |
| 43 | BOSE | 25 A | オーディオ (Bose® サウンドシステム装備車 ) |
| 44 | AUDIO1 | 15 A | オーディオ |
| 45 | ABS/DSC S | 30 A | ABS、DSC |
| 46 | FUEL PUMP | 15 A | フューエルポンプ グレード/仕様別装備 |
| 47 | FUEL WARM | 25 A | フューエルウォーマー グレード/仕様別装備 |
| 48 | TAIL | 15 A | 尾灯、番号灯、車幅灯 |
| 49 | — | — | — |
| 50 | HAZARD | 25 A | 方向指示灯 / 非常点滅灯 |
| 51 | DRL | — | — |

# ヒューズ切れ、電球切れのとき

| 位置 | 表示 | 容量 | 保護装置 |
|---|---|---|---|
| 52 | R.OUTLET2 | 15 A | 電源ソケット |
| 53 | HORN | 15 A | ホーン |
| 54 | ROOM | 15 A | ルームランプ |

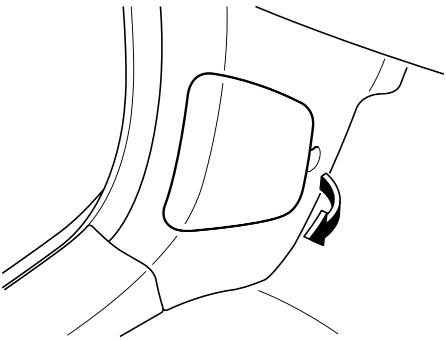
*1 ディスチャージヘッドランプ装備車
*2 ハロゲンヘッドランプ装備車

## ランプ類、電気装置が作動しないとき

ランプ類が点灯しないときや電気装置が作動しないときは、ヒューズ切れや電球切れが考えられます。
まずヒューズを点検し、必要に応じて交換してください。

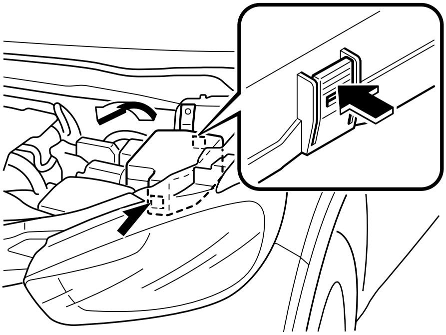
## ヒューズの交換

### 室内ヒューズボックス



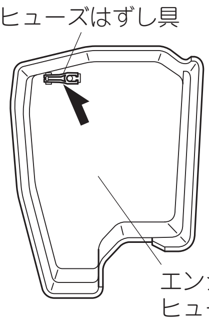
1 電源ポジションを OFF にします。
2 ヒューズボックスのカバーを開きます。ヒューズボックスは助手席左下と、エンジンルーム内にあります。

## エンジンルーム内ヒューズボックス

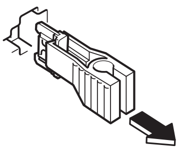


### 知識

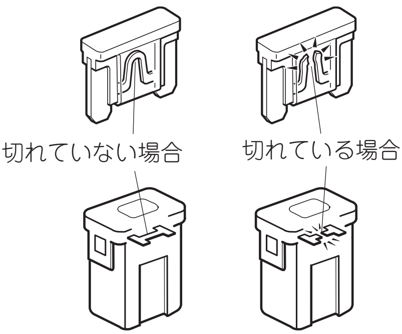
- 各ヒューズはグレードや仕様により無い場合があります。
- ヒューズボックスのカバー裏側に各ヒューズの規定容量が表示されています。




3 ヒューズの位置を確認し、故障の状況から、点検すべきヒューズを確認してください。
→ 275 ページ「ヒューズの受け持つ装置」



4 ヒューズを抜き取ります。




5 ヒューズを点検し、切れている場合は、規定容量のヒューズと交換します。

6 ヒューズボックスのカバーを元の通り取り付けます。

# ヒューズ切れ、電球切れのとき

## ⚠ 警告

規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒューズの代わりに針金や銀紙などを使用しない。

**配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。**

禁止

## ⚠ 注意

**必ずマツダ純正品または同等品を使用してください。**

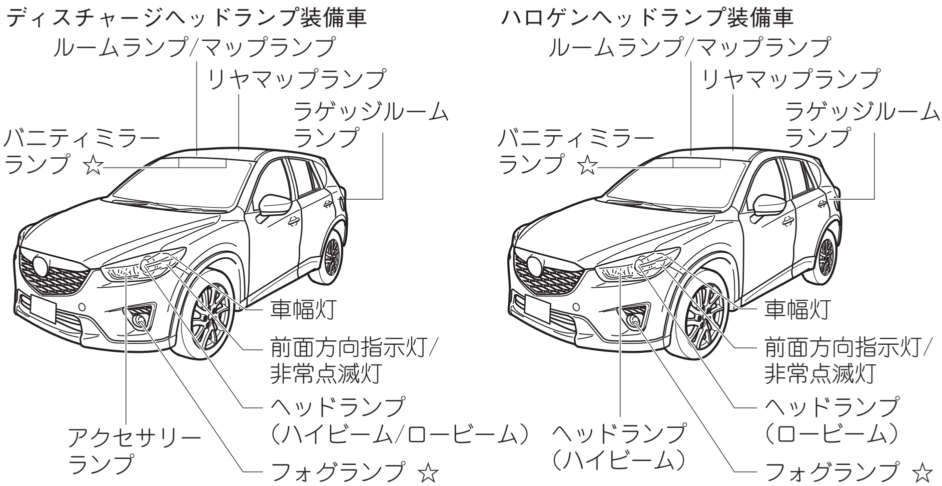
必ず守る

## 知識

ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

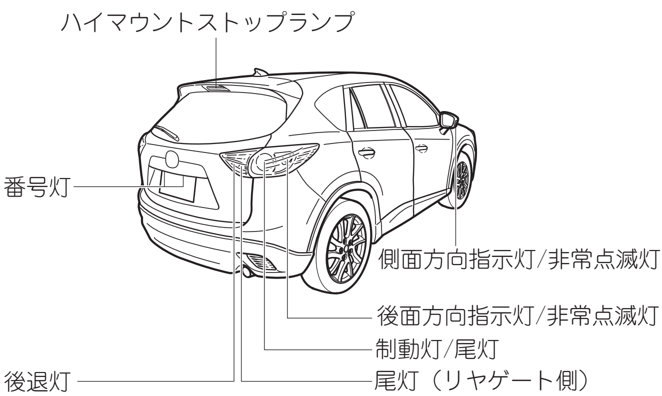
## 電球(バルブ)の交換

### フロント




☆印はグレードや仕様などにより装備の有無が異なります。

## リヤ




### ⚠ 注意

**必ず守る** 電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。やけどをするおそれがあります。

**必ず守る** 番号灯、ルームランプ、ラゲッジルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズに当たると、傷がつくおそれがあります。

# ヒューズ切れ、電球切れのとき

## 知識

- **ハロゲン球の取り扱いについて**
  ハロゲン球を素手で触れてはいけませんが、万一、誤ってハロゲン球に触れてしまったときは、水で薄めた中性洗剤 ( 約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ってください。
- **交換する電球について**
  必ず同じ W 数の電球を使用してください。
- **ランプの曇りについて**
  ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、マツダ販売店にご相談ください。

### ヘッドランプ ( ディスチャージヘッドランプ装備車 )

ヘッドランプの上向き ( ハイビーム )/ 下向き ( ロービーム ) にはディスチャージヘッドランプが装備されています。

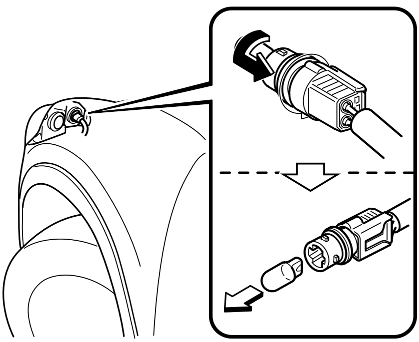
## 警告

必ず守る

**ディスチャージヘッドランプの交換・修理をするときは、必ずマツダ販売店へ相談する。**

**ディスチャージヘッドランプは高電圧を使用しているため、取り扱いを誤ると感電するおそれがあります。**

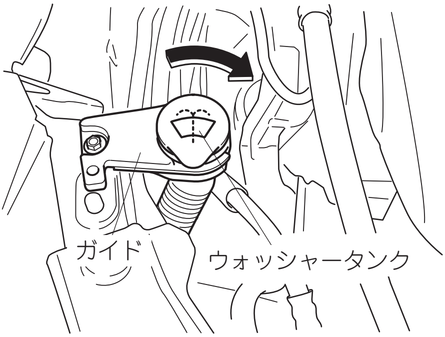
### アクセサリーランプ



1 ボンネットを開けます。
2 ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。
3 電球を取り換えます。
4 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

## ヘッドランプ ( ハロゲンヘッドランプ装備車 )

### 上向き ( ハイビーム )、下向き ( ロービーム )

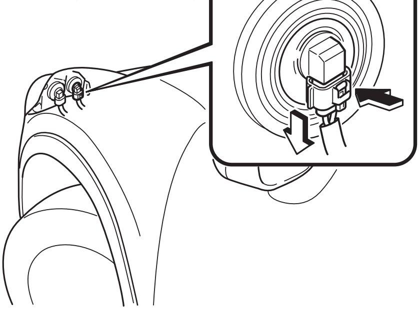



1 ボンネットを開けます。

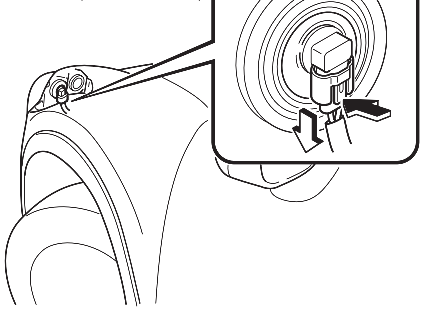
2 ( 運転席側のみ )
ウォッシャータンクをガイドからはずし、スペースをつくります。

3 ツメを押し、コネクターをはずします。

上向き(ハイビーム)

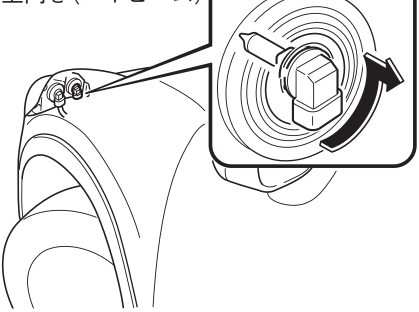


下向き(ロービーム)

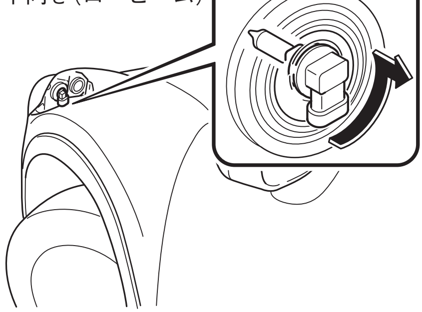


4 ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。

上向き(ハイビーム)



下向き(ロービーム)



# ヒューズ切れ、電球切れのとき

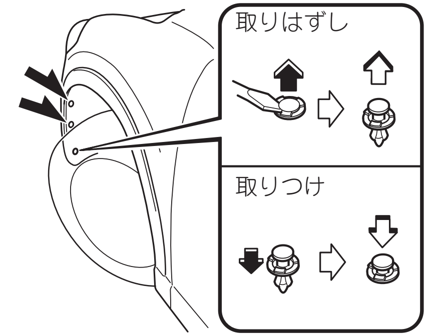
5 電球を取り換えます。

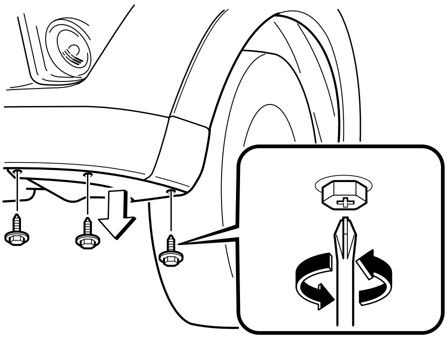
6 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

## 前面方向指示灯 / 非常点滅灯、車幅灯

1 エンジンをかけ、交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいにきり、エンジンをきります。

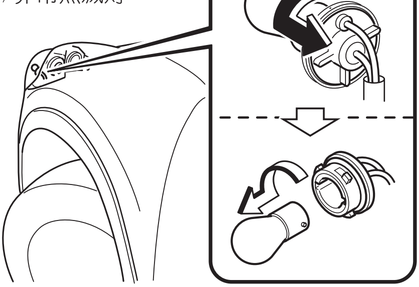
2 ファスナー、ネジをはずし、マッドガードをめくります。



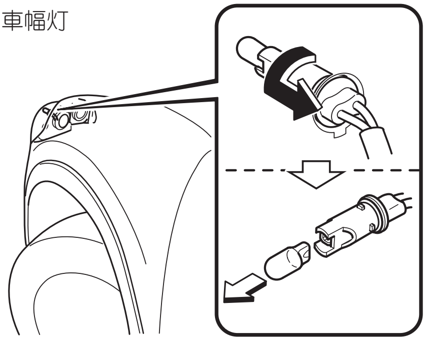



3 ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

前面方向指示灯
/非常点滅灯



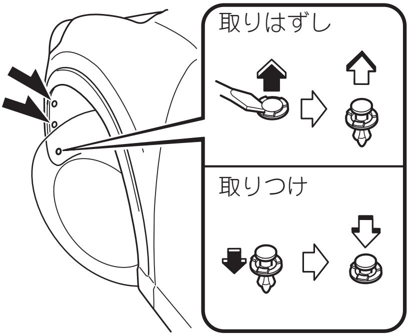
車幅灯



4 電球を取り換えます。

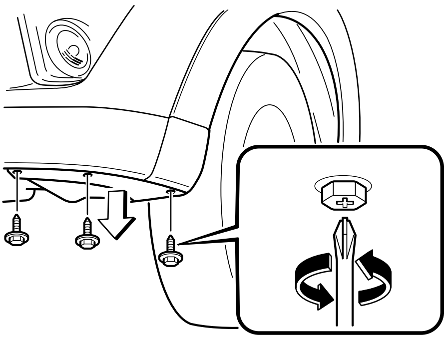
5 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

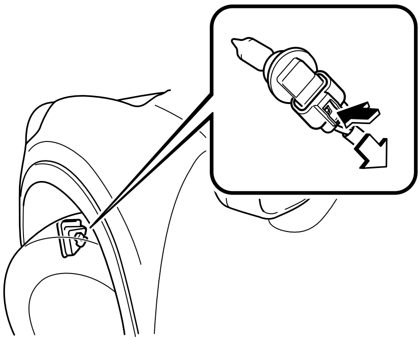
## フォグランプ （グレード/仕様別装備）




1 エンジンをかけ、交換する側と同じ方向にハンドルをいっぱいにきり、エンジンをきります。

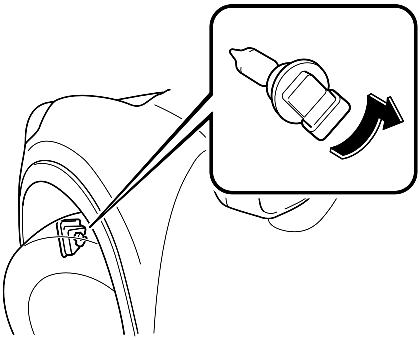
2 ファスナー、ネジをはずし、マッドガードをめくります。





3 ツメを押し、コネクターを取りはずします。

# ヒューズ切れ、電球切れのとき



4 ソケットを反時計回りにまわして取りはずします。

5 電球を取り換えます。

6 はずした手順と逆の手順で取り付けます。

## 側面方向指示灯 / 非常点滅灯

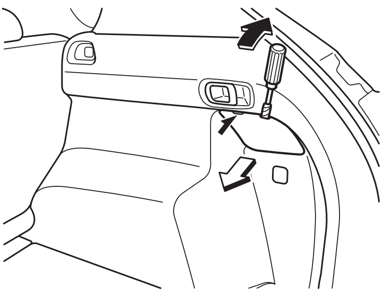
ドアミラー横にある側面方向指示灯 / 非常点滅灯は LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店へご相談ください。

## 制動灯 / 尾灯、後面方向指示灯 / 非常点滅灯、尾灯 ( リヤゲート側 )、後退灯

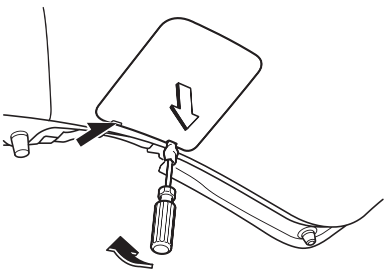
1 リヤゲートを開けます。

2 カバーを取りはずします。

制動灯/尾灯、後面方向指示灯/非常点滅灯

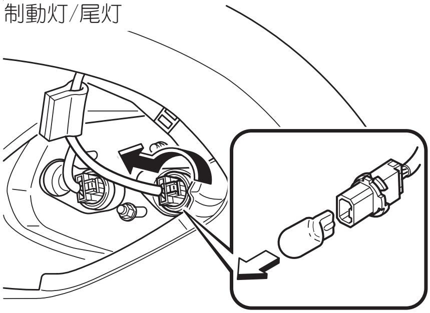


尾灯（リヤゲート側）、後退灯

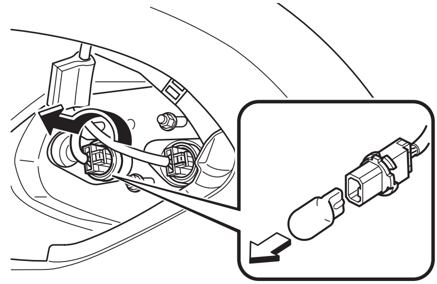


3 ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取ります。

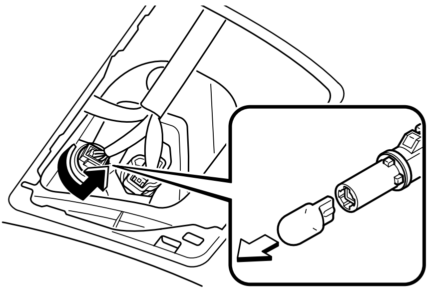
制動灯/尾灯



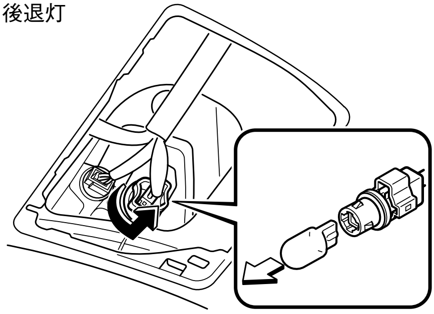
後面方向指示灯/非常点滅灯



尾灯（リヤゲート側）



後退灯



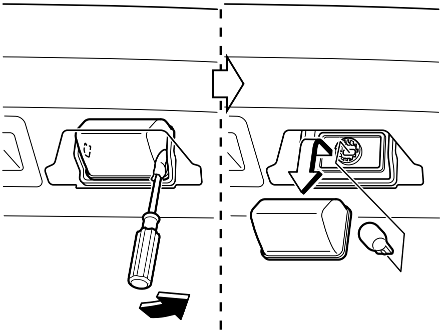
4 電球を取り換えます。

5 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

## ハイマウントストップランプ

LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店へご相談ください。

## 番号灯



1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。

2 電球を抜き取ります。

3 電球を取り換えます。

4 はずした手順と逆の手順で取り付けます。

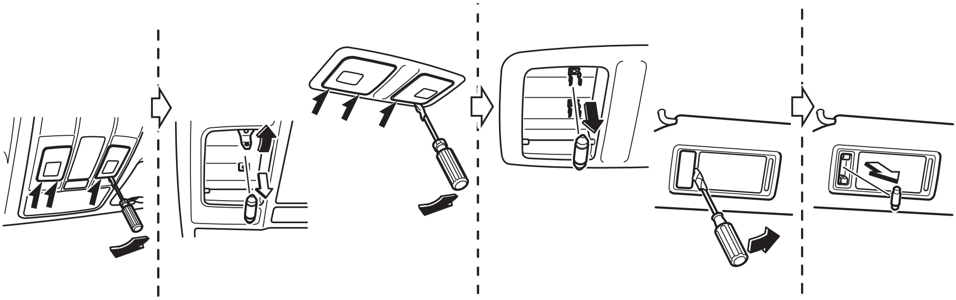
# ヒューズ切れ、電球切れのとき

## ルームランプ / マップランプ、リヤマップランプ、バニティミラーランプ

グレード/仕様別装備

1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずします。

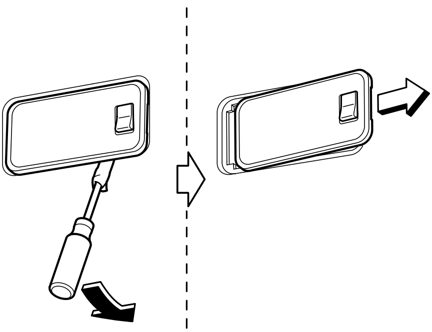
2 電球を取りはずします。




3 電球を取り換えます。

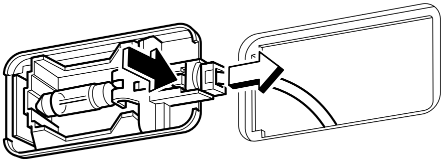
4 はずした手順と逆の手順で取り付けます。

## ラゲッジルームランプ



1 マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずします。

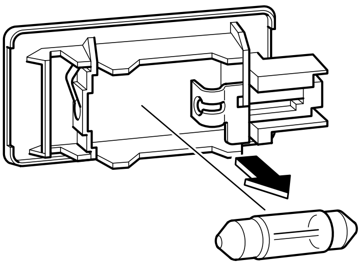
2 ツメを押し、コネクターを取りはずします。



## ⚠ 注意

必ず守る

**電球を交換するときは、必ずコネクターをはずしてから交換してください。コネクターをはずさずに電球を交換すると電気部品や電子部品がショートするおそれがあります。**



3 電球を抜き取ります。
4 電球を取り換えます。
5 はずした手順と逆の手順で取りつけます。

# 電池交換

## 電池を交換するときは

### ⚠ 注意

必ず守る：電池の+側と−側は必ず正しく取り付けてください。液漏れなどにつながるおそれがあります。

禁止：電池を交換するときは内部回路や電極に触れたり、電極を曲げたりしないように注意してください。また内部にゴミなどを付着させないでください。故障につながるおそれがあります。

必ず守る：電池を交換してもキーが作動しないときは、マツダ販売店にご相談ください。

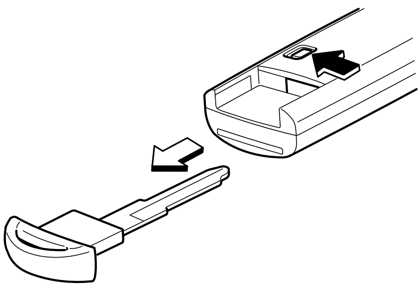
## キー

次のようなときは電池残量が少なくなっていることが考えられます。

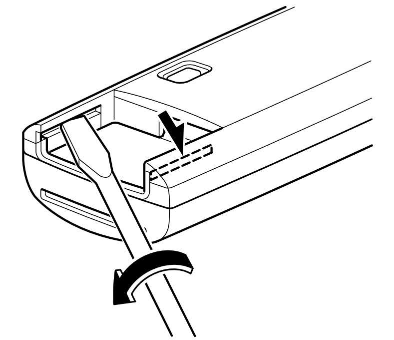
- エンジンをきったときにメーター内の KEY 表示灯 ( 緑 ) が点滅する
- キーの作動表示灯が点灯しない
- どのスイッチを押しても作動しない
- 作動範囲が狭く不安定になる

電池交換のとき、キーが破損するおそれがあるため、マツダ販売店での交換をおすすめします。お客様自身で電池の交換をする場合は、次の手順で交換してください。

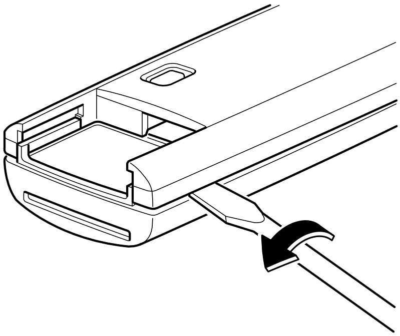
**電池の規格 : リチウム電池 CR2025**



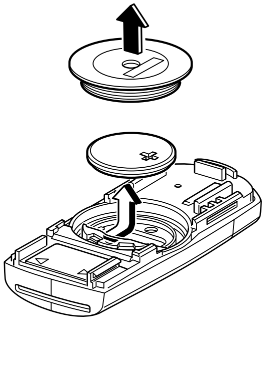
1 補助キーを引き出します。



2 マイナスドライバーなどを使ってカバーを少し開けます。

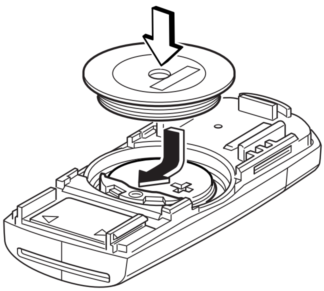


3 マイナスドライバーなどを使ってカバーを取り外します。

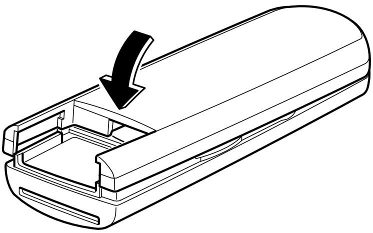


4 キャップを外して、電池を取り出します。

# 電池交換



5 新しい電池を、＋側を上にして差し込み、キャップをかぶせます。

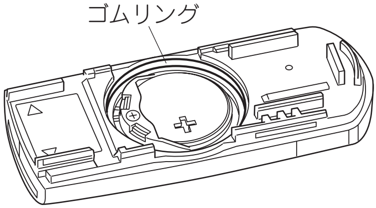


6 カバーを取り付けます。
7 補助キーを差し込みます。

## ⚠ 注意

禁止
**ゴムリングを傷つけないようにしてください。**

必ず守る
**ゴムリングが外れた場合は、新しい電池を入れる前にゴムリングを取り付けてください。**



## 外装の手入れ

車を美しく保つためには日ごろの手入れが大切です。

- 保管、駐車は風通しのよい屋根のある場所をおすすめします。
- 走行後は、車体についたほこりをやわらかい布か毛ばたきで払い落としましょう。
- とび石などによる塗装の傷は腐食の原因となります。見つけたら早めに補修してください。
- 洗車やワックスがけ、装備品の手入れは定期的に行ないましょう。
- ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は塗装を損傷するので付着させないでください。万一付着した場合はただちにふき取るか、洗車してください。
- ヘッドランプ、制動灯などのプラスチックを使用しているランプ類は、コンパウンド ( みがき粉 ) 入りのワックスを使用しないでください。
- 次のようなときは、早めに洗車などの手入れを行なってください。
- そのまま放置しておくと、塗装の変色や車体の腐食の原因となります。
  - 海岸地帯を走行したとき。
  - 凍結防止剤を散布した雪道を走行したとき。
  - ばい煙や粉じん、鉄粉、化学物質などの降下の多い場所を走行したとき。
  - 鳥のふん、虫の死がい、樹液、果実などが付いたとき。
  - コールタール、塗料、砂じん、コンクリートの粉などが付いたとき。
  - 泥、ほこりが著しく付いたとき。
  - 雨の中を走行したときや、雨にぬれたとき。

## 洗車するとき

### 水洗いするとき

1 車の足まわりに付いている泥を洗い落とします。
2 車体上部から水をかけながら、やわらかいスポンジやセーム皮などで洗います。汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、水で十分洗い流してください。
2 はん点が残らないように水をふき取ってください。

# 車の手入れ

## ⚠ 注意

必ず守る
**オートワイパー装備車は､ワイパーレバーをOFFの位置にしてください。電源ポジションがONで、ワイパーレバーがAUTOの位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。**

必ず守る
**運転席/助手席側ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームから起こしてください。また､降ろすときは助手席側のワイパーアームから降ろしてください。ワイパーアームとブレードが接触し損傷するおそれがあります。**

禁止
**エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。**

必ず守る
**洗車やワックスがけを行なうときは、車体のルーフ部の一点に強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、万一の場合、車体がへこむことがあります。**

### 自動洗車機を使用するとき

- ドアミラーを格納してください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- スポイラー装備車は、洗車機によってはスポイラーがひっかかり洗車できない場合や損傷するおそれがあります。

### 高圧洗車機を使用するとき

洗車機は機種によっては高温、高圧のものがあります。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなど樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、室内に水が入るおそれがありますので、洗車ノズルと車体との距離は十分に離してください(30cm以上)。また、同じ場所を連続して洗浄しないでください。ドアのすき間や窓ガラスまわりは、特に注意して行なってください。

## ワックスをかけるときは

- ワックスがけは月に一回程度、または水のはじきが悪くなったときに洗車してから行なってください。
- 直射日光を避け、ボディーが冷えているとき(体温以下が目安)に行なってください。

### 知識

ワックスの使用について

- コンパウンド(みがき紛)入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。
- ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

## ガラス、ミラーの手入れ

ガラスやミラーについた油膜を取るときは純正ガラスクリーナーを使用してください。
ガラスの内側をふくときは、水やぬるま湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふいてください。

### ⚠ 注意

必ず守る

**熱線を損傷するおそれがあるため、熱線にそってふいてください。ガラスクリーナーなどを使用すると、熱線をいためるおそれがあります。**

## フロントガラスの油膜をとるときは

雨の夜は、フロントガラスに油膜があると、対向車のライトなどが乱反射して、見えにくくなることがあります。
ガラスクリーナーを使ってフロントガラスの表面をきれいにしてください。

## アルミホイールの手入れ グレード/仕様別装備

アルミホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く水洗いしてください。
汚れのひどいときは中性洗剤をしみこませたやわらかい布などでふき取ってください。

### ⚠ 注意

禁止

**中性洗剤以外は使用しないでください。ご使用の際には成分をご確認ください。**
**変色・シミの原因となります。**

### 知識

アルミホイールを洗うときは

- アルミホイールは傷がつきやすいので、砂入り石けんや硬いブラシは使用しないでください。
- 自動洗車機を使用すると、ブラシにより傷がつくことがあります。

# 車の手入れ

## 外装樹脂部品の手入れ

- バンパーなど樹脂部品の塗装面にガソリン、オイル、冷却水、バッテリー液などが付着すると変色、シミ、塗膜はがれなどの原因となります。すみやかに軟らかい布でふき取ってください。
- コンパウンド (みがき粉) 入りのワックスを使用すると、塗膜を損傷するおそれがありますので使用しないでください。
- 電動またはエア工具を使用してコンパウンド (みがき粉) がけやワックスがけを行なうと摩擦熱が発生して、樹脂部品の変形や塗膜の損傷などの原因になることがありますので使用しないでください。
- プラスチックレンズを使用しているランプ類は、ガソリン、灯油、高濃度アルコール類、塗料、シンナー、強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤などの化学液により表面が変色したりダメージを受けて、機能を著しく損なうおそれがあります。お手入れの際には使用しないでください。万一付着したときは、すみやかに水で洗い流してください。

## 内装の手入れ

### 警告

禁止

**室内に水をかけない。**
**オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。**

### 知識

- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。
- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

## シートベルトの手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤 (約 5%) をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認してください。

## ⚠ 警告

**シートベルトにほつれ、すりきずなどの異常があるときは、マツダ販売店で交換する。**（必ず守る）

そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

**シートベルトの汚れを取るときは、中性洗剤を使用する。**（必ず守る）

有機溶剤を使用したり、染色、漂白するとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

## 布張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 水で薄めた中性洗剤 ( 約 5%) をやわらかい布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた部分をふき取ります。
2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

## 革張り部分の手入れ

汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミや変色を生じることがあります。早めに手入れを行なってください。

1. 掃除機などでホコリや砂を取り除きます。
2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性洗剤 ( 約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。
4. 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させます。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させてください。

# 車の手入れ

### 知識

- 天然素材のため、シボ ( 本革表面の凹凸 ) の不均一や牛革本来の傷が分かる場合があります。
- 品質を長く保つため、年に 2 回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- シート表面についた砂やホコリなどは、本革表面の保護膜を傷つけ早期摩耗の原因になります。
- 本革部分に油汚れなどが付くとカビやシミなどの原因になります。
- シートがぬれたときはすぐに乾いた布で水分をふき取ってください。表面に水分が残っていると硬化、収縮など変質の原因になります。
- 直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード ( 日除け ) を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ビニール製品を長時間シートの上に置かないでください。変質、変色の原因になります。室内が高温になっているとビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。

## 樹脂部品の手入れ

樹脂部品に油脂類が付着すると、変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。
早めにやわらかい布などでふき取ってください。

### 注意

禁止

**つや出し剤を使用しないでください。**
**含まれる成分によっては変色、シミ、ひび割れ、塗膜はがれの原因になります。**

## インストルメントパネル上面 ( ソフトパッド部 ) の手入れ

ソフトパッド部の表皮には非常にやわらかい素材を使用しています。乾いた布などで強くこすると白い擦り傷となる場合があります。

1 水で薄めた中性洗剤 ( 約 5%) をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取ります。
2 きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取ります。

### 知識

- 硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。
- シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や、アルコール、塩素系漂白剤などでふかないでください。変色、シミの原因になります。

## ピアノブラックパネルの手入れ

次の箇所には特殊な塗装処理が施されたパネルが取り付けられています。

- デコレーションパネル

パネルが汚れたときは、やわらかい布などでふき取ってください。

**知識**

硬いブラシや布で強くこすると、傷がつくことがあります。

# 季節の準備

## 冬にそなえて

### エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルに交換してください。
→ 351 ページ「エンジンオイル」

### バッテリー液の点検

気温が下がるとバッテリー性能が低下するためエンジン始動が困難になる場合があります。
バッテリー液の量、比重を点検し、必要に応じて液の補充をしてください。
点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

### 冷却水の濃度の調節

冷却水には、凍結を防止するために不凍液が入っています。
冬場になっても凍結しないよう冷却水の濃度を調節してください。

| 不凍液の割合 | 使用温度範囲<br>( 外気温 ) |
|---|---|
| 30% | − 16° C 以上 |
| 50% | − 37° C 以上 |

**純正ロングライフクーラント ( ゴールデン ) FL22 を使用する場合**

純正ロングライフクーラント ( ゴールデン ) FL22 は濃度調整済みの冷却水です。
薄めずそのままご使用ください。

冷却水量の点検や補充については別冊のメンテナンスノートに記載しています。
冷却水を交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。

### ウォッシャー液の濃度の調節

ウォッシャー液が凍結するのを防ぐため、ウォッシャー液容器に表示してある凍結温度を参考にして、外気温に応じた濃度に調節してください。
→ 273 ページ「ウォッシャー液の補充」

## 寒冷地用ワイパーブレードについて

降雪期にフロントガラスに雪が付着するのを防ぐために、寒冷地用ワイパーブレードをお使いください。
寒冷地用ワイパーブレードは通常のワイパーブレードの金属部分をゴムでおおってあります。
必要に応じてマツダ販売店でお求めください。

## 冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

**警告**

必ず守る

タイヤを交換するときは前後輪とも必ず指定された同一サイズ、同一種類のものを使用する。
**指定された組み合わせ以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を準備し、使用する前に一度装着してみて手順を理解しておきましょう。
→ 303 ページ「タイヤチェーンの取り付け」

## タイヤチェーンの取り付け

タイヤチェーンは 4WD 車も前輪に取り付けます。
タイヤチェーンはタイヤサイズに合った純正品を使用してください。タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
タイヤチェーンの取り付けは、交通のさまたげにならず、安全に作業ができる平らな場所で行なってください。
路上で行なう場合は、非常点滅灯、停止表示板 ( 停止表示灯 ) を使用してください。

# 季節の準備

## ⚠ 注意

必ず守る
標準タイヤのみタイヤチェーンの装着ができます。標準タイヤ以外のタイヤにタイヤチェーンを装着すると、タイヤチェーンがボディーなどに干渉し、傷をつけることがあります。くわしくはマツダ販売店にご相談ください。

必ず守る
純正品以外のタイヤチェーンを使用するとボディーなどに干渉し、傷をつけるおそれがあります。くわしくは、マツダ販売店にご相談ください。

禁　止
積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーンを装着して走行しないでください。チェーンの摩耗を早める原因になります。また、4WD 車は駆動系部品に悪影響をおよぼし故障につながるおそれがあります。

必ず守る
タイヤチェーンを装着したときは、30km/h 以下で走行してください。30km/h 以上で走行すると、タイヤチェーンにかかる負担が大きくなるため、チェーンが切れやすくなります。

## 知識

タイヤチェーンについて

- お客様のお車にタイヤチェーンは標準で搭載されていません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。
- アルミホイール装着車にタイヤチェーンを取り付けると、ホイールに傷がつくおそれがあります。

## 夏にそなえて

### オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足していないかこまめに点検してください。
点検要領は別冊のメンテナンスノートに記載しています。

### エアコンのチェック

エアコンの冷媒 ( エアコンガス ) が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前にマツダ販売店で点検を受けておきましょう。

### 炎天下に駐車したあとは

炎天下に駐車したあとは室内の温度が大変高くなります。このようなときは、窓ガラスを開けて、室内の熱気を逃がしてからエアコンを作動させてください。

# 環境保護のために

## 廃棄物を処理するときは

廃棄物については、法律上適切な処理が求められています。

- タイヤを燃やすと有毒なガスが発生するので、自己処理はしないでください。使用済みタイヤは新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- バッテリーは鉛や硫酸が使われています。使用済みバッテリーは新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルやクーラントが地下や川などに流れ出すと、環境を悪化させます。交換済みのエンジンオイルは新品エンジンオイルを購入した販売店に処分を依頼してください。また、クーラントを交換する場合はマツダ販売店にご相談ください。
- エアコンにはオゾン層を破壊しない代替フロンガス HFC134a (R134a) を使用しています。それでも代替フロンガスには地球を温暖化するはたらきがあります。ガスの大気放出を防止するため、エアコンの点検、修理はマツダ販売店か専門の修理業者に依頼してください。

# MEMO

# 5 トラブルが起きたら


## 故障したとき 308

路上で動けなくなったとき............... 308
スタックしたとき .............................. 309
踏切内で動けなくなったとき........... 309

## 緊急用具の取り扱い 310

発炎筒 ................................................ 310
工具、ジャッキの格納場所............... 311
ジャッキの取り扱い .......................... 311

## パンクしたとき 315

タイヤパンク応急修理キット........... 315

## バッテリーがあがったとき 322

バッテリーあがりについて............... 322

## エンジンが始動しないとき 325

燃料切れしたときは
（SKYACTIV-D 2.2）...................... 325

## オーバーヒートしたとき 326

オーバーヒートについて .................. 326

## キーが作動しないとき 328

キー一時停止機能.............................. 328

## けん引について 329

けん引してもらうとき ...................... 329
故障車をけん引するとき .................. 331

## 万一事故が起きたとき 333

## 警報チャイム 334

チャイムがなったときは .................. 334

## 警告灯 336

警告灯が点灯、点滅したときは....... 336

## リヤゲート 349

リヤゲートが
開けられなくなったとき............... 349

# 故障したとき

## 路上で動けなくなったとき

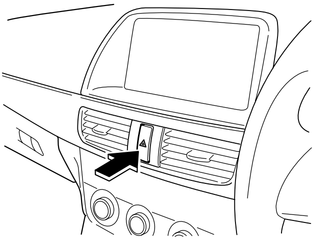
一般の道路で動けなくなったときに付近に人がいる場合は救援を求めてください。
セレクトレバーを N にいれ、安全な場所まで押し出します。

**警告**

禁止

万一、事故や故障などで車から燃料がもれている場合は、すぐにエンジンを止める。

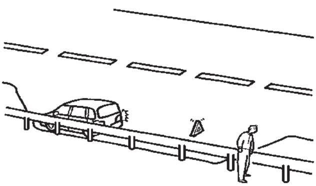
**爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。**



1 車を路肩に止め、非常点滅灯を点滅させます。

2 必要に応じて停止表示板（停止表示灯）、発炎筒を使用し、後続車に故障車であることを知らせます。
→ 310 ページ「発炎筒」

- 高速道路や自動車専用道路などでは車の後方に停止表示板（停止表示灯）を置くことが法律で義務づけられています。
- 停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意してください。



3 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難してください。

4 安全を確保した後、救援を求めます。
故障の修理などお困りの際はマツダ販売店へ連絡してください。

**知識**

**停止表示板（停止表示灯）について**

停止表示板（停止表示灯）はお客様のお車に標準で搭載されておりません。万一に備えてあらかじめ用意しておいてください。マツダ販売店でお求めいただけます。

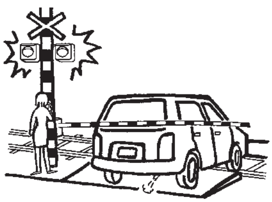
# スタックしたとき

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んで動けなくなることをスタックといいます。

- 周囲の安全を十分に確認してください。脱出直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤ前後の土や雪を取り除くか、タイヤの下に木や石をあてがい、セレクトレバーを D または R にいれて、アクセルペダルを軽く踏みます。セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両の周辺に人がいないことを確認してください。あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり、異常過熱するため思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを空転させないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

# 踏切内で動けなくなったとき

## 脱輪などで動けなくなったとき



1. 踏切の非常ボタンを押します。緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
   → 310 ページ「発炎筒」
2. 付近の人に救援を求めます。

## エンストで動けなくなったとき

1. エンジンをかけ直します。
2. エンジンがかからないときは、踏切の非常ボタンを押します。
   緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図します。
   → 310 ページ「発炎筒」
3. 付近の人に救援を求めます。
   セレクトレバーを N に入れ、安全な場所まで押し出します。

### 知識

**緊急避難について**

スターターを使って、車を緊急避難させることはできません。

## 発炎筒

### ⚠ 警告

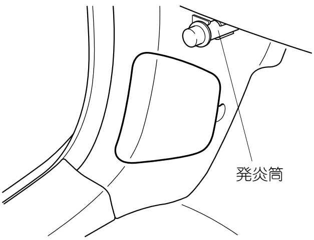
**油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しない。**
火災につながるおそれがあります。

**使用するときは筒先を顔や身体に向けたり近づけない。**
やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

**お子さまにはさわらせない。**
誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

**トンネル内では発炎筒を使用しない。**
トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

### 発炎筒について




事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読み、あらかじめ確認しておいてください。

- 使用方法
- 使用上の注意事項
- 発炎時間
- 有効期限

# 工具、ジャッキの格納場所

## ⚠ 警告

必ず守る

車に搭載されているジャッキを使用する。

**車に搭載されているジャッキはお客様のお車専用のものです。**

**車に搭載されている以外のジャッキを使用すると、車体が損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## ⚠ 注意

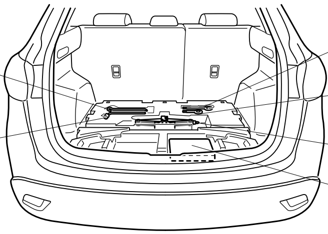
禁止

**ジャッキはタイヤ交換、タイヤチェーンの取り付け、取りはずし以外に使用しないでください。**

必ず守る

**工具、ジャッキを使用したあとは走行中に動かないよう、所定の位置にしっかりと固定してください。**

工具、ジャッキは図の位置に格納されています。




# ジャッキの取り扱い

## ジャッキアップする前に

1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。

2 セレクトレバーを P にいれます。

3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをしっかりとかけ、エンジンを止めます。

4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（停止表示灯）を使用します。
→ 308 ページ「路上で動けなくなったとき」

5 人や荷物を降ろし、工具、ジャッキを取り出します。
→ 311 ページ「工具、ジャッキの格納場所」

6 輪止めを用意します。

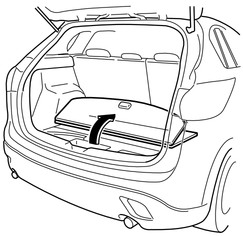
# 緊急用具の取り扱い

## 知識

**輪止めについて**

輪止めはお客様のお車に標準で搭載されておりません。必要に応じてマツダ販売店でお求めください。なお、輪止めには、タイヤを固定できる大きさの石や木材が代用できます。

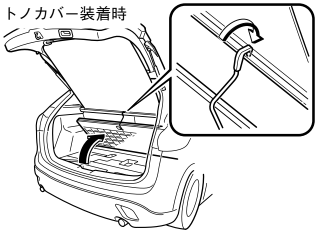
## ジャッキを取り出すとき



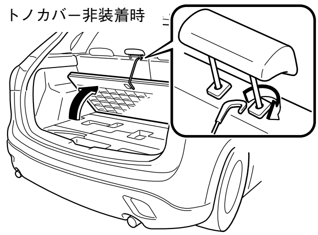
1 トランクボードを開きます。

2 **(トノカバー装着時)**
トランクボードを持ち上げ、フックをトノカバーへ引っかけます。
**(トノカバー非装着時)**
トランクボードを持ち上げ、フックをヘッドレストへ引っかけます。

トノカバー装着時



トノカバー非装着時



3 ジャッキを取り出します。

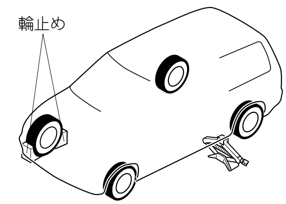
## ジャッキアップするとき

### 警告

必ず守る

ジャッキアップするときはセレクトレバーをPにいれ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをする。

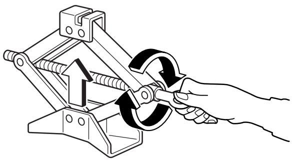
**セレクトレバーがPにはいっていても、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。**



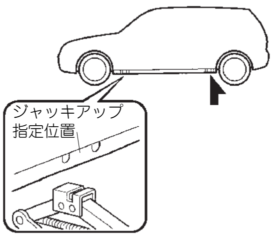

1 ジャッキをかける位置と対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。

- 前輪をジャッキアップするときは、後輪の前後
- 後輪をジャッキアップするときは、前輪の前後

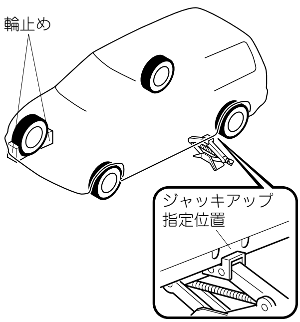
2 ジャッキを地面に置きます。



3 ジャッキの図の部分を手でまわしてジャッキをジャッキアップ指定位置の近くにくるよう調節します。




4 ジャッキをジャッキアップ指定位置（目印となるふくらみの間）の中央に直角にセットします。




5 ジャッキを徐々に上げて、ジャッキアップ指定位置（目印となるふくらみの間）の中央にジャッキがはまっていることを確認します。

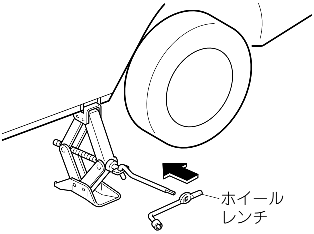
## ⚠ 警告

禁止

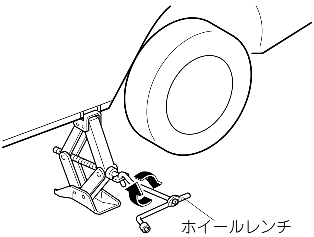
**ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れない。**

**車体が変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。**

# 緊急用具の取り扱い




6 ジャッキにジャッキバーをかけ、ジャッキバーにホイールレンチを組み付けます。




7 タイヤが地面から少し離れるまで車をジャッキアップします。

## 警告

禁止 **必要以上にジャッキアップしない。**
車体が不安定になるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止 **ジャッキアップした状態で車のエンジンをかけない。**
ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

禁止 **ジャッキアップした車の下には絶対にはいらない。**
万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害につながるおそれがあります。

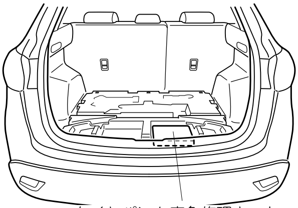
## 注意

禁止 人を乗せたままジャッキアップしないでください。

## ジャッキを格納するとき

ジャッキを取り出すときと逆の手順で格納します。

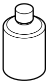
# タイヤパンク応急修理キット


タイヤパンク応急修理キット

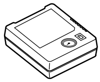
本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。
タイヤパンク応急修理キットは図の位置に格納されています。

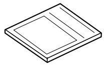
## タイヤパンク応急修理キットについて

タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。

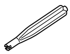

修理剤


注入ホース


エアコンプレッサー


取扱説明書


予備バルブコア


コア回し


速度制限シール

### ⚠ 警告

必ず守る **万一飲用したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受ける。**
**修理剤を飲用すると健康に害があります。**

必ず守る **修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄する。**
**それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。**

禁止 **お子さまには修理剤をさわらせない。**
**誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。**

# パンクしたとき

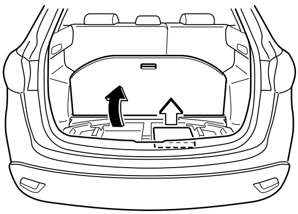
## 知識

**修理剤の使用について**

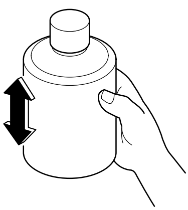
- 一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店でお求めください。
- 次のようなときには、修理剤を使用することができません。マツダ販売店または JAF などに連絡してください。
  - 修理剤の有効期限がきれているとき（有効期限はボトルのラベルに記載されています）
  - 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
  - 接地部以外が損傷を受けたとき
  - ほとんど空気の抜けた状態で走行したとき
  - タイヤがホイールからはずれているとき
  - ホイールが破損しているとき
  - タイヤが 2 本以上パンクしているとき

## タイヤパンク応急修理キットの使いかた

1 交通のさまたげにならず、安全に作業できる地面の平らで固い場所に車を移動します。
2 セレクトレバーを P にいれます。
3 ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。
4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止表示板（停止表示灯）を使用します。



5 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理キットを取り出します。



6 修理剤のボトルをよく振ります。

## ⚠ 警告

**注入ホースをねじ込む前にボトルを振る。**

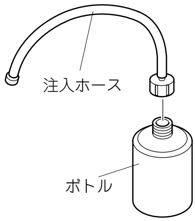
必ず守る

**注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振ると、修理剤が注入ホースから飛び散り、修理剤が衣服などに付着すると取れないおそれがあります。**

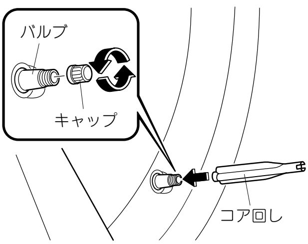
## 知識

**修理剤の性質について**

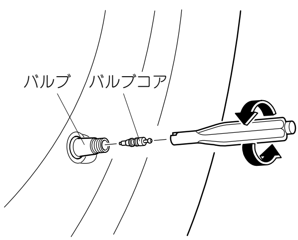
0° C 以下の寒冷時では修理剤が固まりやすくなり、注入作業がしにくくなります。車内などで暖めると注入作業がしやすくなります。




7 ボトルのキャップをはずします。内ぶたをつけたままの状態で注入ホースをボトルにねじ込むと、ボトルの内ぶたが破れます。




8 パンクしたタイヤのバルブからキャップを取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内のバルブコアを押してタイヤの空気を完全に抜きます。




9 コアまわしでバルブコアを左にまわし、バルブコアを取りはずします。

# パンクしたとき

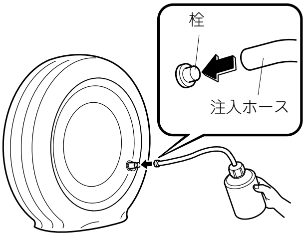
## ⚠ 注意

**バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残っているとバルブコアが飛び出すおそれがあります。バルブコアは慎重に取りはずしてください。**

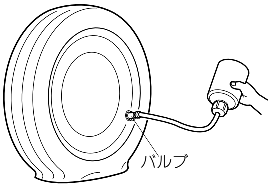
必ず守る

## 知識

バルブコアは汚れないように保管してください。




10 注入ホースの栓をはずし、注入ホースをバルブに差し込みます。



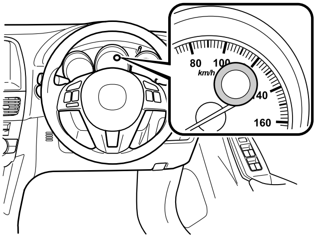

11 ボトルを逆さまにして持ち、手でボトルを圧迫し、修理剤を全てタイヤの中に注入します。

12 注入ホースをバルブから引き抜き、コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブにバルブコアを取り付けます。

## 知識

**修理剤の回収について**

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換または恒久修理の際に修理剤の回収に使用しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売店までお持ちください。

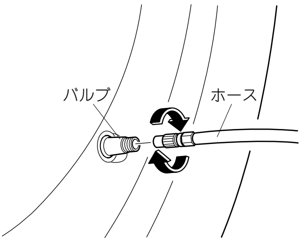



13 運転者のよく見えるところに速度制限シールを貼ります。

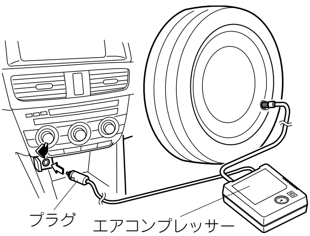
## ⚠ 警告

**ハンドルのパッド部に制限速度シールを貼らない。**

**万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置には貼らないでください。**




14 エアコンプレッサーのホースをバルブに取り付けます。




15 エアコンプレッサーのプラグを車内の電源ソケットに差し込み、電源ポジションを ACC にします。
→ 249 ページ「電源ソケット」

## ⚠ 注意

**電源ソケットにエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認してください。エアコンプレッサーの ON、OFF はエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。**

# パンクしたとき

16 エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、タイヤを適正空気圧まで昇圧します。

## 知識

**空気圧の調整について**

- タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。
- エアコンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10 分以上連続して作動させないでください。
- タイヤ空気圧が昇圧できない場合は修理できません。もし、10 分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店または JAF などに連絡してください。
- 空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金を緩めて空気を抜いてください。

17 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしエアコンプレッサーのホースをバルブから抜きます。

18 バルブキャップを取り付けます。

19 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、直ちに走行を始めます。

## 注意

必ず守る

**80km/h 以下の速度で慎重に運転してください。80km/h 以上の速度で走行した場合、車体が振動することがあります。**

20 10 分間もしくは 5km 程度走行後に手順 15 の方法でタイヤにエアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックします。適正空気圧より低下していたら、手順 16 の作業から再度行ないます。

## 警告

禁止

空気圧が 130kPa（1.3kgf/cm$^2$）以下に低下していたら、運転を中止してマツダ販売店または JAF などに連絡する。

**本修理キットによる応急修理はできません。**

禁止

手順 15 ～ 21 の作業を繰り返しても、空気圧の低下が認められる場合は、運転を中止する。

**マツダ販売店または JAF などに連絡してください。**

## ⚠ 注意

**タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしてから確認してください。**

必ず守る

21 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し、タイヤの交換を行なってください。

## 知識

**応急修理をしたタイヤとホイールは**

- タイヤパンク応急修理キットで応急修理をしたタイヤは、できるだけ早くマツダ販売店で修理、交換を行なってください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できます。ただし、バルブは新しいものと取り替えてください。

## タイヤパンク応急修理キットの点検

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に行なってください。

- 修理剤の有効期限の確認
- コンプレッサーの作動の確認

## 知識

**修理剤の有効期限について**

修理剤には有効期限があります。有効期限がきれたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきれる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

# バッテリーがあがったとき

## バッテリーあがりについて

次のような状態はバッテリーあがりです。

- スターターがまわらない。またはまわっても回転が弱く、なかなかエンジンがかからない。
- ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ランプ類がいつもより極端に暗い。

### ⚠ 警告

**正しく安全にバッテリーを取り扱うために、バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。**

必ず守る

必ず保護メガネを着用する。

**バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。**

必ず守る

バッテリーの近くでお子さまを遊ばせない。また、バッテリー液をこぼさない。

**バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一、目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。**

必ず守る

絶対に火気を近づけない。

**バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子同士やボディーに触れないように十分注意してください。**

必ず守る

換気の悪い場所では、バッテリーの充電を行なわない。また、充電中はバッテリーに近づかない。

**バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。**

必ず守る

ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ずバッテリー液の量を点検する。

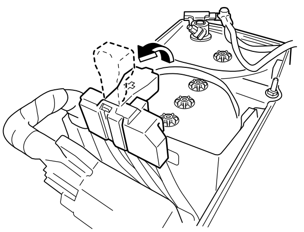
**バッテリー液の量が下限（LOWER LEVEL）より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂（爆発）につながるおそれがあり危険です。バッテリー液が不足しているときは、エンジン始動前に必ず補充液または蒸留水を補充してください。**

## 処置方法

押しがけによる始動はできません。
別売のブースターケーブルを使用して、救援車（他の車）のバッテリーと自車のバッテリーを接続してエンジンをかけます。
自車と同じ12Vバッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

### ⚠ 注意

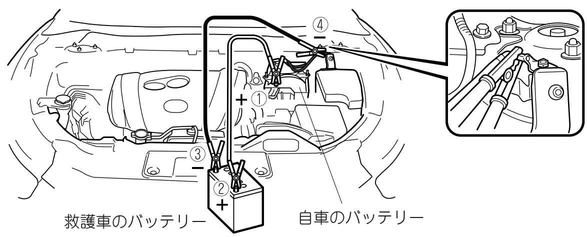
必ず守る
**ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなどの回転部に巻き込まれるおそれがあります。**



1 自車のバッテリーと救援車のバッテリーが一番近い位置になるように、車を移動させます。
2 ヘッドランプやエアコンなどの電源が切ってあることを確認します。
3 バッテリーカバーを取りはずします。

4 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続します。
ブースターケーブルを接続する前に各バッテリーの端子(＋、−)の位置を確認してください。

- **1本目**
  ① 自車のバッテリーの＋端子
  ② 救援車のバッテリーの＋端子
- **2本目**
  ③ 救援車のバッテリーの−端子
  ④ 図で表示の箇所（アースを取る）



# バッテリーがあがったとき

## ⚠ 警告

**禁止**

バッテリーを取り扱うときは、絶対に火気を近づけない。

**バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。また、火花の発生を防ぐため次の点を必ず守ってください。**

- **④の接続は自車バッテリーの－端子につながないでください。**
- **ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子がボディーや－端子に触れないように十分注意してください。**

5 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにします。

6 自車のエンジンをかけます。約３分間エンジンを回転させて、応急的に自車のバッテリーを充電します。

## ⚠ 警告

**禁止**

充電中はバッテリーに近づかない。

**バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。**

7 ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずします。

8 バッテリーカバーを取り付けます。

9 早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

## 知識

バッテリーがあがりやすいときは、マツダ販売店で点検を受けてください。

## 燃料切れしたときは（SKYACTIV-D 2.2）

**⚠ 注意**

**連続して 30 秒以上エンジンを始動しないでください。 30 秒以上連続してエンジンを始動するとスターターを損傷するおそれがあります。**
**最初のエンジン始動でエンジンが始動しない場合、10 秒待ってから再度エンジン始動を試みてください。**

燃料切れを起こした場合、少なくとも 10L の燃料を補給してからエンジンを始動してください。燃料切れが起きると燃料系統に空気が入り、エンジン始動に時間がかかることがあります。最初のエンジン始動でエンジンが始動しない場合、エンジン始動を数回試みてください。それでも始動しないときはマツダ販売店へ連絡してください。

# オーバーヒートしたとき

## オーバーヒートについて

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 高水温警告灯（赤）が点灯し、エンジンの出力が急に低下したとき。
- エンジンルームから蒸気が出ているとき。

### 警告

禁止

**エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けない。**

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。また、蒸気が出てない場合でも高温になっている部分があります。ボンネットを開けるときは十分に注意してください。

禁止

**エンジンが十分に冷えるまではラジエーターとリザーバータンクのキャップを開けない。**

エンジンが熱いときにキャップをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

禁止

**エンジンルーム内を点検するときは、ファンやベルトなどの回転部に触れない。**

特に、エンジンルームが高温のときは、エンジンが止まっていてもファンが回転することがあるため、手や指などが巻き込まれるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

# 処置方法

1 安全な場所に車を止めます。
2 エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

**エンジンルームから蒸気が出ているときは**

エンジンを止めてください。蒸気が出なくなるまで待ち、風通しをよくするためにボンネットを開け、エンジンを始動してください。

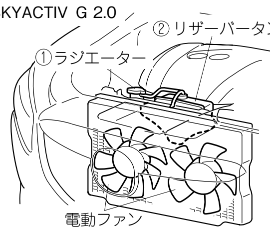
**エンジンルームから蒸気が出ていないときは**

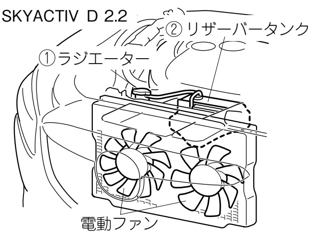
エンジンをかけたままボンネットを開け、エンジンを冷やします。
電動ファンが作動していることを確認し、高水温警告灯（赤）が消灯したらエンジンを止めます。

## 注意

必ず守る

**電動ファンが作動していないときは、エンジン温度がさらに上昇します。ただちにエンジンを止め、マツダ販売店にご連絡ください。**




3 エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量を点検します。量が不足しているときは①ラジエーター②リザーバータンクの順に冷却水を補充してください。
補充後はキャップを確実に取り付けてください。
4 早めに最寄りのマツダ販売店で点検を受けてください。

## 知識

**冷却水がない場合は**

一時的に水を補充してください。
水を補充したあとは、冷却水の濃度をもとにもどしてください。

# キーが作動しないとき

## キー一時停止機能

キーが車内にあるとき、車内に置いてあるキーの機能（プッシュボタンスタートでのエンジン始動、リクエストスイッチの操作（アドバンストキーレス機能装備車））が盗難防止のため、一時停止する場合があります。
次のいずれかの操作で復帰させてください。

- 一時停止したキーのいずれかのスイッチを押す
- 別のキーを携帯し、KEY 表示灯（緑）が点灯するまでブレーキペダルを踏み込む

## けん引してもらうとき

けん引はできるだけマツダ販売店または JAF などに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店または JAF などに連絡してください。

### 警告

必ず守る

**長い下り坂を降りるときは、レッカー車でけん引する。**
**ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突するおそれがあります。**

### 注意

必ず守る

**オートマチック車をロープでけん引してもらうときは、速度 30km/h 以下、走行距離は 30km 以内にしてください。**

必ず守る

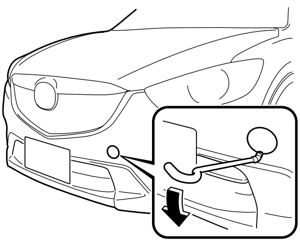
**4WD 車のけん引は、前後輪すべてを持ち上げるか、前後輪接地状態で搬送してください。駆動装置の故障時は、トレーラーなどに搭載して搬送してください。前輪または後輪だけを持ち上げた状態でけん引すると、駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。**

必ず守る

**金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。**

やむをえずロープでけん引してもらうときは、車両の前側にあるけん引フックを使用し、次の手順で行なってください。

1 けん引フック（ロングタイプ）、ホイールレンチをラゲッジルームから取り出します。
→ 311 ページ「工具、ジャッキの格納場所」

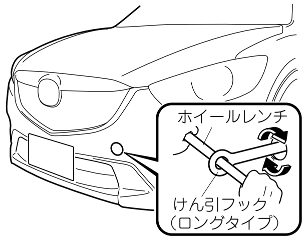


2 マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。

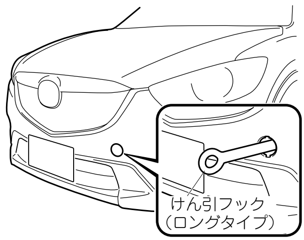
# けん引について

## ⚠ 注意

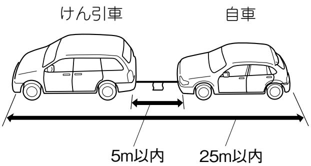
必ず守る カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。




3 ホイールレンチを使ってけん引フック（ロングタイプ）を確実に取り付けます。




4 けん引ロープをフックにかけます。




5 ロープは 5m 以内にして、中央に 0.3m 平方（0.3m × 0.3m）以上の白い布を必ずつけてください。

6 けん引してもらう車はエンジンをかけ、セレクトレバーを N にいれます。エンジンがかからないときは、電源ポジションを ACC にします。

## ⚠ 警告

必ず守る **やむをえずエンジンがかかっていない状態でけん引される場合は、慎重に運転する。**

エンジンがかかっていないときは、ブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなるなど運転操作が困難になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

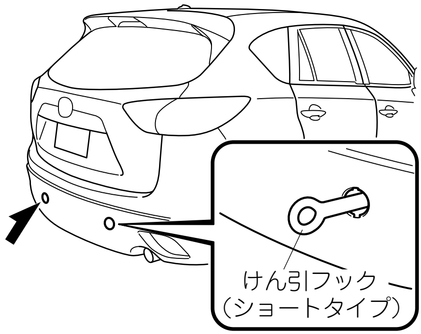
## ⚠ 注意

必ず守る けん引中は電源ポジションを OFF にしないでください。OFF（LOCK）にするとハンドルがロックされ、操作できなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

7 パーキングブレーキを解除します。
8 けん引する車の制動灯に注意し、ロープをたるませないように走行してください。

## 故障車をけん引するとき

一般路上でやむをえず故障した車をロープでけん引するときは、後ろ側のけん引フックにロープをかけてけん引してください。



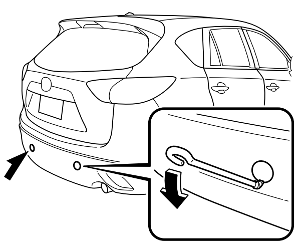

### ⚠ 注意

**けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を損傷するおそれがあります。**（必ず守る）

- **自車の重量より重い車はけん引しないでください。**
- **急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。**
- **けん引フック以外にロープをかけないでください。**

**金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端についているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。**（必ず守る）

1 けん引フック（ショートタイプ）、ホイールレンチをラゲッジルームから取り出します。
→311 ページ「工具、ジャッキの格納場所」



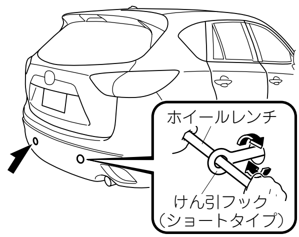
# けん引について

2 マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずします。

**注意**

必ず守る

**カバーはバンパーから完全に取りはずし、紛失しないように保管してください。**




3 ホイールレンチを使ってけん引フック（ショートタイプ）を確実に取り付けます。

# 万一事故が起きたとき

事故が起きたときは、あわてず次の処置をしてください。

## 1.事故の続発防止

他の交通のさまたげにならない安全な場所(路肩、空き地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。

## 2.負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。
この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。

## 3.警察への連絡

事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。

## 4.相手の氏名、住所などの確認

## 5.マツダ販売店、保険会社への連絡

### 知識

**事故がおきたら**

軽いけがでも、必ず警察に届けましょう。また、外傷がなくても頭部などに強い衝撃を受けたときは、医師の診断を受けましょう。後遺症がでることがあります。

# 警報チャイム

## チャイムがなったときは

システムの故障や、使用上の注意が必要な場合に警報チャイムでお知らせします。
確認してもチャイムが鳴り止まないときは、マツダ販売店に連絡してください。

| チャイム | 現象 | 確認してください |
|---|---|---|
| ランプ消し忘れ防止チャイム<br>**知識**<br>音量を変更できます。<br>→ 125 ページ「インテリジェント・ドライブ・マスター(i-DM)」 | 電源ポジションを OFF にして運転席ドアを開けるとチャイムが鳴り続けるとき | ランプを点灯させたままになっていないか |
| エアバッグ警告チャイム /<br>プリテンショナー警告チャイム | 約 35 分のあいだに、毎分 5 秒間チャイムが鳴り続けるとき | **警告**<br>禁止<br>**エアバッグ警告チャイム / プリテンショナー警告チャイムが鳴っているまま走行しない。**<br>衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。 |
| シートベルト着用忘れチャイム | 車速が約 20km/h 以上になるとしばらくの間チャイムが鳴るとき | 運転席 / 助手席シートベルトの着用を確認する。着用すると鳴り止む。 |
| プッシュボタンスタートもどし忘れ警報 | 運転席ドアを開けたときに、チャイムが鳴り続けるとき | 電源ポジションを OFF にしているか |
| キー車外持ち出し警報 | すべてのドアを閉めたときにチャイムが 6 回鳴り、メーター内の KEY 警告灯（赤）が点滅し続けるとき | 電源ポジションを OFF にせずにキーを車外に持ち出していないか |

| チャイム | 現象 | 確認してください |
|---|---|---|
| リクエストスイッチ不作動警報 | キーを携帯してドアのリクエストスイッチを押すと、チャイムが約 2 秒間鳴るとき | いずれかのドア、リヤゲートが開いていないか |
| | | 電源ポジションを OFF にしているか |
| キーリヤゲート内閉じ込み警報 | フロントドアを施錠した状態でリヤゲートを閉めたときに、チャイムが約 10 秒間鳴るとき | キーを荷室に置いていないか |
| キー車内閉じ込み警報 | キーを携帯して施錠しようとしたときに、チャイムが約 10 秒間鳴るとき | キーを車内に置いていないか |
| | いずれかのドアが開いた状態でドアを施錠し、ドア / リヤゲート閉めたときに、チャイムが約 10 秒間鳴るとき | |
| i-stop 警告チャイム | アイドリングストップ中にチャイムが鳴り、メーター内の i-stop 警告灯（橙）と他の警告灯も点灯したとき | シートベルトをはずして運転席ドアを開けていないか |
| | | ボンネットが開いていないか |
| | アイドリングストップ中にチャイムが鳴るとき | 運転席ドアが開いていないか |
| 電動ハンドルロック警告チャイム | プッシュボタンスタートを押した後、チャイムが鳴るとき | ハンドルがロックしていないか |
| タイヤ空気圧警報チャイム | チャイムが約 3 秒間鳴り、メーター内のタイヤ空気圧警告灯が点灯したとき | タイヤ空気圧が低下していないか |

# 警告灯

## 警告灯が点灯、点滅したときは

マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車のメーターは、警告灯 / 表示灯が一部ディスプレイに表示されます。
メーター内の警告灯 / 表示灯と併せて、ディスプレイの表示を確認して下さい。
→ 141 ページ「警告灯、表示灯」

### マスター警告灯が点灯した



**マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車**

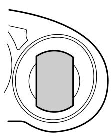
システムの故障をお知らせするとき点灯します。
ディスプレイに表示されたメッセージを確認してください。

**マルチディスプレイ ( セグメント液晶タイプ ) 装備車**

次のようなときは点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 充電装置に異常があるとき
- ブレーキスイッチに異常があるとき
- (SKYACTIV-D 2.2)
  - エンジン油圧制御に異常があるとき
  - エンジンのタイミングチェーンに異常があるとき
  - ブローバイヒーターに異常があるとき

### ディスプレイにメッセージ情報が表示された ( マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車 )



メーター内のマスター警告灯が点灯すると、ディスプレイにシステムの作動状態や故障、異常状態などをお知らせするメッセージが表示されます。
ディスプレイ上部のシンボルを確認してください。
→ 141 ページ「警告灯、表示灯」

## ブレーキ警告灯が点灯した



次のようなときは点灯し続けます。
ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

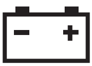
- ブレーキ液が不足しているとき。
- ブレーキ装置（電子制御制動力配分システム）に異常があるとき。

### ⚠ 警告

禁止　ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しない。
**ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。また停車するときは、ブレーキの効きが悪くなっているおそれがあるため、ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。**

必ず守る　ブレーキ警告灯とABS警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。
**急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

## ディスプレイに充電警告表示が表示された、または充電警告灯が点灯した （グレード/仕様別装備）



エンジン回転中、充電装置に異常があると点灯します。
ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡してください。

### ⚠ 警告

禁止　充電警告灯が点灯したまま走行しない。
**エンジンが不意に停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。**

# 警告灯

## ディスプレイにオイル警告表示が表示された、またはオイル警告灯が点灯した



エンジン回転中、エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
SKYACTIV-D 2.2 はエンジンオイルが異常に劣化した場合にも点灯します。
ただちに安全な場所に停車し、エンジンを止め、エンジンオイルの量を点検してください。
エンジンオイルの量が不足しているときは補充してください。
エンジンオイルの量が不足していないのに点灯するときや、補充しても点灯し続けるときは、マツダ販売店に連絡してください。

## ディスプレイにレンチ表示が表示された、またはレンチ表示灯が点灯した



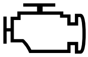
### マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車

あらかじめ設定されたメンテナンス時期になると点灯します。
メッセージに従い、メンテナンスを実施してください。

### マルチディスプレイ ( セグメント液晶タイプ ) 装備車 (SKYACTIV-D 2.2)

セジメンタ内にたまった水が規定量以上のときは点灯し続けます。
マツダ販売店で点検を受けてください。

## エンジン警告灯が点灯または点滅した



エンジン制御システムに異常があると点灯 / 点滅し続けます。
高速走行をせず、マツダ販売店で点検を受けてください。
点検を受けるときは、エンジン警告灯が点灯 / 点滅したときの走行状態をマツダ販売店にご連絡ください。

## 高水温警告灯 ( 赤 ) が点灯または点滅した



エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅し、さらに高くなると点灯します。

**点灯したときは**

オーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。

→ 326 ページ「オーバーヒートについて」

**点滅したときは**

エンジン冷却水の温度が異常に高くなったときに点滅します。

エンジンに負担をかけないように、ゆっくり走行してください。

## i-stop 警告灯が橙色で点滅した

i-stop

システムに異常があるときは点滅し続けます。

マツダ販売店で点検を受けてください。

## RVM 警告灯が橙色で点灯した グレード/仕様別装備

RVM

システムに異常があるときは点灯し続けます。

マツダ販売店で点検を受けてください。

運転する前に
運転するときに
室内装備の使い方
お手入れのしかた
トラブルが起きたら
車両スペック
さくいん

# 警告灯

## ABS 警告灯が点灯した




システムに異常があるときは点灯し続けます。
マツダ販売店で点検を受けてください。

### 警告

必ず守る

ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に連絡する。

**急制動時に後輪が通常より早くロックしやすくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。**

### 知識

ABS 警告灯が点灯しているときは、ABS は作動しませんが、通常のブレーキ性能は確保されています。

## エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯が点灯または点滅した



次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。
- 点灯 / 点滅し続けるとき。

### 警告

禁　止

エアバッグ警告灯 / プリテンショナー警告灯が点灯または点滅したまま走行しない。

**衝突したときにエアバッグまたはプリテンショナー機構が正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。マツダ販売店で点検を受けてください。**

## ディスプレイにオートマチックトランスミッション警告表示が表示された、または警告灯が点灯した グレード/仕様別装備

AT

システムの異常が考えられます。
マツダ販売店で点検を受けてください。

## ディスプレイに電動パワーステアリング警告表示が表示された、または警告灯が点灯した グレード/仕様別装備



エンジン回転中、電動パワーステアリングに異常があると点灯します。
警告灯が点灯したときは安全な場所に停車し、エンジンを停止してください。
エンジンを再始動した後でも警告灯が消灯しない場合は、マツダ販売店に連絡してください。

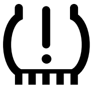
### 知識

**警告灯が点灯したときは**

- 電動パワーステアリングは正常に作動しません。この場合、ステアリング操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。
- 停車中または低速走行時にステアリング操作を繰り返すと、システム保護のためステアリング操作が重くなる場合がありますが、異常ではありません。安全な場所に停車し、ステアリング操作を行わないでください。しばらくするともとにもどります。

# 警告灯

## タイヤ空気圧警告灯が点灯または点滅した



### 点灯するとき

タイヤの空気圧が低下したときは点灯します。
タイヤ空気圧を適正空気圧に調整してください。
→ 359 ページ「タイヤ空気圧」
調整した後も点灯する場合はタイヤのパンクが考えられます。
→ 315 ページ「パンクしたとき」

### 点滅するとき

タイヤ空気圧警報システムに異常があると、電源ポジションを ON にすると約 1 分間点滅し、その後点灯し続けます。マツダ販売店で点検を受けてください。

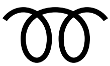
### 警告

必ず守る

**タイヤ空気圧警告灯が点灯または点滅したときは高速走行をしない。**

**警告灯が点灯または点滅したときは、ブレーキの効きやハンドルの操作性が低下しています。徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。高速走行や急なブレーキ操作などをするとおもわぬ事故につながるおそれがあります。**

## 予熱表示灯が点灯した (SKYACTIV-D 2.2)



システムに異常があるときは点灯しない、または点灯したままになります。マツダ販売店で点検を受けてください。

## ディスプレイに DPF 警告表示が表示された、または DPF 表示灯が点滅した (SKYACTIV-D 2.2) グレード/仕様別装備

**DPF**

### マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車

システムに異常があるときはディスプレイに「DPF 点検」と表示されます。
ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

### マルチディスプレイ ( セグメント液晶タイプ ) 装備車

システムに異常があるときは DPF 表示灯が点滅します。
ただちにマツダ販売店で点検を受けてください。

### 注意

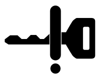
必ず守る

**ディスプレイに「DPF 内に PM が堆積しています」と表示されたまま、または、DPF 表示灯が点灯したまま運転を続けると、さらに PM が堆積し、ディスプレイの表示が「DPF 点検」に変わる、または、表示灯が点滅することがあります。この場合はただちにマツダ販売店で点検を受けてください。点検を受けずにそのまま運転を続けると、エンジンの不調につながるおそれがあります。**

### 知識

ディスプレイに「DPF 点検」と表示されているとき、または、DPF 表示灯が点滅しているときは、ディーゼルパティキュレートフィルターを保護するために、エンジン出力は制限されます。

## ディスプレイに KEY 警告表示が表示された、または KEY 警告灯が赤色で点灯または点滅した グレード/仕様別装備



### マルチディスプレイ(ドット液晶タイプ)装備車

#### 「キーレスシステム点検」と表示されるとき

アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムに故障が発生した場合に表示されます。

#### 「電源ポジションを OFF にしてください」と表示されるとき

電源ポジションを OFF にせずに、運転席ドアを開けると表示されます。

#### 「キーが見つかりません」と表示されるとき

キーが作動範囲内にないとき、または、キーを車内の感知しにくい場所に置いているときに、次の操作をすると表示されます。

- 電源ポジションが OFF で、プッシュボタンスタートを押したとき
- 電源ポジションを ON にしたとき
- 電源ポジションを OFF にせずに、運転席ドアを開けたとき、または、すべての席のドアを閉めたとき

→19ページ「アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」

### マルチディスプレイ(セグメント液晶タイプ)装備車

#### 点灯するとき

システムの異常が考えられます。
マツダ販売店で点検を受けてください。

**注意**

必ず守る

**メーター内の KEY 警告灯(赤)が点灯し続ける、またはプッシュボタンスタートの表示灯が橙で点滅している場合はエンジンの始動ができなくなるおそれがあります。直ちにマツダ販売店で点検を受けてください。**

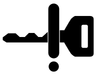
### 点滅するとき

- 次のようなとき、警告灯が点滅し、電源ポジションを OFF 以外にできないことをお知らせます。
  - キーの電池が切れたとき
    → 292 ページ「キー」
  - キーが作動範囲内にないとき
  - キーを車内でも感知しにくい場所に置いているとき
    → 19 ページ「アドバンストキーレスエントリー & プッシュボタンスタートシステムの機能を使っての操作」
  - キーに類似した他社のキーが作動範囲内にあるとき
- 次のようなときは警告灯が点滅し続け、電源ポジションを OFF にせずに、キーを車外に持ち出したことを知らせます。
  キーを車内にもどすと消灯します。
  - 電源ポジションを OFF にせずに、キーを車外に持ち出したあと、すべてのドアを閉めたとき

**知識**

警告灯の点滅と同時にチャイムでもお知らせします。
→ 334 ページ「チャイムがなったときは」

## ディスプレイに KEY 警告表示が表示された、または KEY 表示灯が緑色で点滅した グレード/仕様別装備



### マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）装備車

キーの電池容量が残り少なくなっているときに電源ポジションを ON から OFF にすると「キーの電池容量がわずかです」と表示されます。
キーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。
→ 292 ページ「キー」

### マルチディスプレイ（セグメント液晶タイプ）装備車

キーの電池容量が残り少なくなっていることが考えられます。
このとき、電源ポジションを ON から OFF にしたときに、30 秒間点滅します。
キーが使用できなくなる前に新しい電池と交換してください。
→ 292 ページ「キー」

## TCS/DSC 作動表示灯が点灯した



次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- 走行中に点灯したとき。

## TCS OFF 表示灯が点灯した

TCS
OFF

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。
- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。
- TCS を解除していないのに点灯したとき。

## AFS OFF 表示灯が点滅した グレード/仕様別装備

AFS
OFF

次のようなときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

- 電源ポジションを ON にしても点灯しないとき。
- 点滅し続けるとき。

### 知識

**AFS が故障したときは**

- AFS は作動しませんが、ヘッドランプは点灯します。
- ヘッドランプオートレベリング機能が故障した場合は AFS OFF 表示灯が点滅します。

## 方向指示 / 非常点滅表示灯の点滅が異常に速くなった



電球切れが考えられます。
マツダ販売店で点検を受けてください。

## 低水温表示灯 ( 青 ) が暖機後も点灯し続ける



十分に暖機しても点灯したままのときは、温度センサーなどの故障が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

## セキュリティ表示灯が点灯または点滅するとき



登録されたキーで電源ポジションを ON にしても表示灯が点灯 / 点滅し続けるときはシステムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

セキュリティ表示灯が点灯 / 点滅したままの状態でエンジンを停止すると、再度エンジンを始動することができない可能性があります。エンジンを停止せずマツダ販売店で点検を受けてください。

## ディスプレイにセジメンタ警告表示が表示された (SKYACTIV-D 2.2) ( マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ))



セジメンタ内にたまった水が規定量以上のときは点灯し続けます。
マツダ販売店で点検を受けてください。

## ディスプレイに 4WD 警告表示が表示された、または 4WD 表示灯が点灯 / 点滅した

**4WD**

### マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 装備車

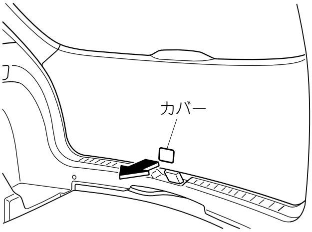
- 4WD システムに異常があるとき、または、前後輪のタイヤサイズが大きく異なるときは、ディスプレイに「4WD システム点検」と表示します。
  マツダ販売店で点検を受けてください。
- ディファレンシャルオイルの温度が異常に高くなったときは、ディスプレイに「安全な場所に停車してください」と表示します。
  安全な場所に停車し、表示が消えたことを確認して発進してください。表示が消えないときは、マツダ販売店に連絡してください。

### マルチディスプレイ ( セグメント液晶タイプ ) 装備車

- 4WD システムに異常があるとき、または、前後輪のタイヤサイズが大きく異なるときに点灯します。
  マツダ販売店で点検を受けてください。
- ディファレンシャルオイルの温度が異常に高くなったときに点滅します。
  安全な場所に停車し、消灯したことを確認して発進してください。消灯しないときは、マツダ販売店に連絡してください。

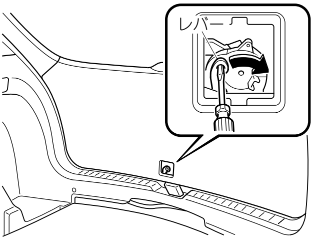
## リヤゲートが開けられなくなったとき

バッテリーあがりや電気系統の故障などで、リヤゲートの解錠ができず開けられなくなったときは応急処置として以下の方法で開けることができます。




1 リヤシートを倒します。
→ 40 ページ「荷室を作るとき」

2 マイナスドライバーなどを使ってリヤゲート車内側にあるカバーをはずします。




3 レバーを右側に動かして解錠します。
応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

# 燃料、オイル、液類

## 燃料

使用燃料については、76 ページの「給油するとき」もあわせてお読みください。

| 項目 | | サービスデータ |
|---|---|---|
| 使用燃料 | SKYACTIV-G 2.0 | 無鉛レギュラーガソリン |
| | SKYACTIV-D 2.2 | 低硫黄軽油 |
| タンク容量 (参考値) | 2WD 車 | 56 L |
| | 4WD 車 | 58 L |

## ディーゼル車の使用燃料について

ディーゼル車の使用燃料（軽油）は、外気温が低くなると凍結し、燃料パイプが詰まってエンジンの始動ができなくなるなど故障の原因になります。
寒冷地域に移動するときは、現地に着くまでに燃料の残量が 1/2 以下になるようにしておき、到着後はできるだけ早く寒冷地用の燃料を補給してください。

### 知識

フェリーを利用して寒冷地域に移動するときは、到着後すぐに寒冷地用の燃料を補給できるよう、乗船前の燃料の残量を 1/2 以下にしておいてください。

| 軽油の種類 | 使用限界の目安温度 *1 |
|---|---|
| JIS 特 1 号 | +5° C |
| JIS1 号 | − 2.5° C |
| JIS2 号 | − 7.5° C |
| JIS3 号 | − 20° C |
| JIS 特 3 号 | − 30° C |

*1 使用条件や環境により多少異なります。

## フューエルフィルター (SKYACTIV-D 2.2)

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| 交換時期 | 60,000 km 走行ごと |

## エンジンオイル

オイル量の確認は、必ずレベルゲージで行なってください。
交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。
寒冷地では、エンジンオイルが劣化しやすいので、早めにオイルを交換してください。

| 項目 | | サービスデータ | |
|---|---|---|---|
| 交換時期 | SKYACTIV-G 2.0 | 標準 | 15,000 km または 1 年ごと |
| | | シビアコンディション *1 | 7,500 km または 6 か月ごと |
| | SKYACTIV-D 2.2 | 標準 | 10,000 km または 1 年ごと |
| | | シビアコンディション *1 | 5,000 km または 6 か月ごと |

# 燃料、オイル、液類

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>サービスデータ</th></tr>
<tr><td rowspan="7">オイルグレード</td><td rowspan="5">SKYACTIV-G 2.0</td><td rowspan="2">純正モーターオイルゴールデンECO SM/SN*2</td><td>API SN/ILSAC GF-5、SAE 0W-20</td></tr>
<tr><td>API SM/ILSAC GF-4、SAE 0W-20</td></tr>
<tr><td rowspan="3">純正モーターオイルゴールデンSM</td><td>API SM/ILSAC GF-4、SAE 5W-20</td></tr>
<tr><td>API SM/ILSAC GF-4、SAE 5W-30</td></tr>
<tr><td>API SM/ILSAC GF-4、SAE 10W-30</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SKYACTIV-D 2.2*3</td><td colspan="2">純正ディーゼルオイルエクストラ SKYACTIV-D*4<br>SAE 0W-30</td></tr>
<tr><td>純正ディーゼルオイルエクストラ DL-1</td><td>JASO DL-1、SAE 5W-30</td></tr>
<tr><td rowspan="4">交換量(参考値)</td><td rowspan="2">SKYACTIV-G 2.0</td><td>オイルのみ</td><td>4.0 L</td></tr>
<tr><td>オイルとオイルフィルター</td><td>4.2 L</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SKYACTIV-D 2.2</td><td>オイルのみ</td><td>4.8 L</td></tr>
<tr><td>オイルとオイルフィルター</td><td>5.1 L</td></tr>
</table>

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

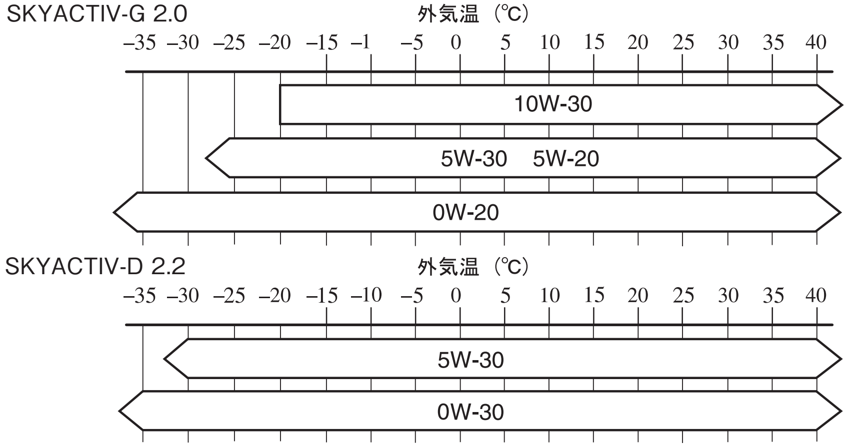
*2 純正モーターオイルゴールデン ECO (SN もしくは SM) は省燃費性に優れたエンジンオイルです。SKYACTIV-G 2.0 には、SN の使用を推奨します。

*3 表に記載されたエンジンオイルを使用してください。表に記載されていないエンジンオイルを使用すると、ディーゼルパティキュレートフィルター (DPF) の劣化が早くなります。
オイル交換後は、マツダ販売店などの整備工場で記憶値の初期化 ( オイルデータリセット ) を行なってください。コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、オイル警告灯が通常より早めに点灯することがあります。

*4 純正ディーゼルオイルエクストラ SKYACTIV-D は省燃費性に優れたエンジンオイルです。SKYACTIV-D 2.2 には、純正ディーゼルオイルエクストラ SKYACTIV-D の使用を推奨します。

## 使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。




# エンジンオイルフィルター

| 項目 | | サービスデータ | |
|---|---|---|---|
| 交換時期 | SKYACTIV-G 2.0 | 標準 | 15,000 km または 1 年ごと |
| | | シビアコンディション *1 | 7,500 km または 6 か月ごと |
| | SKYACTIV-D 2.2 | 標準 | 10,000 km または 1 年ごと |
| | | シビアコンディション *1 | 5,000 km または 6 か月ごと |

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

# 燃料、オイル、液類

## オートマチックトランスミッションフルード

| 項目 | | サービスデータ |
|---|---|---|
| 推奨フルード | | 純正 ATF FZ |
| 容量<br>( 参考値 ) | SKYACTIV-G 2.0 | 7.8 L |
| | SKYACTIV-D 2.2 | 8.0 L |

## ディファレンシャルオイル (4WD 車 )

| 項目 | サービスデータ | |
|---|---|---|
| 交換時期 | 標準 | 無交換 |
| | シビアコンディション [*1] | 60,000 km 走行ごと |
| 推奨オイル | 純正ロングライフハイポイド SAE 80W-90 (GL-5) | |
| 容量 ( 参考値 ) | 0.45 L | |

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## トランスファーオイル (4WD 車 )

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| 推奨オイル | 純正ロングライフハイポイド SAE 80W-90 (GL-5) |
| 容量 ( 参考値 ) | 0.45 L |

# ブレーキ液

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| 交換時期 | 2 年ごと ( 初回は 3 年 ) |
| 推奨液 | 純正ブレーキフルード BF-3 (DOT-3) |

# 冷却水

液量の確認は、リザーバータンク表面のゲージで行なってください。

| 項目 | | サービスデータ |
|---|---|---|
| 交換時期 | 純正ロングライフクーラント | 2 年ごと ( 初回は 3 年 ) |
| | 純正ロングライフクーラント ( ゴールデン )[*1] | 100,000 km 走行または 4 年ごと ( 初回は 180,000 km 走行または 9 年 ) |
| 推奨液 | | 純正ロングライフクーラント、純正ロングライフクーラント ( ゴールデン )[*1] |
| 容量 ( 参考値 ) | SKYACTIV-G 2.0 | 7.6 L |
| | SKYACTIV-D 2.2 | 9.2 L |

*1 ラジエーターキャップまたはその付近にFL22のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント ( ゴールデン ) を使用してください。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

# ウォッシャー液

液量の確認は、レベルゲージで行なってください。

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| タンク容量 ( 参考値 ) | 2.2 L |

# 各部の点検値、交換時期

## ブレーキペダル

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| 遊び | 3 ～ 5 mm |
| 床板とのすき間 ( 踏力 147 N {15 kgf}) | 118.2 mm 以上 |
| フロアマットとのすき間 ( 踏力 147 N {15 kgf}) | 95.0 mm 以上 |

## パーキングブレーキ

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| 引きしろ ( 操作力 98 N {10 kgf}) | 4 ノッチ以下 |

## オルタネーターベルト

| 項目 | サービスデータ |
|---|---|
| たわみ量 | 自動調整式 ( 使用限度をこえているものは交換 ) |

## エアクリーナーエレメント

| 項目 | サービスデータ | |
|---|---|---|
| 交換時期 | 標準 | 50,000km 走行ごと |
| | シビアコンディション *1 | 25,000km 走行ごと |

*1 シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

## スパークプラグ (SKYACTIV-G 2.0)

| 項目 | | サービスデータ |
|---|---|---|
| 型式 | NGK | ILKAR7L11*1 |
| | DENSO | ZC20HPR11*1 |

*1 SKYACTIV-G の最適な性能を発揮するためのスパークプラグです。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

**注意**

**イリジウムプラグを使用しておりますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。**

## バッテリー

| 項目 | | サービスデータ |
|---|---|---|
| 型式、容量 | SKYACTIV-G 2.0 | Q-85*1 |
| | SKYACTIV-D 2.2 | T-110*1 |

*1 Q-85、T-110 はアイドリングストップ車用です。アイドリングストップシステムを正しく作動させるために、Q-85、T-110 を使用してください。
マツダ純正バッテリーの使用を推奨します。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

## 電球 ( バルブ ) の容量

| 電球 ( バルブ ) | | | W 数 (12 V用) | 規格 (ECE R (SAE)) |
|---|---|---|---|---|
| ヘッドランプ | ハロゲンヘッドランプ装備車 | 上向き ( ハイビーム ) | 60 W | HB3 (HB3) |
| | | 下向き ( ロービーム ) | 55 W | H11 (H11) |

# 電気部品 / 電球 ( バルブ )

| 電球 ( バルブ ) | | W 数 (12 V 用) | 規格 (ECE R (SAE)) |
|---|---|---|---|
| ヘッドランプ | ディスチャージヘッドランプ装備車 | 35 W | D4S (D4S) |
| フォグランプ グレード / 仕様別装備 | | 55 W | H11 (H11) |
| 車幅灯 | | 5 W | W5W (4CP) |
| アクセサリーランプ グレード / 仕様別装備 | | 5 W | W5W (4CP) |
| 前面方向指示灯 / 非常点滅灯 | | 21 W | PY21W (32CP) |
| 側面方向指示灯 / 非常点滅灯 | | LED*1 | — (—) |
| 後面方向指示灯 / 非常点滅灯 | | 21 W | WY21W (22.3CP) |
| 制動灯 / 尾灯 | | 21/5 W | W21/5W (#7443) |
| 尾灯 ( リヤゲート側 ) | | 5 W | W5W (4CP) |
| 後退灯 | | 16 W | W16W (#921) |
| 番号灯 | | 5 W | W5W (—) |
| ハイマウントストップランプ | | LED*1 | — (—) |
| ルームランプ ( フロント )/ マップランプ | | 8 W | — (—) |
| リヤマップランプ | | 8 W | — (—) |
| ラゲッジルームランプ | | 5 W | — (—) |
| バニティミラーランプ グレード / 仕様別装備 | | 2 W | — (—) |

*1 LED は Light Emitting Diode の略で発光するダイオードです。

## ヒューズ

→ 275 ページ「ヒューズの受け持つ装置」

# タイヤ / ホイールサイズ

## 標準タイヤ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

| タイヤサイズ | ホイール | | |
|---|---|---|---|
| | サイズ | インセット (オフセット) | ピッチサークル直径 |
| 225/65R17 102V | 17 × 7J | 50.0 mm | 114.3 mm |
| 225/55R19 99V | 19 × 7J | | |

# タイヤ空気圧

## 標準タイヤ

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。
→ 269 ページ「タイヤの点検」
空気圧調整後はタイヤ空気圧警報システムを正常に作動させるため、タイヤ空気圧警報システムの初期化が必要です。
→ 217 ページ「タイヤ空気圧警報システムの初期化」

| タイヤサイズ | タイヤ空気圧 | |
|---|---|---|
| | 前輪 | 後輪 |
| 225/65R17 102V | 230 kPa (2.3 kgf/cm$^2$) | 230 kPa (2.3 kgf/cm$^2$) |
| 225/55R19 99V | 250 kPa (2.5 kgf/cm$^2$) | 250 kPa (2.5 kgf/cm$^2$) |

# ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

# 設定変更 ( カスタマイズ機能 )

マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）付きメーター装備車は、以下の機能の設定をお客様自身で変更することができます。
マルチディスプレイ（ドット液晶タイプ）付きメーター非装備車は、以下の機能の設定をマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。
変更できる機能は、仕様によって異なります。

| 機能 | 内容 | 初期設定 | 変更内容 |
|---|---|---|---|
| 方向指示器 | 方向指示器のブザー音量を変更できます。 | 大 | 小 |
| ランプ消し忘れ防止チャイム | ランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更できます。 | 大 | 小 /OFF |
| リアビークルモニタリングシステム | RVM 警報チャイムの音量を変更できます。 | 大 | 小 /OFF |
| スマートシティーブレーキサポート (SCBS) | スマートシティーブレーキサポート (SCBS) が作動しないように変更できます。 | ON | OFF |
| インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM)*1 | インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) 表示を OFF にできます。 | ON | OFF |

機能設定の変更手順については、133 ページの「トリップコンピューター」をご覧ください。
*1 マルチディスプレイ ( ドット液晶タイプ ) 付きメーター装備車のみ変更できます。

以下の機能の設定をマツダ販売店で変更することができます。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

| 機能 | 内容 | 初期設定 | 変更内容 |
|---|---|---|---|
| 電波式キーレスエントリーシステム | アンロックスイッチを押して解錠したあと、ドアまたはリヤゲートを開けなかった場合に自動的に施錠される時間を変更できます。 | 30 秒 | 60 秒 /90 秒 |
| アドバンストキーレスエントリーシステム | 施錠 / 解錠時のチャイムの音量を変更できます。*1 | 中 | OFF/ 小 / 大 |
| | アンロックスイッチ / リクエストスイッチを押して解錠したあと、ドアまたはリヤゲートを開けなかった場合に自動的に施錠される時間を変更できます。 | 30 秒 | 60 秒 /90 秒 |
| | オートロック機能を作動するように変更できます。 | OFF | ON |
| オートワイパー機能 | オートワイパー機能を作動しないように変更できます。 | ON | OFF |
| オートライト機能 | ヘッドランプが点灯するタイミングを変更できます。 | 標準 ( 通常の明るさで点灯 ) | 早く / 少し早く / 少し遅く / 遅く |
| イルミネーテッドエントリーシステム | ドアを閉めてからルームランプが消灯するまでの時間を変更できます。 | 15 秒 | 7.5 秒 /30 秒 /60 秒 |
| | ドアが確実に閉まっていないとき、ルームランプが自動的に消灯するまでの時間を変更できます。 | 30 分 | 60 分 /10 分 |

*1 トランスミッタのボタン操作で設定の変更ができます。変更手順については、23ページの「キーによる施錠 / 解錠 ( アドバンストキーレス機能装備車 )」をご覧ください。

# さくいん


## A

ABS
( アンチロックブレーキシステム ) ........ 189
　警告灯が点灯した ............................ 340
AFS ( アダプティブフロント
ライティングシステム ) .......................... 180
　表示灯が点滅した ............................ 347

## D

DPF ( ディーゼルパティキュレート
フィルター ) ............................................ 228
　DPF 表示灯 ........................................ 228
　PM の除去 .......................................... 228
DSC ( ダイナミックスタビリティ
コントロール ) ........................................ 194
　TCS/DSC 作動表示灯 ..................... 195
　作動表示灯が点灯した ..................... 346

## E

EDR ( イベントデータレコーダー ) ........ 93

## I

i-stop ( アイストップ ) ............................ 114
　i-stop OFF スイッチ ........................ 120
　i-stop 警告チャイム ........................ 119
　i-stop 警告灯 ( 橙 )/
　i-stop 表示灯 ( 緑 ) ............................ 118
　i-stop 警告灯 ( 橙 ) が点滅した ....... 339
　ディスプレイ表示 ............................ 120
　発進補助装置 .................................... 122

## S

SRS エアバッグシステム .......................... 82
　EDR ...................................................... 93
　エアバッグの種類 .............................. 82
　エアバッグの注意点 .......................... 84
　警告灯が点灯 / 点滅した .................. 340

## T

TCS ( トラクションコントロール
システム ) ................................................ 192
　TCS/DSC 作動表示灯 ..................... 192
　TCS OFF スイッチ ........................... 193
　TCS OFF 表示灯 .............................. 193
　TCS OFF 表示灯が点灯した .......... 346
　作動表示灯が点灯した ..................... 346

## ア

アクセサリーランプ
　電球 ( バルブ ) 交換 .......................... 282
アドバンストキー
　エンジンをかけるとき ..................... 109
アルミホイール
　手入れ ................................................ 297
アンチロックブレーキシステム
(ABS) ...................................................... 189
　警告灯が点灯した ............................ 340
アンテナ .................................................. 244

## イ


イグニッション ( エンジン )
　キー.................................................... 15
　スイッチ.........................................107
イベントデータレコーダー（EDR）......... 93
イモビライザーシステム.......................... 80
　セキュリティ表示灯が
　点灯 / 点滅した...............................347
イルミネーテッドエントリー
システム.............................................245
インテリアライト ( 室内照明 )...............245
インテリジェント・ドライブ・
マスター (i-DM).....................................125
インナーミラー ( ルームミラー )............ 51


## ウ


ウインカー ( 方向指示器 )
　電球 ( バルブ ) 交換........................282
　レバー...............................................181
　W ( ワット ) 数..................................357
ウインドー
　曇ったとき
　( フルオートエアコン )...................242
　手入れ...............................................297
　はさみ込み防止機構.......................... 71
　パワーウインドー............................. 70
　リヤウインドーデフォッガー
　( 曇り取り ) スイッチ.......................188
ウォッシャー
　ウォッシャー液の補充.....................273
　ウォッシャースイッチ.....................183
　タンク容量.......................................355
　冬にそなえて ( 濃度の調節 )...........302


## エ


エアクリーナーエレメント
　交換時期...........................................356
エアコン ( 空調 )...................................236
　上手な使いかた................................236
　吹き出し口 ( 空調 )..........................237
　フルオートエアコン........................239
エアバッグシステム................................ 82
　EDR.................................................... 93
　エアバッグの種類............................. 82
　エアバッグの注意点.......................... 84
　警告灯が点灯 / 点滅した.................340
エマージェンシーシグナルシステム
(ESS).......................................................191
エンジン
　かけかた...........................................108
　キー.................................................... 15
　きるとき...........................................113
　始動しないとき................................325
　スイッチ...........................................107
　予熱表示灯が点灯した.....................342
エンジンオイル
　オイル警告灯が点灯した.................338
　交換時期、オイルグレード、
　交換量...............................................351
　点検...................................................271
　フィルター.......................................353
　冬にそなえて....................................302
エンジン回転計 ( タコメーター )...........131
エンジンフード ( ボンネット )
　開けかた...........................................262
　閉めかた...........................................263
エンスト ( 故障したとき ).....................309

## オ


大型コンソールボックス........................254
オーディオリモートコントロールスイッチ................................................244
オートマチックトランスミッション.....165
　AASモード.......................................168
　運転するときに................................171
　キックダウン....................................165
　クリープ現象....................................165
　警告灯が点灯した............................341
　シフトロック装置............................166
　セレクトレバー................................167
　駐車するとき....................................171
　マニュアルモード............................168
オートマチックトランスミッションフルード
　推奨フルード、容量........................354
オーバーヒートしたとき........................326
オーバーヘッドコンソール...................253
お子さまの安全
　お子さま専用シート選択の目安....... 65
　お子さま専用シートについて........... 63
　お子さま専用シートの種類............... 65
　固定ロアアンカー.............................. 68
　チャイルドシートを固定するとき ... 68
　チャイルドプルーフ.......................... 29
オドメーター.........................................132
オルタネーターベルト
　点検基準値.......................................356


## カ


ガソリン ( 燃料 )
　使用燃料、容量................................350
　燃料補給口........................................ 76
カップホルダー......................................251
ガラス
　曇ったとき
　( フルオートエアコン )....................242
　手入れ...............................................297
　リヤウインドーデフォッガー
　( 曇り取り ) スイッチ.......................188


## キ


キー........................................................ 15
　KEY 警告灯 ( 赤 ) が
　点灯 / 点滅した................................344
　KEY 表示灯 ( 緑 ) が点滅した.........346
　キー車外持ち出し警報....................334
　キー車内閉じ込み警報....................334
　キーナンバープレート...................... 15
　キーの電池交換................................292
　キーリヤゲート内閉じ込み警報.....334
　作動しないとき................................328
　作動範囲..................................... 19, 20
　リクエストスイッチ不作動警報.....334
キー ( アドバンストキーレス機能装備車 )
　ドアの施錠 / 解錠............................. 23
キー ( アドバンストキーレス機能非装備車 )
　ドアの施錠 / 解錠............................. 26
キックダウン.........................................165
緊急用具................................................310

## ク

空気圧 ( タイヤ )....................................359
警報システム...................................214
空調 ( エアコン )....................................236
吹き出し口 ( 空調 )...........................237
フルオートエアコン .........................239
曇り取り ( デフォッガー ) スイッチ......188
クラクション ( ホーン )..........................188
クリープ現象 ..........................................165
クルーズコントロール............................210
表示灯..............................................210
グローブボックス....................................253

## ケ

警告灯 .......................................................141
メッセージ情報が表示した.............336
警告灯が点灯、点滅した .........................336
4WD 表示灯が点灯 / 点滅した.......348
ABS 警告灯が点灯した ...................340
i-stop 警告灯 ( 橙 ) が点滅した.......339
KEY 警告灯 ( 赤 ) が
点灯 / 点滅した ...............................344
RVM 警告灯 ( 橙 ) が点灯した........339
エアバッグ警告灯が
点灯 / 点滅した ...............................340
エンジン警告灯が
点灯 / 点滅した ...............................338
オイル警告灯が点灯した.................338
オートマチックトランスミッション
警告灯が点灯した ............................341
高水温警告灯 ( 赤 ) が
点灯 / 点滅した ...............................339
シートベルト警告灯が
点灯、点滅した ...................... 141, 154
シートベルト警告灯が
点灯 / 点滅した ...............................141
充電警告灯が点灯した.....................337
タイヤ空気圧警告灯が
点灯 / 点滅した ...............................342
ディスプレイに
「4WD システム点検」が
表示された.......................................348
ディスプレイに
「安全な場所に停車してください」
が表示された ...................................348
ディスプレイにセジメンタ
警告表示が表示された.....................348
電動パワーステアリング警告灯が
点灯した...........................................341
燃料残量警告灯が点灯した... 141, 154
半ドア警告灯が点灯した....... 141, 154
プリテンショナー警告灯が
点灯 / 点滅した ...............................340
ブレーキ警告灯が点灯した.............337
マスター警告灯が点灯した.............336
メッセージ情報が表示した.............336
レンチ表示灯が点灯した.................338
警報音
i-stop 警告チャイム .........................119
警報チャイム ...........................................334
i-stop 警告チャイム .........................334
エアバッグ / プリテンショナー
警告チャイム ...................................334
キー車外持ち出し警報.....................334
キー車内閉じ込み警報.....................334
キーリヤゲート内閉じ込み警報 .....334
シートベルト着用忘れチャイム .....334
タイヤ空気圧警報チャイム.............334
電動ハンドルロック
警告チャイム ...................................334
プッシュボタンスタート
もどし忘れ警報 ...............................334
ランプ消し忘れ防止チャイム .........334

## ケ


リクエストスイッチ不作動警報.....334
化粧鏡 ( バニティミラー ).....245
けん引.....329


## コ


交換
タイヤの位置交換
( タイヤローテーション ).....274
電球 ( バルブ ) 交換.....282
電池交換 ( キー ).....292
ヒューズの交換.....280
工具.....311
後退灯 ( バックランプ )
電球 ( バルブ ) 交換.....282
W ( ワット ) 数.....357


## サ


サービスデータ
設定変更 ( カスタマイズ機能 ).....360
サイドブレーキ
( パーキングブレーキ ).....175
サイドミラー ( ドアミラー ).....49
サブトランクボックス.....256
サンシェード.....75
サンバイザー.....245
サンルーフ.....73


## シ


シート
正しい運転姿勢.....36
フロントシート.....37
ヘッドレスト.....45
リヤシート.....39


## シ


シートヒーター.....38
シートベルト
ELR ( 緊急時固定 ) 機構.....54
3 点式シートベルト.....59
シートベルト警告灯.....141, 154
種類.....54
高さ調整.....61
正しい着用のしかた.....55
着用忘れチャイム.....59
手入れ.....298
プリテンショナー機構.....55
ロードリミッター機構.....55
室内照明.....245
イルミネーテッドエントリー
システム.....245
ラゲッジルームランプ.....247
ルームランプ.....246
室内灯 ( ルームランプ )
スイッチ.....246
電球 ( バルブ ) 交換.....282
W ( ワット ) 数.....357
ジャッキ.....311
車幅灯 ( スモールランプ )
スイッチ.....177
電球 ( バルブ ) 交換.....282
W ( ワット ) 数.....357
収納.....253
大型コンソールボックス.....254
オーバーヘッドコンソール.....253
グローブボックス.....253
サブトランクボックス.....256
ラゲッジフック.....257
ラゲッジルーム.....255
リヤコートフック.....255

## ス

スイッチ
AFS OFF スイッチ.........................180
i-stop OFF スイッチ.......................120
RVM スイッチ...............................209
ウォッシャースイッチ....................183
オーディオリモートコントロール
スイッチ.........................................244
クルーズコントロールスイッチ.....210
非常点滅灯スイッチ.......................182
フォグランプスイッチ....................182
ヘッドランプスイッチ....................177
ルームランプスイッチ....................246
ワイパースイッチ..........................183
スタックしたとき..................................309
ステアリング ( ハンドル )....................... 48
ロックされたとき..........................107
ストップランプ ( 制動灯 )
電球 ( バルブ ) 交換........................282
W ( ワット ) 数...............................357
スノータイヤ........................................303
スパークプラグ.....................................357
スピードメーター..................................131
スマートシティーブレーキサポート
(SCBS)
AT 誤発進抑制制御表示.................203
自動ブレーキ作動表示....................200
スマートシティーブレーキサポート
(SCBS) について...................................196
スモールランプ ( 車幅灯 )
スイッチ.........................................177
電球 ( バルブ ) 交換........................282
W ( ワット ) 数...............................357

## セ

制動灯 ( ストップランプ )
電球 ( バルブ ) 交換........................282
W ( ワット ) 数...............................357
セジメンタ警告表示が表示された........348
セレクトレバー......................................167
洗車.......................................................295
前照灯 ( ヘッドランプ )
スイッチ..........................................177
電球 ( バルブ ) 交換........................282
W ( ワット ) 数...............................357

## ソ

速度計 ( スピードメーター )..................131

## タ

ターンシグナル ( 方向指示器 )
電球 ( バルブ ) 交換........................282
レバー.............................................181
W ( ワット ) 数...............................357
ダイナミックスタビリティコントロール
(DSC).....................................................194
TCS/DSC 作動表示灯.....................195
作動表示灯が点灯した....................346
タイヤ
空気圧.............................................359
空気圧警報システム.......................214
サイズ.............................................359
チェーン..........................................303
点検.................................................269
パンク応急修理キット....................315
パンクしたとき..............................315
冬にそなえて..................................303
ローテーション ( 位置交換 )..........274


さくいん

## タ


タイヤ空気圧警報システム ....................214
　警告灯 ..........................................216
　警告灯が点灯 / 点滅した ..................342
　警報チャイム ..................................216
　システムの初期化 ............................217
タコメーター ........................................131
脱輪などで動けなくなったとき ...........309


## チ


チェーン ( タイヤチェーン ) ..................303
チャイルドシート ..................................63
　お子さま専用シート選択の目安 .......65
　お子さま専用シートの種類...............65
　固定ロアアンカー ............................68
　チャイルドシートを固定するとき ... 68
チャイルドプルーフ ................................29
駐車支援システム..................................218
　サイドモニター ..............................220
　バックガイドモニター....................224
駐車するとき
　オートマチック車 ...........................171
駐車ブレーキ ( パーキングブレーキ )
　警告灯.............................................337
　操作方法.........................................175
　点検基準値.....................................356
チルトステアリング................................48


## テ


ディーゼル ( 燃料 )
　使用燃料、容量 ...............................350
ディーゼルパティキュレートフィルター
(DPF) ....................................................228
　DPF 表示灯.......................................228
　PM の除去........................................228
　表示灯が点滅した ............................343
定期点検 ................................................262
ディスチャージヘッドランプ ...............180
ディスプレイ
　「4WD システム点検」が
　表示された.......................................348
　「安全な場所に停車してください」
　が表示された ...................................348
ディファレンシャルオイル
　推奨オイル、容量 ...........................354
手入れ
　アルミホイール ...............................297
　外装..................................................295
　外装樹脂部品 ...................................298
　ガラス..............................................297
　革張り部分 ......................................299
　シートベルト ...................................298
　樹脂部品..........................................300
　洗車..................................................295
　ソフトパッド部 ...............................300
　内装..................................................298
　布張り部分 ......................................299
　ピアノブラックパネル....................301
　フロントガラスの油膜を
　とるとき..........................................297
　ミラー..............................................297
　ワックスがけ ...................................296

## テ

テールランプ ( 尾灯 )
　スイッチ ........ 177
　電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
　W ( ワット ) 数 ........ 357
電球
　電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
　W ( ワット ) 数 ........ 357
点検整備について ........ 261
電源ソケット ........ 249
電源ポジション ........ 107
電動格納ミラー ( ドアミラー ) ........ 49
電動ミラー ( ドアミラー ) ........ 49

## ト

ドア ........ 22
　チャイルドプルーフ ........ 29
　ドアミラー ........ 49
　パワードアロック ........ 27
　半ドア警告灯 ........ 141, 154
　半ドア警告表示 ........ 141
　リヤゲート ........ 30
ドアミラー ........ 49
　角度調節 ........ 49
　格納 ........ 49
　曇り取り ........ 188
盗難防止システム ........ 80
時計 ........ 248
トノカバー ........ 33
トラクションコントロールシステム
(TCS) ........ 192
　TCS/DSC 作動表示灯 ........ 192
　TCS OFF 表示灯が点灯した ........ 346
　作動表示灯が点灯した ........ 346
トリップコンピューター ........ 133
トリップメーター ........ 132

## ナ

夏にそなえて ........ 304
ナンバープレートランプ ( 番号灯 )
　スイッチ ........ 177
　電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
　W ( ワット ) 数 ........ 357

## ニ

荷室を作るとき ........ 40
日常点検 ........ 262, 264

## ネ

燃料
　給油するとき ........ 76
　使用燃料、容量 ........ 350
　燃料切れしたとき ........ 325
　燃料計 ........ 133

## ハ

パーキングブレーキ
　操作方法 ........ 175
　点検基準値 ........ 356
ハイビーム ( ヘッドランプ上向き )
　切り替え ........ 178
　電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
　W ( ワット ) 数 ........ 357
ハイマウントストップランプ
　W ( ワット ) 数 ........ 357
ハザードランプ ( 非常点滅灯 )
　スイッチ ........ 182
　電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
　W ( ワット ) 数 ........ 357
はさみ込み防止機構 ........ 71
発炎筒 ........ 310
バックミラー ( ルームミラー ) ........ 51
パッシング合図 ........ 178

## ハ

バッテリー
あがったとき ........ 322
型式、容量 ........ 357
点検 ........ 272
冬にそなえて ........ 302
バニティミラー ( 化粧鏡 ) ........ 245
パネルライトコントロールスイッチ ........ 136
バルブ ( 電球 )
電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
W ( ワット ) 数 ........ 357
パワーウインドー ........ 70
パワーステアリング
警告灯が点灯した ........ 341
パワードアロック ........ 27
番号灯 ( ナンバープレートランプ )
スイッチ ........ 177
電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
W ( ワット ) 数 ........ 357
ハンドル ........ 48

## ヒ

非常点滅灯
スイッチ ........ 182
電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
点滅が速くなった ........ 347
W ( ワット ) 数 ........ 357
尾灯 ( テールランプ )
スイッチ ........ 177
電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
W ( ワット ) 数 ........ 357
ヒューズ ........ 275
エンジンルーム内
ヒューズボックス ........ 277
室内ヒューズボックス ........ 275

## ヒ

表示灯 ........ 141
TCS/DSC 作動表示灯 ........ 192, 195
クルーズメイン表示灯 ( 橙 )/
クルーズコントロール表示灯
( 緑 ) ........ 210
マニュアルモード表示灯 ........ 168
メッセージ情報が表示した ........ 336
ヒルローンチアシスト ........ 190

## フ

ブースターケーブルのつなぎ方 ........ 323
フォグランプ
スイッチ ........ 182
電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
W ( ワット ) 数 ........ 357
吹き出し口 ( 空調 ) ........ 237
フック ( けん引 ) ........ 329
踏切内で動けなくなったとき ........ 309
フューエルキャップ ........ 79
フューエルリッド ( 燃料補給口 ) ........ 78
冬にそなえて ........ 302
冬用タイヤ ( スノータイヤ ) ........ 303
ブレーキ
警告灯が点灯した ........ 337
ブレーキ液 ( フルード )
交換時期、推奨液 ........ 355
ブレーキペダル
点検基準値 ........ 356
ブレーキランプ ( 制動灯 )
電球 ( バルブ ) 交換 ........ 282
W ( ワット ) 数 ........ 357
フロントシート ........ 37

## ヘ

ヘッドランプ ( 前照灯 )
AFS ( アダプティブフロント
ライティングシステム ) ..................180
切り替え.........................................178
スイッチ.........................................177
ディスチャージヘッドランプ.........180
電球 ( バルブ ) 交換 ..........................282
パッシング合図 ..............................178
レベリング.......................................179
W ( ワット ) 数 ................................357
ヘッドレスト ............................................ 45

## ホ

ホイール
サイズ.............................................359
手入れ.............................................297
方向指示器
電球 ( バルブ ) 交換 ..........................282
方向指示灯の点滅が速くなった .....347
レバー.............................................181
W ( ワット ) 数 ................................357
ホーン .......................................................188
ボトルホルダー........................................252
ボンネット ...............................................262

## マ

マスター警告灯が点灯した ....................336
マルチディスプレイ
( セグメント液晶タイプ ) 装備車...........154
マルチディスプレイ
( ドット液晶タイプ ) 装備車 ..................141

## ミ

ミラー
手入れ...............................................297
ドアミラー ........................................ 49
バニティミラー ................................245
ルームミラー .................................... 51

## メ

メーター ...................................................124
インテリジェント・ドライブ・
マスター (i-DM)................................125
オドメーター ....................................132
外気温表示.......................................137
スピードメーター ............................131
タコメーター ....................................131
トリップコンピューター.................133
トリップメーター ............................132
燃料計...............................................133
パネルライトコントロール
スイッチ...........................................136
メンテナンスモニター.....................137

## ヤ

## ヨ

4WD.........................................................176
4WD 表示灯が点灯 / 点滅した.......348
ディスプレイに
「4WD システム点検」が
表示された.......................................348
ディスプレイに
「安全な場所に停車してください」
が表示された ....................................348

さくいん

## ラ


ライセンスプレートランプ ( 番号灯 )
電球 ( バルブ ) 交換 282
W ( ワット ) 数 357
ラゲッジフック 257
ラゲッジルーム 255
ラゲッジルームランプ 247
ランプ
AFS ( アダプティブフロント ライティングシステム ) 180
消し忘れ防止チャイム 334
スイッチ 177
電球 ( バルブ ) 交換 282
点灯しないとき 280
レベリング 179
W ( ワット ) 数 357


## リ


リアビークルモニタリングシステム 205
RVM 警告灯 ( 橙 )/ RVM 表示灯 ( 緑 ) 208
RVM 警告灯 ( 橙 ) が点灯した 339
RVM スイッチ 209
RVM 接近表示灯 / 警報チャイム 207
リヤウインドーデフォッガー ( 曇り取り ) スイッチ 188
リヤゲート 30
開けかた 31
開けられなくなったとき 349
閉めかた 32
リヤコートフック 255
リヤシート 39
リヤワイパー 187


## ル


ルームミラー 51
ルームランプ 246
スイッチ 246
電球 ( バルブ ) 交換 282
W ( ワット ) 数 357


## レ


冷却水
交換時期、推奨液、容量 355
低水温表示灯 ( 青 ) が 点灯し続ける 347
冬にそなえて ( 濃度の調節 ) 302


## ロ


路上で動けなくなったとき 308


## ワ


ワーニング（ディスプレイ表示） 141
ワイパー
寒冷地用ワイパーブレード 303
スイッチ 183
フロント 184
リヤ 187
ワックスがけ 296

# MEMO

お問い合わせ、ご相談はお近くのマツダ販売店または、
下記へお願いいたします。

マツダ㈱コールセンター
全国共通フリーダイヤル
0120-386-919
受付時間
平日　9:00〜17:00
土・日・祝日　9:00〜12:00 13:00〜17:00
携帯電話からもご利用になれます。

弊社における個人情報の取扱いは、
弊社ウェブサイトに掲載しています。
(http：//www.mazda.co.jp)

発行元 マツダ株式会社
〒730-8670　広島県安芸郡府中町新地 3-1
発行　2012 年 11 月
印刷　2012 年 11 月
373 頁　初版